

工 事 設 計 書

工事設計書のダウンロードにあたって

知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における1次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による2次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所

鏡

1. 工事名

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事
工事地名	神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋地先

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 7年 4月	1 2) 設 計 年 月	令和 7年 4月
2) 事務所名	横浜国道事務所 管理第二課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号		1 4) 単価適用年月	2026年 2月
4) 契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2026年 2月
5) 変更回数	0回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	橋梁保全工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量		1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	658日間 自 令和 8年 2月17日 (当初) 至 令和 9年12月 6日 (0回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	神奈川県	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	箱根地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	一般国道 1 号	2 2) 処 分 費 等	1,720,416
		2 3) 公 告 日	令和 7年 4月 1日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日

3. 予算科目

1) 予算科目 :	2) 目 :	3) 目の細分 :	4) 事業名 :
-----------	--------	-----------	----------

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
橋梁保全工事		式	1		144,452,841				
舗装工		式	1		197,390				
路面切削工		式	1		27,861				
路面切削	全面切削6cm以下(4000m ² 以下) 段差すりつけ撤去作業無	m ²	36	558.7	20,113			単-1号	
殻運搬(路面切削)	アスファルト殻(切削材)	m ³	2	2,310	4,620			単-2号	
殻処分	アスファルト殻(切削材)	m ³	2	1,564	3,128			単-3号	
オーバーレイ工		式	1		169,529				
表層(車道・路肩部)	改質As 密粒II型(13) 舗装厚 50mm	m ²	47	3,607	169,529			単-4号	
橋梁床版工		式	1		8,525,918				
床版連結工		式	1		7,122,430				
伸縮装置撤去	後打ちコンクリート撤去含む	m	16.8	72,300	1,214,640			単-5号	
床版撤去・復旧	地覆撤去・復旧含む	m ²	46	123,400	5,676,400			単-6号	

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
スタッド溶接	φ19×150	本	54	4,285	231,390			単-7号	
床版補修工		式	1		1,317,347				
左官工法	1構造物当り修復延べ 体積 0.337m3 超速硬コ ンクリート 鉄筋ケレン・鉄 筋防錆処理有	構造物	1	1,314,000	1,314,000			単-8号	
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.3	9,074	2,722			単-9号	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	0.3	2,086	625			単-10号	
運搬処理工		式	1		86,141				
殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3	11	3,196	35,156			単-11号	
殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3	11	3,333	36,663			単-12号	
現場発生品運搬	伸縮装置, 排水柵	t	0.73	19,620	14,322			単-13号	
鋼桁工		式	1		25,652,250				
桁連結工		式	1		10,744,040				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
既設部材撤去 (1)	ゲルハ一部	箇所	4	442,400	1,769,600			単-14号	
既設部材撤去 (2)	旧支点上横桁部	箇所	2	208,900	417,800			単-15号	
制震ダンパー撤去		箇所	4	265,200	1,060,800			単-16号	
変位制限構造撤去		箇所	4	173,300	693,200			単-17号	
高力ボルト本締	旧支点上横桁部	箇所	2	43,320	86,640			単-18号	
桁連結 (1)	P1G1, P1G2	箇所	2	1,630,000	3,260,000			単-19号	
桁連結 (2)	P2G1	箇所	1	1,757,000	1,757,000			単-20号	
桁連結 (3)	P2G2	箇所	1	1,699,000	1,699,000			単-21号	
鋼桁補強工		式	1		14,724,960				
主桁補強 (1)	側径間部	箇所	2	156,800	313,600			単-22号	
主桁補強 (2)	中間支点上部	箇所	4	1,085,000	4,340,000			単-23号	
主桁補強 (3)	ラーメン桁	箇所	1	87,260	87,260			単-24号	

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		数量増減
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
脚柱補強 (1)		箇所	2	67,590	135,180			単-25号	
脚柱補強 (2)	ラーメン脚P1G1	箇所	1	204,100	204,100			単-26号	
脚柱補強 (3)	ラーメン脚P1G2	箇所	1	221,000	221,000			単-27号	
脚柱補強 (4)	ラーメン脚P2G2	箇所	1	88,720	88,720			単-28号	
対傾構補強	対傾構P2	箇所	1	231,900	231,900			単-29号	
横桁補強 (1)		箇所	2	2,426,000	4,852,000			単-30号	
横桁補強 (2)	横桁A1G1	箇所	1	68,900	68,900			単-31号	
横桁補強 (3)	横桁P1G2	箇所	1	122,400	122,400			単-32号	
横桁補強 (4)	横桁A2G1	箇所	1	132,100	132,100			単-33号	
横構補強 (1)		箇所	2	640,200	1,280,400			単-34号	
横構補強 (2)	⑥-⑦区間	箇所	1	185,800	185,800			単-35号	
変位制限構造撤去	A1橋台・A2橋台	箇所	4	318,600	1,274,400			単-36号	

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		数量増減
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額				
横構撤去 (1)		箇所	2	467,500	935,000			単-37号	
横構撤去 (2)	⑥-⑦区間	箇所	1	252,200	252,200			単-38号	
運搬処理工		式	1		183,250				
現場発生品運搬	補強部材, 制震ダンパー, 変位制限構造, 横構	t	9.34	19,620	183,250			単-39号	
橋梁付属物工		式	1		964,922				
排水施設工		式	1		964,530				
排水柵		箇所	1	734,200	734,200			単-40号	
排水管	VP管	m	7	19,400	135,800			単-41号	
排水管撤去	鋼管 支持金具撤去含む	m	3	31,510	94,530			単-42号	
運搬処理工		式	1		392				
現場発生品運搬	排水管	t	0.02	19,620	392			単-43号	
橋梁補修工		式	1		14,124,750				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
支承受替工		式	1		14,082,960				
支承受替 (1)	IV 下部工ブ ラケット取付 有り 支承直下部以外 のはつり無し	基	1	2,286,000	2,286,000			単-44号	
支承受替 (2)	IV 下部工ブ ラケット取付 有り 支承直下部以外 のはつり無し	基	1	2,280,000	2,280,000			単-45号	
支承受替 (3)	IV 下部工ブ ラケット取付 有り 支承直下部以外 のはつり無し	基	1	2,317,000	2,317,000			単-46号	
支承受替 (4)	IV 下部工ブ ラケット取付 無し 支承直下部以外 のはつり無し	基	1	2,099,000	2,099,000			単-47号	
下部工ブ ラケット	ジャッキアップ 受けブ ラケット+ 縁端拡幅受台	箇所	3	1,463,000	4,389,000			単-48号	
当て板補強		箇所	2	134,100	268,200			単-49号	
下部工ブ ラケット撤去		箇所	3	118,200	354,600			単-50号	
当て板補強撤去		箇所	2	44,580	89,160			単-51号	
運搬処理工		式	1		41,790				
現場発生品運搬	補強部材, 下部工ブ ラケッ ト, 支承	t	2.13	19,620	41,790			単-52号	
現場塗装工		式	1		47,730,814				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
橋梁塗装工 F-11 塗装系		式	1		694,094				
素地調整		m2	46	4,690	215,740			単-53号	
下塗	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 塗装回数 1回	m2	46	1,078	49,588			単-54号	
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 塗装回数 1回	m2	46	4,964	228,344			単-55号	
中塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	m2	46	1,430	65,780			単-56号	
上塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	m2	46	2,927	134,642			単-57号	
橋梁塗装工 Rc-I 塗装系		式	1		47,036,720				
塗膜除去	剥離回数3回 廃材積込 1回	m2	1,560	24,290	37,892,400			単-58号	
下塗	有機シンクリッチペイント(1層) スプレー 塗装回数 1回	m2	1,520	1,552	2,359,040			単-59号	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) スプレー 塗装回数 1回	m2	1,520	1,615	2,454,800			単-60号	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系 塗装回数 1回	m2	1,520	903	1,372,560			単-61号	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系 塗装回数 1回	m2	1,520	1,946	2,957,920			単-62号	

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		数量増減
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
仮設工		式	1		47,256,797				
足場工		式	1		23,817,520				
単管足場 (1)	A1, P1	掛m2	400	5,518	2,207,200			単-63号	
単管足場 (2)	P2, A2	掛m2	240	5,518	1,324,320			単-64号	
吊足場 (1)	パ° 礼式吊足場 A1-CL間	m2	520	30,590	15,906,800			単-65号	
吊足場 (2)	パ° 礼式吊足場 P2, A2	m2	160	27,370	4,379,200			単-66号	
ばく露防止対策工		式	1		7,647,277				
鉛対策費	呼吸用保護具以外	式	1		5,647,237			内-1号	
塗膜運搬	鉛含有	t	5.6	57,150	320,040			単-67号	
塗膜処分	鉛含有	t	5.6	300,000	1,680,000			単-68号	
交通管理工		式	1		15,792,000				
交通誘導警備員 A		人日	282	20,300	5,724,600			単-69号	

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		数量増減
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
交通誘導警備員 B		人日	564	17,850	10,067,400			単-70号	
直接工事費		式	1		144,452,841				
共通仮設費		式	1		31,495,335				
共通仮設費		式	1		14,057,335				
運搬費		式	1		285,800				
建設機械運搬費		台	1	285,800	285,800			単-71号	
安全費		式	1		12,465,360				
鉛等呼吸用保護具等費用		式	1		12,465,360			内-2号	
技術管理費		式	1		63,175				
道路施設基本データ作成費用		式	1		63,175			内-3号	
現場環境改善費 (率計上)		式	1		1,243,000				
共通仮設費 (率計上)		式	1		17,438,000				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		数量増減
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
純工事費		式	1		175,948,176				
現場管理費		式	1		72,813,000				
工事原価		式	1		248,761,176				
一般管理費等		式	1		37,728,824				
工事価格		式	1		286,490,000				
消費税相当額		式	1		28,649,000				
工事費計		式	1		315,139,000				

一式当たり内訳書

鉛対策費

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
安全環境対策(側面)	壁部の隔離養生	m2	586.18	2,344	1,374,005			
安全環境対策(底面)	床の隔離養生	m2	950.16	1,768	1,679,882			
セキュリティルーム設置撤去		台	1	61,450	61,450			
エアシャワー(賃料)		台・月	3.7	216,000	799,200			
エアシャワー(基本料)		台	1	54,000	54,000			
エアシャワー用1次フィルター(材料費)	1枚/週	枚	9	3,600	32,400			
エアシャワー用HEPAフィルター(材料費)	1枚/月	枚	2	72,000	144,000			
負圧集塵装置(賃料)		台・月	7.4	81,000	599,400			
負圧集塵装置(基本料)		台・月	2	27,000	54,000			
負圧集塵装置用1次フィルター(材料費)	1枚/日	枚	126	1,080	136,080			
負圧集塵装置用2次フィルター(材料費)	1枚/週	枚	18	2,160	38,880			
負圧集塵装置用HEPAフィルター(材料費)	1枚/3ヵ月	枚	1	67,500	67,500			

一式当たり内訳書

鉛対策費

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
排気用ダクト(材料費)	100m	本	2	16,000	32,000			
真空掃除機(賃料)		台・月	7.4	59,400	439,560			
真空掃除機(基本料)		台・月	2	36,000	72,000			
真空掃除機用1次フィルターパック(材料費)	1枚/週	枚	18	2,160	38,880			
真空掃除機用HEPAフィルター(材料費)	1枚/3ヵ月	枚	1	24,000	24,000			
合 計					5,647,237			

一式当たり内訳書

鉛等呼吸用保護具等費用

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電動ファン付呼吸用保護具		個	12	71,100	853,200			
呼吸用保護具用フィルター	4個/人日	個	3,024	1,280	3,870,720			
化学防護服	4着/人日	個	3,024	1,280	3,870,720			
化学防護手袋	4組/人日	組	3,024	1,020	3,084,480			
シューズカバー	4組/人日	組	3,024	260	786,240			
合 計					12,465,360			

一式当たり内訳書

道路施設基本データ作成費用

第 3号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路施設基本データ作成費用	技術員1.75人	式	1		63,175			
合 計					63,175			

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-1号	路面切削	全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけ撤去作業 無	単位	m2	数量	1	単価	558.7
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路面切削		全面切削6cm以下(4000m2以下) 無し 全ての費用	m 2	1	558.7	558.7		
計						558.7		
単価						558.7	円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-2号	殻運搬(路面切削)	アスファルト殻(切削材)	単位	m3	数量	1	単価	2,310
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬(路面切削)		有り 12.5km以下 全ての費用	m 3	1	2,310	2,310		
計						2,310		
単価						2,310	円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-3号	殻処分	アスファルト殻(切削材)	単位	m3	数量	1	単価	1,564
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m3	1	1,564	1,564		
計						1,564		
単価						1,564	円/m3	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-4号	表層(車道・路肩部)	改質As 密粒II型(13) 舗装厚 50mm	単位	m2	数量	1	単価	3,607
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4 全ての費用	m2	1	3,607	3,607		
計						3,607		
単価						3,607	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-5号	伸縮装置撤去	後打ちコンクリート撤去含む	単位	m	数量	1	単価	72,300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	伸縮装置撤去	後打ちコンクリート撤去含む	m	1	72,300	72,300		
	計					72,300		
	単価					72,300	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-6号	床版撤去・復旧	地覆撤去・復旧含む	単位	m2	数量	46	単価	123,400
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
床版撤去・復旧	地覆撤去・復旧含む	m2	46	30,510	1,403,460			
エンクロス [®] 溶接	D19	本	16	10,900	174,400			
鉄筋工 [市場単価]	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 橋梁用床版	t	0.02	178,200	3,564			
鉄筋工 [市場単価]	SD345 D16~25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 橋梁用床版	t	1.216	176,100	214,137.6			
型枠(鋼橋床版)	補正なし 現場	m 2	48.1	13,560	652,236			
超速硬コンクリート(材料費)	昼間	m 3	11.448	282,000	3,228,336			
計					5,676,133.6			
単価					123,400	円/m2		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-7号	名称	規格	単位	本	数量	金額	単価	摘要
単-7号	スタット溶接	φ19×150	単位	本	数量	1	4,285	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		摘要
	スタット溶接	φ19×150	本	1	4,050	4,050		
	スタットジベル(材料費)	φ19×150	本	1	235	235		
	計					4,285		
	単価					4,285	円/本	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-8号	名称	規格	単位	構造物	数量	金額	単価	摘要
単-8号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積 0.337m3 超速硬コンクリート 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	1,314,000	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		摘要
	断面修復工(左官工法)	有り 0.1m3以上 0.337m3	構造物	1	1,314,000	1,314,000		
	計					1,314,000		
	単価					1,314,000	円/構造物	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-9号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	コンクリート殻(無筋)	m3	1	9,074	9,074	9,074	9,074
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	有り 14k m以下 良好	m 3	1	9,074	9,074	9,074	
	計					9,074		
	単価					9,074	円/m3	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-10号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	1	2,086	2,086	2,086	2,086
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	処分費 (m 3)		m 3	1	2,086	2,086	2,086	
	計					2,086		
	単価					2,086	円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-11号	殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,196
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(鉄筋) 構造物とりこわし 機械積込 有り 14.4km以下 全ての費用	m 3	1	3,196	3,196		
	計					3,196		
	単価					3,196	円/m3	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-12号	殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,333
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m 3	1	3,333	3,333		
	計					3,333		
	単価					3,333	円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-13号	現場発生産品運搬	伸縮装置, 排水桝	単位	t	数量	1	単価	19,620
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
現場発生産品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ベーストラック4～4.5t積、吊能力2.9t 有り 14.0km以下	t	1	8,778	8,778			
現場発生産品及び支給品積込み・荷卸し	トラック[クレーン装置付]ベーストラック4～4.5t積、吊能力2.9t	t	1	10,840	10,840			
計					19,618			
単価					19,620	円/t		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-14号	既設部材撤去 (1)	ゲルバー部	単位	箇所	数量	4	単価	442,400
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 円滑	m	5.436	7,148	38,856.52			
ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 平滑	m	4.44	63,820	283,360.8			
ガス切断切削仕上	板厚 $10 < t \leq 15$ 桁外面 円滑	m	2	8,612	17,224			
ガス切断切削仕上	板厚 $10 < t \leq 15$ 桁外面 平滑	m	6.636	76,900	510,308.4			
ガス切断切削仕上	板厚 $20 < t \leq 25$ 桁外面 円滑	m	6.048	11,170	67,556.16			
ガス切断切削仕上	板厚 $20 < t \leq 25$ 桁外面 平滑	m	2.96	76,900	227,624			
部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	37	13,100	484,700			
部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量 $20 < G \leq 40$	部材	8	17,470	139,760			
計					1,769,389.88			
単価					442,400	円/箇所		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-15号	既設部材撤去 (2)	旧支点上横桁部	単位	箇所	数量	金額	単価	208,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	リハット撤去		本	64	3,707	237,248		
	ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 円滑	m	3.248	7,148	23,216.7		
	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量G≦20	部材	12	13,100	157,200		
	計					417,664.7		
	単価					208,900	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-16号	制震ダンパ-撤去	単位	箇所	数量	金額	単価	265,200
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
高力六角ボルト撤去		本	64	914.5	58,528		
部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	部材	4	26,210	104,840		
部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≦200	部材	8	52,420	419,360		
部材撤去(ボルト接合)	1基当り平均質量200<G	t	0.808	192,000	155,136		
制震ダンパ-撤去	1基当り平均質量200<G ダンパ-本体撤去含む	組	4	80,700	322,800		
計					1,060,664		
単価					265,200	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-17号	変位制限構造撤去	単位	箇所	数量	金額	単価	173,300
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
高力六角ボルト撤去		本	96	914.5	87,792		
部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≤100	部材	8	26,210	209,680		
部材撤去(ボルト接合)	1基当り平均質量200<G	t	1.788	192,000	343,296		
緩衝ピン撤去	1部材当り平均質量G≤20	組	4	13,100	52,400		
計					693,168		
単価					173,300	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-18号	高力ボルト本締	旧支点上横桁部	単位	箇所	数量	金額	単価	摘要
名称	規格	単位	数量	単価	金額	43,320		
芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.662	36,580	24,215.96			
高力ボルト本締		本	44	1,098	48,312			
ビニール仕上げ		本	44	98.37	4,328.28			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×70	組	44	222.2	9,776.8			
計					86,633.04			
単価					43,320	円/箇所		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-19号	桁連結 (1)	P1G1, P1G2	単位	箇所	数量	2	単価	1,630,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	9.289	36,580	339,791.62		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	部材	48	13,100	628,800		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量20<G≤40	部材	14	17,470	244,580		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	400	1,591	636,400		
	高力ボルト本締		本	450	1,098	494,100		
	ピシテル仕上げ		本	450	98.37	44,266.5		
	ボルト穴埋材取付		本	12	6,686	80,232		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.382	693,000	264,726		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.479	691,000	330,989		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SS400 L100×100×9 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.047	599,000	28,153		
	ペ-スプレ-ト(工場製作品)	SM400A PL12mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.038	693,000	26,334		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-19号	桁連結 (1)	P1G1, P1G2	単位	箇所	数量	2	単価	1,630,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	フィルタープレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾウク)	t	0.069	618,000	42,642		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M16×65	組	18	100	1,800		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×60	組	84	209	17,556		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×65	組	68	215.7	14,667.6		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×75	組	264	228.5	60,324		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×100	組	16	260.2	4,163.2		
	計					3,259,524.92		
	単価					1,630,000	円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-20号	桁連結 (2)	P2G1	単位	箇所	数量	1	単価	1,757,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	4.602	36,580	168,341.16		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量G≤20	部材	24	13,100	314,400		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量20<G≤40	部材	7	17,470	122,290		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	208	1,591	330,928		
	高力ボルト本締		本	226	1,098	248,148		
	ピシテル仕上げ		本	226	98.37	22,231.62		
	ボルト穴埋材取付		本	6	6,686	40,116		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.188	693,000	130,284		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.239	691,000	165,149		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SS400 L100×100×9 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.024	599,000	14,376		
	ペ-スプレ-ト(工場製作品)	SM400A PL12mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.019	693,000	13,167		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-20号	桁連結 (2)	P2G1	単位	箇所	数量	1	単価	1,757,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	フィルタープレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾウク)	t		0.219	618,000	135,342	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M16×80	組	10	110		1,100	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×60	組	42	209		8,778	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×65	組	34	215.7		7,333.8	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×75	組	42	228.5		9,597	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×85	組	25	241.2		6,030	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×90	組	20	247.5		4,950	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×100	組	8	260.2		2,081.6	
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×105	組	45	266.7		12,001.5	
	計						1,756,644.68	
	単価						1,757,000	円/箇所

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-21号	桁連結 (3)	P2G2	単位	箇所	数量	1	単価	1,699,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	4.607	36,580	168,524.06		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	部材	24	13,100	314,400		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量20<G≤40	部材	7	17,470	122,290		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	208	1,591	330,928		
	高力ボルト本締		本	226	1,098	248,148		
	ピシテル仕上げ		本	226	98.37	22,231.62		
	ボルト穴埋材取付		本	6	6,686	40,116		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.188	693,000	130,284		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.239	691,000	165,149		
	ケルパ-部補強部材(工場製作品)	SS400 L100×100×9 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.024	599,000	14,376		
	ペ-スプレ-ト(工場製作品)	SM400A PL12mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.019	693,000	13,167		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-21号	桁連結 (3)	P2G2	単位	箇所	数量	1	単価	1,699,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	フィルタープレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾウク)	t	0.13	618,000	80,340		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M16×70	組	2	103	206		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M16×80	組	28	110	3,080		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 0	組	42	209	8,778		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	34	215.7	7,333.8		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 7 5	組	67	228.5	15,309.5		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 9 5	組	45	254	11,430		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 1 0 0	組	8	260.2	2,081.6		
	計					1,698,172.58		
	単価					1,699,000	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-22号	主桁補強 (1)	側径間部	単位	箇所	数量	2	単価	156,800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	1.08	36,580	39,506.4		
	ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 円滑	m	0.562	7,148	4,017.17		
	ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 平滑	m	0.28	63,820	17,869.6		
	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	2	13,100	26,200		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $20 < G \leq 40$	部材	2	17,470	34,940		
	鋼桁孔明	SS400 板厚 $t \leq 30$ 水平及び下向き	本	46	1,591	73,186		
	高力ボルト本締		本	46	1,098	50,508		
	ピシテル仕上げ		本	46	98.37	4,525.02		
	側径間部補強部材(工場製作品)	SS400 L100×100×10 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.08	667,000	53,360		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 5 5	組	46	203	9,338		
	計					313,450.19		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-22号	主桁補強 (1)	側径間部	単位	箇所	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	単価					2	156,800	円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-23号	主桁補強 (2)	中間支点上部	単位	箇所	数量	4	単価	1,085,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	5.288	36,580	193,435.04		
	ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 円滑	m	3.92	7,148	28,020.16		
	ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 平滑	m	3.356	63,820	214,179.92		
	部材撤去(溶接接合)	1部材当たり平均質量 $G \leq 20$	部材	16	13,100	209,600		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量 $200 < G$	t	4.48	192,000	860,160		
	鋼桁孔明	SS400 板厚 $t \leq 30$ 水平及び下向き	本	152	1,591	241,832		
	高力ボルト本締		本	152	1,098	166,896		
	ピシテル仕上げ		本	152	98.37	14,952.24		
	中間支点上部補強部材(工場製作品)	SM400A, SM400B 溶接・孔明・C-5塗装(連結部無機シロ)	t	4.48	530,000	2,374,400		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 7 5	組	152	228.5	34,732		
	計					4,338,207.36		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-23号	主桁補強 (2)	中間支点上部	単位	箇所	数量	金額	単価	摘要
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		
	単価					4		1,085,000
						1,085,000		円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-24号	主桁補強 (3)	ラーメン桁	単位	箇所	数量	1	単価	87,260
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	m2	0.055	283,700	15,603.5		
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.124	36,580	4,535.92		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量G≤20	部材	3	13,100	39,300		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	7	1,591	11,137		
	高力ボルト本締		本	7	1,098	7,686		
	ピソテル仕上げ		本	7	98.37	688.59		
	ラーメン補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.005	693,000	3,465		
	ラーメン補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.003	691,000	2,073		
	ファイブプレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.002	618,000	1,236		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	4	215.7	862.8		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 7 0	組	3	222.2	666.6		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-24号	主桁補強 (3)	ラーメン桁	単位	箇所	数量	1	単価	87,260
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
計						87,254.41		
単価						87,260	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-25号	脚柱補強 (1)		単位	箇所	数量		単価	
						2		67,590
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.087	36,580	3,182.46			
部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	部材	4	13,100	52,400			
鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	本	16	2,652	42,432			
高力ボルト本締		本	16	1,098	17,568			
ピソネル仕上げ	単管足場上作業	本	16	393.4	6,294.4			
脚柱補強部材(工場製作品)	SS400 PL9mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.013	773,000	10,049			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×55	組	16	203	3,248			
計					135,173.86			
単価					67,590	円/箇所		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-26号	脚柱補強 (2)	ラーメン脚P1G1	単位	箇所	数量	1	単価	204,100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	m2	0.112	283,700	31,774.4		
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.632	36,580	23,118.56		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量G≤20	部材	3	13,100	39,300		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	8	1,591	12,728		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	本	12	2,652	31,824		
	高力ボルト本締		本	20	1,098	21,960		
	ビニール仕上げ	単管足場上作業	本	20	393.4	7,868		
	ラーメン脚補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.024	693,000	16,632		
	ラーメン脚補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.008	691,000	5,528		
	ファイバーグレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.014	618,000	8,652		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 0	組	8	209	1,672		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-26号	脚柱補強 (2)	ラーメン脚P1G1	単位	箇所	数量	1	単価	204,100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 8 0	組	2	234.7	469.4		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 9 0	組	6	247.5	1,485		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 1 0 0	組	4	260.2	1,040.8		
	計					204,052.16		
	単価					204,100	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-27号	脚柱補強(3)	ラーメン脚P1G2	単位	箇所	数量	1	単価	221,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	m2	0.112	283,700	31,774.4		
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.632	36,580	23,118.56		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量G≤20	部材	3	13,100	39,300		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	8	1,591	12,728		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	本	16	2,652	42,432		
	高力ボルト本締		本	24	1,098	26,352		
	ビニール仕上げ	単管足場上作業	本	24	393.4	9,441.6		
	ラーメン脚補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.023	693,000	15,939		
	ラーメン脚補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.008	691,000	5,528		
	ファイバーグレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.014	618,000	8,652		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×60	組	8	209	1,672		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-27号	脚柱補強 (3)	ラーメン脚P1G2	単位	箇所	数量	1	単価	221,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 8 0	組	2	234.7	469.4		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 9 0	組	8	247.5	1,980		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 1 0 0	組	6	260.2	1,561.2		
	計					220,948.16		
	単価					221,000	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-28号	脚柱補強 (4)	ラーメン脚P2G2	単位	箇所	数量	1	単価	88,720
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	m2	0.008	283,700	2,269.6		
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.235	36,580	8,596.3		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量G≤20	部材	2	13,100	26,200		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	6	1,590	9,540		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	本	5	2,652	13,260		
	高力ボルト本締		本	11	1,098	12,078		
	ビニール仕上げ	単管足場上作業	本	11	393.4	4,327.4		
	ラーメン脚補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.008	693,000	5,544		
	ラーメン脚補強部材(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.002	691,000	1,382		
	ファイバーグレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.005	618,000	3,090		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	3	215.7	647.1		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-28号	脚柱補強 (4)	ラーメン脚P2G2	単位	箇所	数量	1	単価	88,720
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 7 0	組	8	222.2	1,777.6		
	計					88,712		
	単価					88,720	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-29号	対傾構補強	対傾構P2	単位	箇所	数量	1	単価	231,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
金属パテ補修		セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	m2	0.024	283,700	6,808.8		
芯出し調整(鋼材面用)			m2	0.581	36,580	21,252.98		
部材取付(ボルト接合)		1部材当り平均質量G≤20	部材	3	13,100	39,300		
鋼桁孔明		SS400 板厚t≤30 斜め向き	本	29	2,652	76,908		
高力ボルト本締			本	29	1,098	31,842		
ピシテル仕上げ		単管足場上作業	本	29	393.4	11,408.6		
ラーメン脚対傾構補強部材(工場製作品)		SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.027	693,000	18,711		
ラーメン脚対傾構補強部材(工場製作品)		SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.016	691,000	11,056		
ファイブプレート(工場製作品)		SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.013	618,000	8,034		
摩擦接合用高力ボルト(トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	20	215.7	4,314		
摩擦接合用高力ボルト(トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 8 5	組	9	241.2	2,170.8		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-29号	対傾構補強	対傾構P2	単位	箇所	数量	1	単価	231,900
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計					231,806.18		
	単価					231,900	円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-30号	横桁補強 (1)		単位	箇所	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		2,426,000
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	15.388	36,580	562,893.04		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	16	13,100	209,600		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $20 < G \leq 40$	部材	4	17,470	69,880		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $40 < G \leq 100$	部材	2	26,210	52,420		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $100 < G \leq 200$	部材	8	52,420	419,360		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $200 < G$	t	1.069	192,000	205,248		
	鋼桁孔明	SS400 板厚 $t \leq 30$ 上向き	本	448	2,652	1,188,096		
	高力ボルト本締		本	544	1,098	597,312		
	ビニール仕上げ		本	544	98.37	53,513.28		
	横桁上フランジ補強部材(工場製作品)	SS400 PL32mm 孔明・C-5塗装(連結部無機シヅク)	t	0.934	537,000	501,558		
	横桁上フランジ添接板(工場製作品)	SS400 PL32mm 孔明・C-5塗装(無機シヅク)	t	0.145	490,000	71,050		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-30号	横桁補強 (1)		単位	箇所	数量		単価	
						2		2,426,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
横桁下フランジ 補強部材(工場製作品)		SS400 PL30mm 孔明・C-5塗装(連結部:無機ゾック)	t	1.069	542,000	579,398		
横桁下フランジ 添接板(工場製作品)		SS400 PL30mm 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.161	492,000	79,212		
フラッププレート(工場製作品)		SS400 PL3.2mm 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.062	911,000	56,482		
塞ぎ板(工場製作品)		SS400 PL9mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.09	773,000	69,570		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	64	215.7	13,804.8		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 8 5	組	288	241.2	69,465.6		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 9 0	組	48	247.5	11,880		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 1 0 0	組	32	260.2	8,326.4		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 1 1 5	組	56	279	15,624		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 1 2 0	組	56	286	16,016		
計						4,850,709.12		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-30号	横桁補強 (1)		単位	箇所	数量		単価
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	単価					2,426,000	円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-31号	横桁補強 (2)	横桁A1G1	単位	箇所	数量	1	単価	68,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.174	36,580	6,364.92		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当たり平均質量G≦20	部材	2	13,100	26,200		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≦30 水平及び下向き	本	4	1,590	6,360		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≦30 上向き	本	4	2,652	10,608		
	高力ボルト本締		本	7	1,098	7,686		
	ピソテル仕上げ		本	7	98.37	688.59		
	横桁補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.011	693,000	7,623		
	フイラプレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.003	618,000	1,854		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	7	215.7	1,509.9		
	計					68,894.41		
	単価					68,900	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-32号	横桁補強(3)	横桁PIG2	単位	箇所	数量	1	単価	122,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
金属パテ補修		セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	m2	0.048	283,700	13,617.6		
芯出し調整(鋼材面用)			m2	0.339	36,580	12,400.62		
部材取付(ボルト接合)		1部材当り平均質量G≤20	部材	3	13,100	39,300		
鋼桁孔明		SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	本	4	1,591	6,364		
鋼桁孔明		SS400 板厚t≤30 上向き	本	4	2,652	10,608		
高力ボルト本締			本	13	1,098	14,274		
ピントール仕上げ			本	13	98.37	1,278.81		
横桁補強部材(工場製作品)		SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.018	693,000	12,474		
横桁補強部材(工場製作品)		SS400 PL 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.007	691,000	4,837		
ファイバーグレート(工場製作品)		SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾック)	t	0.007	618,000	4,326		
摩擦接合用高力ボルト(トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	5	215.7	1,078.5		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-32号	横桁補強 (3)	横桁PIG2	単位	箇所	数量	金額	単価	摘要
名称	規格	単位	数量	単価	金額	122,400		
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 7 5	組	8	228.5	1,828			
計					122,386.53			
単価					122,400	円/箇所		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-33号	横桁補強 (4)	横桁A2G1	単位	箇所	数量	1	単価	132,100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	リハット撤去		本	2	3,707	7,414		
	ガス切断切削仕上	板厚 $6 \leq t \leq 10$ 桁外面 平滑	m	0.219	63,820	13,976.58		
	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	1	13,100	13,100		
	金属ハテ補修	セラミック金属補修特殊ハテ 下地処理含む	m2	0.012	283,700	3,404.4		
	芯出し調整(鋼材面用)		m2	0.161	36,580	5,889.38		
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	4	13,100	52,400		
	鋼桁孔明	SS400 板厚 $t \leq 30$ 斜め向き	本	4	2,652	10,608		
	鋼桁孔明	SS400 板厚 $30 < t \leq 40$ 水平及び下向き	本	2	1,746	3,492		
	高力ボルト本締		本	6	1,098	6,588		
	ピントール仕上げ		本	6	98.37	590.22		
	横桁補強部材(工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装(連結部無機シソク)	t	0.012	693,000	8,316		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-33号	横桁補強 (4)	横桁A2G1	単位	箇所	数量	1	単価	132,100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	フイアプレート(工場製作品)	SS400 PL 孔明・C-5塗装(無機ゾング)	t	0.008	618,000	4,944		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×60	組	4	209	836		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×100	組	2	260.2	520.4		
	計					132,078.98		
	単価					132,100	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-34号	横構補強 (1)		単位	箇所	数量		単価	
						2		640,200
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	部材	18	13,100	235,800			
部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≤100	部材	4	26,210	104,840			
部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≤200	部材	2	52,420	104,840			
高力ボルト本締		本	138	1,098	151,524			
ビニール仕上げ		本	138	98.37	13,575.06			
横構(工場製作品) L=8488	SS400 L130×130×12 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.397	627,000	248,919			
横構(工場製作品) L=4138	SS400 L130×130×12 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.387	627,000	242,649			
カセットプレート(工場製作品)	SS400 PL9mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.028	775,000	21,700			
横構取付部材(工場製作品)	SS400 CT118×178 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.145	729,000	105,705			
縦桁取付部材(工場製作品)	SS400 L125×90×10 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.03	734,000	22,020			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 5 5	組	32	203	6,496			

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-34号	横構補強 (1)		単位	箇所	数量	金額	単価
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 0	組	106	209	22,154	
	計					1,280,222.06	
	単価					640,200	円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-35号	横構補強 (2)	⑥-⑦区間	単位	箇所	数量	1	単価	185,800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	部材	2	13,100	26,200		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 上向き	本	32	2,652	84,864		
	高力ボルト本締		本	32	1,098	35,136		
	ビニール仕上げ		本	32	98.37	3,147.84		
	ガセットプレート(工場製作品)	SS400 PL9mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾンク)	t	0.038	775,000	29,450		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×65	組	32	215.7	6,902.4		
	計					185,700.24		
	単価					185,800	円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-36号	変位制限構造撤去	A1橋台・A2橋台	単位	箇所	数量	1	単価	318,600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
高力六角ボルト撤去			本	32	914.5	29,264		
部材撤去(ボルト接合)		1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	2	13,100	26,200		
部材撤去(ボルト接合)		1部材当り平均質量 $40 < G \leq 100$	部材	2	26,210	52,420		
部材撤去(ボルト接合)		1部材当り平均質量 $100 < G \leq 200$	部材	1	52,420	52,420		
部材撤去(アンカーボルト接合)		1部材当り平均質量 $100 < G \leq 200$	部材	1	52,420	52,420		
アンカーボルト切断・補修工			本	10	10,580	105,800		
計						318,524		
単価						318,600	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-37号	横構撤去 (1)		単位	箇所	数量	2	単価	467,500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	リハット撤去		本	132	3,707	489,324		
	部材撤去(リハット接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	18	13,100	235,800		
	部材撤去(リハット接合)	1部材当り平均質量 $40 < G \leq 100$	部材	4	26,210	104,840		
	部材撤去(リハット接合)	1部材当り平均質量 $100 < G \leq 200$	部材	2	52,420	104,840		
	計					934,804		
	単価					467,500	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-38号	横構撤去 (2)	⑥-⑦区間	単位	箇所	数量	1	単価	252,200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	リハット撤去		本	48	3,707	177,936		
	部材撤去(リハット接合)	1部材当り平均質量 $G \leq 20$	部材	3	13,100	39,300		
	部材撤去(リハット接合)	1部材当り平均質量 $20 < G \leq 40$	部材	2	17,470	34,940		
	計					252,176		
	単価					252,200	円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-39号	現場発生産品運搬	補強部材, 制震ダンパー, 変位制限構造, 横構	単位	t	数量	1	単価	19,620
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生産品及び支給品運搬		トラック[クレーン装置付]ベーストラック4~4.5t積、吊能力2.9t 有り 14.0km以下	t	1	8,778	8,778		
現場発生産品及び支給品積込み・荷卸し		トラック[クレーン装置付]ベーストラック4~4.5t積、吊能力2.9t	t	1	10,840	10,840		
計						19,618		
単価						19,620	円/t	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-40号	排水柵		単位	箇所	数量	1	単価	734,200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
排水柵		排水柵B 20kg/個以上 110kg/個以下	箇所	1	14,130	14,130		
橋梁用排水柵(材料費)		FC-150 スクリーン含む	個	1	720,000	720,000		
計						734,130		
単価						734,200	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-41号	排水管	VP管	単位	m	数量	7	単価	19,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	排水管設置	有り	m	7	5,710	39,970		
	排水管 L1(材料費)	直管 VP100A ネット付	m	4	1,900	7,600		
	排水管 L2(材料費)	直管 VP100A	m	0.223	1,230	274.29		
	排水管 R1(材料費)	曲管 VP100A	個	1	11,000	11,000		
	排水管 R2(材料費)	曲管 VP100A ネット付	個	1	12,700	12,700		
	45° エルボ (材料費)	VP100A用	個	2	357	714		
	支持金具 S1(工場製作品)	VP100A用 SS400 BN含む	個	1	11,400	11,400		
	支持金具 S2(工場製作品)	VP100A用 SS400 BN含む	個	1	9,500	9,500		
	支持金具 B(工場製作品)	VP100A用 SS400・SM400A BN含む	個	3	14,200	42,600		
	計					135,758.29		
	単価					19,400	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-42号	排水管撤去	鋼管 支持金具撤去含む	単位	m	数量	2.5	単価	31,510
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
既設排水管撤去		VP100	m	2.5	3,060	7,650		
既設支持金具撤去		FB50×6×1030	kg	10.2	6,971	71,104.2		
計						78,754.2		
単価						31,510	円/m	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-43号	現場発生品運搬	排水管	単位	t	数量	1	単価	19,620
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生品及び支給品運搬		トラック[クレーン装置付]へ^-ストラック4~4.5t積、吊能力2.9t 有り 14.0km以下	t	1	8,778	8,778		
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し		トラック[クレーン装置付]へ^-ストラック4~4.5t積、吊能力2.9t	t	1	10,840	10,840		
計						19,618		
単価						19,620	円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-44号	支取替 (1)	IV 下部工ブランク取付有り 支取直下部以外のはつり無し	単位	基	数量	1	単価	2,286,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	支取替 (鋼橋)	IV 有り	基	1	576,200	576,200		
	コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	30mmを超え43mm以下 500mmを超え1000mm以下 全ての費用	孔	4	9,414	37,656		
	充填補修		孔	4	996.6	3,986.4		
	可動コム支承 (材料費)	最大反力1020kN アンカーボルト含む (A1G1・A1G2)	個	1	1,530,000	1,530,000		
	ジャッキアップ 補強材 (工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装 (連結部無機ジソク)	t	0.066	949,000	62,634		
	ジャッキアップ 用ベースプレート (工場製作品)	SM400A PL t=30mm C-5塗装 (連結部無機ジソク)	枚	1	10,300	10,300		
	ソールプレート (工場製作品)	PL-310×41×510 孔明・C-5塗装 (連結部無機ジソク)	枚	1	60,700	60,700		
	補修材 (材料費)	1.86kg/孔	孔	4	308.8	1,235.2		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	12	215.7	2,588.4		
	計					2,285,300		
	単価					2,286,000	円/基	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-45号	支取替 (2)	IV 下部工ブランク取付有り 支取直下部以外のはつり無し	単位	基	数量	1	単価	2,280,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	支取替 (鋼橋)	IV 有り	基	1	576,200	576,200		
	コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	30mmを超え43mm以下 500mmを超え1000mm以下 全ての費用	孔	4	9,414	37,656		
	充填補修		孔	4	996.6	3,986.4		
	可動コム支承 (材料費)	最大反力1020kN アンカーボルト含む (A1G1・A1G2)	個	1	1,530,000	1,530,000		
	ジャッキアップ 補強材 (工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装 (連結部無機ジंक)	t	0.06	949,000	56,940		
	ジャッキアップ 用ベースプレート (工場製作品)	SM400A PL t=30mm C-5塗装 (連結部無機ジंक)	枚	1	10,300	10,300		
	ソールプレート (工場製作品)	PL-310×41×510 孔明・C-5塗装 (連結部無機ジंक)	枚	1	60,700	60,700		
	補修材 (材料費)	1.86kg/孔	孔	4	308.8	1,235.2		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	12	215.7	2,588.4		
	計					2,279,606		
	単価					2,280,000	円/基	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-46号	支承受替 (3)	IV 下部工ブランク取付有り 支承直下部以外のはつり無し	単位	基	数量	1	単価	2,317,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	支承受替 (鋼橋)	IV 有り	基	1	576,200	576,200		
	コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	30mmを超え43mm以下 500mmを超え1000mm以下 全ての費用	孔	4	9,414	37,656		
	充填補修		孔	4	996.6	3,986.4		
	可動コム支承 (材料費)	最大反力1020kN アンカーボルト含む (A2G1)	個	1	1,560,000	1,560,000		
	ジャッキアップ 補強材 (工場製作品)	SM400A PL 孔明・C-5塗装 (連結部無機ゾック)	t	0.066	949,000	62,634		
	ジャッキアップ 用ベースプレート (工場製作品)	SM400A PL t=32mm C-5塗装 (連結部無機ゾック)	枚	1	11,500	11,500		
	ソールプレート (工場製作品)	PL-310×41×510 孔明・C-5塗装 (連結部無機ゾック)	枚	1	60,700	60,700		
	補修材 (材料費)	1.86kg/孔	孔	4	308.8	1,235.2		
	摩擦接合用高力ボルト (トルシア)	S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	12	215.7	2,588.4		
	計					2,316,500		
	単価					2,317,000	円/基	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-47号	支取替 (4)	IV 下部工ブケット取付無し 支取直下部以外のはつり無し	単位	基	数量	1	単価	2,099,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
支取替(鋼橋)		IV 下部工ブケット取付無し 桁付ブケット取付含まず	基	1	584,600	584,600		
コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)		30mmを超え43mm以下 500mmを超え1000mm以下 全ての費用	孔	4	9,414	37,656		
充填補修			孔	4	996.6	3,986.4		
可動コム支承(材料費)		最大反力1020kN アンカーボルト含む (A2G2)	個	1	1,410,000	1,410,000		
ソールプレート(工場製作品)		PL-310×41×510 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	枚	1	60,700	60,700		
補修材 (材料費)		1.86kg/孔	孔	4	308.8	1,235.2		
計						2,098,177.6		
単価						2,099,000	円/基	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-48号	下部工ブラケット	ジャッキアップ受けブラケット+縁端拡幅受台	単位	箇所	数量	1	単価	1,463,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	芯出し調整(コンクリート面用)		m2	1.639	16,720	27,404.08		
	コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン)	30mmを超え43mm以下 500mmを超え1000mm以下 全ての費用	孔	24	9,414	225,936		
	アンカー	25mmを超え40mm以下 横方向	本	24	2,272	54,528		
	チッピング(ブラケット背面部)		m2	1.388	35,870	49,787.56		
	不陸修正(ブラケット背面部)		m2	1.388	12,750	17,697		
	下部工ブラケット取付	600kg以下	基	1	102,700	102,700		
	下部工ブラケット取付	600kg以下	基	1	102,700	102,700		
	アンカー材(材料費)		本	24	4,060	97,440		
	注入材(材料費)	0.657kg/本	本	24	2,234	53,616		
	不陸修正材(パテ)(材料費)	エポキシ樹脂系	kg	2.026	1,780	3,606.28		
	ジャッキアップ受けブラケット(工場製作品)	SM400A 孔明・メッキ(HDZT77)	基	1	550,000	550,000		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-48号	下部工ブケット	ジャッキアップ受けブケット+縁端拡幅受台	単位	箇所	数量	1	単価	1,463,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	縁端拡幅受台(工場製作品)	SM400A 孔明・メッキ(HDZT77)	基	1	177,000	177,000		
	ボルト(材料費)	SS400 M16×65 めっき品	本	8	50.6	404.8		
	ナット(材料費)	SS400 M16 めっき品	個	8	12.4	99.2		
	計					1,462,918.92		
	単価					1,463,000	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-49号	当て板補強		単位	箇所	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		134,100
	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	部材	1	26,210	26,210		
	鋼桁孔明	SS400 板厚t≦30 水平及び下向き	本	1	1,591	1,591		
	高力ボルト本締		本	12	1,098	13,176		
	ビニール仕上げ		本	12	98.37	1,180.44		
	当て板補強部材(工場製作品)	SM400A PL22mm 孔明・C-5塗装(連結部無機ゾック)	t	0.094	949,000	89,206		
	摩擦接合用高力ボルト(トルシア)	S10T M22×70	組	12	222.2	2,666.4		
	計					134,029.84		
	単価					134,100	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-50号	下部工ブケット撤去		単位	箇所	数量	1	単価	118,200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	下部工ブケット撤去	ブケット単部材質量600kg以下	基	1	97,960	97,960		
	アンカーボルトカス切断	適用アンカー材径25mmを超え40mm以下	本	8	2,527	20,216		
	計					118,176		
	単価					118,200	円/箇所	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-51号	当て板補強撤去		単位	箇所	数量	1	単価	44,580
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	トリア型六角ボルト撤去		本	13	1,413	18,369		
	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≤100	部材	1	26,210	26,210		
	計					44,579		
	単価					44,580	円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-52号	現場発生産品運搬	補強部材, 下部工フック, 支承	単位	t	数量	1	単価	19,620
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生産品及び支給品運搬		トラック[クレーン装置付]ベストトラック4~4.5t積、吊能力2.9t 有り 14.0km以下	t	1	8,778	8,778		
現場発生産品及び支給品積込み・荷卸し		トラック[クレーン装置付]ベストトラック4~4.5t積、吊能力2.9t	t	1	10,840	10,840		
計						19,618		
単価						19,620	円/t	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-53号	素地調整		単位	m2	数量	1	単価	4,690
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
継手部素地調整 (新橋現場・新橋継手部現場塗装)		動力工具処理 無し 無し	m 2	1	4,690	4,690		
計						4,690		
単価						4,690	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-54号	下塗	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,078
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
継手部下塗り (新橋現場・新橋継手部現場塗装)		ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 無し	m 2	1	1,078	1,078		
計						1,078		
単価						1,078	円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-55号	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	4,964
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
継手部下塗り (新橋現場・新橋継手部現場塗装)		超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し	m 2	1	4,964	4,964		
計						4,964		
単価						4,964	円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-56号	中塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,430
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
中塗り・上塗り (新橋現場・新橋継手部現場塗装)		新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 赤系	m 2	1	1,430	1,430		
計						1,430		
単価						1,430	円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-57号	上塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	2,927
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
中塗り・上塗り (新橋現場・新橋継手部現場塗装)		新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 赤系	m 2	1	2,927	2,927		
計						2,927		
単価						2,927	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-58号	塗膜除去	剥離回数3回 廃材積込1回	単位	m2	数量	1	単価	24,290
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		無し 無し 弦材を有する構造 0.5kg/m2	m 2	3	7,305	21,915		
廃材の回収・積込		無し 無し	m 2	1	2,366	2,366		
計						24,281		
単価						24,290	円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-59号	下塗	有機ゾンクッチペイント(1層) スプレー 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,552
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り 無し 無し 無し 有機ゾンクッチペイント(1層)スプレー	m 2	1	1,552	1,552		
計						1,552		
単価						1,552	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-60号	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,615
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り 無し 無し 無し 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	m 2	1	1,615	1,615		
計						1,615		
単価						1,615	円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-61号	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	903
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		中塗り 無し 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系	m 2	1	903	903		
計						903		
単価						903	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-62号	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,946
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		上塗り 無し 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 赤系	m 2	1	1,946	1,946		
計						1,946		
単価						1,946	円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-63号	単管足場 (1)	A1, P1	単位	掛m2	数量	1	単価	5,518
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工		単管足場 必要 標準	掛m 2	1	5,518	5,518		
計						5,518		
単価						5,518	円/掛m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-64号	単管足場 (2)	P2, A2	単位	掛m2	数量	1	単価	5,518
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工		単管足場 必要 標準	掛m 2	1	5,518	5,518		
計						5,518		
単価						5,518	円/掛m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-65号	吊足場 (1)	ハ° 祢式吊足場 A1-CL間	単位	m2	数量	522.2	単価	30,590
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工		ハ° 祢式吊足場	m2	522.2	3,419	1,785,401.8		
【足場】								
スハ°イタ°-ハ° 祢賃料		3.85m/枚 供用494日	枚	65	32,720	2,126,800		
スハ°イタ°-ハ° 祢賃料		3.0m/枚 供用494日	枚	195	25,600	4,992,000		
スハ°イタ°-単クランフ° 賃料		ホル付 供用494日	個	519	267	138,573		
スハ°イタ°-平行クランフ° 賃料		供用494日	個	259	361	93,499		
ロック付チェーン賃料		3m/個 供用494日	個	648	1,893	1,226,664		
【朝顔】								
スハ°イタ°-ハ° 祢賃料		2.0m/枚 供用494日	枚	130	16,910	2,198,300		
スハ°イタ°-ハ° 祢賃料		3.0m/枚 供用494日	枚	130	25,600	3,328,000		
スハ°イタ°-平行クランフ° 賃料		供用494日	個	130	361	46,930		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-65号	吊足場 (1)	パ ^レ 式吊足場 A1-CL間	単位	m ²	数量	522.2	単価	30,590
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ス ^テ イ ^タ -単 ^ク ラ ^ン フ ^ノ 賃料	ボ ^ル 付 供用494日	個	130	267	34,710		
	計					15,970,877.8		
	単価					30,590	円/m ²	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-66号	吊足場 (2)	パ 祢式吊足場 P2, A2	単位	m2	数量	156.2	単価	27,370
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工		パ 祢式吊足場	m2	156.2	3,419	534,047.8		
【足場】								
スパイター 祢賃料		3.85m/枚 供用435日	枚	19	28,940	549,860		
スパイター 祢賃料		3.0m/枚 供用435日	枚	58	22,650	1,313,700		
スパイター 単クランプ 賃料		ホル付 供用435日	個	155	237	36,735		
スパイター 平行クランプ 賃料		供用435日	個	78	322	25,116		
ロック付チェーン 賃料		3m/個 供用435日	個	194	1,681	326,114		
【朝顔】								
スパイター 祢賃料		2.0m/枚 供用435日	枚	39	14,960	583,440		
スパイター 祢賃料		3.0m/枚 供用435日	枚	39	22,650	883,350		
スパイター 平行クランプ 賃料		供用435日	個	39	322	12,558		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-66号	吊足場 (2)	パ 祢式吊足場 P2, A2	単位	m2	数量	156.2	単価	27,370
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ス ^ハ イ ^タ -単 ^ク ラン ^プ 賃料	ホ ^ル 付 供用435日	個	39	237	9,243		
	計					4,274,163.8		
	単価					27,370	円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-67号	塗膜運搬	鉛含有	単位	t	数量		単価	
名称		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
	運搬費 既設塗膜(鉛含有)	13tウイング車	台・回	1	320,000		320,000	
	計						320,000	
	単価						57,150	円/t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-68号	塗膜処分	鉛含有	単位	t	数量		単価	
名称		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
	処分費(t)		t	1	300,000		300,000	
	計						300,000	
	単価						300,000	円/t

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-69号	交通誘導警備員 A		単位	人日	数量	1	単価	20,300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員A		人日	1	20,300	20,300		
	計					20,300		
	単価					20,300	円/人日	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-70号	交通誘導警備員 B		単位	人日	数量	1	単価	17,850
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人日	1	17,850	17,850		
	計					17,850		
	単価					17,850	円/人日	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-71号	建設機械運搬費		単位	台	数量		単価	
名称		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
	貨物自動車による運搬 (1車1回)	路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0m 61.6km 無 有 30900円		台	2	142,900	285,800	
	計						285,800	
	単価						285,800	円/台

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

処分費 (m ³)		単位	m ³	数量	100	単価	1,564
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 アスファルト殻(切削材)【昼間】	【神奈川10】久野碎石工業㈱	m ³	100	1,564	156,400		
計					156,400		
単価					1,564	円/m ³	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

伸縮装置撤去	後打ちコンクリート撤去含む	単位	m	数量	10	単価	72,300
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	2.381	40,188	95,687		
特殊作業員		人	9.524	30,498	290,462		
普通作業員		人	2.381	27,030	64,358		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	16 t 吊	日	4.048	48,400	195,923		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		76,570		
計					723,000		
単価					72,300	円/m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	床版撤去・復旧	地覆撤去・復旧含む	単位	m2	数量	10	単価	30,510
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.087	40,188	43,684		
	橋りょう特殊工		人	3.261	34,884	113,756		
	普通作業員		人	4.167	27,030	112,634		
	諸雑費（率+まるめ） 13%		式	1		35,026		
	計					305,100		
	単価					30,510	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1	単価	10,900
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	0.07	33,252	2,327		
溶接工		人	0.14	38,250	5,355		
諸雑費 (率+まるめ) 42%		式	1		3,218		
計					10,900		
単価					10,900	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

鉄筋工 [市場単価]	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無 (鉄筋割合10%未満含む) 橋梁用床版	単位	t	数量	1	単価	178,200
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 3	t	1.03	110,000	113,300		
鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	64,841.4	64,841		
諸雑費 (まるめ)		式	1		59		
計					178,200		
単価					178,200	円 / t	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工 [市場単価]	SD345 D16~25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 橋梁用床版	単位	t		1	176,100
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D16~25	t	1.03	108,000	111,240	
鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	64,841.4	64,841	
諸雑費 (まるめ)		式	1		19	
計					176,100	
単価					176,100	円/t

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	100	単価	4,050
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1.852	40,188	74,428		
橋りょう特殊工		人	5.556	34,884	193,815		
諸雑費 (率+まるめ) 51%		式	1		136,757		
計					405,000		
単価					4,050	円/本	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3以上 0.337m3	単位	構造物	数量	1	単価	1,314,000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	9.436	33,252	313,765		
	特殊作業員		人	17.861	30,498	544,724		
	普通作業員		人	9.436	27,030	255,055		
	超速硬コンクリート(材料費)	昼間	m ³	0.398	282,000	112,236		
	諸雑費（率+まるめ） 8%		式	1		88,220		
	計					1,314,000		
	単価					1,314,000	円／構造物	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)	有り 14km以下 良好	単位	m ³	数量	10	単価 9,074
普通作業員		人	1.299	27,030	35,111	
ダンプトラック運転	良好	日	1.56	35,660	55,629	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					90,740	
単価					9,074	円/m ³

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（m ³ ）		単位	m ³	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費	コンクリート殻(無筋)【昼間】	【神奈川10】久野砕石工業㈱	m ³	100	2,086	208,600		
計						208,600		
単価						2,086	円/m ³	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（m ³ ）		単位	m ³	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費	コンクリート殻(鉄筋)【昼間】	【神奈川10】久野砕石工業㈱	m ³	100	3,333	333,300		
計						333,300		
単価						3,333	円/m ³	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 円滑	単位	m	数量	10	単価 7,148
橋りょう世話役		人	0.4	40,188	16,075	
橋りょう特殊工		人	1.08	34,884	37,674	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		17,731	
計					71,480	
単価					7,148	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 平滑	単位	m	数量	10	単価 63,820
橋りょう世話役		人	3.571	40,188	143,511	
橋りょう特殊工		人	9.643	34,884	336,386	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		158,303	
計					638,200	
単価					63,820	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚10<t≤15 桁外面 円滑	単位	m	数量	10	単価 8,612
橋りょう世話役		人	0.482	40,188	19,370	
橋りょう特殊工		人	1.301	34,884	45,384	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		21,366	
計					86,120	
単価					8,612	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚10<t≤15 桁外面 平滑	単位	m	数量	10	単価 76,900
橋りょう世話役		人	4.303	40,188	172,928	
橋りょう特殊工		人	11.618	34,884	405,282	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		190,790	
計					769,000	
単価					76,900	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚20<t≤25 桁外面 円滑	単位	m	数量	10	単価 11,170
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117	
橋りょう特殊工		人	1.688	34,884	58,884	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		27,699	
計					111,700	
単価					11,170	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚20<t≤25 桁外面 平滑	単位	m	数量	10	単価 76,900
橋りょう世話役		人	4.303	40,188	172,928	
橋りょう特殊工		人	11.618	34,884	405,282	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		190,790	
計					769,000	
単価					76,900	円/m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量20<G≦40	単位	部材	数量	10	単価	17,470
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.833	40,188	33,476		
	橋りょう特殊工		人	2.5	34,884	87,210		
	普通作業員		人	0.833	27,030	22,515		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		31,499		
	計					174,700		
	単価					17,470	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

リベット撤去		単位	本	数量	70	単価	3,707
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	3	34,884	104,652		
普通作業員		人	1	27,030	27,030		
諸雑費 (率+まるめ) 51%		式	1		87,630		
計					259,500		
単価					3,707	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 円滑	単位	m	数量	10	単価 7,148
橋りょう世話役		人	0.4	40,188	16,075	
橋りょう特殊工		人	1.08	34,884	37,674	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		17,731	
計					71,480	
単価					7,148	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
計					131,000		
単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力六角ボルト撤去		単位	本	数量	100	単価	914.5
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.455	40,188	18,285		
橋りょう特殊工		人	1.364	34,884	47,581		
普通作業員		人	0.455	27,030	12,298		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		13,286		
計					91,450		
単価					914.5	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235		
	橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815		
	普通作業員		人	1.25	27,030	33,787		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		47,263		
	計					262,100		
	単価					26,210	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≤200	単位	部材	数量	10	単価	52,420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	2.5	40,188	100,470		
	橋りょう特殊工		人	7.5	34,884	261,630		
	普通作業員		人	2.5	27,030	67,575		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		94,525		
	計					524,200		
	単価					52,420	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1基当り平均質量200<G	単位	t	数量	10	単価
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	橋りょう世話役		人	7.143	40,188	287,062	192,000
	橋りょう特殊工		人	28.571	34,884	996,670	
	普通作業員		人	14.286	27,030	386,150	
	諸雑費(率+まるめ) 15%		式	1		250,118	
	計					1,920,000	
	単価					192,000	円/t

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	組	数量	単価	金額	単価	摘要
制震ダンパ-撤去	1基当り平均質量200<Gダンパ-本体撤去含む					10		80,700
橋りょう世話役		人		1.923	40,188	77,281		
橋りょう特殊工		人		13.462	34,884	469,608		
普通作業員		人		3.846	27,030	103,957		
諸雑費 (率+まるめ) 24%		式		1		156,154		
計						807,000		
単価						80,700	円/組	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力六角ボルト撤去		単位	本	数量	100	単価	914.5
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.455	40,188	18,285		
	橋りょう特殊工		人	1.364	34,884	47,581		
	普通作業員		人	0.455	27,030	12,298		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		13,286		
	計					91,450		
	単価					914.5	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235		
	橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815		
	普通作業員		人	1.25	27,030	33,787		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		47,263		
	計					262,100		
	単価					26,210	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
部材撤去(ボルト接合)	1基当り平均質量200<G	単位	t	数量	10	単価 192,000
橋りょう世話役		人	7.143	40,188	287,062	
橋りょう特殊工		人	28.571	34,884	996,670	
普通作業員		人	14.286	27,030	386,150	
諸雑費(率+まるめ) 15%		式	1		250,118	
計					1,920,000	
単価					192,000	円/t

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	組	数量	単価	金額	摘要
緩衝ピン撤去	1部材当り平均質量G≤20	人		0.625	40,188	25,117	13,100
橋りょう世話役		人		0.625	40,188	25,117	
橋りょう特殊工		人		1.875	34,884	65,407	
普通作業員		人		0.625	27,030	16,893	
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式		1		23,583	
計						131,000	
単価						13,100	円/組

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188			
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536			
普通作業員		人	6	27,030	162,180			
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896			
計					365,800			
単価					36,580	円/m2		

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942			
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174			
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758			
諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926			
計					109,800			
単価					1,098	円／本		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
計					131,000		
単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量20<G≦40	単位	部材	数量	10	単価	17,470
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.833	40,188	33,476		
	橋りょう特殊工		人	2.5	34,884	87,210		
	普通作業員		人	0.833	27,030	22,515		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		31,499		
	計					174,700		
	単価					17,470	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料（1）

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	ビソテール仕上げ		単位	本	数量		単価
						1,000	98.37
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工			人	2	34,884	69,768	
諸雑費（率+まるめ） 41%			式	1		28,602	
計						98,370	
単価						98.37	円／本

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	ボルト穴埋材取付		単位	本	数量		単価
						100	6,686
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工			人	16.667	34,884	581,411	
諸雑費（率+まるめ） 15%			式	1		87,189	
計						668,600	
単価						6,686	円／本

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	m2	数量	単価	金額	単価	摘要
芯出し調整(鋼材面用)						10		36,580
橋りょう世話役		人		1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人		4	34,884	139,536		
普通作業員		人		6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式		1		23,896		
計						365,800		
単価						36,580	円/m2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量20<G≦40	単位	部材	数量	10	単価	17,470
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.833	40,188	33,476		
	橋りょう特殊工		人	2.5	34,884	87,210		
	普通作業員		人	0.833	27,030	22,515		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		31,499		
	計					174,700		
	単価					17,470	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円／本	

参考資料（1）

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	ビソテール仕上げ		単位	本	数量		単価
						1,000	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費（率+まるめ） 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円／本	

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	ボルト穴埋材取付		単位	本	数量		単価
						100	6,686
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	16.667	34,884	581,411		
諸雑費（率+まるめ） 15%		式	1		87,189		
計					668,600		
単価					6,686	円／本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	m2	数量	単価	金額	単価	摘要
芯出し調整(鋼材面用)						10		36,580
橋りょう世話役		人		1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人		4	34,884	139,536		
普通作業員		人		6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式		1		23,896		
計						365,800		
単価						36,580	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 円滑	単位	m	数量	10	単価 7,148
橋りょう世話役		人	0.4	40,188	16,075	
橋りょう特殊工		人	1.08	34,884	37,674	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		17,731	
計					71,480	
単価					7,148	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 平滑	単位	m	数量	10	単価 63,820
橋りょう世話役		人	3.571	40,188	143,511	
橋りょう特殊工		人	9.643	34,884	336,386	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		158,303	
計					638,200	
単価					63,820	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
計					131,000		
単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量20<G≦40	単位	部材	数量	10	単価	17,470
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.833	40,188	33,476		
橋りょう特殊工		人	2.5	34,884	87,210		
普通作業員		人	0.833	27,030	22,515		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		31,499		
計					174,700		
単価					17,470	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	m2	数量	単価	金額	単価	摘要
芯出し調整(鋼材面用)						10		36,580
橋りょう世話役		人		1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人		4	34,884	139,536		
普通作業員		人		6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式		1		23,896		
計						365,800		
単価						36,580	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 円滑	単位	m	数量	10	単価 7,148
橋りょう世話役		人	0.4	40,188	16,075	
橋りょう特殊工		人	1.08	34,884	37,674	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		17,731	
計					71,480	
単価					7,148	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 平滑	単位	m	数量	10	単価 63,820
橋りょう世話役		人	3.571	40,188	143,511	
橋りょう特殊工		人	9.643	34,884	336,386	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		158,303	
計					638,200	
単価					63,820	円/m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量200<G	単位	t	数量	10	単価	192,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	7.143	40,188	287,062		
橋りょう特殊工		人	28.571	34,884	996,670		
普通作業員		人	14.286	27,030	386,150		
諸雑費 (率+まるめ) 15%		式	1		250,118		
計					1,920,000		
単価					192,000	円/t	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
金属パテ補修	セメント金属補修特殊パテ 下地処理含む	単位	m2	数量	1	283,700
土木一般世話役		人	1	33,252	33,252	
特殊作業員		人	2	30,498	60,996	
普通作業員		人	1	27,030	27,030	
プライマー(材料費)		k g	0.26	25,200	6,552	
断面修復材(材料費)	ラスタッフ1110相当品	k g	2.9	49,600	143,840	
諸雑費 (率+まるめ) 10%		式	1		12,030	
計					283,700	
単価					283,700	円/m2

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費 (率+まるめ) 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	芯出し調整(鋼材面用)	単位	m2	数量	10	単価
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188	
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536	
普通作業員		人	6	27,030	162,180	
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896	
計					365,800	
単価					36,580	円/m2

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
計					131,000		
単価					13,100	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632			
橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210			
普通作業員		人	1.235	27,030	33,382			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976			
計					265,200			
単価					2,652		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
ビニール仕上げ	単管足場上作業					250		393.4
橋りょう特殊工		人	2	34,884		69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1			28,602		
計						98,370		
単価						393.4	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	単位	m2	数量	1	単価	283,700
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役		人	1	33,252	33,252			
特殊作業員		人	2	30,498	60,996			
普通作業員		人	1	27,030	27,030			
プライマー(材料費)		k g	0.26	25,200	6,552			
断面修復材(材料費)	ラスタッフ1110相当品	k g	2.9	49,600	143,840			
諸雑費（率+まるめ） 10%		式	1		12,030			
計					283,700			
単価					283,700	円/m2		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632			
橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210			
普通作業員		人	1.235	27,030	33,382			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976			
計					265,200			
単価					2,652		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
ビニール仕上げ	単管足場上作業					250		393.4
橋りょう特殊工		人	2	34,884		69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1			28,602		
計						98,370		
単価						393.4	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
ビニール仕上げ	単管足場上作業					250		393.4
橋りょう特殊工		人	2	34,884		69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1			28,602		
計						98,370		
単価						393.4	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	金属パテ補修	セメント金属補修特殊パテ 下地処理含む	単位	m2	数量	1	単価	283,700
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役		人	1	33,252	33,252			
特殊作業員		人	2	30,498	60,996			
普通作業員		人	1	27,030	27,030			
プライマー(材料費)		k g	0.26	25,200	6,552			
断面修復材(材料費)	ラスタッフ1110相当品	k g	2.9	49,600	143,840			
諸雑費（率+まるめ） 10%		式	1		12,030			
計					283,700			
単価					283,700	円/m2		

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188			
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536			
普通作業員		人	6	27,030	162,180			
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896			
計					365,800			
単価					36,580	円/m2		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
計					131,000		
単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,590
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.22	34,884	77,442			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費 (率+まるめ) 25%		式	1		31,750			
計					159,000			
単価					1,590		円/本	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632		
	橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210		
	普通作業員		人	1.235	27,030	33,382		
	諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976		
	計					265,200		
	単価					2,652	円／本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
ビニール仕上げ	単管足場上作業					250		393.4
橋りょう特殊工		人	2	34,884		69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1			28,602		
計						98,370		
単価						393.4	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	単位	m2	数量	1	単価	283,700
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役		人	1	33,252	33,252			
特殊作業員		人	2	30,498	60,996			
普通作業員		人	1	27,030	27,030			
プライマー(材料費)		k g	0.26	25,200	6,552			
断面修復材(材料費)	ラスタッフ1110相当品	k g	2.9	49,600	143,840			
諸雑費（率+まるめ） 10%		式	1		12,030			
計					283,700			
単価					283,700	円/m2		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	m2	数量	単価	金額	単価	摘要
芯出し調整(鋼材面用)						10		36,580
橋りょう世話役		人		1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人		4	34,884	139,536		
普通作業員		人		6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式		1		23,896		
計						365,800		
単価						36,580	円/m2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632		
	橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210		
	普通作業員		人	1.235	27,030	33,382		
	諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976		
	計					265,200		
	単価					2,652	円／本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円／本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	概要
ビニール仕上げ	単管足場上作業					250		393.4
橋りょう特殊工		人	2	34,884		69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1			28,602		
計						98,370		
単価						393.4	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量20<G≦40	単位	部材	数量	10	単価	17,470
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.833	40,188	33,476		
	橋りょう特殊工		人	2.5	34,884	87,210		
	普通作業員		人	0.833	27,030	22,515		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		31,499		
	計					174,700		
	単価					17,470	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235		
	橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815		
	普通作業員		人	1.25	27,030	33,787		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		47,263		
	計					262,100		
	単価					26,210	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≤200	単位	部材	数量	10	単価	52,420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	2.5	40,188	100,470		
	橋りょう特殊工		人	7.5	34,884	261,630		
	普通作業員		人	2.5	27,030	67,575		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		94,525		
	計					524,200		
	単価					52,420	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量200<G	単位	t	数量	10	単価	192,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	7.143	40,188	287,062		
橋りょう特殊工		人	28.571	34,884	996,670		
普通作業員		人	14.286	27,030	386,150		
諸雑費 (率+まるめ) 15%		式	1		250,118		
計					1,920,000		
単価					192,000	円/t	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 上向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632			
橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210			
普通作業員		人	1.235	27,030	33,382			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976			
計					265,200			
単価					2,652		円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,590
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.22	34,884	77,442			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費 (率+まるめ) 25%		式	1		31,750			
計					159,000			
単価					1,590		円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 上向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632		
	橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210		
	普通作業員		人	1.235	27,030	33,382		
	諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976		
	計					265,200		
	単価					2,652	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
金属パテ補修	セメント金属補修特殊パテ 下地処理含む	単位	m2	数量	1	単価 283,700
土木一般世話役		人	1	33,252	33,252	
特殊作業員		人	2	30,498	60,996	
普通作業員		人	1	27,030	27,030	
プライマー(材料費)		k g	0.26	25,200	6,552	
断面修復材(材料費)	ラスタッフ1110相当品	k g	2.9	49,600	143,840	
諸雑費 (率+まるめ) 10%		式	1		12,030	
計					283,700	
単価					283,700	円/m2

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188			
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536			
普通作業員		人	6	27,030	162,180			
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896			
計					365,800			
単価					36,580	円/m2		

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	リベット撤去		単位	本	数量	70	単価	3,707
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
	橋りょう特殊工		人	3	34,884	104,652		
	普通作業員		人	1	27,030	27,030		
	諸雑費（率+まるめ） 51%		式	1		87,630		
	計					259,500		
	単価					3,707	円／本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断切削仕上	板厚6≦t≦10 桁外面 平滑	単位	m	数量	10	単価 63,820
橋りょう世話役		人	3.571	40,188	143,511	
橋りょう特殊工		人	9.643	34,884	336,386	
諸雑費 (率+まるめ) 33%		式	1		158,303	
計					638,200	
単価					63,820	円/m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(溶接接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	金属パテ補修	セラミック金属補修特殊パテ 下地処理含む	単位	m2	数量	1	単価	283,700
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役		人	1	33,252	33,252			
特殊作業員		人	2	30,498	60,996			
普通作業員		人	1	27,030	27,030			
プライマー(材料費)		k g	0.26	25,200	6,552			
断面修復材(材料費)	ラスタッフ1110相当品	k g	2.9	49,600	143,840			
諸雑費（率+まるめ） 10%		式	1		12,030			
計					283,700			
単価					283,700	円/m2		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

芯出し調整(鋼材面用)		単位	m2	数量	10	単価	36,580
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	4	34,884	139,536		
普通作業員		人	6	27,030	162,180		
諸雑費 (率+まるめ) 7%		式	1		23,896		
計					365,800		
単価					36,580	円/m2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 斜め向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632			
橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210			
普通作業員		人	1.235	27,030	33,382			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976			
計					265,200			
単価					2,652	円／本		

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚30<t≤40 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,746
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.813	40,188	32,672			
橋りょう特殊工		人	2.439	34,884	85,082			
普通作業員		人	0.813	27,030	21,975			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		34,871			
計					174,600			
単価					1,746		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		23,583		
計					131,000		
単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235		
橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815		
普通作業員		人	1.25	27,030	33,787		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		47,263		
計					262,100		
単価					26,210	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≤200	単位	部材	数量	10	単価	52,420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	2.5	40,188	100,470		
	橋りょう特殊工		人	7.5	34,884	261,630		
	普通作業員		人	2.5	27,030	67,575		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		94,525		
	計					524,200		
	単価					52,420	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 上向き	単位	本	数量	100	単価	2,652
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.235	40,188	49,632		
	橋りょう特殊工		人	3.704	34,884	129,210		
	普通作業員		人	1.235	27,030	33,382		
	諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		52,976		
	計					265,200		
	単価					2,652	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
	橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
	普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,926		
	計					109,800		
	単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	100	単価	914.5
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.455	40,188	18,285		
橋りょう特殊工		人	1.364	34,884	47,581		
普通作業員		人	0.455	27,030	12,298		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		13,286		
計					91,450		
単価					914.5	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235			
橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815			
普通作業員		人	1.25	27,030	33,787			
諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		47,263			
計					262,100			
単価					26,210	円/部材		

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≤200	単位	部材	数量	10	単価	52,420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	2.5	40,188	100,470		
	橋りょう特殊工		人	7.5	34,884	261,630		
	普通作業員		人	2.5	27,030	67,575		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		94,525		
	計					524,200		
	単価					52,420	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(アカーボルト接合)	1部材当り平均質量100<G≤200	単位	部材	数量	10	単価	52,420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	2.5	40,188	100,470		
	橋りょう特殊工		人	7.5	34,884	261,630		
	普通作業員		人	2.5	27,030	67,575		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		94,525		
	計					524,200		
	単価					52,420	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	名称	規格	単位	本	数量	10	単価	10,580
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	アソカボルト切断・補修工							
	橋りょう世話役		人	0.526	40,188	21,138		
	橋りょう特殊工		人	1.579	34,884	55,081		
	普通作業員		人	0.526	27,030	14,217		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		15,364		
	計					105,800		
	単価					10,580	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	リベット撤去		単位	本	数量	70	単価	3,707
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
	橋りょう特殊工		人	3	34,884	104,652		
	普通作業員		人	1	27,030	27,030		
	諸雑費（率+まるめ） 51%		式	1		87,630		
	計					259,500		
	単価					3,707	円／本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(リベット接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(リベット接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235		
	橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815		
	普通作業員		人	1.25	27,030	33,787		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		47,263		
	計					262,100		
	単価					26,210	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	部材	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人		2.5	40,188	100,470	
橋りょう特殊工		人		7.5	34,884	261,630	
普通作業員		人		2.5	27,030	67,575	
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式		1		94,525	
計						524,200	
単価						52,420	円/部材

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

リベット撤去		単位	本	数量	70	単価	3,707
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	3	34,884	104,652		
普通作業員		人	1	27,030	27,030		
諸雑費 (率+まるめ) 51%		式	1		87,630		
計					259,500		
単価					3,707	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(リベット接合)	1部材当り平均質量G≤20	単位	部材	数量	10	単価	13,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.625	40,188	25,117		
	橋りょう特殊工		人	1.875	34,884	65,407		
	普通作業員		人	0.625	27,030	16,893		
	諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		23,583		
	計					131,000		
	単価					13,100	円/部材	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(リベット接合)	1部材当り平均質量20<G≦40	単位	部材	数量	10	単価	17,470
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0.833	40,188	33,476		
	橋りょう特殊工		人	2.5	34,884	87,210		
	普通作業員		人	0.833	27,030	22,515		
	諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		31,499		
	計					174,700		
	単価					17,470	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
既設排水管撤去	VP100	m			10	3,060
土木一般世話役		人	0.2	33,252	6,650	
特殊作業員		人	0.5	30,498	15,249	
普通作業員		人	0.3	27,030	8,109	
諸雑費（率+まるめ） 2%		式	1		592	
計					30,600	
単価					3,060	円/m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	既設支持金具撤去	FB50×6×1030	単位	kg	数量	35	単価	6,971
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1.75	33,252	58,191		
	特殊作業員		人	3.5	30,498	106,743		
	普通作業員		人	1.75	27,030	47,302		
	諸雑費（率+まるめ） 15%		式	1		31,764		
	計					244,000		
	単価					6,971	円/kg	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支取替(鋼橋)	IV 下部工ブランク取付無し 桁付ブランク取付含まず	単位	基	数量	1	単価	584,600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		摘要
	橋りょう世話役		人	2.1	40,188	84,394		
	橋りょう特殊工		人	6.3	34,884	219,769		
	特殊作業員		人	3	30,498	91,494		
	普通作業員		人	2	27,030	54,060		
	諸雑費（率+まるめ） 30%		式	1		134,883		
	計					584,600		
	単価					584,600	円/基	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	芯出し調整(コンクリート面用)	単位	m2	数量	10	単価	16,720
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
普通作業員		人	2	27,030	54,060		
諸雑費（率+まるめ） 2%		式	1		3,184		
計					167,200		
単価					16,720	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
チッピング(フック背面部)		単位	m2	数量	7	35,870
土木一般世話役		人	1.679	33,252	55,830	
特殊作業員		人	3.357	30,498	102,381	
普通作業員		人	2.518	27,030	68,061	
諸雑費(率+まるめ) 11%		式	1		24,828	
計					251,100	
単価					35,870	円/m2

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正(フック背面部)		単位	m2	数量	2	単価 12,750
橋りょう特殊工		人	0.4	34,884	13,953	
普通作業員		人	0.4	27,030	10,812	
諸雑費 (率+まるめ) 3%		式	1		735	
計					25,500	
単価					12,750	円/m2

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

部材取付(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235		
橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815		
普通作業員		人	1.25	27,030	33,787		
諸雑費 (率+まるめ) 22%		式	1		47,263		
計					262,100		
単価					26,210	円/部材	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼桁孔明	SS400 板厚t≤30 水平及び下向き	単位	本	数量	100	単価	1,591
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.741	40,188	29,779			
橋りょう特殊工		人	2.222	34,884	77,512			
普通作業員		人	0.741	27,030	20,029			
諸雑費（率+まるめ） 25%		式	1		31,780			
計					159,100			
単価					1,591		円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

高力ボルト本締		単位	本	数量	100	単価	1,098
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役		人	0.546	40,188	21,942		
橋りょう特殊工		人	1.639	34,884	57,174		
普通作業員		人	0.546	27,030	14,758		
諸雑費 (率+まるめ) 17%		式	1		15,926		
計					109,800		
単価					1,098	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	1,000	単価	98.37
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	2	34,884	69,768		
諸雑費 (率+まるめ) 41%		式	1		28,602		
計					98,370		
単価					98.37	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

下部工	ブリケット撤去	ブリケット単部材質量600kg以下	単位	基	数量	10	単価	97,960
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	3.175	40,188	127,596			
橋りょう特殊工		人	12.698	34,884	442,957			
普通作業員		人	6.349	27,030	171,613			
諸雑費 (率+まるめ) 32%		式	1		237,434			
計					979,600			
単価					97,960	円/基		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
アンカーボルトガス切断	適用アンカー材径25mmを超え40mm以下					65		2,527
橋りょう世話役		人	1	40,188		40,188		
橋りょう特殊工		人	2	34,884		69,768		
普通作業員		人	1	27,030		27,030		
諸雑費 (率+まるめ) 20%		式	1			27,314		
計						164,300		
単価						2,527	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	名称	規格	単位	本	数量	金額	単価	摘要
	トリア型六角ボルト撤去		単位	本	数量	200		1,413
	橋りょう世話役		人	1	40,188	40,188		
	橋りょう特殊工		人	5	34,884	174,420		
	普通作業員		人	1	27,030	27,030		
	諸雑費（率+まるめ） 17%		式	1		41,062		
	計					282,700		
	単価					1,413	円/本	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部材撤去(ボルト接合)	1部材当り平均質量40<G≦100	単位	部材	数量	10	単価	26,210
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	1.25	40,188	50,235			
橋りょう特殊工		人	3.75	34,884	130,815			
普通作業員		人	1.25	27,030	33,787			
諸雑費（率+まるめ） 22%		式	1		47,263			
計					262,100			
単価					26,210		円/部材	

参考資料 (1)

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	継手部素地調整 (新橋現場・新橋継手部現場塗装)	動力工具処理 無し 無し	単位	m ²	数量		単価
					100		4,690
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工	新橋素地調整	昼間 動力工具処理 ISO St3 制約無	m ²	100	4,689.43	468,943	
諸雑費 (まるめ)			式	1		57	
計						469,000	
単価						4,690	円/m ²

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	継手部下塗り (新橋現場・新橋継手部現場塗装)	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 無し 無し	単位	m ²	数量		単価
					100		1,078
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工	新橋塗装 下塗り	昼間 ミストコート 変性エポキシ樹脂(1層) 制約無	m ²	100	1,077.71	107,771	
諸雑費 (まるめ)			式	1		29	
計						107,800	
単価						1,078	円/m ²

参考資料（１）

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し	単位	m ²	数量		単価	
						100		4,964
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	新橋塗装 下塗り	昼間 超厚膜形エポキシ (2回塗り/層) 制約無	m ²	100	4,963.86	496,386		
諸雑費（まるめ）			式	1		14		
計						496,400		
単価						4,964	円/m ²	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 赤系	単位	m ²	数量		単価	
						100		1,430
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	新橋塗装 中塗り	昼間 ふっ素樹脂塗料用 赤系 制約無	m ²	100	1,429.67	142,967		
諸雑費（まるめ）			式	1		33		
計						143,000		
単価						1,430	円/m ²	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
中塗り・上塗り (新橋現場・新橋継 手部現場塗装)	新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 赤系	m ²	100		100	2,927
橋梁塗装工 新橋塗装 上塗り	昼間 ふっ素樹脂 赤系 制約無	m ²	100	2,926.25	292,625	
諸雑費 (まるめ)		式	1		75	
計					292,700	
単価					2,927	円/m ²

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 弦材を有する構造 0.5kg/m2	m 2	1	6,040.44	6,040	7,305
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 昼間	弦材を有する構造 時間制約無	m 2	1	6,040.44	6,040	
塗膜剥離剤	水系塗膜剥離剤 標準使用量0.5kg/m2	k g	0.575	2,200	1,265	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					7,305	
単価					7,305	円/m 2

参考資料（1）

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	廃材の回収・積込	無し 無し	単位	m ²	数量		単価	
					1			2,366
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
廃材の回収・積込 昼間	時間制約無	m ²	1	2,366.4	2,366			
諸雑費（まるめ）		式	1		0			
計					2,366			
単価					2,366	円/m ²		

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	塗替塗装	下塗り 無し 無し 無し 有機ジンクリッチペイント(1層)スプレー	単位	m ²	数量		単価	
					100			1,552
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗り	昼間 有機ジンクリッチ(1層)スプレー 制約無	m ²	100	1,551.36	155,136			
諸雑費（まるめ）		式	1		64			
計					155,200			
単価					1,552	円/m ²		

参考資料（１）

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	塗替塗装	下塗り 無し 無し 無し 弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	単位	m ²	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋梁塗装工 塗替塗装 下塗り	昼間 弱溶剤形変性ポキシ(2層)スプレー 制約無	m ²	100	1,614.99	161,499		1,615
	諸雑費（まるめ）		式	1		1		
	計					161,500		
	単価					1,615	円/m ²	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	塗替塗装	中塗り 無し 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系	単位	m ²	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り	昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー赤系 制約無	m ²	100	902.94	90,294		903
	諸雑費（まるめ）		式	1		6		
	計					90,300		
	単価					903	円/m ²	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

足場工	単管足場 必要 標準	単位	掛m ²	数量	100	単価	5,518
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	1.9	33,252	63,178		
とび工		人	8.4	33,354	280,173		
普通作業員		人	1.8	27,030	48,654		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2.5 t 吊	日	0.8	53,200	42,560		
諸雑費 (率+まるめ) 27%		式	1		117,235		
計					551,800		
単価					5,518	円/掛m ²	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

足場工	パ ^レ 式吊足場	単位	m2	数量	100	単価	3,419
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	9.8	34,884	341,863		
諸雑費 (まるめ)		式	1		37		
計					341,900		
単価					3,419	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スライダール質料	3.85m/枚 供用494日					1		32,720
スライダール	3.85m/枚	枚・日	494	64		31,616		
スライダール 基本料	3.85m/枚	枚	1	1,100		1,100		
諸雑費 (まるめ)		式	1			4		
計						32,720		
単価						32,720	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿賃料	3.0m/枚 供用494日					1		25,600
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿	3.0m/枚	枚・日	494	50		24,700		
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿 基本料	3.0m/枚	枚	1	900		900		
諸雑費 (まるめ)		式	1			0		
計						25,600		
単価						25,600	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 賃料	ﾎﾞﾙﾄ付 供用494日	単位	個	数量	1	単価 267
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ	ﾎﾞﾙﾄ付	個・日	494	0.5	247	
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 基本料	ﾎﾞﾙﾄ付	個	1	20	20	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					267	
単価					267	円/個

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	個	数量	単価	金額	単価	361
スィッチ-平行クランプ 賃料	供用494日							
スィッチ-平行クランプ		個・日	494		0.65	321		
スィッチ-平行クランプ 基本料		個	1		40	40		
諸雑費 (まるめ)		式	1			0		
計						361		
単価						361	円/個	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ロック付チェーン賃料	3m/個 供用494日	単位	個	数量	1	単価 1,893
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ロック付チェーン	3m/個	個・日	494	3.59	1,773	
ロック付チェーン 基本料	3m/個	個	1	120	120	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					1,893	
単価					1,893	円/個

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿賃料	2.0m/枚 供用494日					1		16,910
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿	2.0m/枚	枚・日	494	33		16,302		
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿 基本料	2.0m/枚	枚	1	600		600		
諸雑費 (まるめ)		式	1			8		
計						16,910		
単価						16,910	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スハ イタ [°] -ハ [°] 祿賃料	3.0m/枚 供用494日	単位	枚			1		25,600
スハ イタ [°] -ハ [°] 祿	3.0m/枚	枚・日	494	50		24,700		
スハ イタ [°] -ハ [°] 祿 基本料	3.0m/枚	枚	1	900		900		
諸雑費 (まるめ)		式	1			0		
計						25,600		
単価						25,600	円/枚	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	個	数量	単価	金額	単価	361
スィッチ-平行クランプ 賃料	供用494日							
スィッチ-平行クランプ		個・日	494		0.65	321		
スィッチ-平行クランプ 基本料		個	1		40	40		
諸雑費（まるめ）		式	1			0		
計						361		
単価						361	円/個	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 賃料	ﾎﾙﾄ付 供用494日	個				267
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ	ﾎﾙﾄ付	個・日	494	0.5	247	
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 基本料	ﾎﾙﾄ付	個	1	20	20	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					267	
単価					267	円/個

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

足場工	パ ^レ 式吊足場	単位	m2	数量	100	単価	3,419
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	9.8	34,884	341,863		
諸雑費 (まるめ)		式	1		37		
計					341,900		
単価					3,419	円/m2	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スライダール質料	3.85m/枚 供用435日					1		28,940
スライダール	3.85m/枚	枚・日	435	64		27,840		
スライダール 基本料	3.85m/枚	枚	1	1,100		1,100		
諸雑費 (まるめ)		式	1			0		
計						28,940		
単価						28,940	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿賃料	3.0m/枚 供用435日					1		22,650
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿	3.0m/枚	枚・日	435	50		21,750		
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿 基本料	3.0m/枚	枚	1	900		900		
諸雑費 (まるめ)		式	1			0		
計						22,650		
単価						22,650	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 賃料	ﾎﾙﾄ付 供用435日	単位	個	数量	1	単価 237
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ	ﾎﾙﾄ付	個・日	435	0.5	217	
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 基本料	ﾎﾙﾄ付	個	1	20	20	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					237	
単価					237	円/個

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	個	数量	単価	金額	単価	322	摘要
スイト-平行クランプ 賃料	供用435日								
スイト-平行クランプ		個・日	435		0.65	282			
スイト-平行クランプ 基本料		個	1		40	40			
諸雑費 (まるめ)		式	1			0			
計						322			
単価						322	円/個		

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	名称	規格	単位	個	数量	1	単価	1,681
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ロック付チェーン	3m/個 供用435日	個・日	435	3.59	1,561		
	ロック付チェーン 基本料	3m/個	個	1	120	120		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					1,681		
	単価					1,681	円/個	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿賃料	2.0m/枚 供用435日					1		14,960
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿	2.0m/枚	枚・日	435	33		14,355		
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿 基本料	2.0m/枚	枚	1		600	600		
諸雑費 (まるめ)		式	1			5		
計						14,960		
単価						14,960	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿賃料	3.0m/枚 供用435日	単位	枚			1		22,650
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿	3.0m/枚	枚・日	435	50		21,750		
スハ イタ ^o -ハ ^o 祿 基本料	3.0m/枚	枚	1	900		900		
諸雑費 (まるめ)		式	1			0		
計						22,650		
単価						22,650	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スイト-平行クランプ 賃料	供用435日	個	435	0.65	282	322
スイト-平行クランプ		個・日	435	0.65	282	
スイト-平行クランプ 基本料		個	1	40	40	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					322	
単価					322	円/個

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 賃料	ﾎﾙﾄ付 供用435日	個				237
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ	ﾎﾙﾄ付	個・日	435	0.5	217	
ｽﾊﾟｲﾀﾞｰ単ｸﾗﾝﾌﾟ 基本料	ﾎﾙﾄ付	個	1	20	20	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					237	
単価					237	円/個

参考資料（1）

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	安全環境対策(側面)	壁部の隔離養生	単位	m2	数量		1	単価
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	湿式塗膜剥離剤工用養生シート		m2	3	767.5	2,302		2,344
	湿式塗膜剥離剤工用養生シート		m 2	1	42.43	42		
	計					2,344		
	単価					2,344		円/m2

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	安全環境対策(底面)	床の隔離養生	単位	m2	数量		1	単価
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	湿式塗膜剥離剤工用養生シート		m2	3	575.6	1,726		1,768
	湿式塗膜剥離剤工用養生シート		m 2	1	42.43	42		
	計					1,768		
	単価					1,768		円/m2

参考資料（1）

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	セキュリティルーム設置撤去		単位	台	数量		単価	
					1			61,450
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工		単管足場 必要 標準	掛m 2	11.138	5,518	61,459		
計						61,459		
単価						61,450	円/台	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	処分費（t）		単位	t	数量		単価	
					100			300,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費	既設塗膜(鉛含有)	(株)エスール 富山事業所	t	100	300,000	30,000,000		
計						30,000,000		
単価						300,000	円/t	

参考資料（1）

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量		1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	交通誘導警備員A		人	1	20,298	20,298			20,300
	諸雑費（まるめ）		式	1		2			
	計					20,300			
	単価					20,300		円／人日	

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量		1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	交通誘導警備員B		人	1	17,850	17,850			17,850
	諸雑費（まるめ）		式	1		0			
	計					17,850			
	単価					17,850		円／人日	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車による運搬 (1車1回)	路面切削機(ボール式・廃材積込装置付) 2.0m 61.6km 無 有 30900円	台	1	112,000	112,000	142,900
貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 100kmまで	台	1	112,000	112,000	
貨物自動車運送料金	運搬中の賃料(損料) K (K')	台	1	30,900	30,900	
諸雑費(まるめ)		式	1		0	
計					142,900	
単価					142,900	円/台

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	式	数量	単価	金額	単価	摘要
道路施設基本データ作成費用	技術員1.75人					1		63,175
技術員		人		1.75	36,100	63,175		
計						63,175		
単価						63,175	円/式	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ダンプトラック運転	良好	単位	日	数量	1	単価	35,660
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手（一般）		人	0.89	27,438	24,419			
軽油		L	19.2	130	2,496			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	1.02	8,310	8,476			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	1.02	261	266			
諸雑費（まるめ）		式	1		3			
計					35,660			
単価					35,660	円／日		

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	名称	規格	単位	m2	数量	単価	金額	単価	767.5
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	湿式塗膜剥離剤工用養生シート工					100			
	橋りょう特殊工		人	2.2	34,884	76,744			
	諸雑費（まるめ）		式	1		6			
	計					76,750			
	単価					767.5		円/m2	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	名称	規格	単位	m2	数量	単価	金額	単価	575.6
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	湿式塗膜剥離剤工用養生シート工					100			
	橋りょう特殊工		人	1.65	34,884	57,558			
	諸雑費（まるめ）		式	1		2			
	計					57,560			
	単価					575.6		円/m2	

共通仮設費

主たる工種							
単独（追加工事）： 橋梁保全工事			合算工事： 0				
対象工事費	144,452,841	直接工事費	144,452,841	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	1,720,416	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）		9,060,605					
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)					
管理費区分2, 7	0	(工場原価)					
管理費区分5	9,060,605	(一般管理費等のみ対象額)					
管理費区分9	0	(間接費非対象額)					
管理費区分T	0	(全処分費等のうち3%または3000万円を超える額)					
対象額 支 給 品（＋）		0					
無償貸付機械評価額（＋）		0					
共通仮設費対象額							
単独（追加工事）		135,392,236	現工事	0	合算工事	0	
全処分費等を除く共通仮設費対象額		133,671,820		0		0	
共通仮設費（率分）							
率（補正前）	9.02	%		0	%		
施工地域等補正	1.4		ICT施工補正	1			
率（補正後）	12.88	%	(12.63% × 週休1.02)				
計上額	17,438,000			0		0	
比較結果							
	当該追加工事	A					
	0	0			調整工事計上額	0	

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	133,671,820	直接工事費	144,452,841		
非対象額計（－）	10,781,021				
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)			
管理費区分2, 7	0	(工場原価)			
管理費区分5	9,060,605	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分9	0	(間接費非対象額)			
管理費区分T	1,720,416	(直接工事費に含まれる処分費等)			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	133,671,820	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	0.93 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	0.93 %				
計上額	1,243,000		0		0
比較結果					
当該追加工事	A			調整工事計上額	0
	0				

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	12,814,335				
運搬費	285,800	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	12,465,360	役務費	0	技術管理費	63,175
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					31,495,335

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	175,948,176	単独（追加工事）直接工事費	144,452,841	単独（追加工事）共通仮設費	31,495,335
非対象額計（－）	9,060,605				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	9,060,605	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	166,887,571	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	165,167,155		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	35.3 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	43.63 %（42.36% × 週休1.03）		0 %		
計上額	72,813,000		0		0
			11,087,163	（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果 当該追加工事	A				
	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	横浜国道事務所 管理第二課	工事番号	第 0 回変更
発注年月	令和07年04月	主工種	橋梁保全工事
契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官		

工事原価	248,761,176				
純工事費	175,948,176	現場管理費	72,813,000	工期延長等に伴う現場維持費	0
非対象額計（－）	0				
管理費区分9	0	（支給品を除く間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
一般管理費等対象工事原価					
単独（追加工事）	248,761,176	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く					
一般管理費等対象工事原価	247,040,760	現工事	0	合算工事	0
	（調整工事入力で使用）				
前払金支出割合による補正係数	1	現工事			
財団法人等による補正係数	1				
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	248,761,176				
契約保証に係る補正值	0.04 %				
一般管理費率					
単独（追加工事）	15.13 %	現工事	0 %	合算工事	0 %
一般管理費	37,728,824				
業務委託料等	0				
調査基準価格	285,615,000				
調査基準価格の100/110	259,650,000	（ 90.63 %）			

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 7 国道 1 号 観音橋 補修 工事

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所 管理第二課

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁保全工事		式		1		
舗装工		式		1		
路面切削工		式		1		
路面切削	全面切削6cm以下(400m2以下) 段差すりつけ撤去作業無	m2		36		
殻運搬(路面切削)	アスファルト殻(切削材)	m3		2		
殻処分	アスファルト殻(切削材)	m3		2		
オーバーレイ工		式		1		
表層(車道・路肩部)	改質As 密粒II型(13) 舗装厚 50mm	m2		47		
橋梁床版工		式		1		
床版連結工		式		1		
伸縮装置撤去	後打ちコンクリート撤去含む	m		16.8		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
床版撤去・復旧	地覆撤去・復旧含む	m2		46		
スタッド溶接	φ 19×150	本		54		
床版補修工		式		1		
左官工法	1構造物当り修復延べ体積 0.337m3 超速硬コンクリート 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理有	構造物		1		
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	コンクリート殻(無筋)	m3		0.3		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		0.3		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3		11		
殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3		11		
現場発生品運搬	伸縮装置, 排水柵	式		1		
鋼桁工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
桁連結工		式		1		
既設部材撤去 (1)	ゲルバー部	箇所		4		
既設部材撤去 (2)	旧支点上横桁部	箇所		2		
制震ダンパー撤去		箇所		4		
変位制限構造撤去		箇所		4		
高力ボルト本締	旧支点上横桁部	箇所		2		
桁連結 (1)	P1G1, P1G2	箇所		2		
桁連結 (2)	P2G1	箇所		1		
桁連結 (3)	P2G2	箇所		1		
鋼桁補強工		式		1		
主桁補強 (1)	側径間部	箇所		2		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
主桁補強 (2)	中間支点上部	箇所		4		
主桁補強 (3)	ラーメン桁	箇所		1		
脚柱補強 (1)		箇所		2		
脚柱補強 (2)	ラーメン脚P1G1	箇所		1		
脚柱補強 (3)	ラーメン脚P1G2	箇所		1		
脚柱補強 (4)	ラーメン脚P2G2	箇所		1		
対傾構補強	対傾構P2	箇所		1		
横桁補強 (1)		箇所		2		
横桁補強 (2)	横桁A1G1	箇所		1		
横桁補強 (3)	横桁P1G2	箇所		1		
横桁補強 (4)	横桁A2G1	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
横構補強 (1)		箇所		2		
横構補強 (2)	⑥-⑦区間	箇所		1		
変位制限構造撤去	A1橋台・A2橋台	箇所		4		
横構撤去 (1)		箇所		2		
横構撤去 (2)	⑥-⑦区間	箇所		1		
運搬処理工		式		1		
現場発成品運搬	補強部材, 制震ダンパー, 変位制限構造, 横構	式		1		
橋梁付属物工		式		1		
排水施設工		式		1		
排水柵		箇所		1		
排水管	VP管	m		7		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
排水管撤去	鋼管 支持金具撤去含む	m		3		
運搬処理工		式		1		
現場発生品運搬	排水管	式		1		
橋梁補修工		式		1		
支承取替工		式		1		
支承取替 (1)	IV 下部工ブ ラケット取付有り 支承直下部以外のはつり無し	基		1		
支承取替 (2)	IV 下部工ブ ラケット取付有り 支承直下部以外のはつり無し	基		1		
支承取替 (3)	IV 下部工ブ ラケット取付有り 支承直下部以外のはつり無し	基		1		
支承取替 (4)	IV 下部工ブ ラケット取付無し 支承直下部以外のはつり無し	基		1		
下部工ブ ラケット	ジャッキアップ 受けブ ラケット+縁端拡幅受台	箇所		3		
当て板補強		箇所		2		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
下部工ブラケット撤去		箇所		3		
当て板補強撤去		箇所		2		
運搬処理工		式		1		
現場発生品運搬	補強部材, 下部工ブラケット, 支承	式		1		
現場塗装工		式		1		
橋梁塗装工 F-11 塗装系		式		1		
素地調整		m2		46		
下塗	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 塗装回数 1回	m2		46		
下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 塗装回数 1回	m2		46		
中塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	m2		46		
上塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	m2		46		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁塗装工 Re-I 塗装系		式		1		
塗膜除去	剥離回数3回 廃材積込1回	m2		1,560		
下塗	有機ソリッチハイト(1層) スプレー 塗装回数 1回	m2		1,520		
下塗	弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料(2層) スプレー 塗装回数 1回	m2		1,520		
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系 塗装回数 1回	m2		1,520		
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 赤系 塗装回数 1回	m2		1,520		
仮設工		式		1		
足場工		式		1		
単管足場 (1)	A1, P1	式		1		
単管足場 (2)	P2, A2	式		1		
吊足場 (1)	ハネ式吊足場 A1-CL間	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
吊足場 (2)	ハ° 初式吊足場 P2, A2	式		1		
ばく露防止対策工		式		1		
鉛対策費	呼吸用保護具以外	式		1		
塗膜運搬	鉛含有	式		1		
塗膜処分	鉛含有	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 A		式		1		
交通誘導警備員 B		式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
運搬費		式		1		
建設機械運搬費		式		1		
安全費		式		1		
鉛等呼吸用保護具等費用		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 1 号観音橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

R 7 国道 1 号観音橋補修工事

(当 初) 請負工事費計算書

(1)直接工事費 -----	144,452,841		
(2)共通仮設費 -----	31,495,335		
(3)純工事費 -----	175,948,176		
(1)+(2)			
(4)現場管理費 -----	72,813,000		
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用 -----	0	(16)工場製作純工事費 -----	0
		(17)工場管理費 -----	0
(6)工事原価 -----	248,761,176	(18)工場製作原価 -----	0
(3)+(4)+(5)+(18)		(16)+(17)	
(7')一般管理費等(計上額) -----	37,728,824	((7)一般管理費等(計算額) [37,737,070])	
(8')その他費目計 -----	0		
(9)業務委託料等 -----	0		
(10)工事価格 -----	286,490,000		
(6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)			
(11)消費税相当額 -----	28,649,000		
(12)請負工事価格 -----	315,139,000		
(10)+(11)			
(13)入札書比較価格 -----	286,490,000		
(請負工事費の100/110)			
(14)調査基準価格 -----	285,615,000		
(15)調査基準価格の100/110 -----	259,650,000		
(万円未満切り捨て)			

R7国道1号観音橋補修工事

特記仕様書

令和7年12月

国土交通省関東地方整備局

横浜国道事務所

第1章 総則

第1条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和7年度版)(以下「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。
URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>
4. 本工事における「条件明示」については、別紙－1「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第2条 主任技術者等(契約書第10条)

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

なお、下記に該当する場合で監督職員と協議のうえ認められた者以外は、原則、当該技術者を変更することはできないものとする。

- ①傷病により職務の遂行が出来ないと判断された場合
- ②死亡した場合
- ③退職した場合
- ④真にやむを得ない理由により転勤となる場合
- ⑤発注者の責により工期延期となる場合
- ⑥契約日から令和9年3月31日まで当該技術者が連続して従事した場合。ただし、変更予定技術者が、令和9年3月1日以前の日より本工事に従事している場合に限り変更を可能とする。

第3条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日(例:「完成通知書」等における日付)とする。

第4条 専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

1. 本工事は、建設業法第26条第3項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第5条 専任特例2号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第26条第3項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例2号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。
 - (1)建設業法第26条第3項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - (2)監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
 - (3)監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - (4)同一の専任特例2号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。
(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。)
 - (5)専任特例2号の場合の監理技術者が兼務できる工事は神奈川県内の工事でなければならない。
 - (6)専任特例2号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - (7)専任特例2号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - (8)監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
2. 現場の安全管理体制について、平成7年4月21日付基発第267号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とする。」とされていることから、施工体制に留意すること。
3. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。
 - 1)監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）
 - 2)監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））
 - 3)専任特例2号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（CORINSの写し）
4. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐

を配置する事となった場合、第1項(5)～(8)について施工計画書へ記載し、提出すること。

5. 本工事において、専任特例2号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ(CORINS)への登録・修正を適切に行うこと。

第6条 コリンズ(CORINS)への登録

1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録」によるものとする。
2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為(一括下請負等)が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。(余裕期間を含まないことに留意するものとする。)

第7条 コリンズ(CORINS)への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標(緯度、経度)を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系(JGD2024)に準拠する。

観音橋

起点	神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋地先	緯度	35° 13' 27"	経度	139° 05' 29"
終点	神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋地先	緯度	35° 13' 27"	経度	139° 05' 26"

第8条 コリンズ(CORINS)への工事概要の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例)※1

本工事は、一般国道〇号〇〇道路における、舗装・標識工事である。

主な工種は舗装工・標識工であり、それぞれ〇〇m²、〇基を予定している。

※1 記載例は、入札公告1. 工事の概要(3)工事内容、(4)工事概算数量に記載する文章と同じでよい。

第9条 コリンズ(CORINS)への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については、監督職員に問い合わせるものとする。

第10条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任

技術者(工事成績優秀企業に認定された下請負を含む)は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線(黄色もしくは橙色の帯線でも可)を名札上部に印刷することが出来るものとする。

注意1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意2) 所属会社の写真とする。

第11条 調査・試験に対する協力(低入札価格調査制度調査対象工事について)

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
2. 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。
 - (1) 受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - (2) 受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - (3) 工事コスト調査(調査結果でも可)に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は横浜国道事務所のホームページにより公表する。
 - (4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。公表資料は以下のとおり。

資料名	内容
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表-1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表-2	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表-3	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表-4	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表-5	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表-6	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表-7	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表-8	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

第12条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第13条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

- ①橋梁補修工
- ②その他、監督職員が指示したもの

第14条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第15条 工事書類の作成

1. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル(令和7年3月)」に基づき実施するものとする。
2. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド(令和7年3月)」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
3. 「工事関係書類一覧表」(別紙様式-15)により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
4. 電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第16条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン(総合版):令和7年3月」によるものとする。

第17条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有シ

システム活用ガイドライン」(令和7年3月版)に基づき実施すること。

2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
 - ・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件(Rev5.6)
令和7年3月版 国土交通省(国土技術政策総合研究所)
3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
 - ②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等あった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第18条 「設計・施工技術連絡会議(三者会議)」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者(工事受注者)の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議(三者会議)」(以下、「三者会議」という。)の設置対象工事であり、工事着手前に1回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議(三者会議)運用方針」

(<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>)によるものとする。

第19条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前(準備期間内)に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合(クロスチェック)を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」(以下、「審査会」という。)の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」

(<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>)によるものとする。

第20条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第21条 ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き(令和5年12月)に基づき、取り組むものとする。

5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第22条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

①本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるのみを契約変更の対象とする。

②受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第23条 設計図書の変更

設計変更等については、契約書第18条から第25条及び共通仕様書共通編1-1-1-16から1-1-1-18に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン(総合版):令和7年3月」によることとする。

第24条 スライド条項

工事請負契約書第26条(スライド条項)については、物価水準の変動により請負代金が不相当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となる

ので、物価水準の変動により請負代金が不相当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第25条 工事現場発生品

1. 工事箇所から発生する現場発生品の引渡し場所は、以下のとおりとする。
2. 現場発生品は下表のとおりとする。

品目	規格	単位	数量	引渡場所	運搬距離	摘要
伸縮装置	ST-40N 相当品	t	0.610	小田原出張所	13.1km	
排水柵		t	0.120	小田原出張所	13.1km	
既設部材(鋼桁工)		t	8.522	小田原出張所	13.1km	
制震ダンパー	BM-S 200kN ±100 相当品	t	0.816	小田原出張所	13.1km	
排水管		t	0.019	小田原出張所	13.1km	
既設部材(橋梁補修工)		t	1.160	小田原出張所	13.1km	
支承		t	0.966	小田原出張所	13.1km	

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第26条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領(土木)

1. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成 12 年法律第 104 号 最終改正令和 4 年 6 月 17 日法律 68 号)。以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「8解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議するものとする。

(1)分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体等の方法
①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
②土工	土工 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
④本体構造	本体構造物の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

⑤本体附属品	本体附属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
⑥その他 (橋梁補修工)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

(2)再資源化等をする施設の名称及び所在地

特殊建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻(無筋)	久野碎石工業(株)	神奈川県小田原市久野字家路戸石 4412
コンクリート殻(鉄筋)	久野碎石工業(株)	神奈川県小田原市久野字家路戸石 4412
アスファルト殻(切削材)	久野碎石工業(株)	神奈川県小田原市久野字家路戸石 4412

上記(2)については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

(3)受入時間

久野碎石工業(株) : 8時00分～17時00分

(4)その他

仮置き等必要条件があれば記載する。

2. 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第27条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手(建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。)するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第28条 工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領(第2版)(国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月)に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第29条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和7年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和7年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

第30条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降、「使用機器」と称する)については、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和7年度版)(以下、写真管理基準)「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア、(一社)施工管理ソフトウェア産業協会、
<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準(以下、デジタル写真管理情報基準)に準ずるが、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5

写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は UR (http://www.calsjacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール(社)施工管理ソフトウェア産業協会

<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第31条 現場環境改善(快適トイレの設置)

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1)洋式(洋風)便器
- (2)水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3)臭い逆流防止機能
- (4)容易に開かない施錠機能
- (5)照明設備
- (6)衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

【付属品として備えるもの】

- (7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8)周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9)サンタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)
- (10)鏡と手洗器
- (11)便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12)室内寸法 900mm×900mm 以上(面積ではない)
- (13)擬音装置(機能を含む)

- (14)着替え台
- (15)臭気対策機能の多重化
- (16)室内温度の調整が可能な設備
- (17)小物置き場（トイレトーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基／工事(施工箇所)※までとする。

また運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基／工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所計上できるものとする。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費(率)を充当することができる。現場環境改善費(率)の充当を希望する場合は、上記2. の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費(率)を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

4. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第32条 BIM/CIM 活用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事(受注者希望型)である。受注者が希望する場合、3次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し実施する。

1 BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施(変更)計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書(変更含む)に基づき、本工事を実施する。

- 1) 工事概要
- 2) 整理すべき課題
- 3) BIM/CIM の実施内容(3次元モデルの活用内容、期待する効果等)
- 4) 3次元モデルの作成仕様(作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの

仕様等)

5) 3次元モデル作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類

6) 3次元モデル閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式

7) 3次元モデルの作成・活用に要する費用

2 BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

8) 後段階への引継事項(データかつ用事の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等)

9) 省人化の効果(前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等)

3 成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

1) BIM/CIM 実施計画書・見積書(変更含む)

2) BIM/CIM 実施報告書(3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む)

3) 作成した3次元モデル(オリジナルデータ、標準的なデータ形式(J-LandXML 形式、IFC 形式)、統合モデル、動画等)

4 貸与資料

本工事に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルのデータを貸与することができる。

・ R5関東MC橋梁等補修・補強設計他検討業務

5 その他

最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト(<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>)で提供されているので、適宜参照すること。

第33条 DX データセンターの使用

本工事は DX データセンターを使用することで、VDI による専用ソフトの利用及び受発注者間のデータ共有の円滑化を図る工事である。

3次元モデルを活用するにあたり、受注者が希望する場合、国土技術政策総合研究所が運用する DX データセンターにインストールされている専用ソフトウェアを使用することができる。

DXデータセンター内の有償ソフトウェアを使用する場合は、受注者が有償ソフトウェアの使用契約手続きを行うものとする。

なお、DXデータセンターの詳細については、DXデータセンターの参考資料

(<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/reference>) 及びポータルサイト

(<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym>)を参照すること。

第34条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。
 なお、令和7年度における重点的安全対策項目は以下の7項目である。
 - I. 架空線等上空施設の損傷事故防止
 - II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
 - III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
 - IV. 足場・法面等からの墜落事故防止
 - V. 地下埋設物の損傷事故防止
 - VI. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
 - VII. 事故防止
2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち資格取得後一定期間経過した資格者に対し次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。
 - ①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
 - ②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
 - ③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育
3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準(案)(令和6年2月)」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。
4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。
5. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工 種	作業区分	交通誘導警備員	備考
全工種	昼間作業	846 人(うち有資格誘導員 282 人)	
該当工種なし	夜間作業	0 人(うち有資格誘導員 0 人)	

第35条 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1. 本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に關して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。
2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。
 - (1) 真夏日の定義
 日最高気温が 30℃以上の日を指す。
 ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合とする。
 - (2) 試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数(WBGT)が日最高 25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)が 25℃以上となる日を真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が 30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が 30℃以上の日を真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が 30℃以上、又は暑さ指数(WBGT)が 25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

(3) 工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

(4) 基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

(5) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\cdot \text{真夏日率} = \text{基準日から工期末までの真夏日} \div \text{工期}$$

(6) 現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

$$\cdot \text{補正値}(\%) = \text{真夏日率} \times \text{補正係数} \ast$$

※真夏日補正係数: 1. 2

第36条 安全管理推進技術査等認定について

1. 概要

関東地方整備局(港湾・空港部・営繕部関係を除く)が発注した工事(以下、「直轄工事」という)において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」(以下、「認定技術者」という)として認定する

2. 認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事(準備工を除く)に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括

安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。

・直轄工事にて、認定技術者として過去5回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

3. 認定技術者の認証

・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

・紛失等による認定書の再発行は行わない。

・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

4. 認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

5. 不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第37条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）1名以上を充て、他は経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第38条 路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第39条 交通規制日数の報告

現道上での工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第40条 環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機第58号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機

械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第41条 ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輛の使用

1. 受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輛(以下、本工事関係車輛という。)が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 of ディーゼル車排出ガス規制条例(以下、関係法令等という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車輛を使用しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輛の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輛の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
3. 受注者は、本工事関係車輛にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輛を把握しなければならない。
4. 受注者は、取締りにより本工事関係車輛に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
5. 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第42条 舗装版切断時に発生する濁水の適正な処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、地方公共団体の取扱規則等に基づき適正に処理しなければならない。

なお、舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理費用については当初見込んでいないが、建設資材廃棄物に該当するため、適正な処理方法について選定し監督職員と協議すること。

なお、濁水の運搬・処理費用等、必要と認められる経費についても契約変更の対象とする。

「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第43条 交通安全管理(工事現場管理)

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンパー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第44条 通行許可等

1. 受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第47条第1項、車両制限令第3条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画(車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度)を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
2. 受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第45条 工事現場の現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。
 - (1)仮設備関係
環境負荷の軽減を実施するものとする。
 - (2)営繕関係
現場事務所の快適化を実施するものとする。
 - (3)安全関係
盗難防止対策(警報機等)及び避暑・防寒対策を実施するものとする。
 - (4)地域連携
社会貢献を実施するものとする。
2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費(率)の50%を上限として設計変更の対象とする。

第46条 工期変更

1. 工期は、雨天、休日等を見込み、契約の翌日から令和9年12月6日までとする。
なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。
工期には、施工に必要な実日数(実働日数)に加えて以下の日数を見込んでいる。

①	準備期間	60日間
②	後片付け期間	20日間
③	雨休率 (実働工期日数に休日と天候等による作業不能日数※を見込むための係数)	0.79
④	余裕期間	43日間

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。(当該工事の作業不能日ではない。)

イ)1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日:29日間

ロ)8時から17時までの WBGT 値が31以上の時間を足し合わせた日数:7日間

(少数第1位を四捨五入(整数止め)し、日数換算した日数)

過去5か年(2020年~2024年)の気象庁(横浜観測所)及び環境省(横浜地点)のデータより年間の平均発生日数を算出(雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日)

2. 著しい悪天候や気象状況より工程(官積算)で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
3. 後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
4. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式-16により、工事の始期及び終期を通知すること。
余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期:契約締結日の翌日から令和9年12月6日まで

※ 契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

第47条 工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前(準備期間内)に設計図書等を踏まえた工事工程表(クリティカルパスを含む)を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者(「発注者」又は「受注者」)を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①~⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程(官積算)で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第48条 工事工程表の開示の試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合(クロスチェック)を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。
2. 工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表(別紙-5)との照合(クロスチェック)を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第49条 週休二日の対応

1. 本工事は、監督職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、完全週休2日(土日)を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休2日制適用工事(完全週休2日)(受注者希望方式)」の試行工事である。

受注者は、工事契約後、完全週休2日(土日)の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日に取組むものとする。

2. 週休2日の考え方は下記のとおりである。

1) 週休2日

① 完全週休2日(土日)

対象期間内の全ての土日において、現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に土日に代わる現場閉所日(以下、「代替休日」という。)を設定することによって、土日に現場閉所を行ったとみなす。なお、週の定義は月曜日から日曜日までとする。

② 月単位の週休2日

対象期間内の全ての月において、現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率」という。)が、28.5%(8日/28日)以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

2) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など)は含まない。

また、工事着手後、受注者の責によらず週休2日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限

定すること。

3)現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

3. 天候等を天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、1年単位の変形労働時間制を活用する場合は、1週40時間または1日8時間を超える労働時間を設定した月は、週休2日工事の対象期間外とする。また1年単位の変形労働時間制の活用について施工計画書に反映し、労働基準監督署へ提出した下記の資料を提出すること。

- ・1年単位の変形労働時間制を活用する労働者とその使用者が締結した労使協定
- ・変更した就業規則

4. 現場閉所を行うときは、監督職員へ事前に連絡すること。ただし、以下に該当する場合は、連絡は不要である。

- ①施工計画書に記載した法定休日・所定休日の場合
- ②週間工程会議等により監督職員が事前に把握している場合
- ③官公庁の休日の場合

完全週休2日(土日)の実施にあたり、受注者の責に寄らず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に代替休日を設定すること。なお、夜間工事の場合は作業に着手した日を作業日とみなす。

また、天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、1年単位の変形労働時間制を適用し休日を振り替える場合には、振替前後の日がちが把握出来るよう施工計画書に記載しておくこと。

5. 監督職員は、受注者の月毎の現場閉所率の状況を適宜確認するものとし、受注者側の週休2日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休2日が確保できるよう改善に取り組むものとする。
6. 工事完了後、週休2日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督職員に提出するものとする。
7. アンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。
8. 明らかに受注者側に月単位の週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定から点数を減ずる措置を行うものとする。
9. 週休2日に掛かる費用については、当初予定価格から完全週休2日(土日)を達成した場合の補正係数を労務費、市場単価、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乗じているが、現場閉所の達成状況を確認後、完全週休2日(土日)が未達成の場合は、月単位の週休2日の補正係数に変更する。月単位の週休2日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。
完全週休2日(土日)の取組を希望しない場合は、月単位の週休2日の補正係数に変更する。また、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休2日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

第50条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場

合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月(ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く)をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、横浜観測所(気象庁のデータ)における1日の降雨・降雪量雨が10mm以上/日の日を想定している。

2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第51条 個人情報の取り扱いについて

1. (基本的事項)

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)第66条第2項第1号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

2. (秘密の保持)

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3. (取得の制限)

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

4. (利用及び提供の制限)

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

5. (複写等の禁止)

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

6. (再委託の禁止)

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合(二以上の段階にわたる委託を含む。)には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)第66条第2項第4号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

7. (事案発生時における報告)

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

8. (資料等の返却等)

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書(別紙-2)を発注者に提出しなければならない。

この規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合(二以上の段階にわたる委託を含む。)において準用する。

9. (管理の確認等)

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

10. (管理体制の整備)

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

11. (従事者への周知)

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第52条 施工時期及び施工時間の変更

本工事の作業区分は、次表によるものとする。

作業区分	施工区分	作業時間
昼間作業	全工種	8:00~17:00
夜間作業	該当工種無し	20:00~6:00

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。

各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第53条 新技術の活用「新技術の定義」

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

2. 新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

- ①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
- ②公共工事等において実用段階に達している技術
- ③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
- ④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

3. 対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

- 1) 新技術情報提供システム(NETIS)登録技術 URL <http://www.netis.mlit.go.jp>
 - 2) NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術
 - 3) 新技術導入促進(Ⅱ)型により活用する技術
 - 4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術
- 対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「標準化推進技術」「普及促進技術」のいずれかに該当するものとする。
- なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第54条 新技術の活用(施工者選定型)

1. 本工事は、施工者が原則1技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。
2. 本工事において、第53条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す 1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。
3. 受注者は、選定した新技術が第53条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す 1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。
4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない
5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。
6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。
7. 受注者は、活用する新技術が情報種別記号「-VE」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第55条 建設現場における遠隔臨場の実施

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領(案)R5.3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工程、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工程・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会での確認

- ①受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により取得した映像及び音声をWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。
- ②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像(実施状況)を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム(ASP)等に登録して保管する。(従来の立会資料の管理と同様とする。)

(2) 動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」(カメラを手に持って歩きながら撮影)での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

(3) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム(ASP)」、「Web会議システム(teams、zoom等)」等、何れのシステムを利用してよい。

(4) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(5) フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-19を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6)費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間(日単位)割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7)不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和5年3月3日(国不建第578号)」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

(8)通信環境

遠隔臨場の実施にかかる通信環境整備は、発注者の費用負担にて行うものとする。

なお、通信環境整備に関する詳細は、監督職員と協議を行うものとする。

遠隔臨場の実施にあたり、現場の通信環境が不良と確認された場合は、対応策を検討の上、監督職員と協議を行うものとする。

第56条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施について

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者(監督職員・検査職員)における「現場実地(現場臨場)の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ、360度カメラ等)と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領(案)』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領(案)』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法(対面書類検査、現場実地検査)を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施 状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

3. 遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領(案)』7.3 検査項目の適応性を踏まえ判断する。

4. 実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ、360度カメラ等)により取得した映像及び音声をWeb会議システム等を介し工事実施状況・出来形・品質・出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ、360度カメラ等)やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和3年9月30日(国不建第273号)』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第57条 契約後VE方式

1. VE提案の定義

「VE提案」とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能

等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

2. VE提案の意義と範囲

- (1) 受注者がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。
- (2) 以下の提案は、VE提案の範囲に含まないものとする。
 - 1) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。
 - 2) 契約書第 18 条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。
 - 3) 提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

3. VE提案書の提出

- (1) 受注者は、前項のVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(別紙様式-1~4)に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - 1) 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - 2) VE提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)
 - 3) VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - 4) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - 5) 工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項
 - 6) その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
- (2) 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- (3) 受注者は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- (4) VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

4. VE提案の審査

提出されたVE提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、VE提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

5. VE提案の採否等

VE提案の採否について、原則として、VE提案の受領後 14 日以内に書面(別紙様式-5)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、VE提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

6. VE提案を採用した場合の設計変更等

- (1) VE提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
- (2) 前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。
- (3) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。

(4)VE提案を採用した後、契約書第 18 条の条件変更が生じた場合、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、VE管理費については、原則として変更しないものとする。

7. VE提案の活用と保護

評定の結果、当該VE提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

8. VE提案の責任の所在

発注者がVE提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第58条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

2. 試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第 50 条新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

3. 工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点をを行うこととする。

4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第59条 情報管理体制の確保

受注者は、本工事に関して発注者から貸与された情報その他知り得た情報であって、発注者が保護を要さないことを同意していない一切の非公表情報(以下「要保護情報」という。)を取り扱う場合は、当該情報を適切に管理するため、土木工事共通仕様書 1-1-1-6 に基づく施工計画書の現場組織表において、別紙様式-18を参考に、情報取扱者名簿及び情報管理体制図を記載し、発注者の同意を得なければならない。また、記載内容に変更が生じた場合も、同様に作成の上、あらかじめ発注者の同意を得なければならない。

・受注者は、要保護情報を情報取扱者以外には秘密とし、また、本工事の施工以外の目的に使用して

はならない。

- ・受注者は、要保護情報を本工事の終了後においても第三者に漏らしてはならない。
- ・要保護情報は、アクセス制限、パスワード管理等により適切に管理するとともに、発注者の許可なく複製・転送等しないこと。
- ・受注者は、本工事完了時に、要保護情報について、発注者への返却若しくは消去又は破棄を確実にを行うこと。
- ・受注者は、要保護情報の外部への漏えい若しくは目的外利用が認められ又そのおそれがある場合には、これを速やかに発注者に報告すること。なお、報告がない場合でも、情報の漏えい等の懸念がある場合は、発注者が行う報告徴収や調査に応じること。

第60条 南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】発表時の対応

- (1) 本工事の施工場所は、南海トラフ地震防災対策推進地域のうち、住民事前避難対象地域が含まれる工事である。
- (2) 受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】の発表時における、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業に対する措置の内容及び津波避難を含む作業員等の安全確保の方法について施工計画書に記載するものとする。なお、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における工事にあつては、津波避難に関して施工計画書に記載するものとする。
- (3) 受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒】が気象庁から発表された場合には、工事請負契約書第20条等の規定に基づく発注者からの一時中止の通知があつたものとして、住民事前避難対象地域での工事を中断し、直ちに退避するものとし、警戒する措置が解除されるまでの間(1週間)は当該箇所での工事を一時中止するものとする。また、住民事前避難対象地域以外の施工場所についても、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、あらかじめ定めた施工計画書の措置内容に基づき、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業について、警戒する措置が解除されるまでの間(1週間)は一時中止するものとする。その他の作業について、受注者は、改めて後発地震又は津波に備え作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、〈土木工事安全施工技術指針〉に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。
- (4) 受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震注意】が気象庁から発表された場合には、受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、改めて後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、〈土木工事安全施工技術指針〉に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。
- (5) 受注者は、南海トラフ地震臨時情報を受けて措置を行った場合においては、実施した内容について監督職員に報告するものとする。

(6) なお、南海トラフ地震臨時情報の発表があった場合は、後発地震又は津波の発生に備えるため必要に応じて、受注者は施工計画書の記載にかかわらず、工事の一時中止について監督職員と協議できるものとする。

第61条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を委託している。
令和7年度における現場技術員は別途監督職員より通知する。

第62条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を委託している。
また、本工事は、現場における施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。
なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム(ASP)により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム(ASP)のユーザーに登録するものとする。
(「閲覧のみ可能」で登録)

第63条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年法律第127号最終改正令和3年9月1日)第15条3により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職(施工体制調査員)、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム(ASP)により「閲覧」し、点検する。
7. 施工体制調査員は、第1回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているWEB会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。
ただし、立会や打合せ等においてWEB会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第64条 品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式-12によるものとする。

第65条 工事完成図書の納品

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果

を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和5年3月):(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和6年3月)」を参考とするものとする。

2.本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

3.成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第66条 中間技術検査について

1. 本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は2回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。
2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。
3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第67条 書類限定検査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳(下請引取検査書類を含む。)	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿(協議)	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿(提出)	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿(承諾)	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

- ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外
3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第68条 ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウィルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウィルスチェックソフトは常に最新データに更新(アップデート)しなければならない。

第2章 一般施工

第69条 工場塗装工及び現場塗装工

1. 塗装の品質管理等については共通仕様書によるものとする。なお、疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 本工事における塗装については次表のとおりとする。

塗装箇所	塗装系	適用
一般外面	C-5	
一般内面	D-5	
高力ボルト連結部	F-11	但し、摩擦接合面は工場塗装まで
	F-12	但し、摩擦接合面は工場塗装まで
溶接部	F-13	※現場接合部がある場合
	F-14	※現場接合部がある場合
コンクリート接触面	C-5	防食下地(無機ジンクリッチペイント)まで [無機ジンクリッチペイント30 μ m(300g/m ²)]
	D-5	プライマー(無機ジンクリッチプライマー)まで
鋼床版上面	C-5	防食下地(無機ジンクリッチペイント)まで [無機ジンクリッチペイント30 μ m(300g/m ²)]
鋼床版裏面(外面)	C-5	※鋼床版の場合
鋼床版裏面(内面)	D-5	※鋼床版の場合

なお、上表により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

3. 現場塗装においては、スプレーによる塗装とするが、それにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。
4. 色調は淡彩色とし、色彩の決定にあたっては、監督職員と協議するものとする。

第70条 無収縮モルタルの品質

支承モルタルは、無収縮性モルタル(セメント系プレミックスタイプ)とし、配合については、次表のとおりとする。

(1m3あたり)			
名称	規格	単位	数量
無収縮剤	セメント系プレミックスタイプ	kg	1,875
水	—	L	338

第71条 橋梁工事における足場工の新技術の活用促進について

本工事は、工事契約後に、受注者が現場状況を踏まえたうえで、従来型のパイプ足場にシステム足場等の新技術を加えて、コストのみでなく施工性、工期、安全対策の確実性などを総合的に比較検討したうえで、足場工法の選定を発注者に協議する。なお、比較検討の対象は必ずしも全ての箇所ではなく、現場条件を踏まえ効果的な箇所とすること。また、現場条件を踏まえ新技術の活用効果が明らかに見込めない場合は、比較検討資料の作成等は不要とする。

足場工法は受発注者協議により決定するが、当初設計と異なる足場工法を選定する場合は設計変更の対象とする。

比較対象とする技術は、NETIS掲載技術を基本とするが、NETIS掲載終了技術やその他技術についても対象とすることを妨げない。

第72条 既設鉄筋コンクリート構造物の削孔作業

受注者は、既設鉄筋コンクリート構造物の削孔作業にあたっては、以下を実施する。なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議することとする。

①事前調査

受注者は、設計図書により既設構造物の配筋状況を確認しなければならない。また、工事着手前に鉄筋探査機等により調査し、削孔範囲周辺の配筋状況を確認しなければならない。但し、設計図書において鉄筋探査等による既設構造物の配筋状況が確認されている場合はこの限りでない。

②削孔計画図の作成

受注者は、上記①の事前調査の結果を踏まえ、削孔計画図を作成し、監督職員に提出する。

③削孔作業の実施

受注者は、削孔計画図に基づき、削孔作業を実施することとする。

なお、施工中に鉄筋に接触するなどにより削孔計画図に修正が生じた際は監督職員に変更削孔計画図を提出する。

変更削孔計画図により構造計算を実施する。(構造計算に必要な費用については設計変更の対象とする。)

④段階確認

受注者は、削孔作業について、段階確認を受けなければならない。

また、受注者は、段階確認時まで、削孔によるコアを保存しなければならない。

段階確認の内容は以下のとおりとする

- ・確認時期: 削孔作業完了時
- ・確認事項: 削孔計画図(変更削孔計画図)と削孔位置の照合、コアの状況、削孔長、削孔径、削孔の

間隔、孔内状況

・確認数量：全数

⑤鉄筋損傷を防ぐ削孔機の使用

受注者は、鉄筋損傷を防ぐ削孔機を使用する場合は、監督職員と協議を行うものとし、設計変更の対象とする。

第73条 後付けアンカーボルトの定着

受注者は、既設のコンクリート構造物に対する後付けアンカーボルトの施工にあたっては、以下を実施する。なお、「後付けアンカーボルト」とは具体的には削孔後のアンカーボルト・アンカー鉄筋(以下、アンカーボルトという。)を指すものである。なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議することとする。

① 受注者は、既設 RC 構造物への削孔後の孔内を十分に乾燥させ、削り屑は確実に除去してから、エポキシ系樹脂を製品の取扱説明書等に基づき適切に注入するなどによりアンカーボルトを定着させなければならない。

② 受注者は、アンカーボルト挿入時に何らかの理由により施工が困難となった場合は、監督職員と協議するものとする。

③ 受注者は、アンカーボルトの材料搬入時に設計図書に示す長さ・径・材質について全数を確認するものとする。

④施工管理

1) 受注者は、出来形管理としてアンカーボルト孔の削孔長を曲がらない定規で全数を確認することとし、その規格値は設計値以上とする。

2) 受注者は、アンカーボルト定着後、所定のアンカーボルト定着長が確保されているか確認のための試験を超音波探傷器を用いて全数を確認するものとする。所定のアンカーボルト定着長の規格値は、設計値－20mm 又は－1D(アンカーボルト径)のいずれか小さい値とする。

3) 試験方法は、「超音波パルス反射法によるアンカーボルト長さ測定要領(案)」(平成 15 年 11 月)(以下、測定要領という。)に基づき実施し、その測定は、超音波探傷器に精通した第三者機関の測定技術者が全数を行うものとし、測定結果をその都度記録(プリント出力機能がある探傷器を使用した場合は、プリント出力)するものとする。

測定要領を受注者が所持しない場合は、監督職員に通知を求めるものとする。なお、実施方法については、事前に監督職員に提出するものとする。

⑤アンカーボルト定着の品質管理

受注者は、アンカーボルト定着の品質管理として、監督職員が指示するアンカーボルト設置位置で引張耐力試験を以下のとおり実施する。

試験方法、規格値：設計図書に別途定める。

試験の頻度：上部工への施工は 1 径間毎に 3 本以上、

下部工への施工は下部工 1 基毎に 3 本以上。

⑥ 上記①～⑤の資料及び実施状況について、デジタル写真等にて整備・保管し、監督職員の請求があった場合は直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

第74条 橋梁塗装工

素地調整は、素地調整程度1種とする。

第75条 タッチアップ塗装

塗装を行うものとし、状況に応じてその周辺の薄層となった活膜面にも塗装を行う。なお、塗装面積は変更の対象としない。

第76条 塗膜除去工

1. 観音橋は、既存の塗膜に鉛等の有害な化学物質が含まれているため、塗膜除去にあたっては湿式塗膜剥離剤によるものとする。

2. 使用する塗膜剥離剤については、「新技術活用システムの活用方式「テーマ設定型(技術公募)『土木鋼構造用塗膜剥離剤技術』(以下 URL 参照)」より選定するものとする。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000571.html

なお、塗膜剥離剤の選定にあたっては、上記技術の中から現場適用条件の確認や現場試験等の結果により選定するものとし、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

3. 当初設計において、使用する技術は下記条件を見込んでいるが、2.により選定した技術に設計変更するものとする。

- ・新技術名:EPP(エコ・ペイント・ピーリング)工法
- ・塗膜剥離回数:3回
- ・塗膜剥離剤 1 m²当り使用料:0.5kg/m²

第3章 その他

第77条 全国道路施設点検データベース(道路橋)への登録について

受注者は、必要に応じ管理運営団体の定める方法によりユーザー登録を行った上で、施工結果等のデータを、全国道路施設点検データベース(道路橋)(以下「点検 DB(道路橋)」)に登録する。

登録するデータは以下の通りとし、事前に監督職員と協議しなければならない。登録するデータに係る権利は、第78条に定めるとおりとする。なお、点検 DB(道路橋)の管理運営団体に支払う登録料については設計変更の対象とする。

【全国道路施設点検データベース(道路橋)への登録データ】

「補修・補強工事調書の記入要領(案)」に示される補修・補強工事調書データ、および「道路管理データベース データ作成マニュアル(案)」の塗装歴(D019)、補修歴(D01A)データ

2 受注者は、状況写真や地形図を含む一般図などの画像データ等において、個人情報が表示されないよう加工を施したものを使用するとともに、点検 DB(道路橋)へ登録するデータに個人情報が含まれないことを確認しなければならない。また、登録するデータに個人情報が含まれないことを確認する手法について

施工計画書に明記し、個人情報が含まれないことを確認した書類として「別紙ー7」に示すチェックリストを提出すること。

なお、受注者と発注者の双方がチェックリストにより、個人情報が含まれないことを確認した後でなければ、データ登録を行ってはならない。

第78条 登録するデータに係る権利

本工事の成果として点検 DB(道路橋)へ登録されるデータ及びこれに係る特許、実用新案登録、意匠登録等を受ける権利及び当該権利に基づき取得する産業財産権並びに著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。)その他の知的財産権(ノウハウ等に関する権利を含む。)は、すべて登録・確定と同時に発注者に帰属する。

2 点検 DB(道路橋)へ登録されるデータに係る知的財産権のうち、受注者又は第三者が従前から保有していた知的財産権が含まれる場合、受注者は、発注者、発注者が指定する者及び点検 DB(道路橋)を利用する者(以下「発注者等」という。)に対し、当該知的財産権の利用を許諾し、又は許諾させるものとする。

3 受注者は、自ら(受注者に所属する者を含む。)又は第三者をして、発注者等に対し、点検 DB(道路橋)へ登録されるデータを構成する著作物に係る著作権人格権を行使せず又は行使させない。

4 前三項の場合において、受注者は、発注者に知的財産権を帰属させ若しくは発注者が適法に知的財産権を行使するため、又は発注者等による点検 DB(道路橋)の運用及び利用のために必要となる一切の手続(第三者からの許諾取得を含む。)を履践するものとする。

5 発注者及び受注者は、前四項に定める権利の帰属及び不行使並びに手続履践の対価が委託料に含まれることを相互に確認する。

6 受注者は、点検 DB(道路橋)へ登録されるデータが知的財産権を含む第三者の権利を侵害しないことを表明及び保証し、受注者がかかる表明保証に違反したことにより発注者が第三者から訴訟を提起され又は権利を主張される等の紛争が生じた場合には当該紛争の解決に協力するとともに、発注者に生じた損害、損失及び費用(合理的な範囲の弁護士費用を含む。)について、発注者に対してこれを補償するものとする。

第79条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第80条 道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

1. 道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付 属 物 お よ び 付 属 施 設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I.T.V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
	構造物	D010		橋梁	E150
D020		橋側歩道橋		E160	落石防止施設
D030		横断歩道橋		E170	消雪パイプ
D040		トンネル		E180	ロードヒーティング
D050		洞門		E190	除雪ステーション
D060		スノーシェッド		E200	防災備蓄
D070		地下横断歩道		E210	共同溝
D080		道路BOX等		E220	CAB電線共同溝
D090		横断BOX等		E230	植栽
D100		パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標(反射式)		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標(自光式)		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン

2. 道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル(案)』によるものとする。
3. 道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。
4. 道路施設基本データ作成にあたって工事番号はCORINS登録時の工事契約コード番号とする。
5. 道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。
 - ①道路施設台帳作成総括表
 - ②道路施設基本データ総括表
 - ③道路施設基本データ一覧表
 - ④道路施設台帳チェックシート
 - ⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」による チェック結果
 - ⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑦工事数量総括表

第81条 「問合せ番号」及び「路上規制情報システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第82条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 <input type="checkbox"/> 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 <input type="checkbox"/> 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。 <input checked="" type="checkbox"/> 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 <input type="checkbox"/> 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。 <input type="checkbox"/> 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	<p>第46条・第52条</p> <p>第46条</p>
用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等に未処理部分がある場合は、その場所、範囲及び処理の見込み時期。 <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容。 <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。 <input type="checkbox"/> 施工者に、消波ブロック、桁製作等の仮設ヤードとして官有地等及び発注者が借り上げた土地を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。	
公害関係	<input type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。 <input checked="" type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。 <input type="checkbox"/> 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。	<p>第42条</p>
安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。 <input type="checkbox"/> 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。	<p>第34条・第37条</p>
工事用道路関係	<p>一般道路を搬入路として使用する場合</p> <input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等。 <input type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。 <p>仮道路を設置する場合。</p> <input type="checkbox"/> 仮道路に関する安全施設等が必要である場合は、その内容、期間。 <input type="checkbox"/> 仮道路の工事終了後の処置（存置又は撤去）。 <input type="checkbox"/> 仮道路の維持補修が必要である場合は、その内容。	
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。	

証明書

工事（業務）名：_____

受注業者：_____

証明者：_____ 印

個人情報記録された資料等について、廃棄又は消去したことを証明します。

（※証明者について

工事については、「現場代理人」又は「主任（監理）技術者」が行うものとする。

業務については、「管理技術者」が行うものとする。)

概略工事工程表

工事名： R 7 国道1号観音橋補修工事

工種	単位	数量	令和7年度		令和8年度												令和9年度												備考							
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
準備工	式	1			■	■																														・60日間
舗装工	式	1																																	(1pt)	
橋梁床版工(床版連結工他)	式	1																																	(1pt)	
鋼桁工(桁連結他)	式	1																																(1pt)		
橋梁付属物工	式	1																																(1pt)		
橋梁補修工(支承取替他)	式	1																																(1pt)		
現場塗装工	式	1																																塗膜除去(2pt)他(1pt)		
仮設工	式	1																																(1pt)		
後片付け	式	1																																・20日間		
交通管理工	式	1																																交通誘導警備員		
制約条件	関係機関協議	—																																・警察協議 ・神奈川県協議		
	年末年始、お盆	—																																・12月下旬～1月上旬 ・8月中旬		
	路上工事抑制	—																																・3月		
雨休率の適用			準備・後片付けを除く、雨休率(猛暑日補正有り)を適用																																	

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

全国道路施設点検データベースにおける個人情報掲載のチェックリスト

1. 業務等名称

2. 受注者名

3. 個人情報掲載の確認結果【受注者】

個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除を確認済

4. 発注担当課

5. 個人情報掲載の確認結果【発注者】

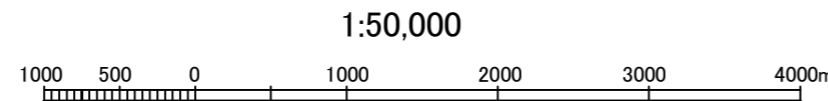
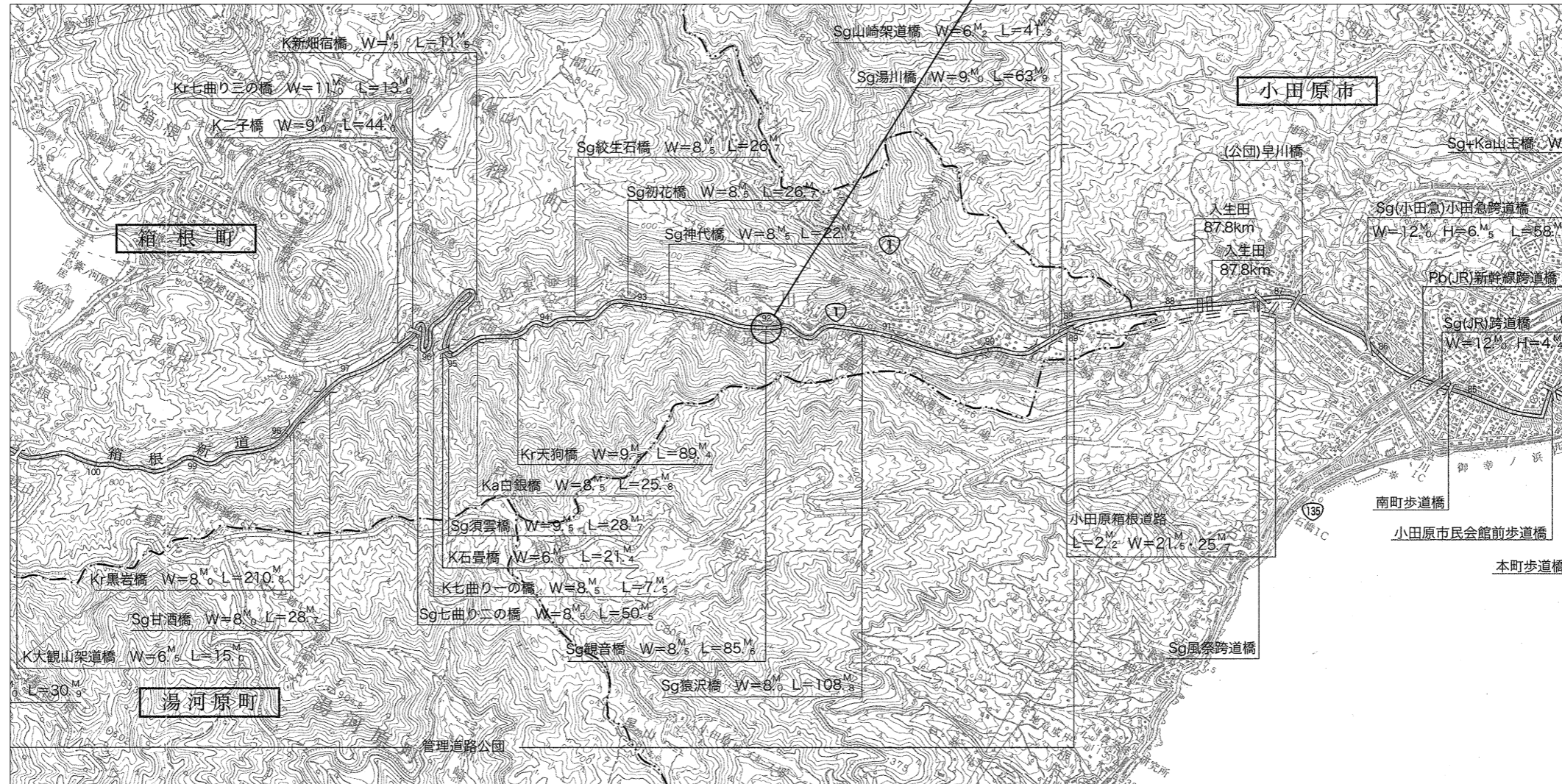
個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除を確認済

位置図 S=1:50,000

一般国道一号 工事平面図

横浜国道事務所

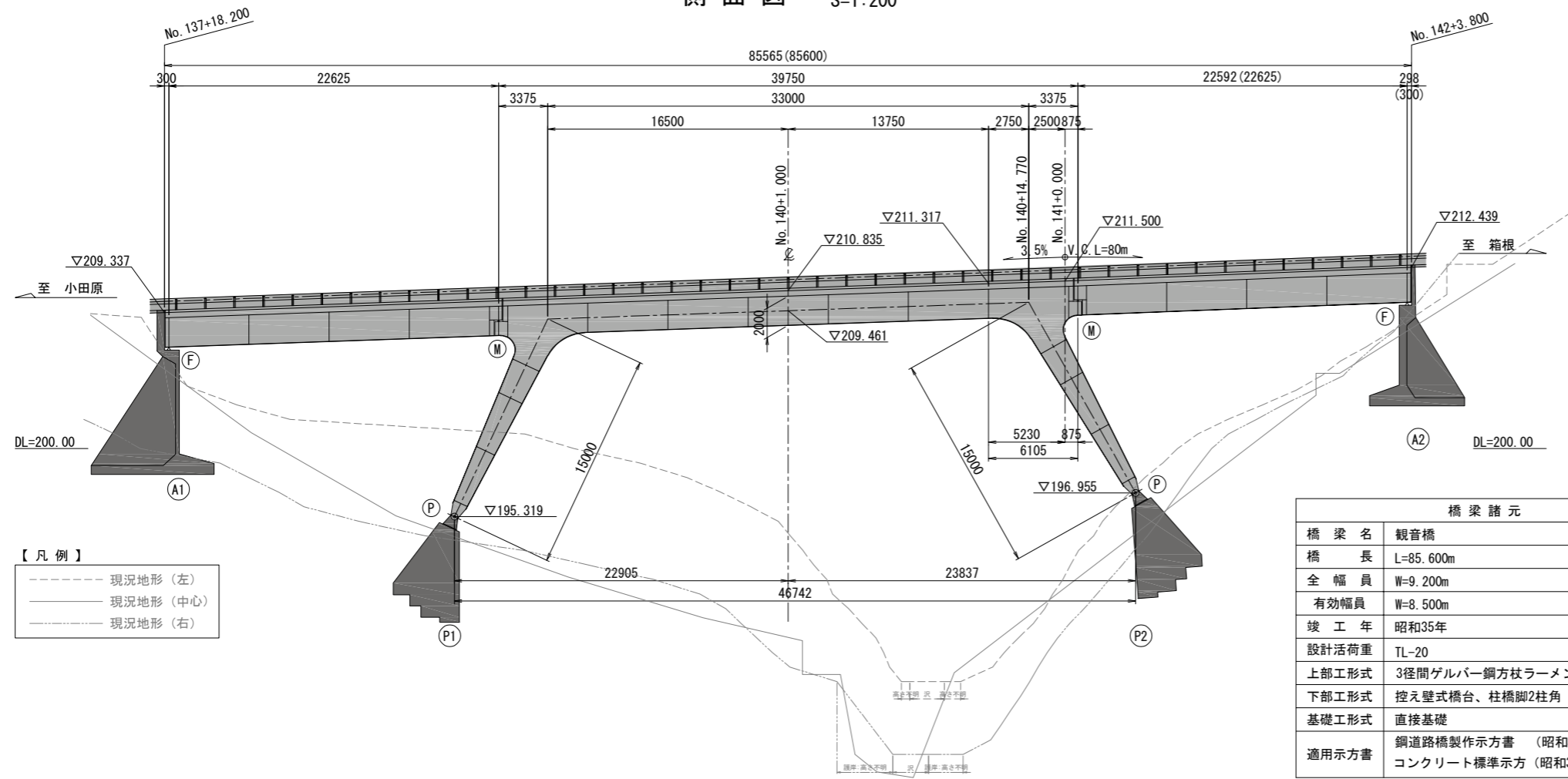
工事箇所：神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋地先



工事名	R7国道1号観音橋補修工事			
図面名	位置図			
縮尺	1:50,000	図面番号	1 / 44	
年月日	令和7年12月			
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体			
所長	副所長	課長	係長	担当
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所			

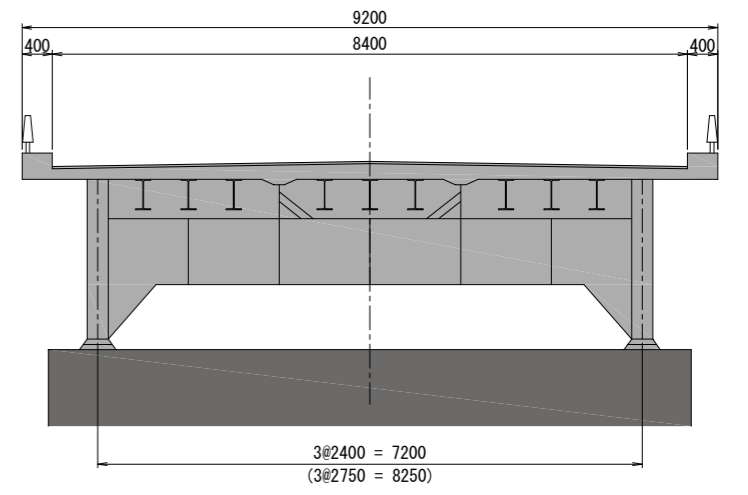
観音橋 現況一般図

側面図 S=1:200

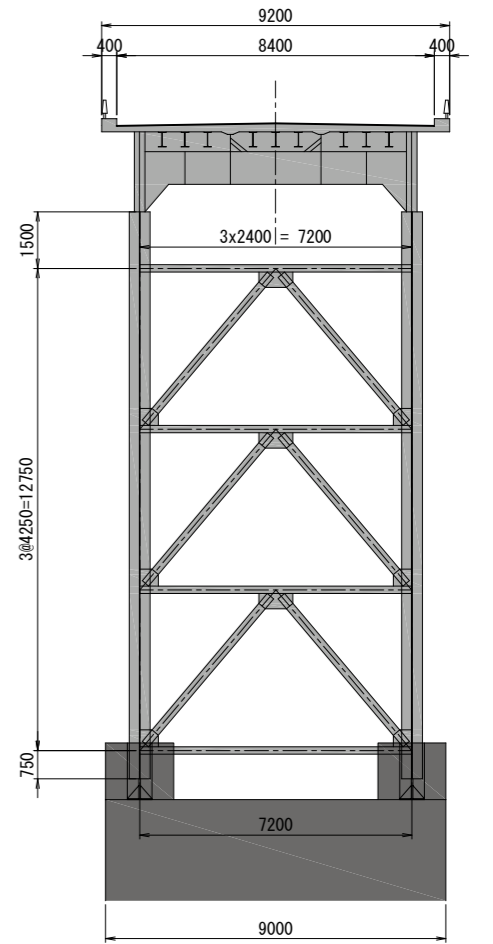


【凡例】
 - - - 現況地形 (左)
 ——— 現況地形 (中心)
 - - - 現況地形 (右)

上部工断面図 S=1:50
A1橋台 (A2橋台)

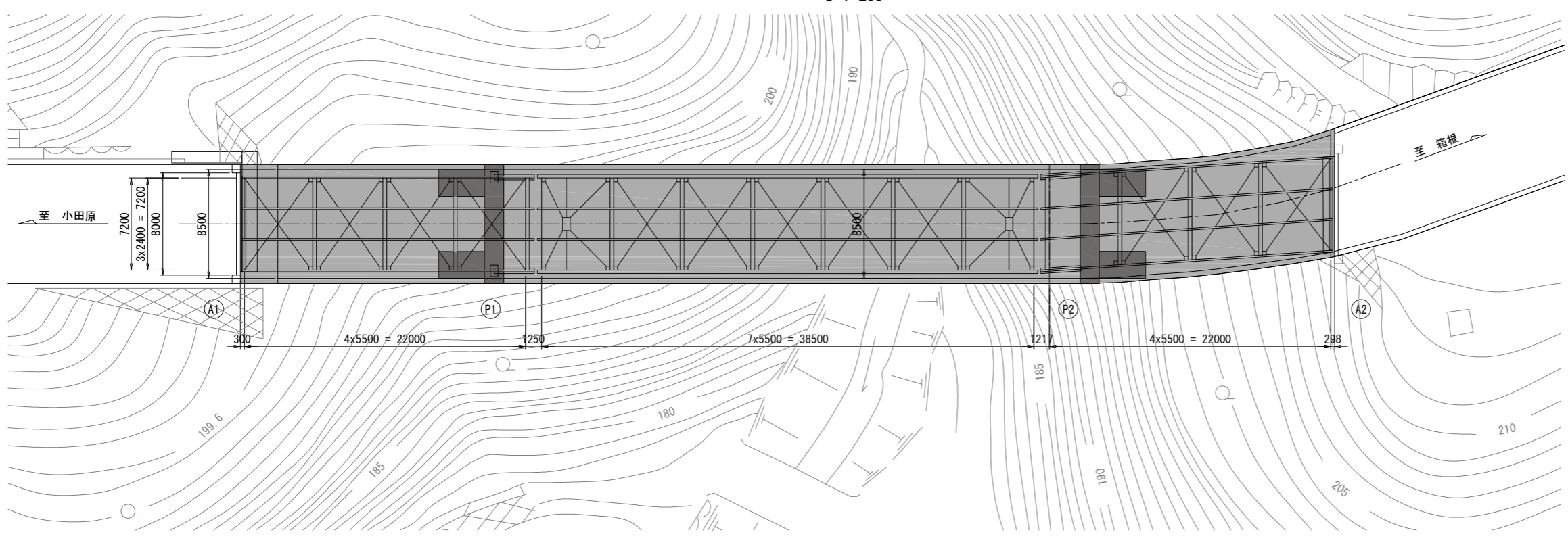


主構(桁・脚)断面図 S=1:100



橋梁諸元	
橋梁名	観音橋
橋長	L=85.600m
全幅員	W=9.200m
有効幅員	W=8.500m
竣工年	昭和35年
設計活荷重	TL-20
上部工形式	3径間ゲルバー鋼方杖ラーメン橋
下部工形式	控え壁式橋台、柱橋脚2柱角(鋼製)
基礎工形式	直接基礎
適用示方書	鋼道路橋製作示方書 (昭和31年) コンクリート標準示方 (昭和33年)

平面図 S=1:200



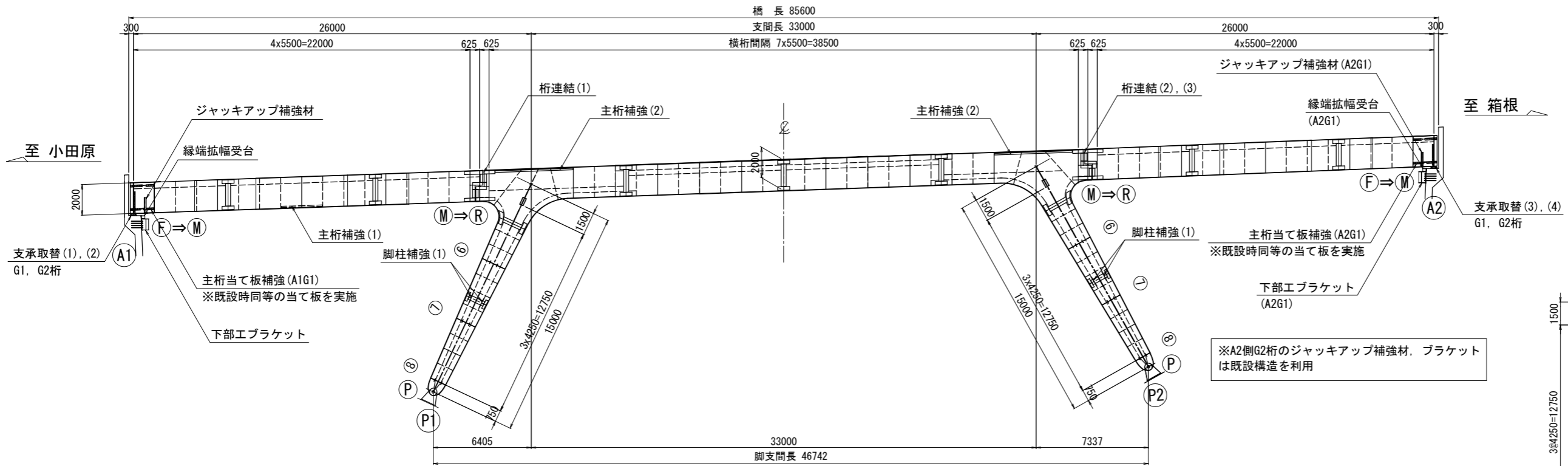
注記
 1. 本図面は過年度成果を基に復元した図面である。
 2. 本図面は現地計測を行った上で使用すること。

工事名	R7国道1号観音橋補修工事
図面名	観音橋 現況一般図
縮尺	図示 図面番号 2 / 44
年月日	令和7年12月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所

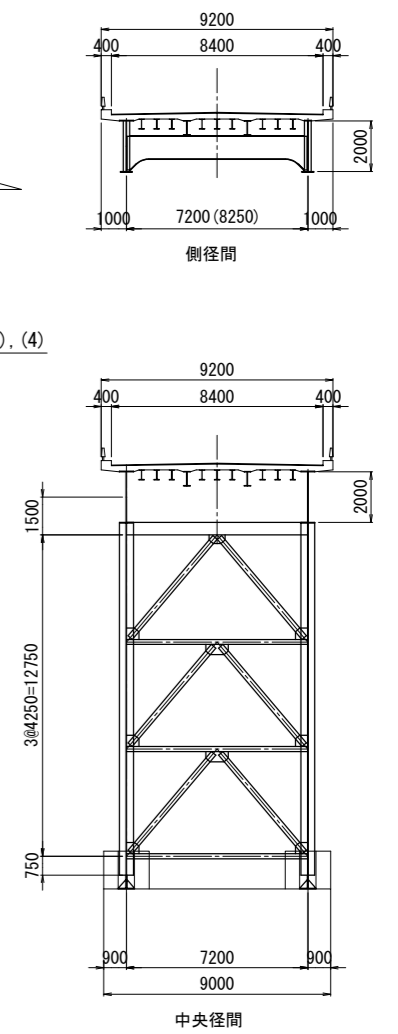
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

観音橋 補強一般図 S=1:150

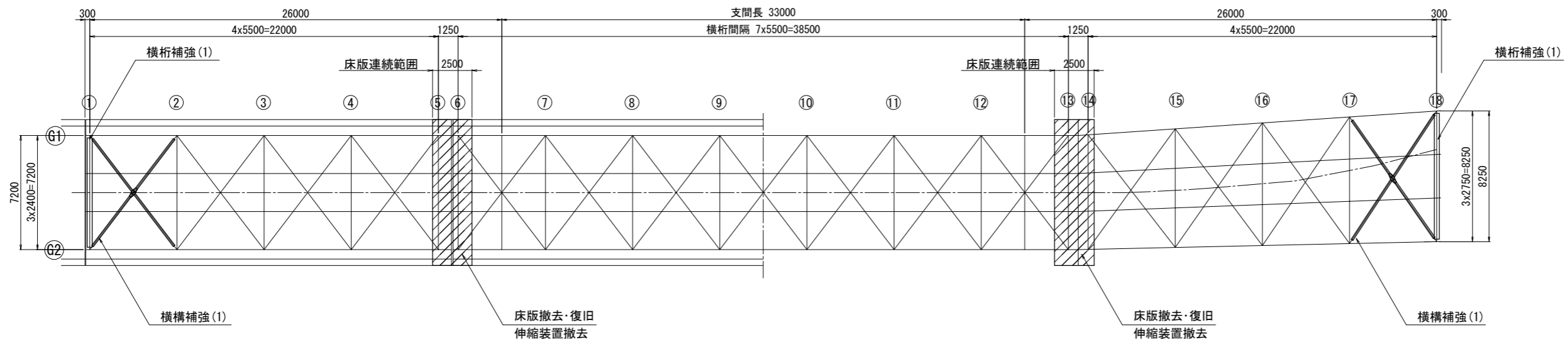
側面図



断面図



平面図

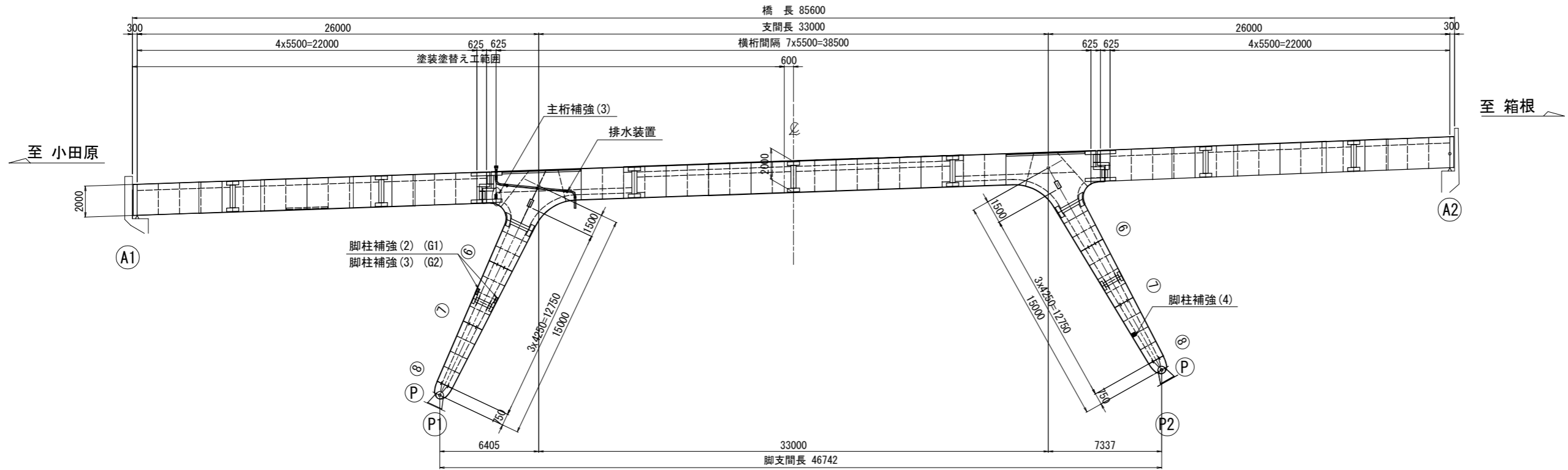


工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 補強一般図		
縮尺	1:150	図面番号	3 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

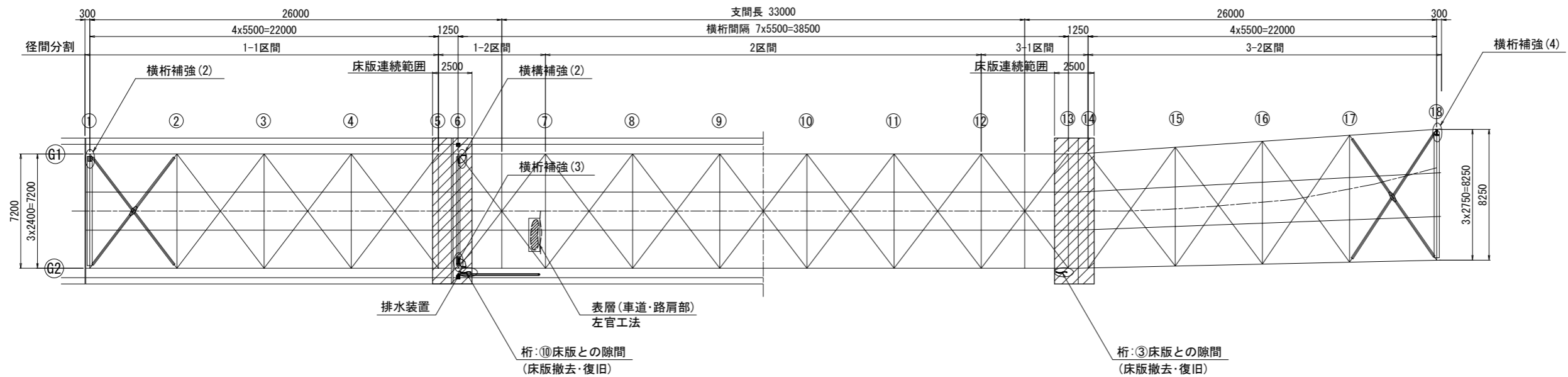
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 補修一般図(その1) S=1:150

側面図



平面図



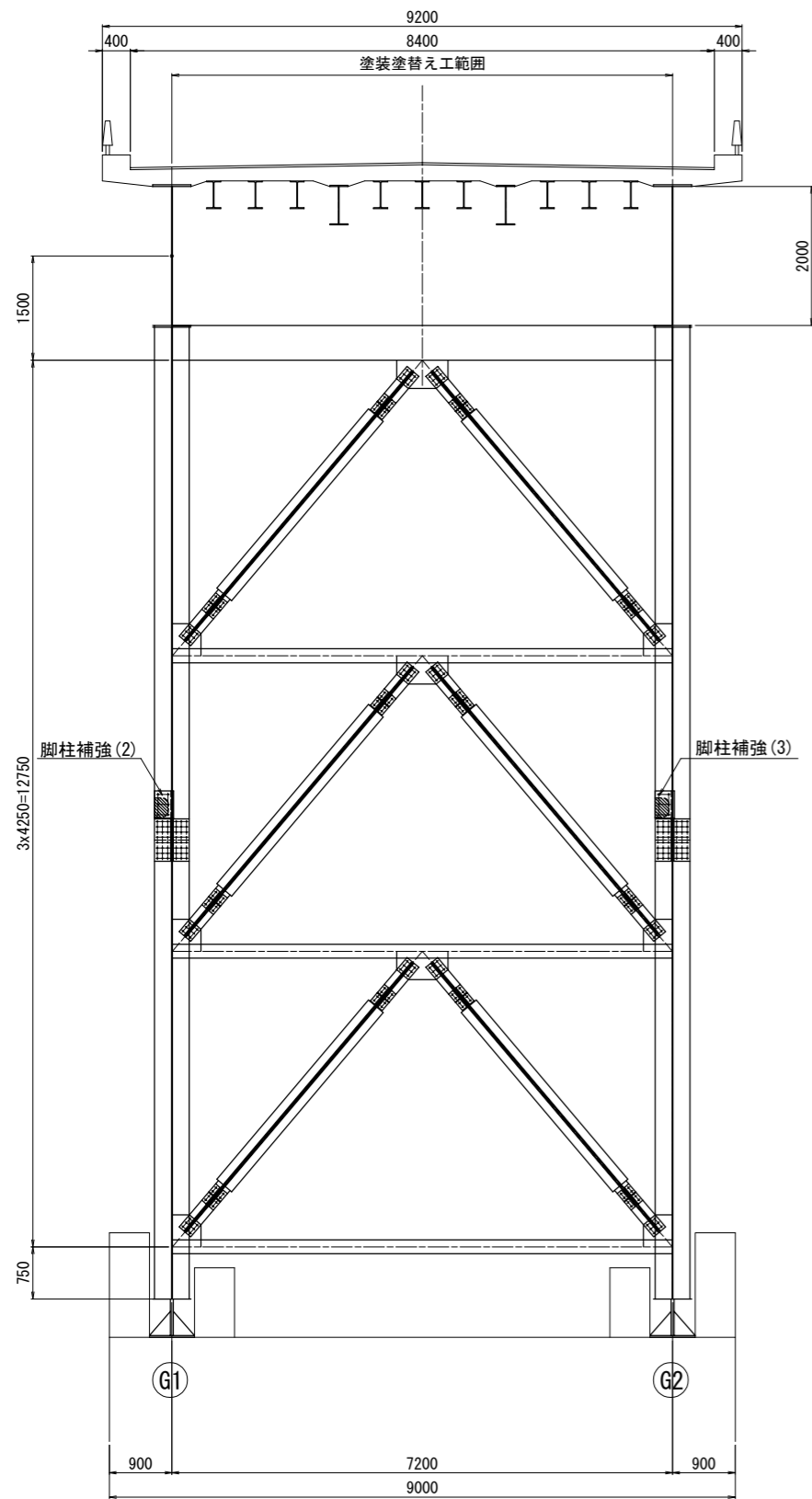
- 注記
- 製作・施工は、現地実測を反映し行うこと。
 - 桁: 1-2区間③、3-1区間⑩床版との隙間は「床版撤去・復旧」にて対処すること。

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 補修一般図(その1)		
縮尺	1:150	図面番号	4 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

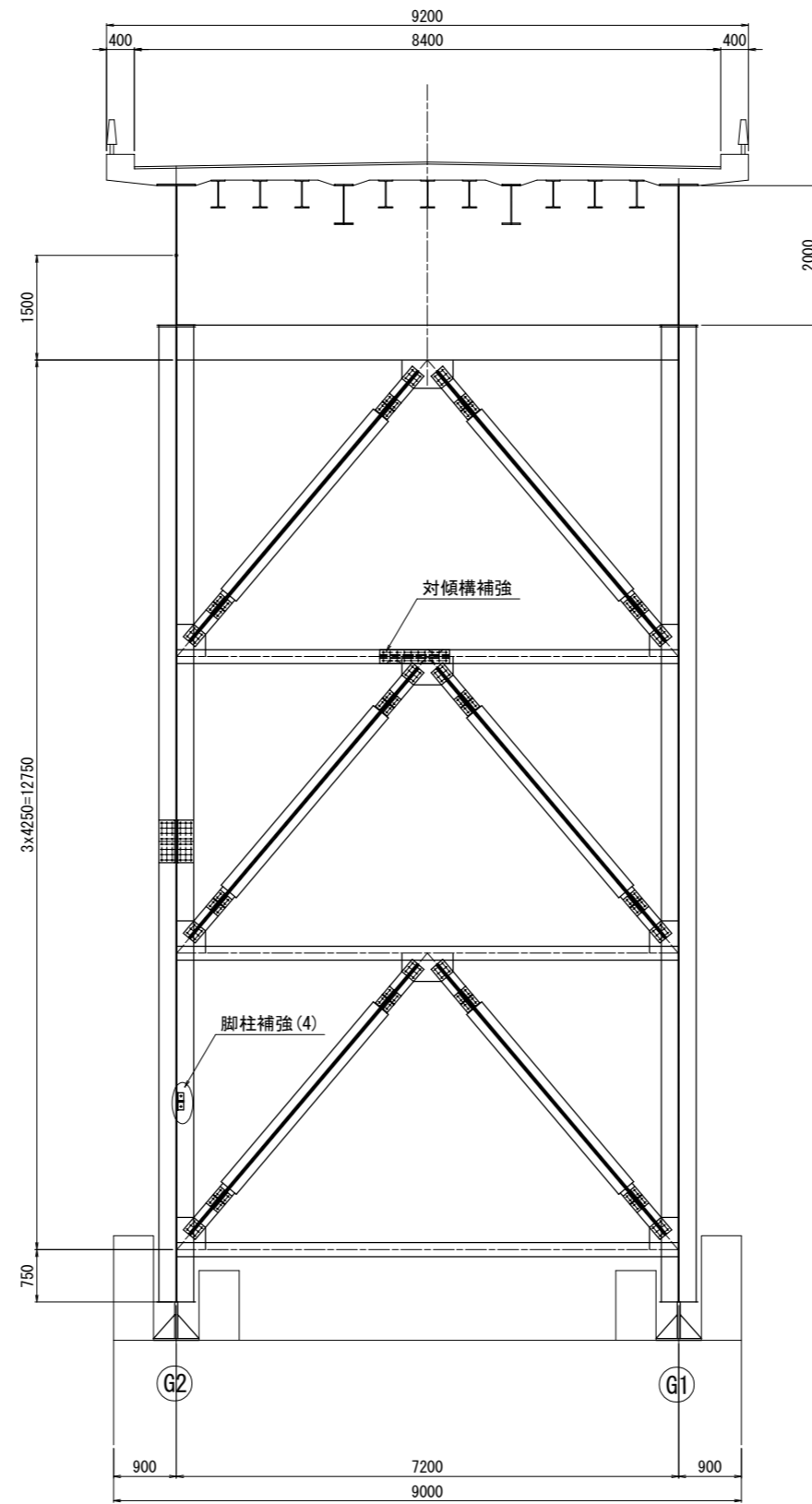
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 補修一般図(その2) S=1:50

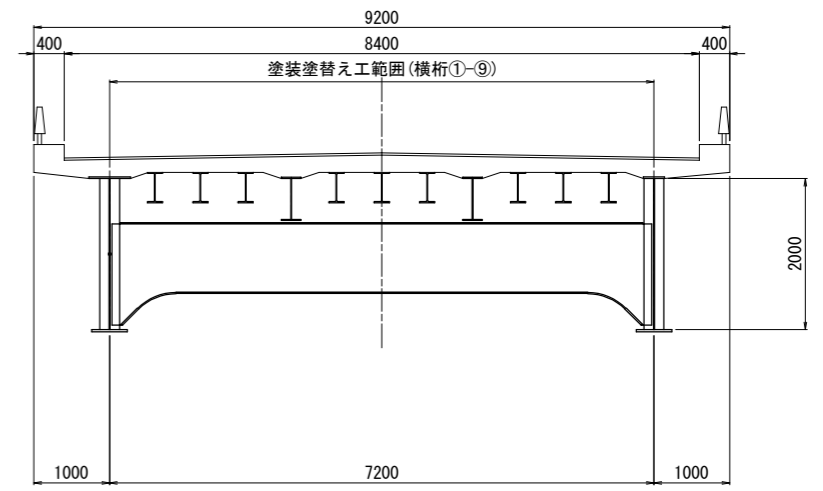
P1脚断面図
(A1橋台側)



P2脚断面図
(A2橋台側)



標準断面図



注記
1. 製作・施工は、現地実測を反映し行うこと。

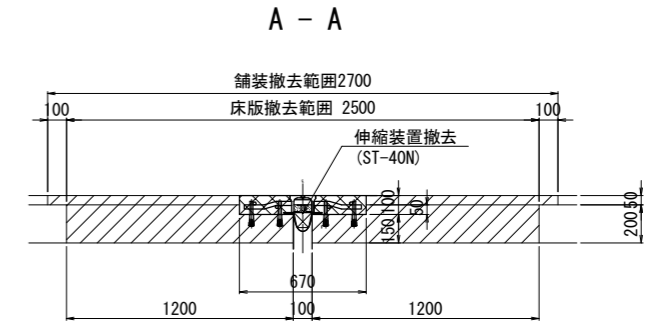
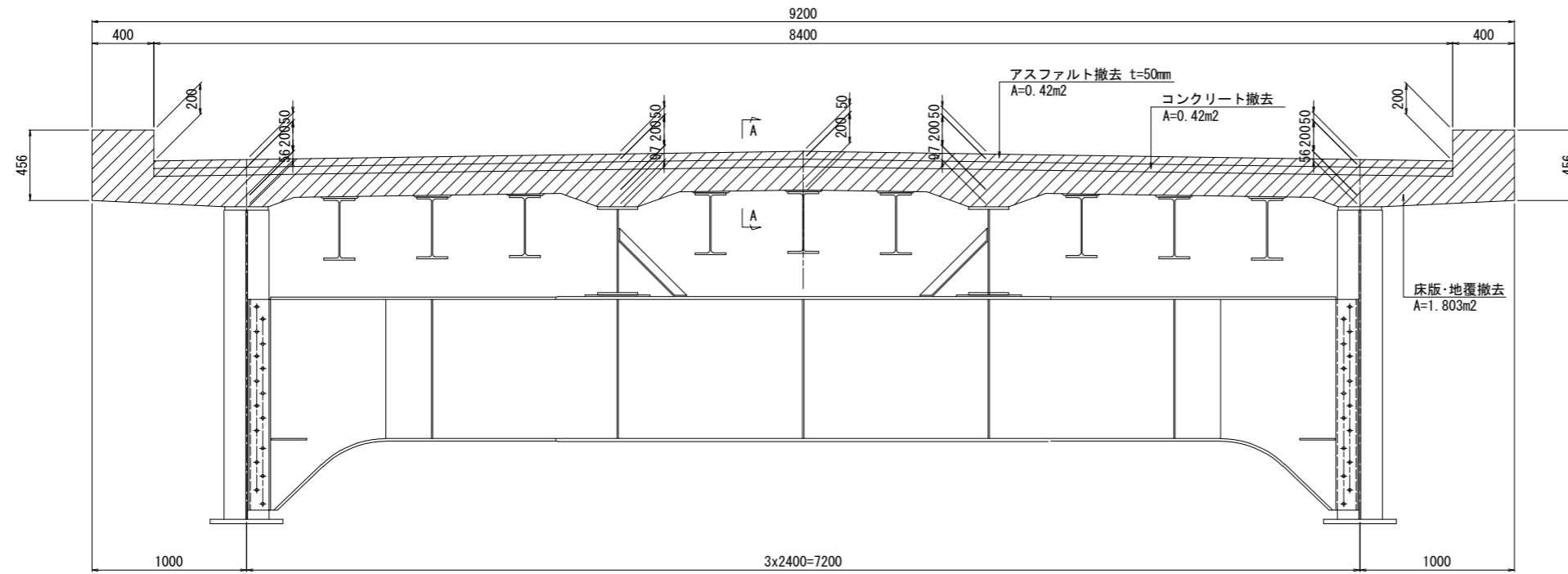
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 補修一般図(その2)		
縮尺	1:50	図面番号	5 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 床版連続図(その1) S=1:20

撤去図

P1, P2脚部



伸縮装置
撤去材料(箇所数:2組)
1-伸縮装置 ST-40N L=8400mm

注記
1. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

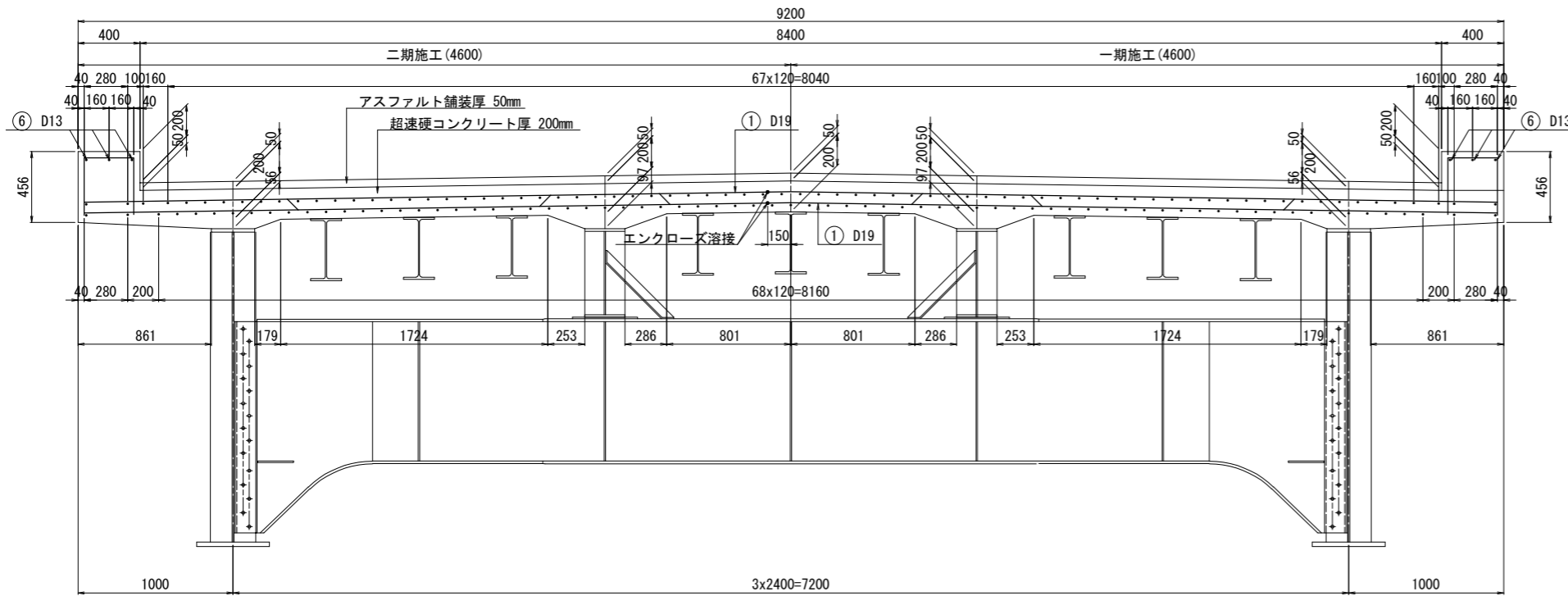
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 床版連続図(1)		
縮尺	1:20	図面番号	6 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 床版連続図(その2) S=1:20

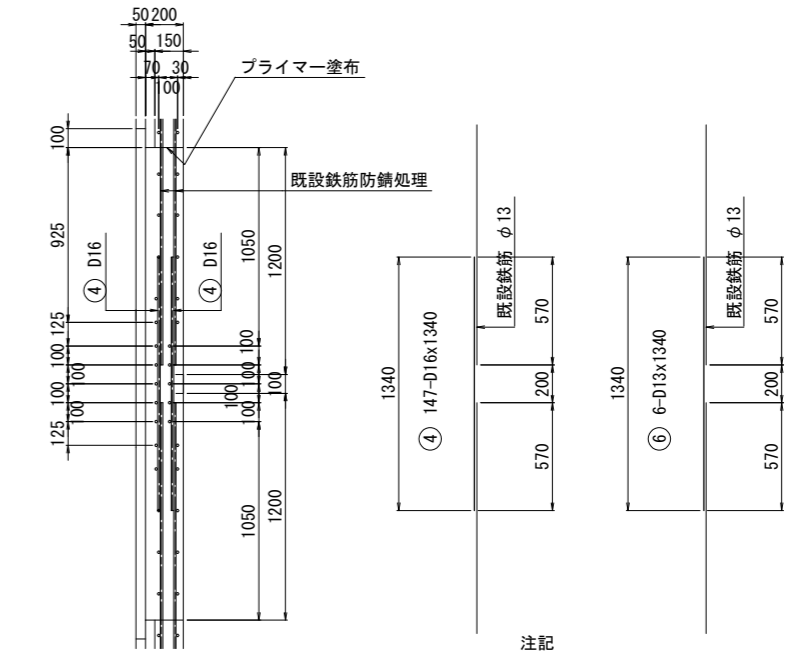
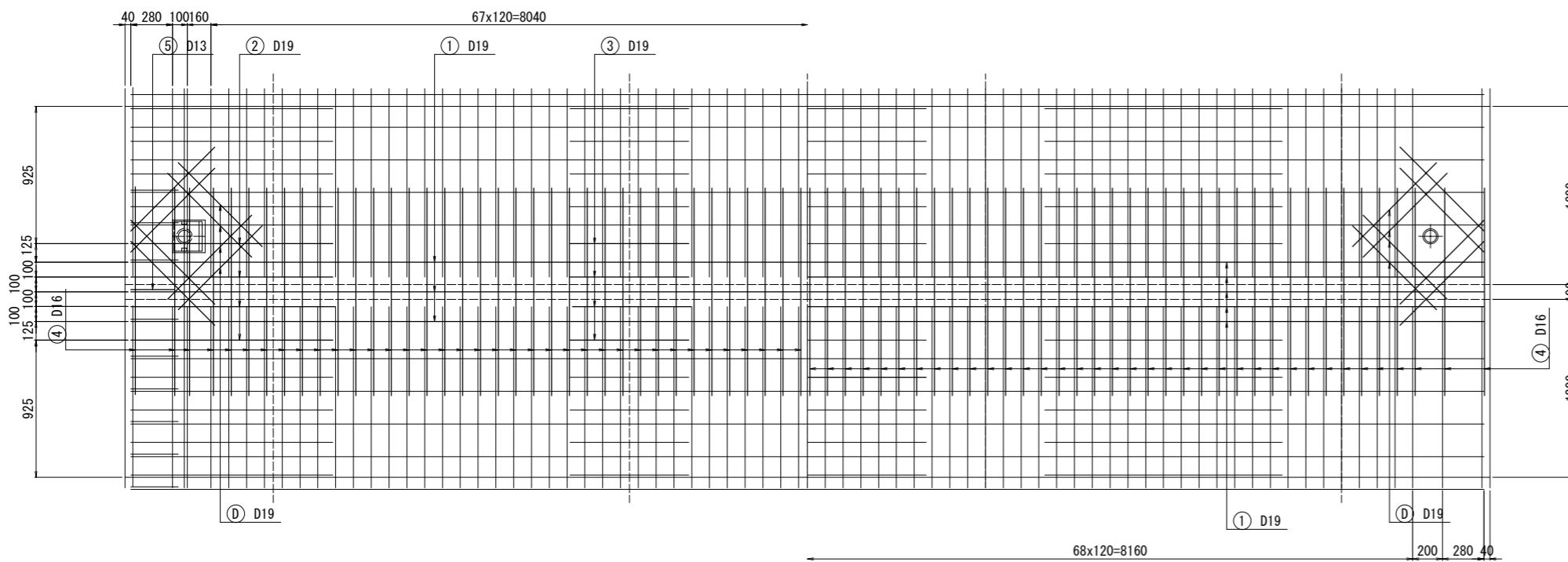
配筋、加工筋図

P1, P2脚部



上面

下面



排水柵補強鉄筋詳細図

- 注記
- 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。
 - はつり後において、鉄筋が腐食している場合は、錆落とし・防錆処理を行うこと。
 - 超速硬コンクリートの圧縮強度 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ を確保すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

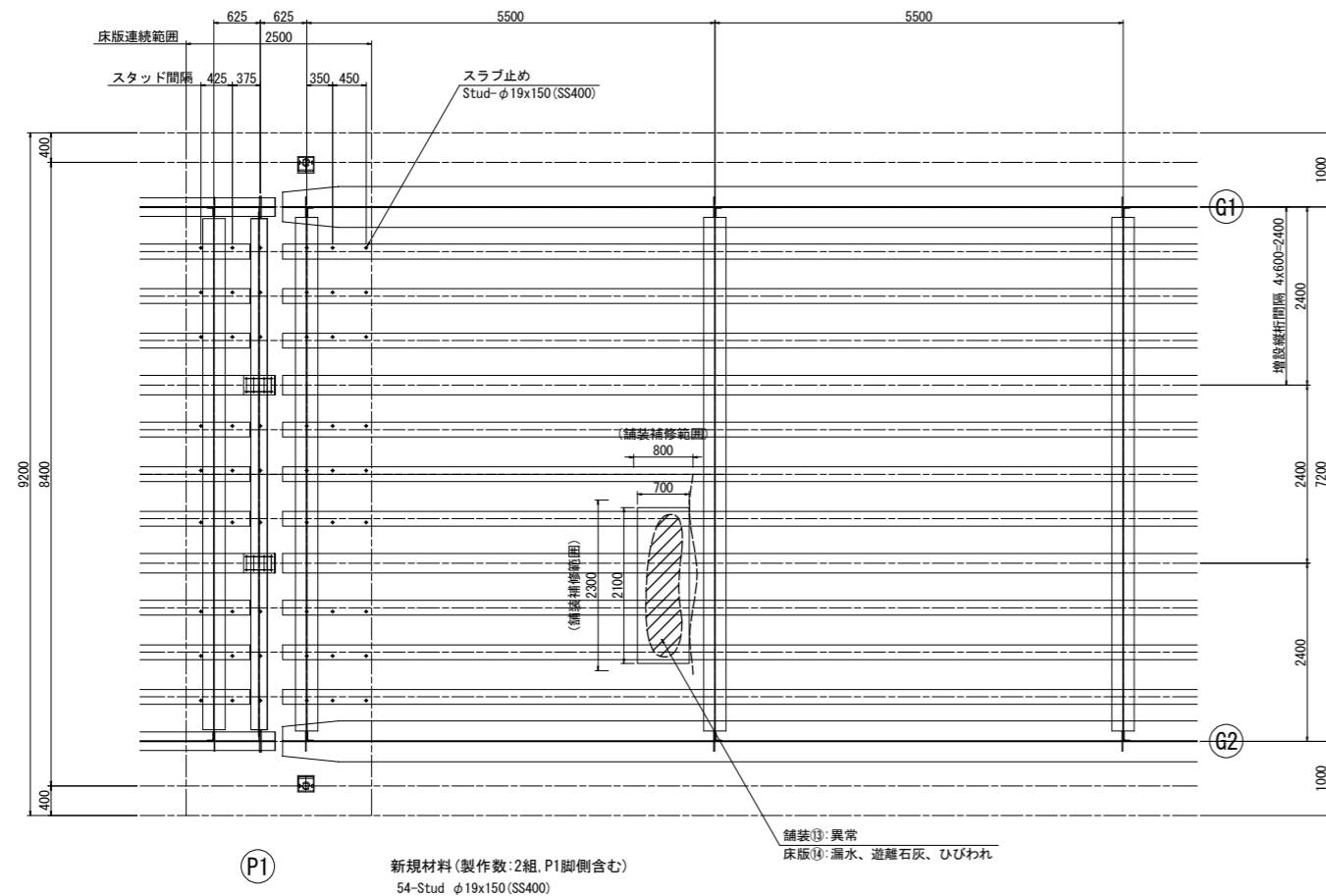
種別	径	長さ (m)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当りの重量 (kg)	重量 (kg)	適用
①-1	D19	4.410	8	2.25	9.92	79	—
①-2	D19	4.710	8	2.25	10.6	85	—
②	D19	2.100	8	2.25	4.73	38	—
③	D19	2.270	8	2.25	5.11	41	—
④	D16	1.340	147	1.56	2.09	307	—
⑤	D13	1.060	2	0.995	1.055	2	□
⑥	D13	1.340	6	0.995	1.33	8	—
⑦	D19	0.800	32	2.25	1.80	58	—
DB SD345							
D19							301 kg
D16							307 kg
D13							10 kg
合計							618 kg

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 床版連続図(その2)		
縮尺	1:20	図面番号	7 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 床版補修図 S=1:50

補修番号: 1-2径間舗装⑬, 床版⑭

P1脚側床版

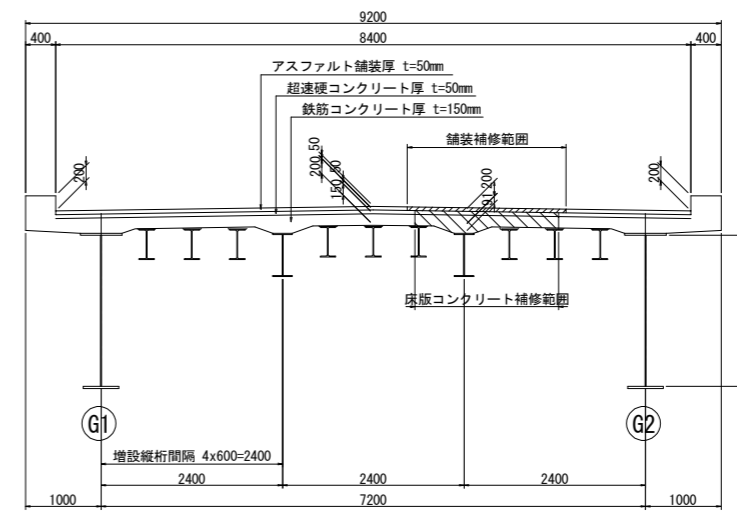


(P1)

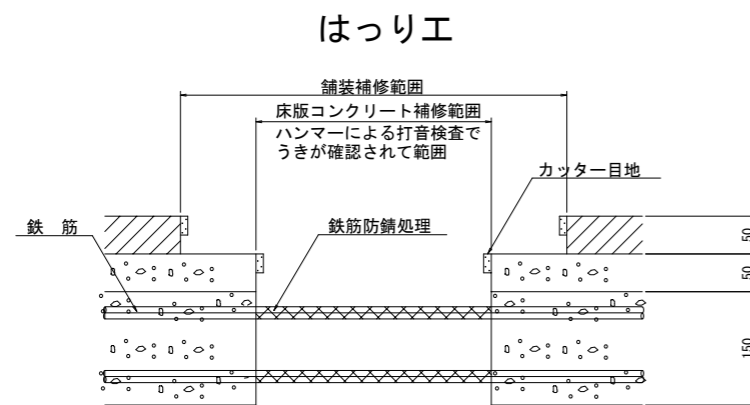
新規材料 (製作数: 2組, P1脚側含む)
54-Stud φ19x150 (SS400)

舗装⑬: 異常
床版⑭: 漏水、遊離石灰、ひびわれ

断面図

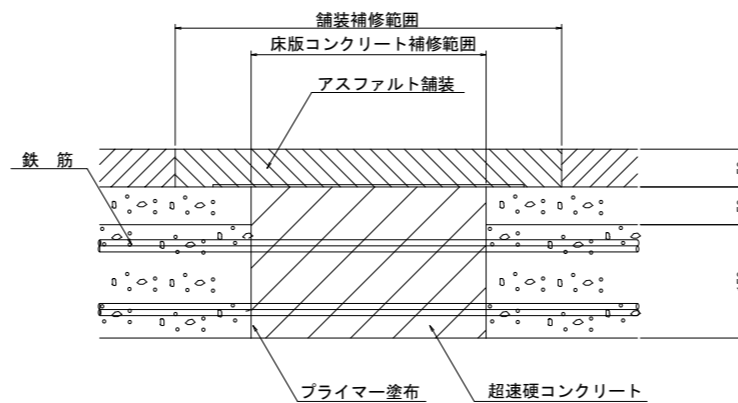


断面修復工図 S=1:5

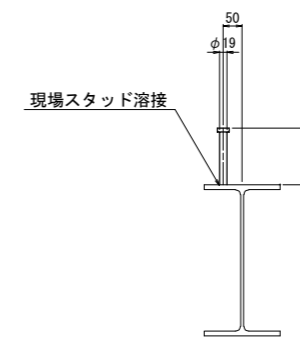


※カッター目地は、既設鉄筋を
損傷させないように注意して行うこと。

修復工



スタッド詳細図 S=1:10



注記)

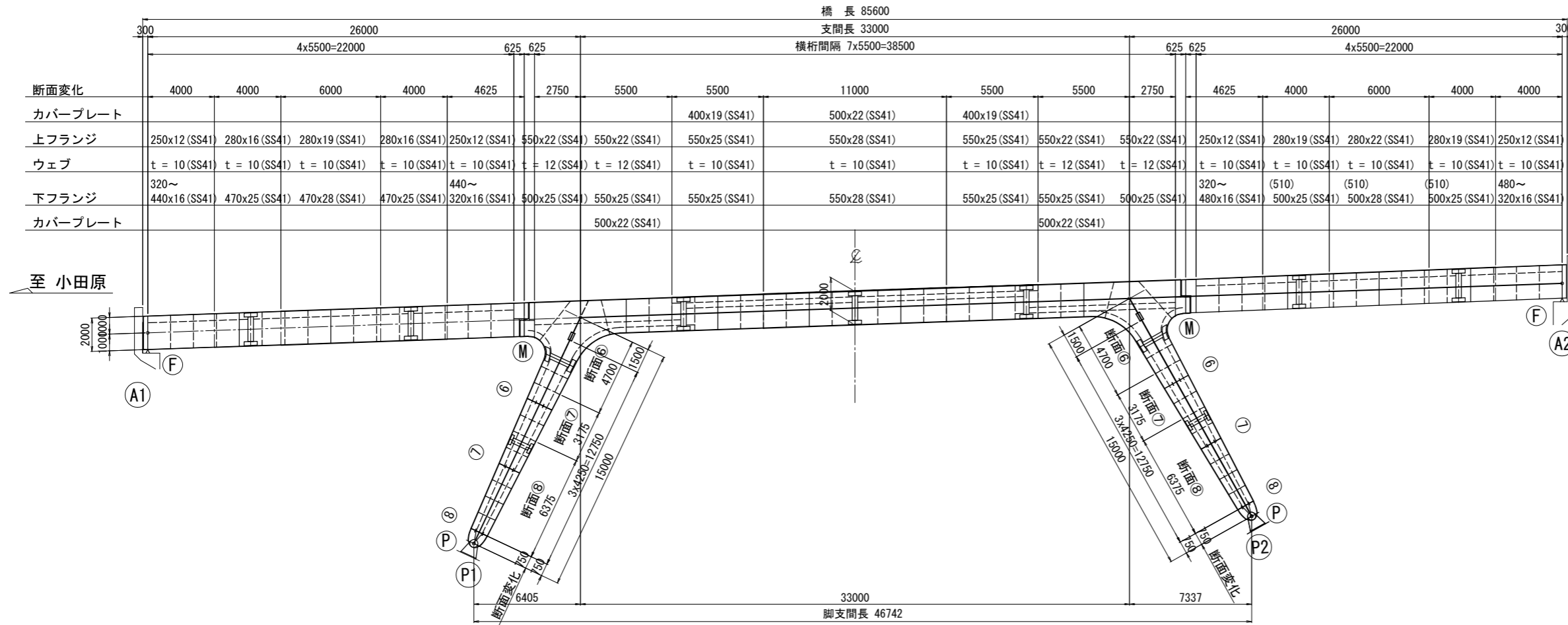
1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督職員と協議の上、補修の有無及び補修工法について協議を行うこと。
3. 断面補修工について
 - ① はつり工は人力はつりを標準とする。
 - ② 断面修復工における施工厚（はつり厚）は、外観目視からの想定であり基本的には既設コンクリートの脆弱部は深さに関わらず撤去することを目的とする。
 - ③ はつり後において、鉄筋が腐食している場合は、鉄筋の背面までコンクリートをはつり、錆落とし・防錆処理を行うこと。
4. 断面修復部は、施工後にうき、剥離等が発生しないように各断面修復材の配合条件、使用条件を遵守して施工を行うこと。
5. 断面修復材は圧縮強度 $\sigma = 24\text{N/mm}^2$ を確保すること。

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 床版補修図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

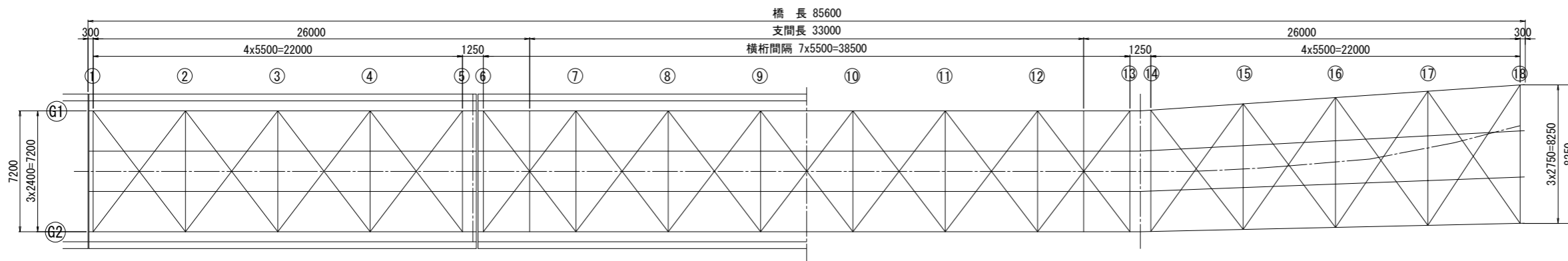
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 既設断面構成図 S=1:150

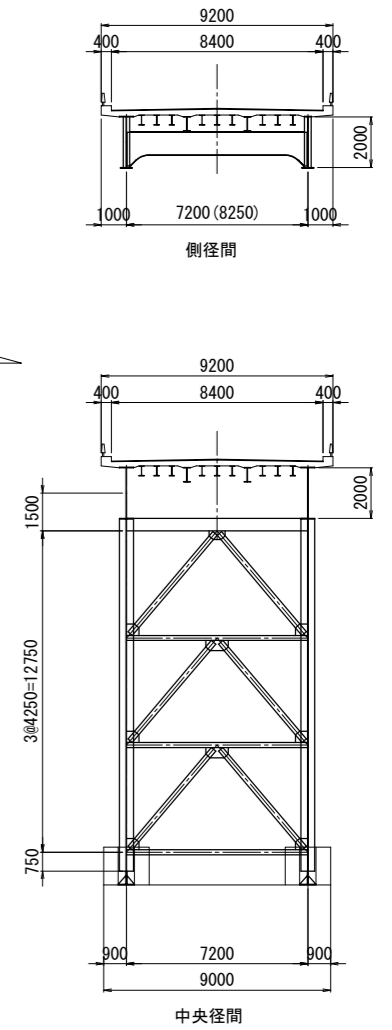
側面図



平面図

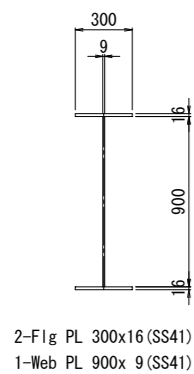


断面図



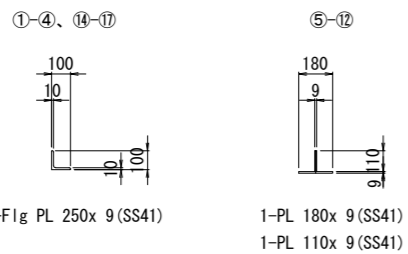
注記
1. 断面変化長は竣工計算書より参照。

上部工横桁 S=1:20



2-Fig PL 300x16 (SS41)
1-Web PL 900x 9 (SS41)

上部工横構 S=1:20



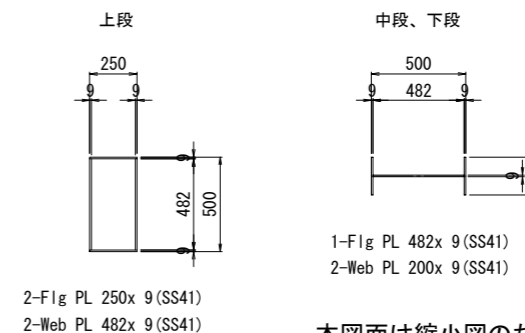
2-Fig PL 250x 9 (SS41)

1-PL 180x 9 (SS41)
1-PL 110x 9 (SS41)

脚柱

	断面⑥	断面⑦	断面⑧	基部
上フランジ	500x25 (SS41)	500x25 (SS41)	500x25 (SS41)	500x25 (SS41)
ウェブ	2000x12 (SS41)	1667x12 (SS41)	1475x12 (SS41)	1050x12 (SS41)
下フランジ	550x25 (SS41)	500x25 (SS41)	500x25 (SS41)	500x25 (SS41)
カバープレート	500x22 (SS41)	450x19 (SS41)		

脚支材 S=1:20



2-Fig PL 250x 9 (SS41)
2-Web PL 482x 9 (SS41)

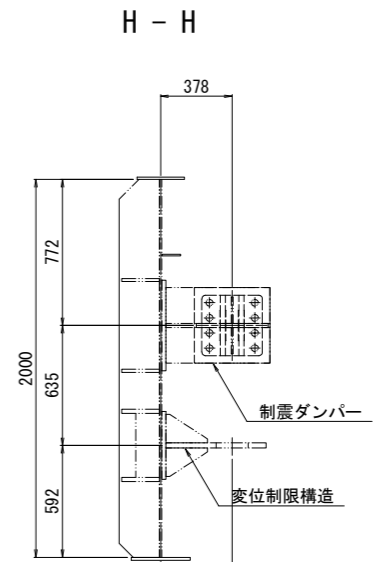
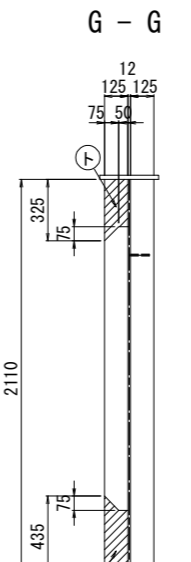
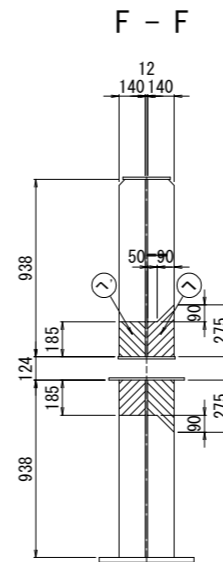
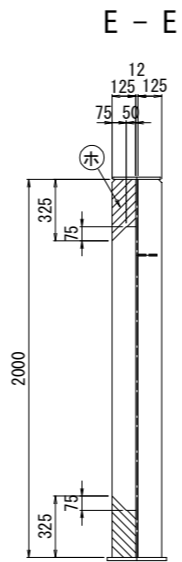
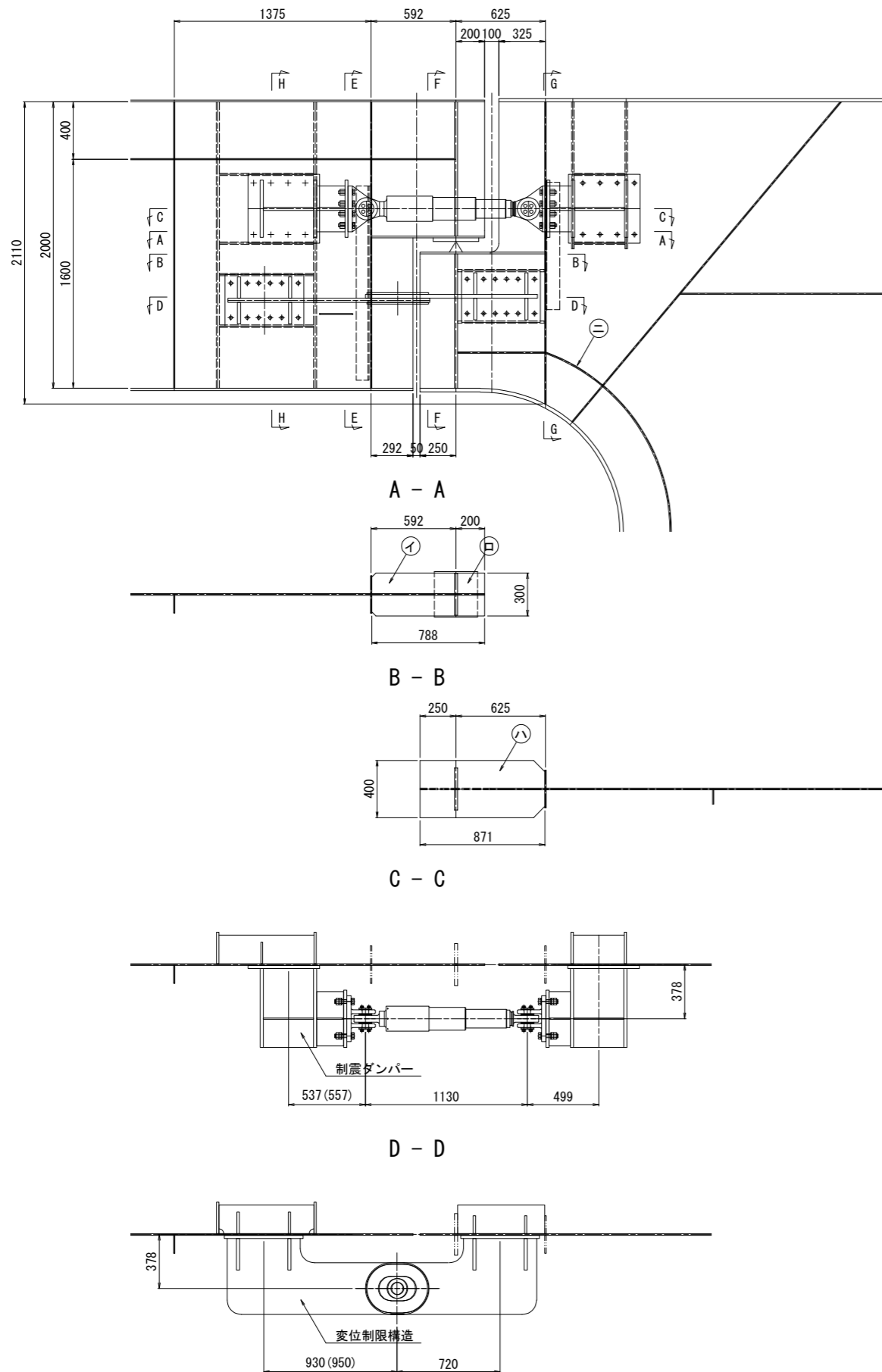
1-Fig PL 482x 9 (SS41)
2-Web PL 200x 9 (SS41)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 既設断面構成図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 桁連結図(その1) S=1:20

ゲルバー部撤去図 P1(P2)

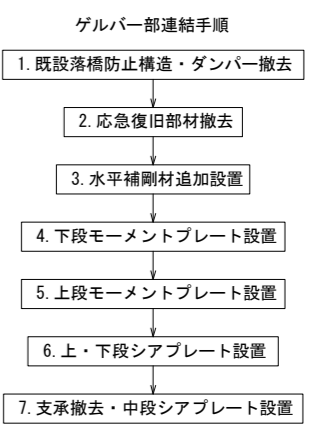


- 既設部材撤去(1)
撤去材料(箇所数:4組)
- ① 1-PL 300x12x 788
 - ② 1-PL 300x25x 318
 - ③ 1-PL 400x12x 871
 - ④ 2-PL 125x 9x 325
 - ⑤ 2-PL 140x22x 275
 - ⑥ 2-PL 140x22x 185
 - ⑦ 1-PL 125x 9x 325
 - ⑧ 1-PL 125x 9x 435

- 既設部材撤去(1)
撤去材料(箇所数:1組)
- ⑨ 2-PL 100x 9x 470
 - ⑩ 4-HTB M22x 75 (F8T)

- 制震ダンパー撤去 P1(P2)
撤去材料(箇所数:各2組)
- 1-ダンパー BM-S 200kN±100
 - 1-Rib PL 150x12x 464 (SM400A)
 - 2-Rib PL 200x16x 664 (SM400A)
 - 2-Rib PL 200x16x1999 (SM400A)
 - 2-Rib PL 200x16x 356 (SM400A)
 - 1-Rib PL 220x16x 982 (1052) (SM400A)
 - 1-Rib PL 220x16x 982 (1052) (SM400A)
 - 1-Base PL 480x22x 500 (SM400A)
 - 2-Flg PL 400x22x 550 (SM400A)
 - 1-Web PL 350x22x 550 (SM400A)
 - 2-Rib PL 140x 9x 350 (SM400A)
 - 2-Rib PL 140x 9x 188 (208) (SM400A)
 - 1-Rib PL 380x22x 188 (208) (SM400A)
 - 1-Base PL 400x22x 400 (SM400A)
 - 8-HTB M22x 75 (F8T)
 - 1-Base PL 480x22x 500 (SM400A)
 - 2-Flg PL 400x22x 550 (SM400A)
 - 1-Web PL 350x22x 550 (SM400A)
 - 2-Rib PL 140x 9x 350 (SM400A)
 - 2-Rib PL 140x 9x 150 (SM400A)
 - 1-Rib PL 380x22x 150 (SM400A)
 - 1-Base PL 400x22x 400 (SM400A)
 - 8-HTB M22x 75 (F8T)

- 変位制限構造撤去 P1(P2)
撤去材料(箇所数:各2組)
- 1-緩衝ピン φ85x 380 (2-1種ナット、2-ワッシャー付)
 - 2-Rib PL 150x16x 338 (SM400A)
 - 2-Rib PL 200x22x 664 (SM400A)
 - 2-Rib PL 125x16x 338 (SM400A)
 - 1-Rib PL 200x22x 595 (SM400A)
 - 1-Rib PL 200x22x 585 (SM400A)
 - 2-Base PL 360x22x 550 (SM490YB)
 - 1-Top PL 530x28x1200 (SM490YB)
 - 1-Top PL 530x28x1410 (1430) (SM490YB)
 - 8-Rib PL 150x22x 220 (SM490YB)
 - 2-Dob PL 340x12x 430 (SM490YA)
 - 24-HTB M22x 75 (F8T)



- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. ♯印は、TCB M22 (S10T) を示す。
尚、孔径は
新設部材：26.5φ (工場孔明け)
既設部材：26.5φ (現場孔明け)とする。
 4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

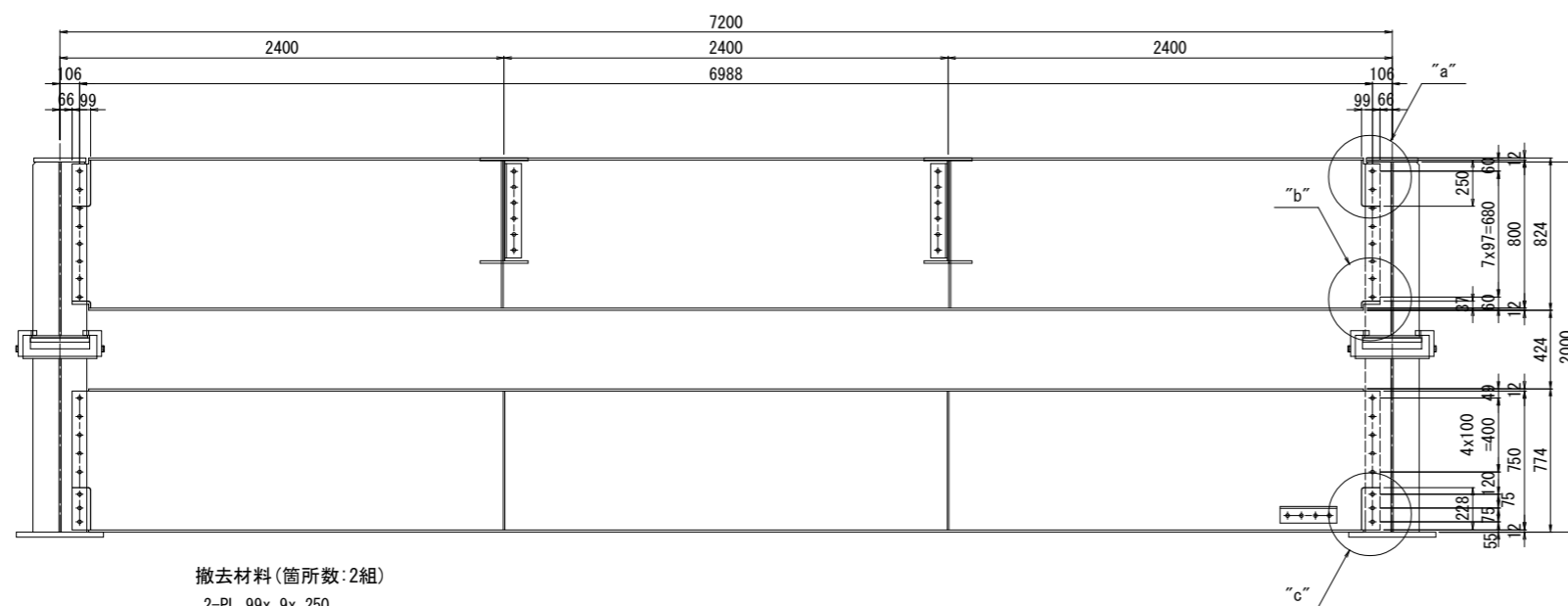
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 桁連結図(その1)		
縮尺	1:20	図面番号	10 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 桁連結図(その2) S=1:20

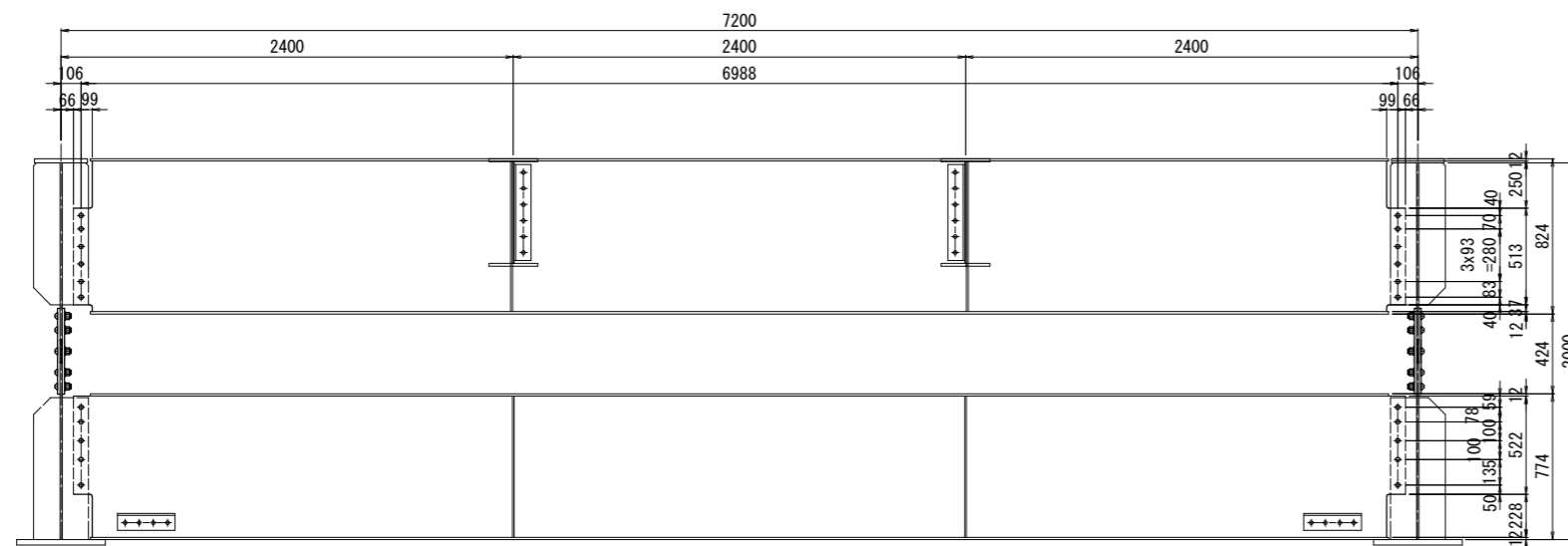
旧支点上横桁改修

既設部材撤去(2) 詳細図



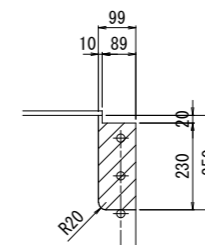
撤去材料(箇所数:2組)
 2-PL 99x 9x 250
 2-PL 99x 9x 37
 2-PL 99x 9x 228
 32-Rivet φ22

高力ボルト本締 詳細図

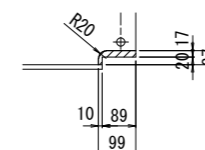


新規材料(製作数:2組)
 22-TCB M22 x 70(S10T)

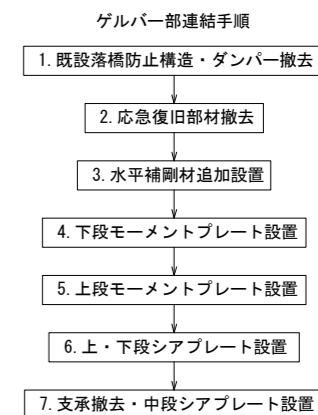
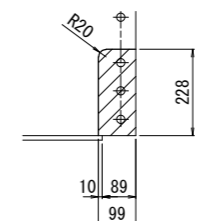
"a"部詳細図 S=1:10



"b"部詳細図 S=1:10



"c"部詳細図 S=1:10



注記
 1. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 桁連結図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	11 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

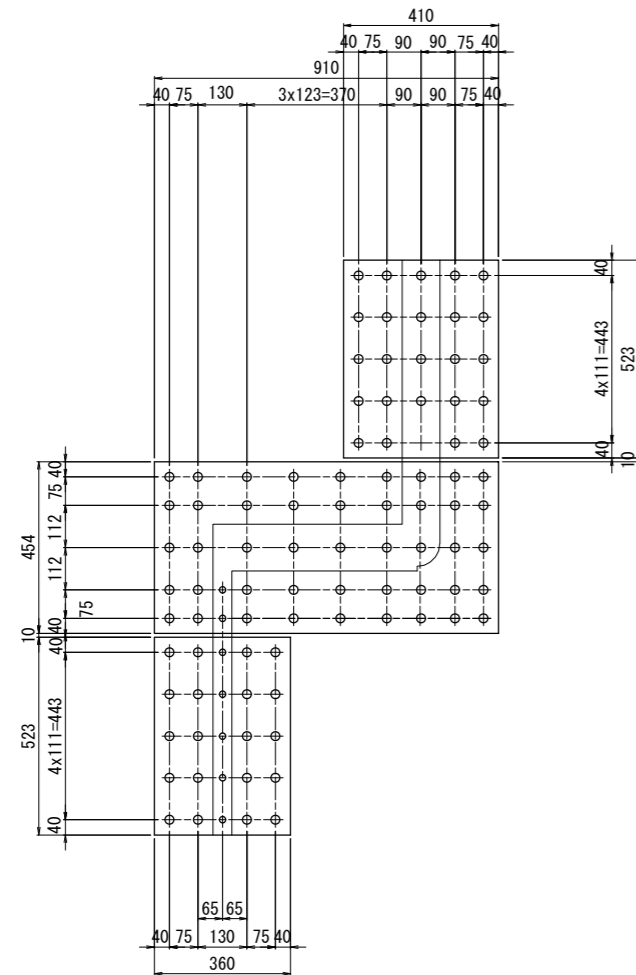
本図面は縮小図のため
 縮尺は表示と異なります

観音橋 桁連結図(その4) S=1:10

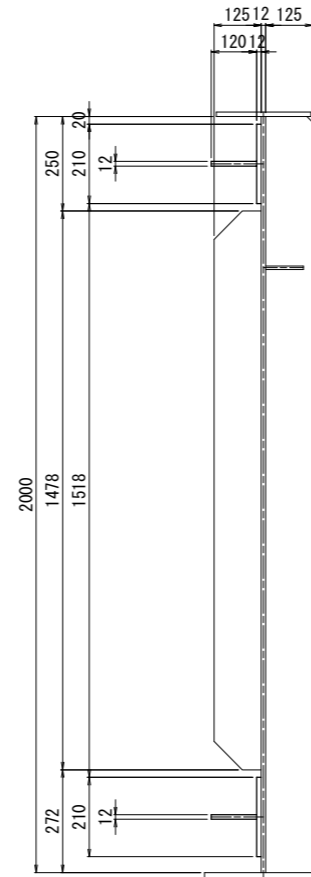
桁連結(1)

ゲルバー部 P1-G1, G2(2)

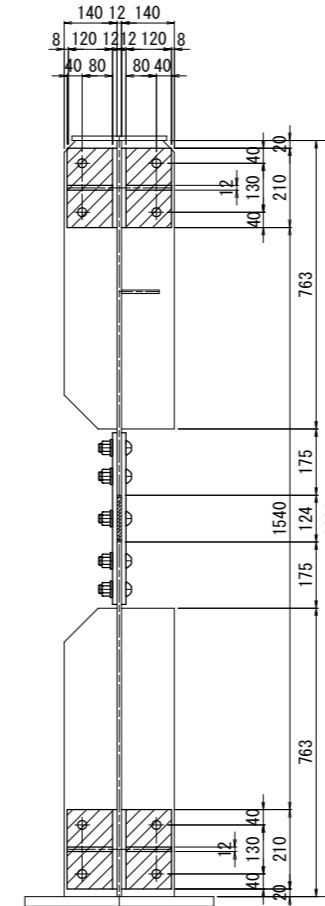
材詳細図



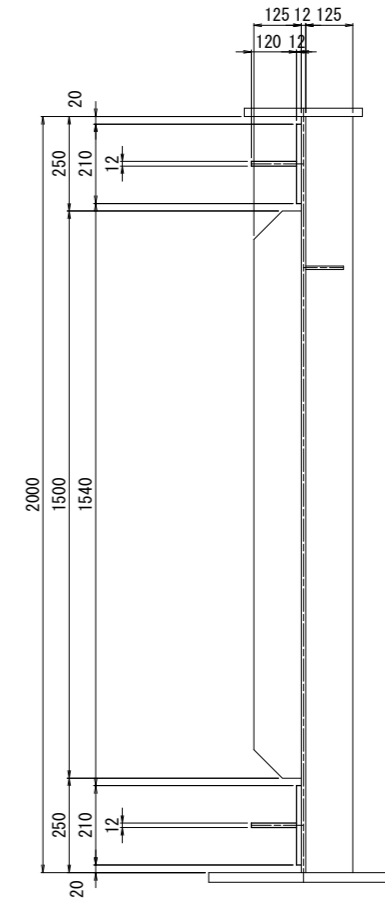
C - C



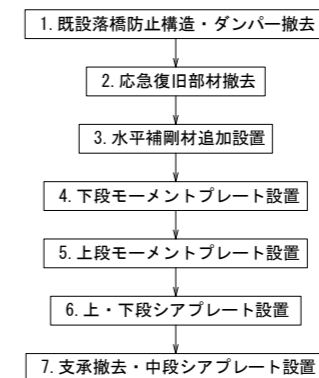
D - D



E - E



ゲルバー部連結手順



注記

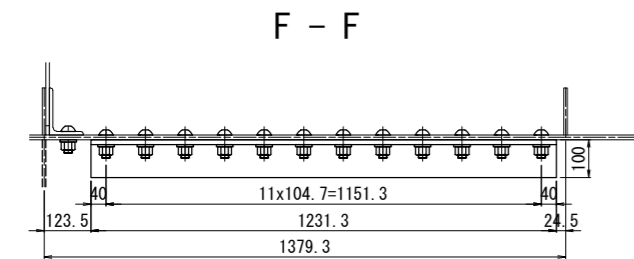
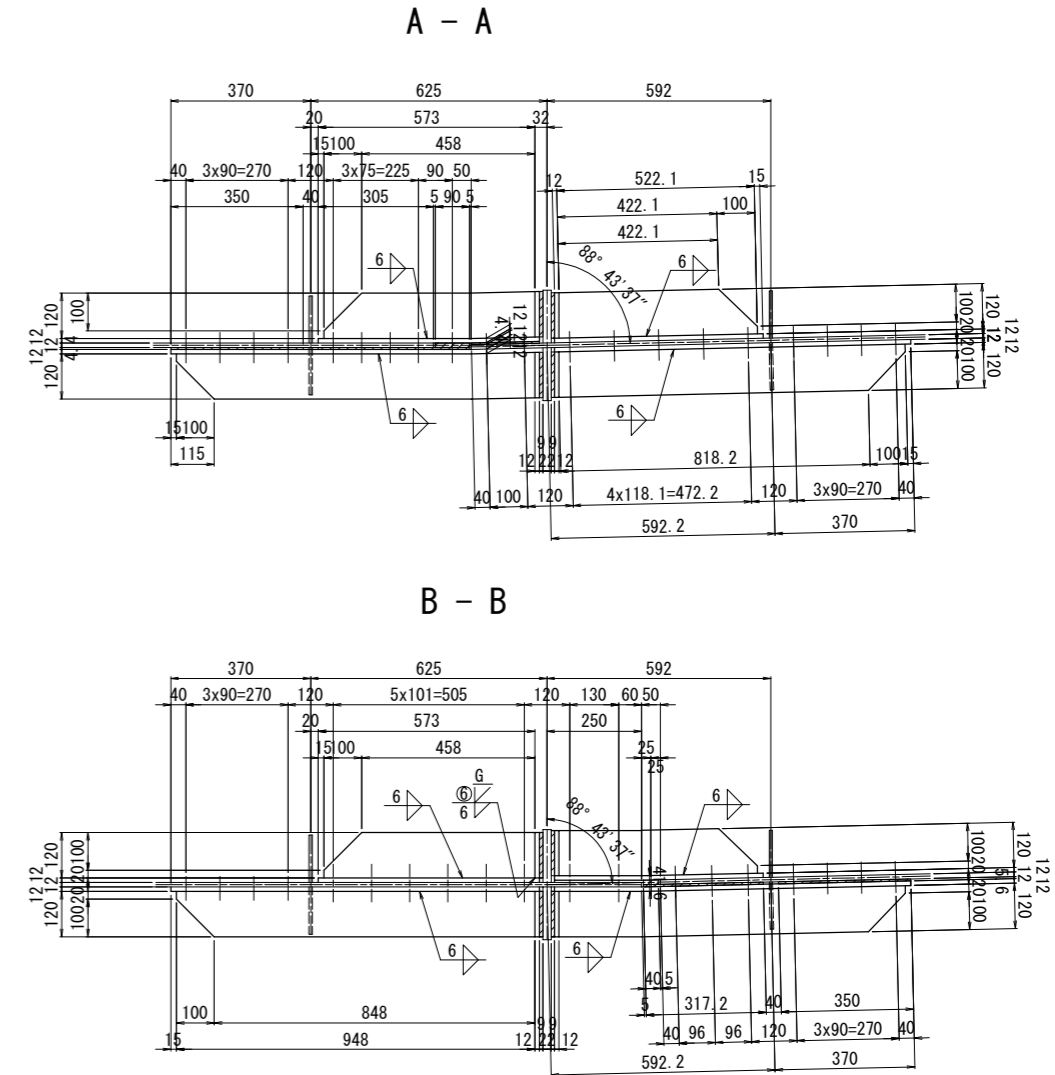
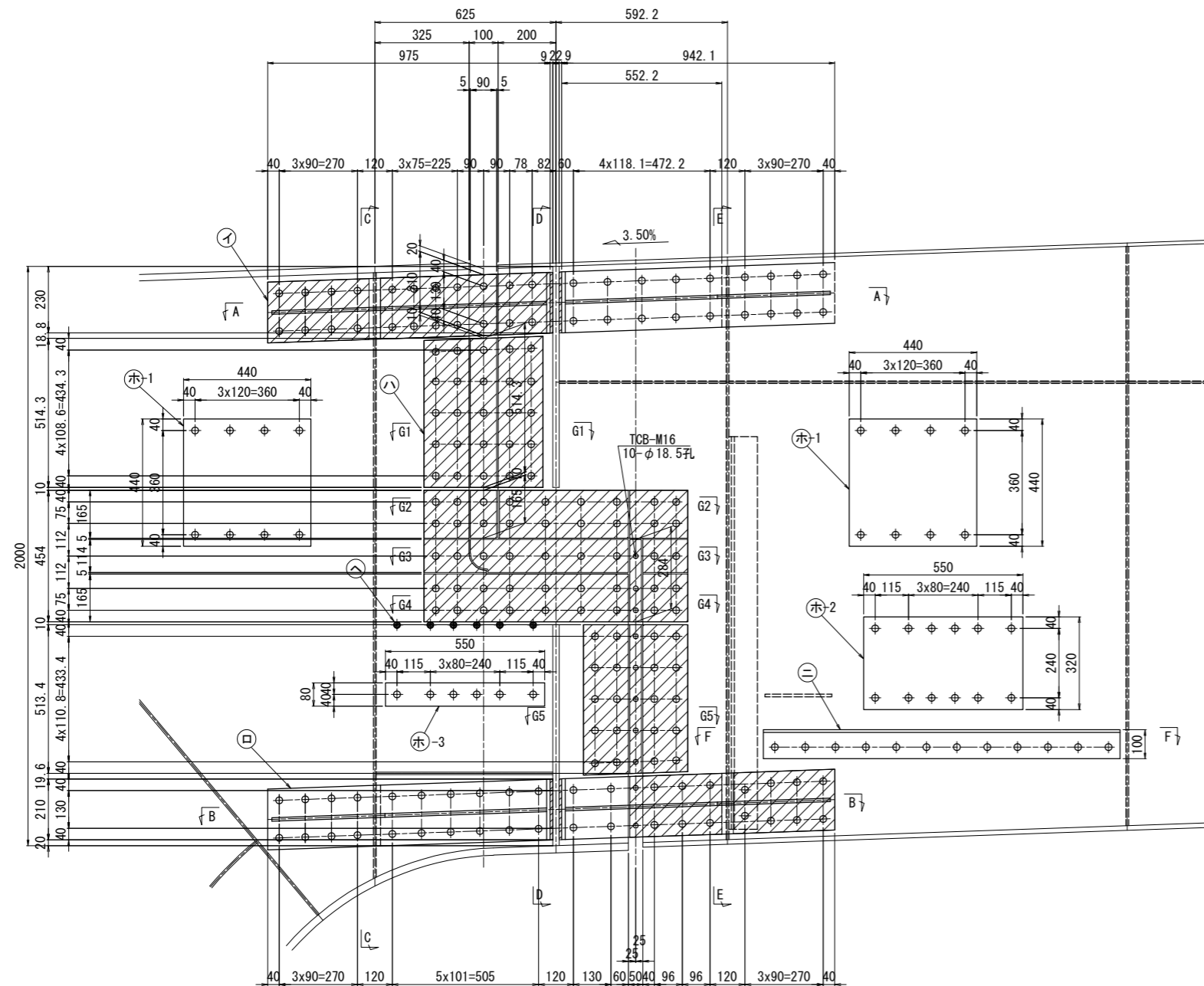
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
3. φ印は、TCB M22 (S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材：26.5φ (工場孔明け)
既設部材：26.5φ (現場孔明け)とする。
4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 桁連結図(その4)		
縮尺	1:10	図面番号	13 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

ゲルバー部 P2-G2(1)

桁連結(3)



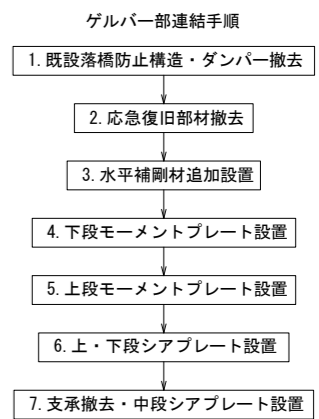
新規材料(箇所数:1組)

- ① 1-PL 210x12x 975
- 1-PL 120x12x 948
- 1-Fill PL 210x4. 5x 358(SS400)
- 1-Fill PL 210x4. 5x 408(SS400)
- 1-PL 210x12x 943
- 1-PL 120x12x 916
- 1-PL 210x12x 585
- 1-PL 120x12x 558
- 1-Fill PL 210x4. 5x 188(SS400)
- 1-PL 210x12x 552
- 1-PL 120x12x 525
- 4-Base PL 120x12x 210
- 4-Fill PL 120x 9x 210(SS400)
- 1-Fill PL 90x12x 210(SS400)
- 16-TCB M22x 60(S10T)
- 22-TCB M22x 75(S10T)
- 4-TCB M22x100(S10T)
- ② 1-PL 210x12x 984
- 1-PL 120x12x 957
- 1-PL 210x12x 943
- 1-PL 120x12x 916
- 1-Fill PL 210x 6x 325(SS400)
- 1-Fill PL 210x 6x 357(SS400)
- 1-PL 210x12x 594
- 1-PL 120x12x 567
- 1-PL 210x12x 552
- 1-PL 120x12x 525
- 4-Base PL 120x12x 210
- 4-Fill PL 120x 9x 210(SS400)
- 1-Fill PL 40x12x 210(SS400)
- 14-TCB M22x 60(S10T)
- 20-TCB M22x 75(S10T)
- 4-TCB M22x100(S10T)
- 2-TCB M16x 70(S10T)
- ③ 2-PL 521x12x 410(SS400)
- 2-PL 454x12x 910(SS400)
- 2-PL 520x12x 360(SS400)
- 1-Fill PL 516x12x 90(SS400)
- 1-Fill PL 516x4. 5x 250(SS400)
- 1-Fill PL 521x4. 5x 155(SS400)
- 2-Fill PL 165x10x 250(SS400)
- 1-Fill PL 165x12x 90(SS400)
- 1-Fill PL 165x14x 450(SS400)
- 1-Fill PL 165x15x 450(SS400)
- 1-Fill PL 165x15x 200(SS400)
- 2-Fill PL 114x10x 215(SS400)
- 1-Fill PL 114x32x 545(SS400)
- 1-Fill PL 284x32x 40(SS400)
- 1-Fill PL 114x15x 155(SS400)
- 1-Fill PL 114x4. 5x 155(SS400)
- ④ 2-Fill PL 165x10x 705(SS400)
- 1-Fill PL 165x4. 5x 155(SS400)
- 1-Fill PL 165x15x 155(SS400)
- 1-Fill PL 520x 6x 155(SS400)
- 1-Fill PL 513x 6x 200(SS400)
- 1-Fill PL 514x12x 40(SS400)
- 45-TCB M22x 95(S10T)
- 20-TCB M22x 80(S10T)
- 25-TCB M22x 75(S10T)
- 8-TCB M16x 80(S10T)
- ⑤ 1-L 100x100x13x1231(SS400)
- 12-TCB M22x 60(S10T)

- Ⓜ 塞ぎ板
- Ⓜ-1 4-PL 440x 9x 440(SS400)
- Ⓜ-2 2-PL 320x 9x 550(SS400)
- Ⓜ-3 2-PL 80x 9x 550(SS400)
- 34-TCB M22x 65(S10T)
- Ⓜ 塞ぎ孔
- 6-PL φ2. 5x12

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. ♯印は、TCB M22(S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材：26.5φ(工場孔明け)
既設部材：26.5φ(現場孔明け)とする。
 4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

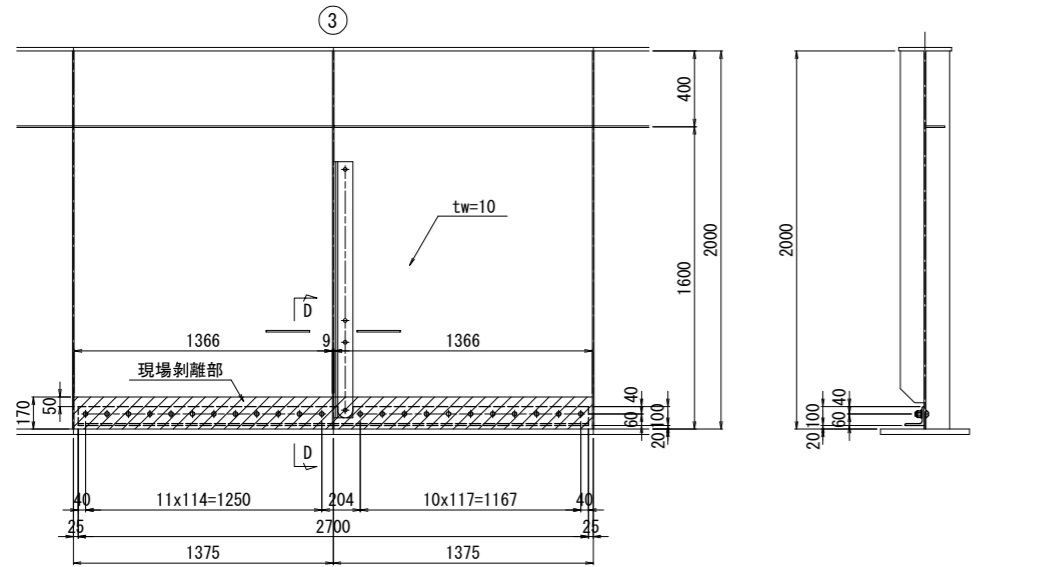
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります



工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 桁連結図(その7)		
縮尺	1:10	図面番号	16 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 主桁・脚補強図 S=1:20

主桁補強(1) 詳細図 側径間部

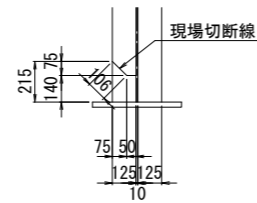


新規材料(製作数:2組) 撤去材料(箇所数:2組)

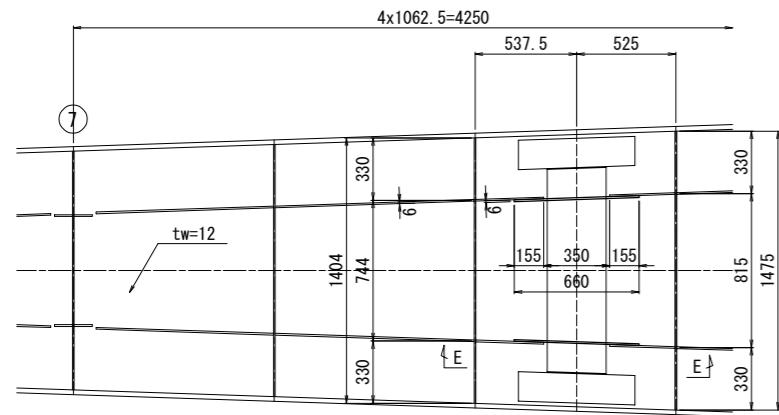
1-L 100x100x10x2700 1-PL 125x 9x 215

23-TCB M22 x 55 (S10T)

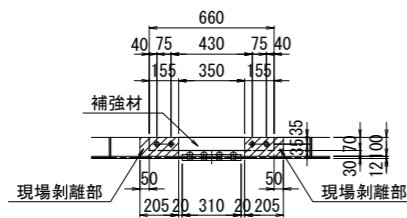
D - D



脚柱補強(1) 詳細図



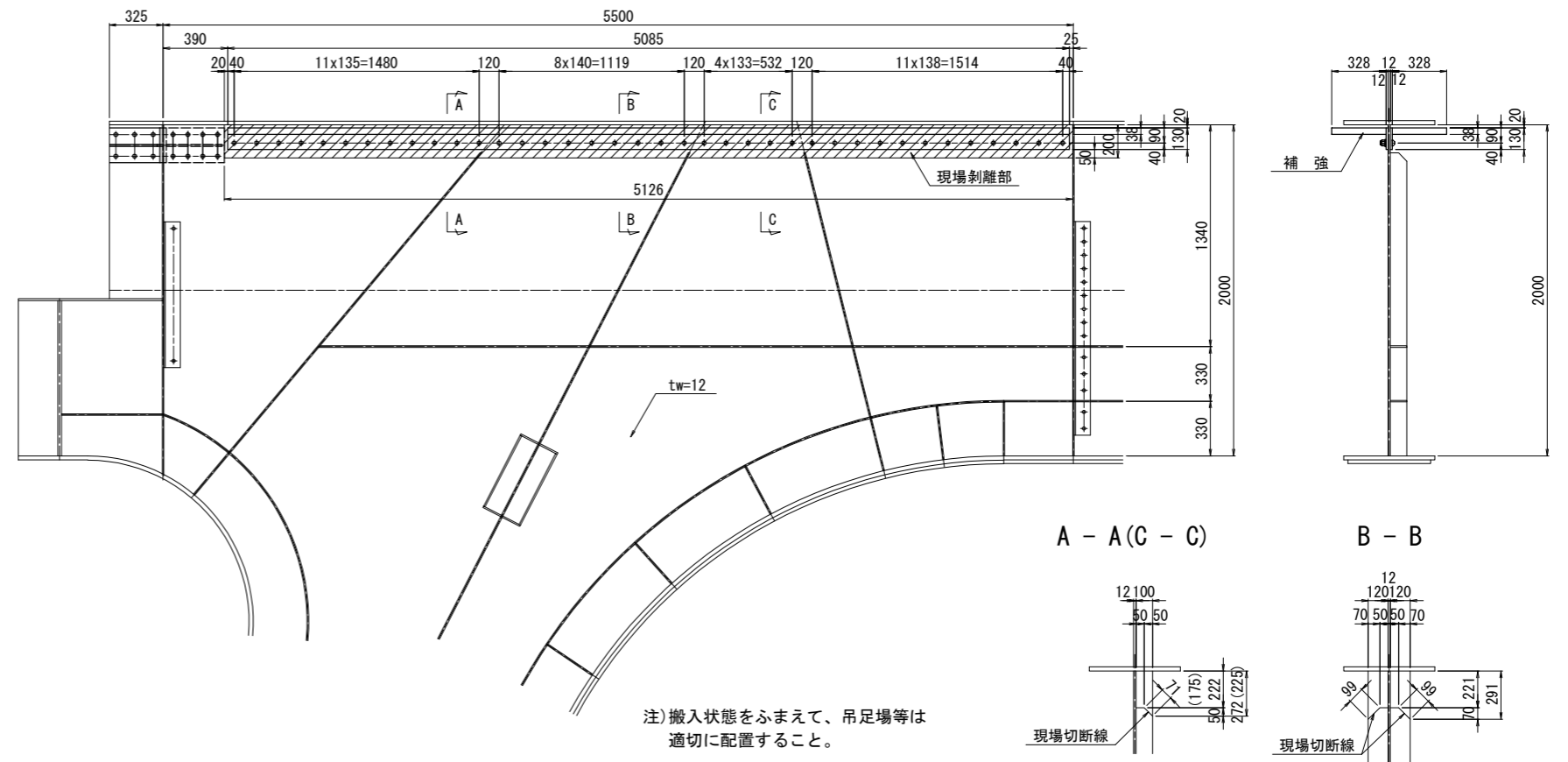
E - E



新規材料(製作数:2組)

2-PL 70x 9x 660 8-TCB M22 x 55 (S10T)

主桁補強(2) 詳細図 P1, P2中間支点上部



A - A (C - C)

B - B

注) 搬入状態をふまえて、吊足場等は適切に配置すること。

新規材料(製作数:4組) 撤去材料(箇所数:4組)

2-PL 328x38x5085 (SM400B) 1-PL 100x 9x 272

2-PL 130x12x5085 (SM400A) 2-PL 120x10x 291

38-TCB M22 x 75 (S10T) 1-PL 100x 9x 225

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. φ印は、TCB M22 (S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ (工場孔明け)
既設部材: 26.5φ (現場孔明け)とする。
 4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

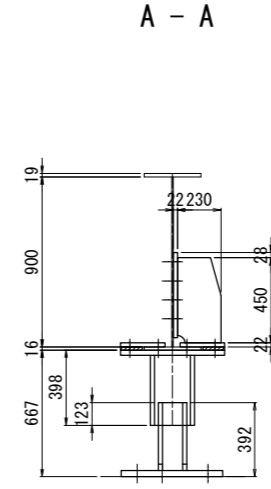
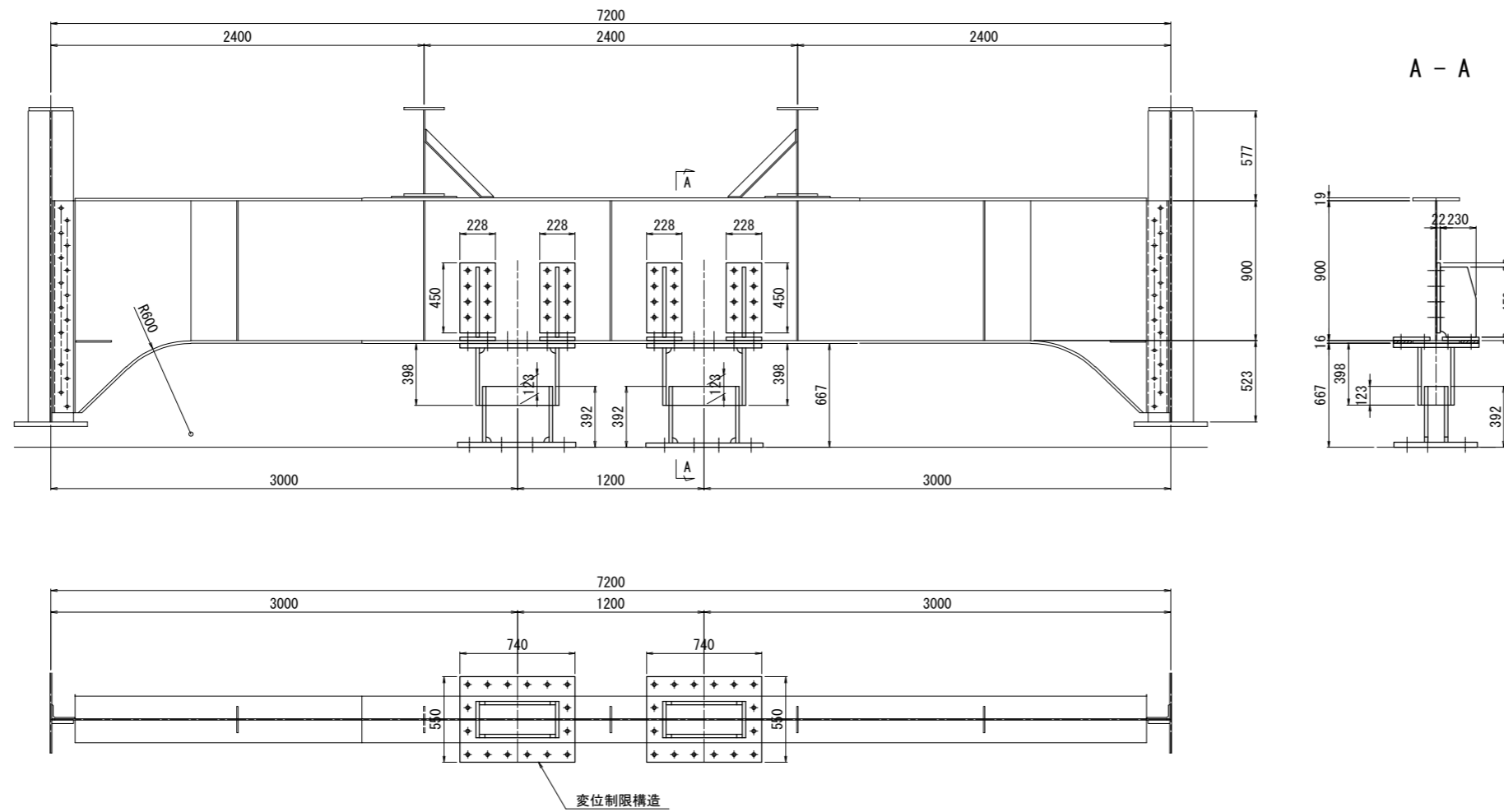
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 主桁・脚補強図		
縮尺	1:20	図面番号	18 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 横桁補強図(その1) S=1:20

変位制限構造撤去(1), (2) 詳細図

横桁①、⑱



- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. φ印は、TCB M22 (S10T) を示す。
尚、孔径は
新設部材：26.5φ (工場孔明け)
既設部材：26.5φ (現場孔明け) とする。
 4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

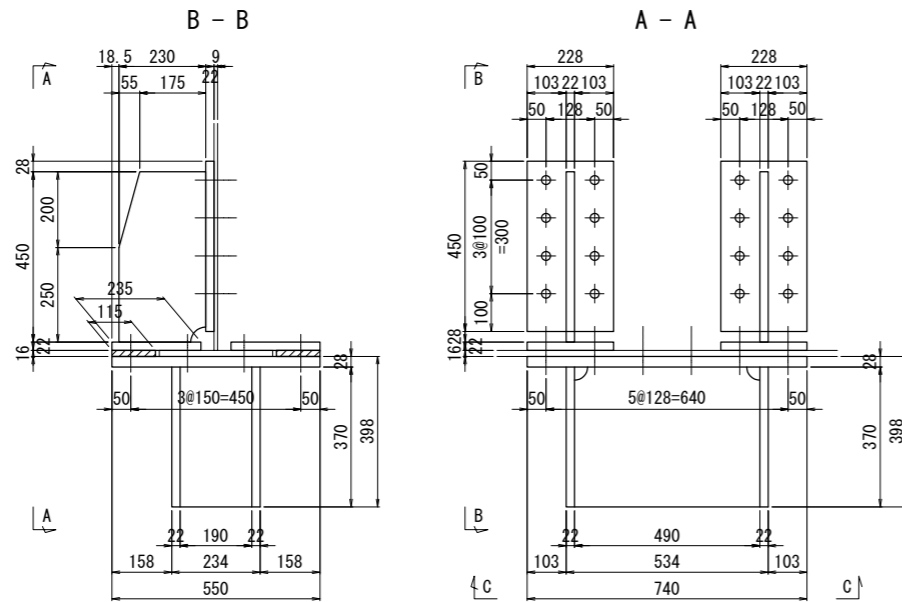
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 横桁補強図(その1)		
縮尺	1:20	図面番号	19 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 横桁補強図(その2) S=1:10

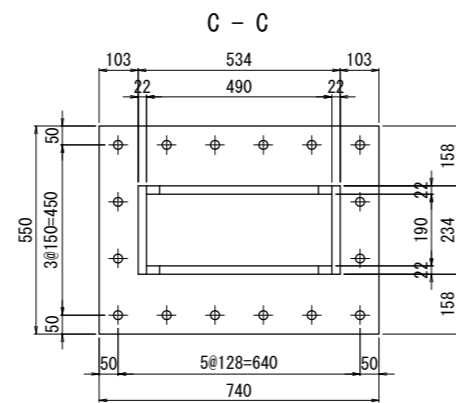
変位制限構造撤去(1) 構造図

上部構造ブラケット



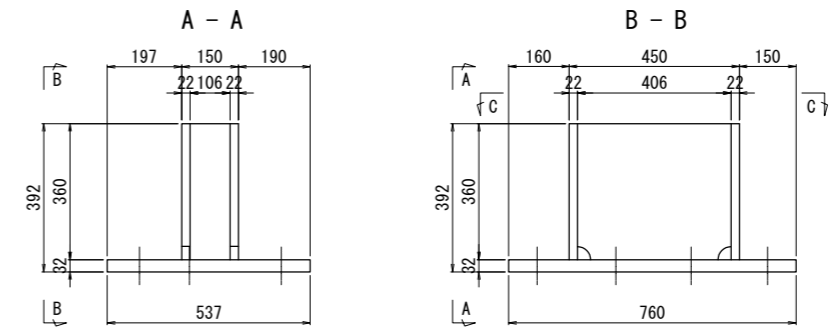
変位制限構造 上部構造ブラケット
撤去材料(箇所数:2組)

- 1-Base PL 740x28x 550 (SM400A)
- 2-Flg PL 370x22x 490 (SM400A)
- 2-Web PL 370x22x 234 (SM400A)
- 2-Fill PL 740x16x 115
- 4-Base PL 228x22x 235 (SM400A)
- 2-Base PL 228x22x 450 (SM400A)
- 2-Rib PL 230x22x 450 (SM400A)
- 12-HTB M22x115 (F8T) 2W付
- 4-HTB M22x 90 (F8T) 2W付
- 16-HTB M22x 75 (F8T) 2W付



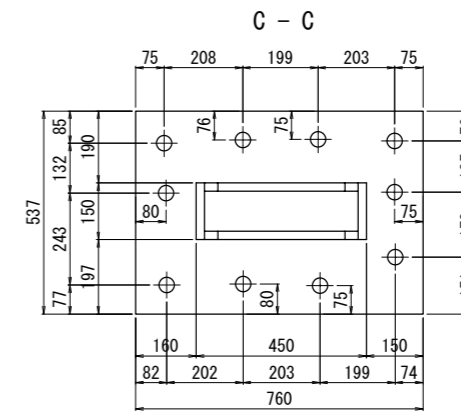
下部構造ブラケット

山側

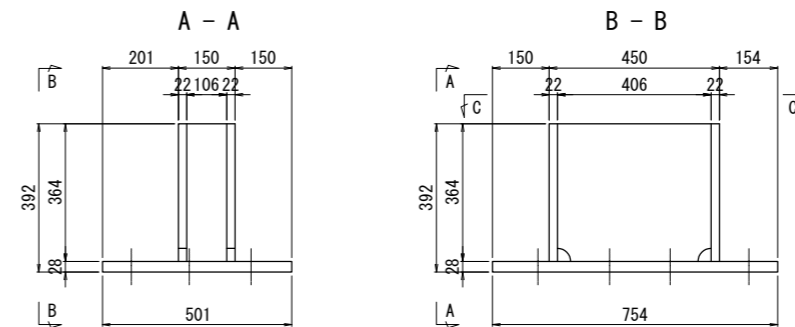


変位制限構造 下部構造ブラケット(山側)
撤去材料(箇所数:1組)

- 1-Base PL 760x32x 537 (SM400A)
- 2-Flg PL 360x22x 406 (SM400A)
- 2-Web PL 360x22x 150 (SM400A)
- 10-ナット・ワッシャー M33用<1種>
- 10-アンカーボルト D35×620 (SD345)

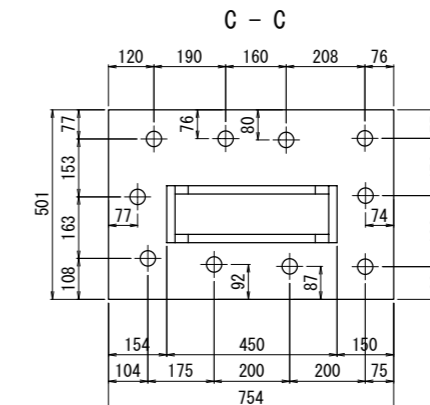


谷側



変位制限構造 下部構造ブラケット(谷側)
撤去材料(箇所数:1組)

- 1-Base PL 754x28x 501 (SM400A)
- 2-Flg PL 364x22x 406 (SM400A)
- 2-Web PL 364x22x 150 (SM400A)
- 10-ナット・ワッシャー M33用<1種>
- 10-アンカーボルト D35×620 (SD345)



- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. 施工・撤去は、現地実測値を反映し行うこと。

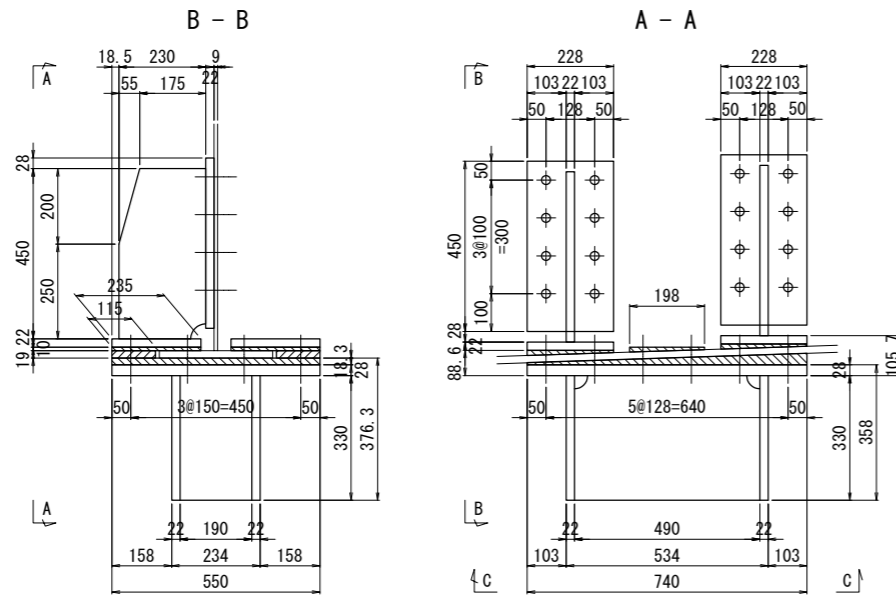
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 横桁補強図(その2)		
縮尺	1:10	図面番号	20 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 横桁補強図(その3) S=1:10

変位制限構造撤去(2) 構造図

上部構造ブラケット

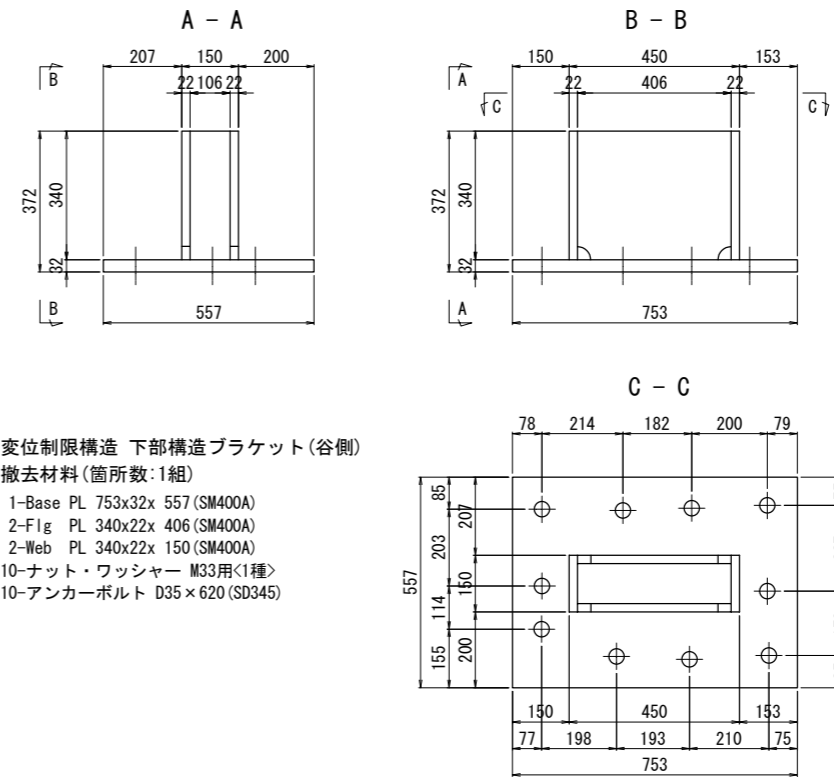


変位制限構造 上部構造ブラケット
撤去材料(箇所数:2組)

- 1-Base PL 740x28x 550 (SM400A)
- 2-Flg PL 330x22x 490 (SM400A)
- 2-Web PL 330x22x 234 (SM400A)
- 1-Fill PL 740x32x 550
- 4-Base PL 228x22x 235 (SM400A)
- 2-Base PL 228x22x 450 (SM400A)
- 2-Rib PL 230x22x 450 (SM400A)
- 2-Fill PL 740x19x 115
- 2-Fill PL 228x14x 235
- 2-Fill PL 198x13x 100
- 3-HTB M22x135 (F8T) 2W付
- 3-HTB M22x115 (F8T) 2W付
- 4-HTB M22x120 (F8T) 2W付
- 3-HTB M22x155 (F8T) 2W付
- 3-HTB M22x135 (F8T) 2W付
- 16-HTB M22x 75 (F8T) 2W付

下部構造ブラケット

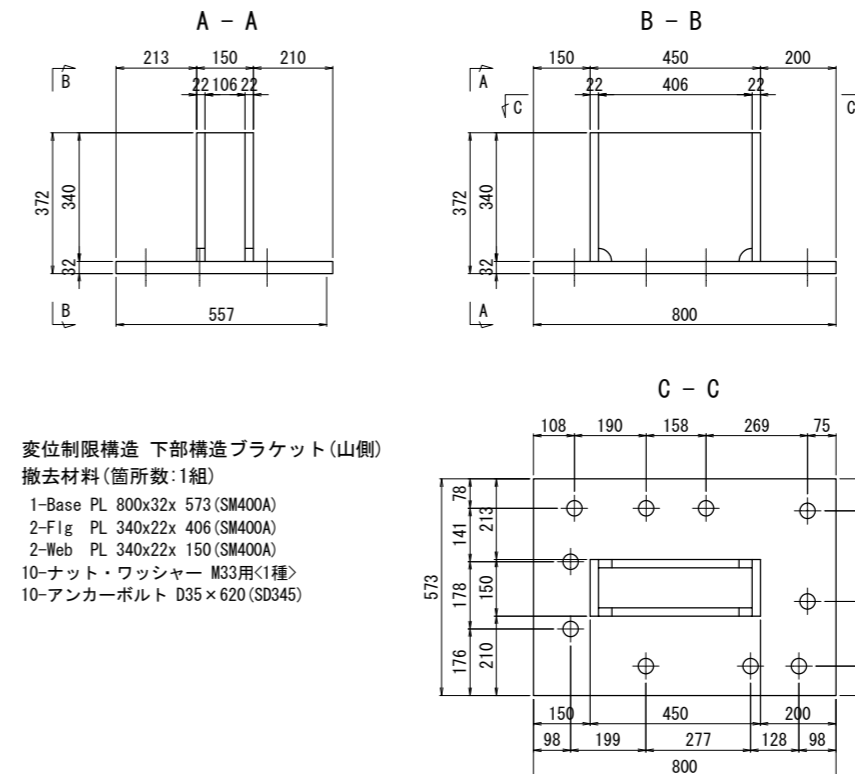
谷側



変位制限構造 下部構造ブラケット(谷側)
撤去材料(箇所数:1組)

- 1-Base PL 753x32x 557 (SM400A)
- 2-Flg PL 340x22x 406 (SM400A)
- 2-Web PL 340x22x 150 (SM400A)
- 10-ナット・ワッシャー M33用<1種>
- 10-アンカーボルト D35×620 (SD345)

山側



変位制限構造 下部構造ブラケット(山側)
撤去材料(箇所数:1組)

- 1-Base PL 800x32x 573 (SM400A)
- 2-Flg PL 340x22x 406 (SM400A)
- 2-Web PL 340x22x 150 (SM400A)
- 10-ナット・ワッシャー M33用<1種>
- 10-アンカーボルト D35×620 (SD345)

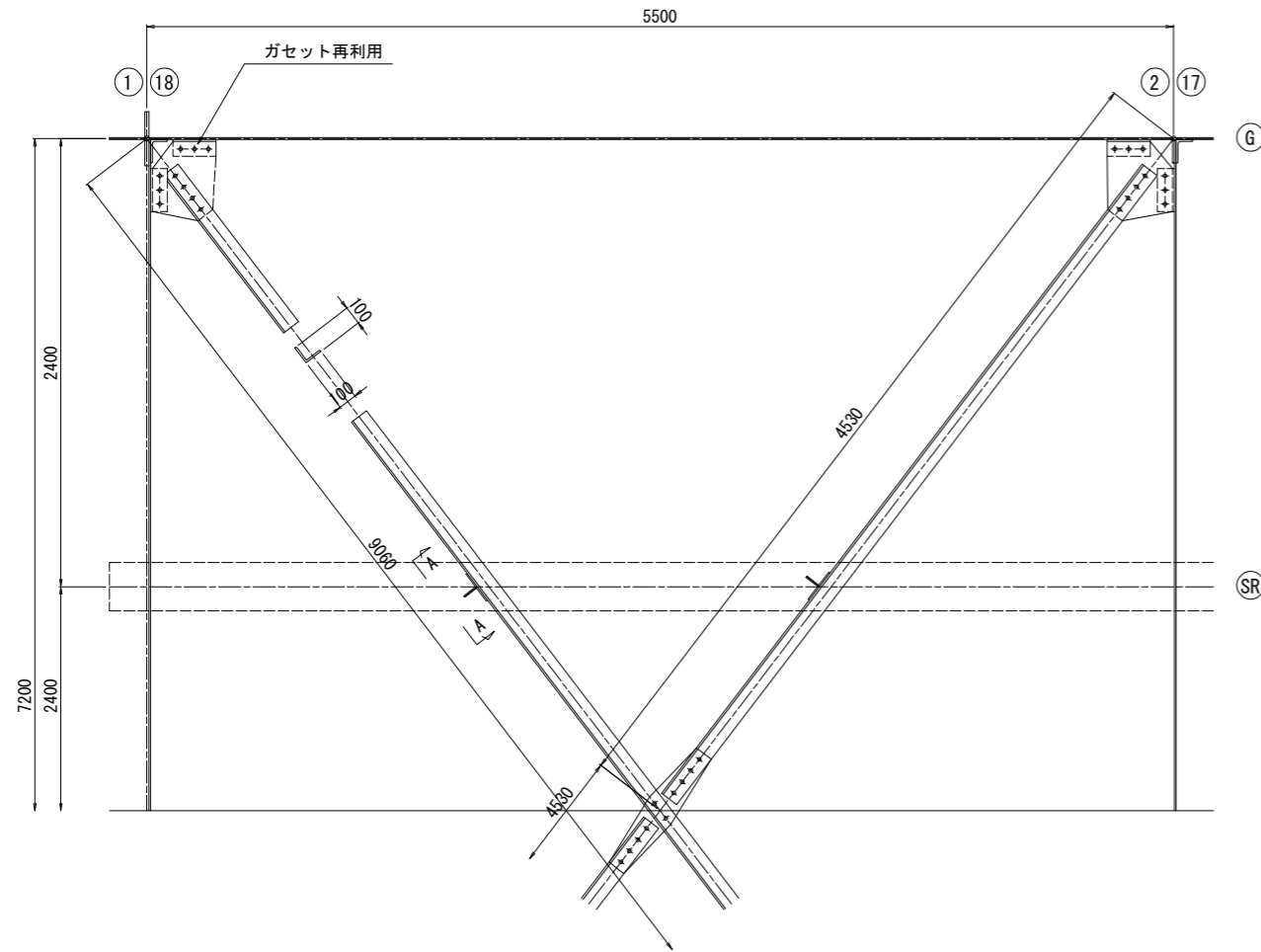
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. 施工・撤去は、現地実測値を反映し行うこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

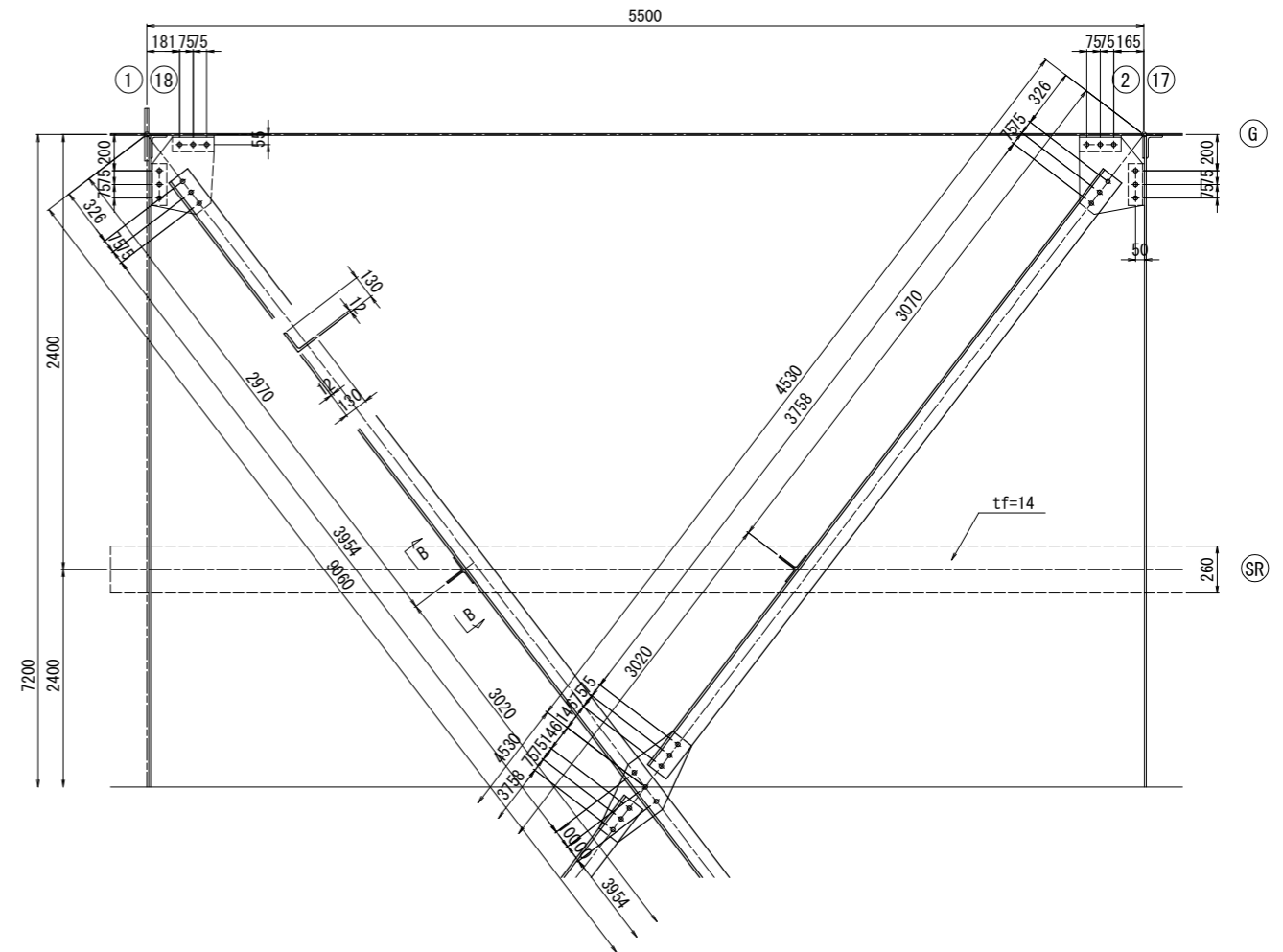
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 横桁補強図(その3)		
縮尺	1:10	図面番号	21 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 横構補強図 S=1:20

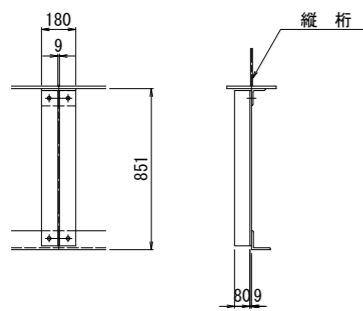
横構撤去(1) 詳細図



横構補強(1) 詳細図



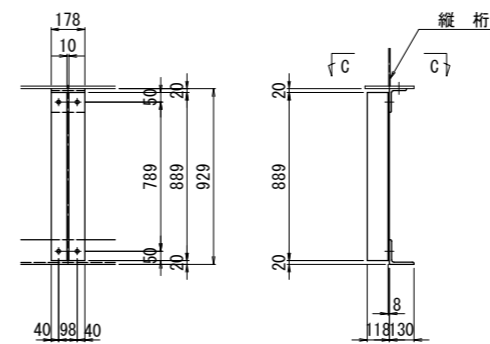
A - A



撤去材料(箇所数:2組)

- 1-L 100x100x10x8640
- 2-L 100x100x10x4240
- 1-PL 180x 9x 770
- 50-Rivet φ22
- 4-PL 180x 9x 851
- 4-PL 80x 9x 851
- 4-L 90x 75x 9x 180
- 16-Rivet φ22

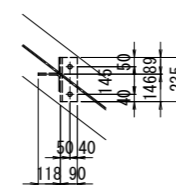
B - B



新規材料(製作数:2組)

- 1-L 130x130x12x8488
- 2-L 130x130x12x4138
- 1-PL 300x 9x 670
- 45-TCB M22 x 60 (S10T)
- 4-CT 118x178x10x 8x 889
- 4-L 125x 90x10x 235
- 16-TCB M22 x 55 (S10T)
- 8-TCB M22 x 60 (S10T)

C - C



- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 3. φ印は、TCB M22 (S10T)を示す。
- 尚、孔径は
 新設部材：26.5φ(工場孔明け)
 既設部材：26.5φ(現場孔明け)とする。
4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

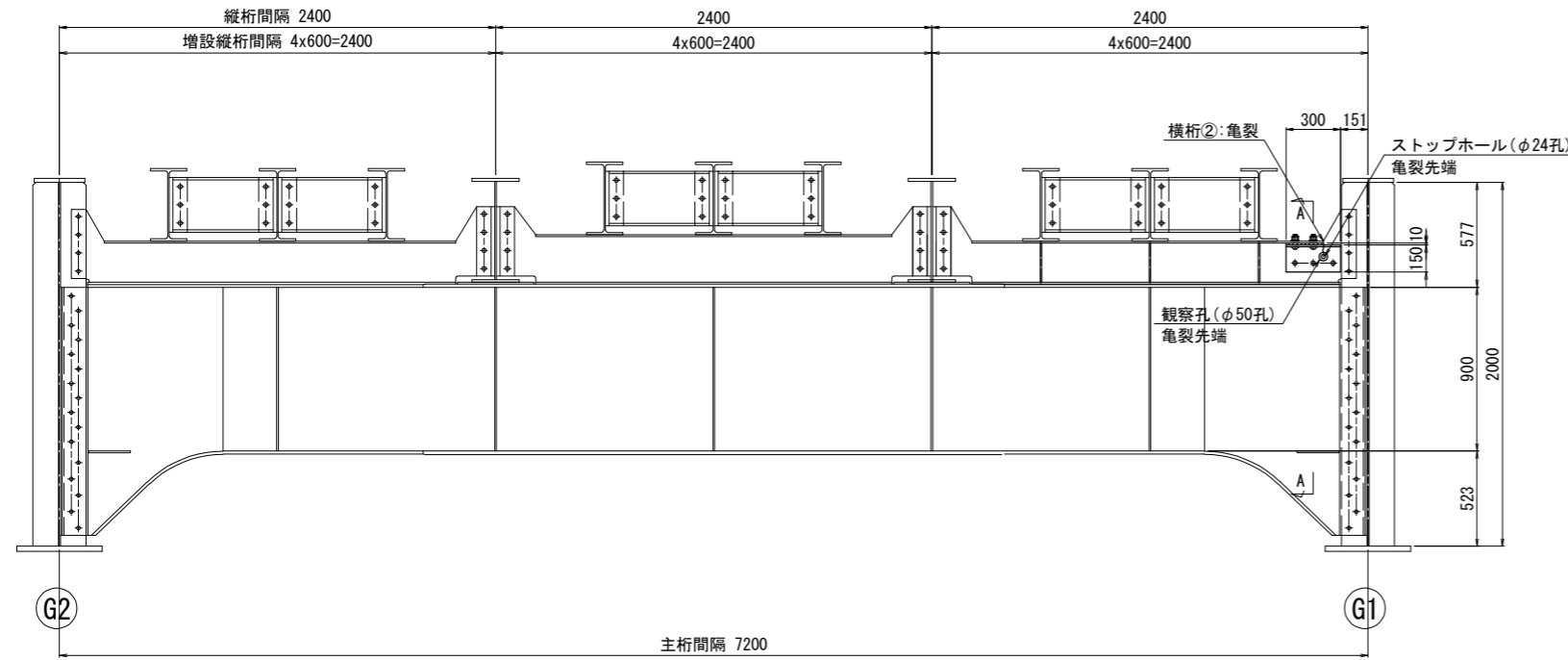
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 横構補強図		
縮尺	1:20	図面番号	23 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

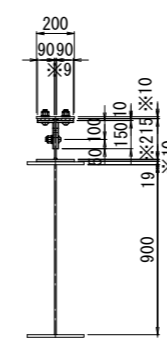
観音橋 横桁補修図(その1) S=1:20

横桁補強(2) 詳細図 補修番号:1-1径間横桁②

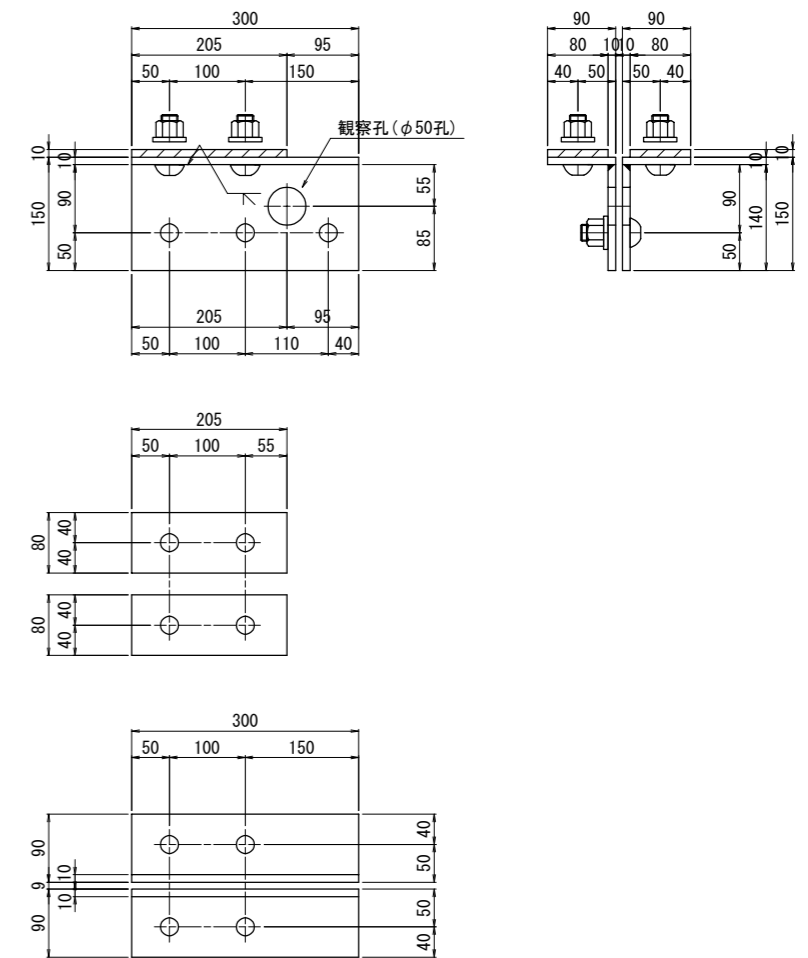
補修配置図



A - A



補修詳細図 S=1:5



- 新規材料(製作数:1組)
 2-PL 90x10x 300
 2-PL 140x10x 300
 2-Fill PL 80x10x 205(SS400)
 7-TCB M22 x 65(S10T)

- 注記
 1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. *印は、TCB M22(S10T)を示す。
 尚、孔径は
 新設部材: 26.5φ(工場孔明け)
 既設部材: 26.5φ(現場孔明け)とする。
 3. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

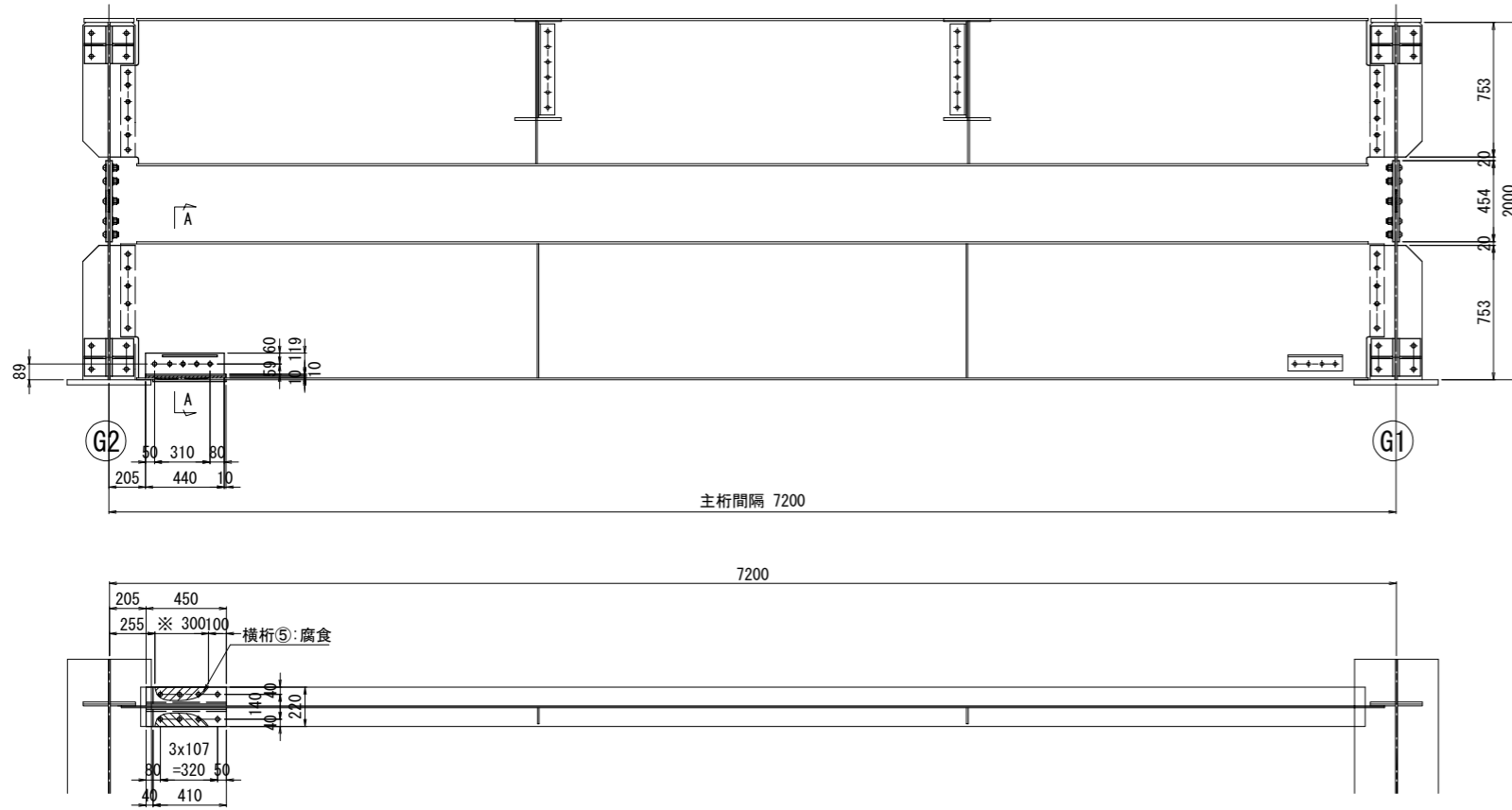
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 横桁補修図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	25 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

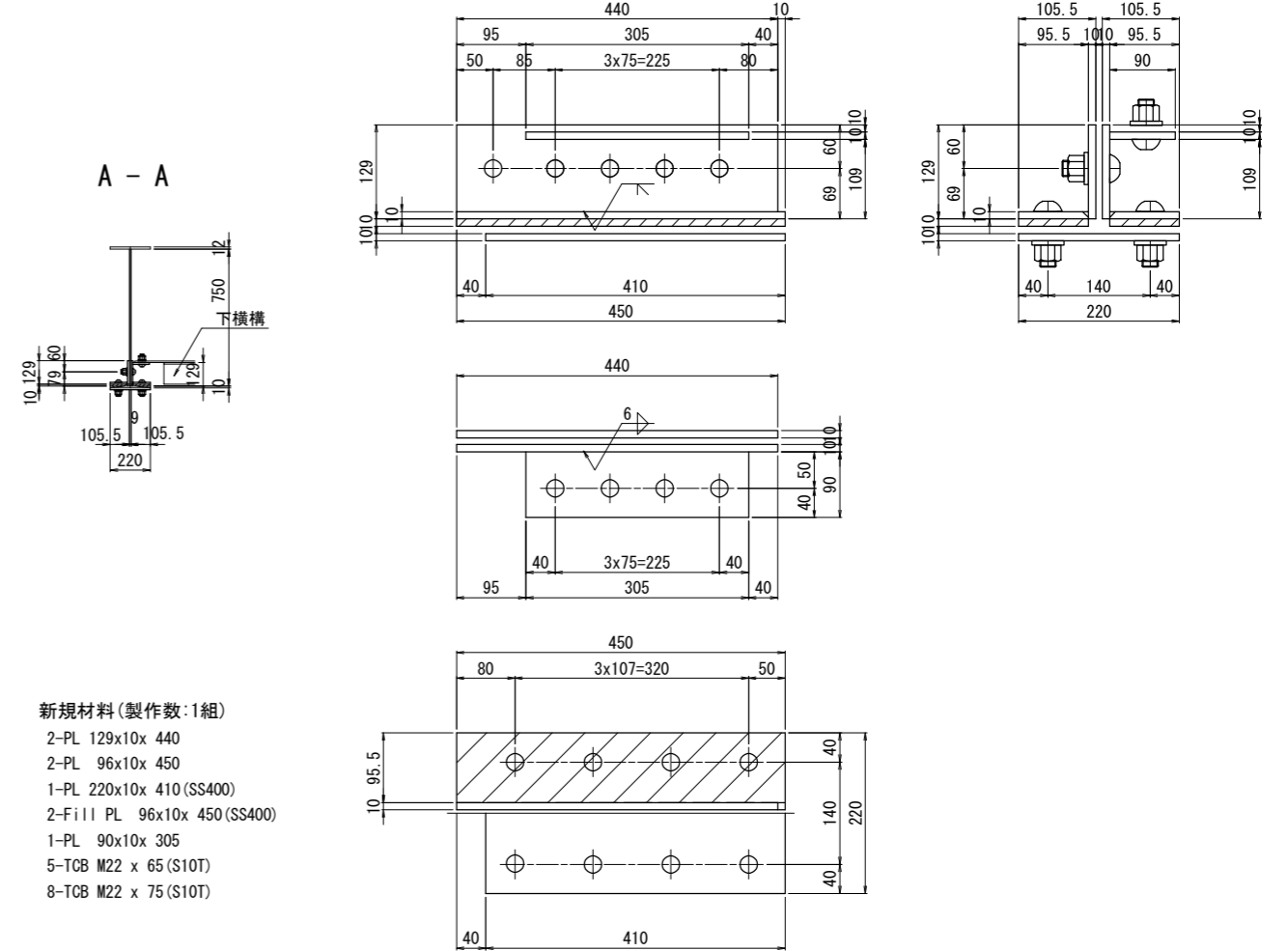
観音橋 横桁補修図(その2) S=1:20

横桁補強(3) 詳細図 補修番号:1-2径間横桁⑤

補修配置図



補修詳細図 S=1:5



- 新規材料(製作数:1組)
- 2-PL 129x10x 440
 - 2-PL 96x10x 450
 - 1-PL 220x10x 410 (SS400)
 - 2-Fill PL 96x10x 450 (SS400)
 - 1-PL 90x10x 305
 - 5-TCB M22 x 65 (S10T)
 - 8-TCB M22 x 75 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. †印は、TCB M22 (S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ (工場孔明け)
既設部材: 26.5φ (現場孔明け)とする。
 3. 補修には既設腐食箇所をハンマー、ディスクサンダー等で腐食した不安定浮き部材を撤去すること。
 4. 金属パテを腐食断面にへら等で塗り込み、既設断面を復旧成型すること。
 5. 金属パテが十分硬化後ディスクサンダー等で補修箇所を平滑に仕上げ、その後当板の取付け作業を行うこと。
 6. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 7. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

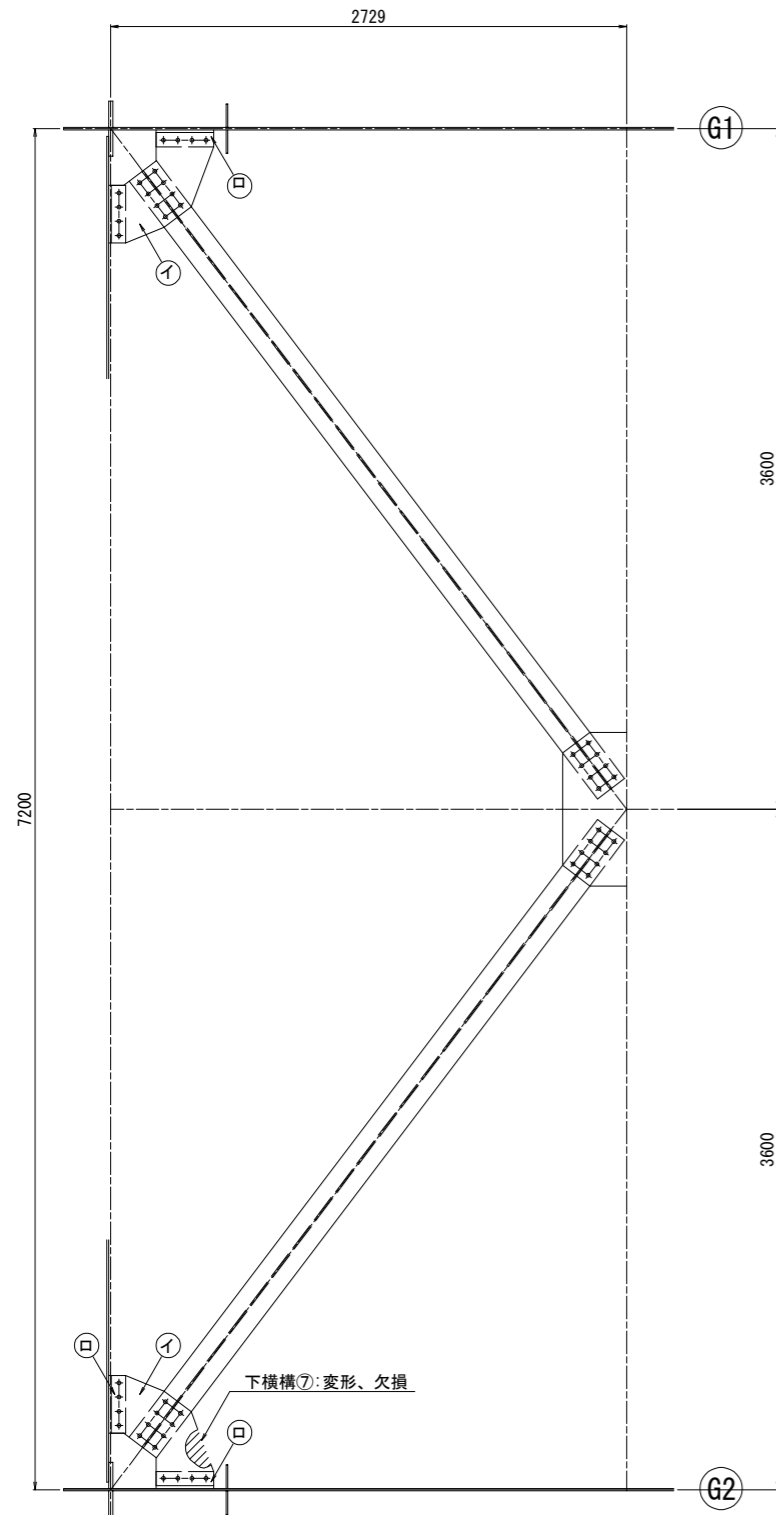
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 横桁補修図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	26 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

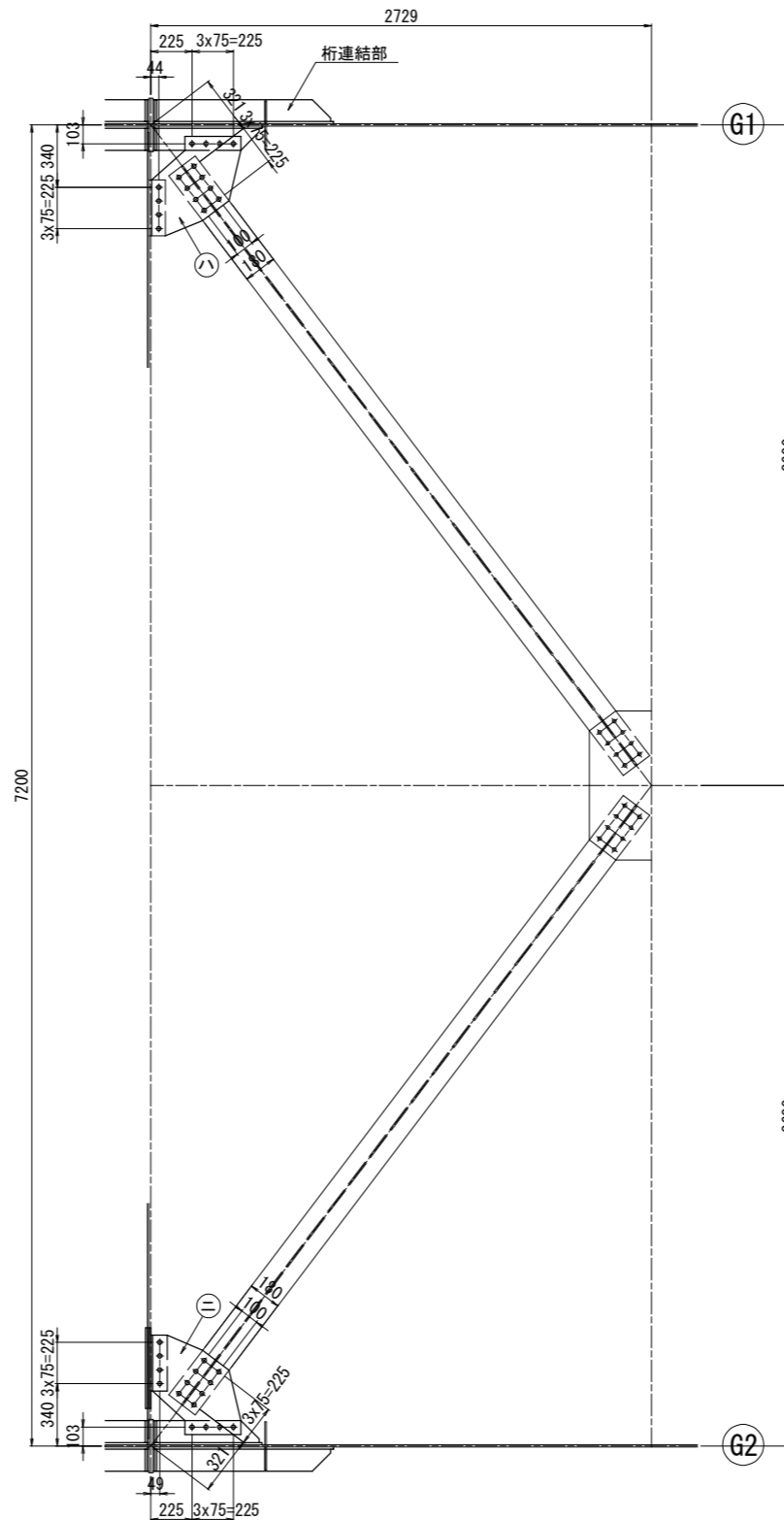
観音橋 下横構補修図 S=1:20

補修番号: 1-2径間下横構⑦

横構撤去(2) 詳細図



横構補強(2) 詳細図



撤去材料(製作数: 1組)
 ① 2-Guss PL 541x 9x584 (SS400)
 ② 3-L 90x90x10x305 (SS400)
 48-Rivet φ22

新規材料(製作数: 1組)
 ③ 1-Guss PL 490x 9x550 (SS400)
 ④ 1-Guss PL 490x 9x550 (SS400)
 32-TCB M22x 65 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 十字印は、TCB M22 (S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ (工場孔明け)
既設部材: 26.5φ (現場孔明け)とする。
 3. 高力ボルトが接触する範囲の塗装はケレンし剥離すること。
 4. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

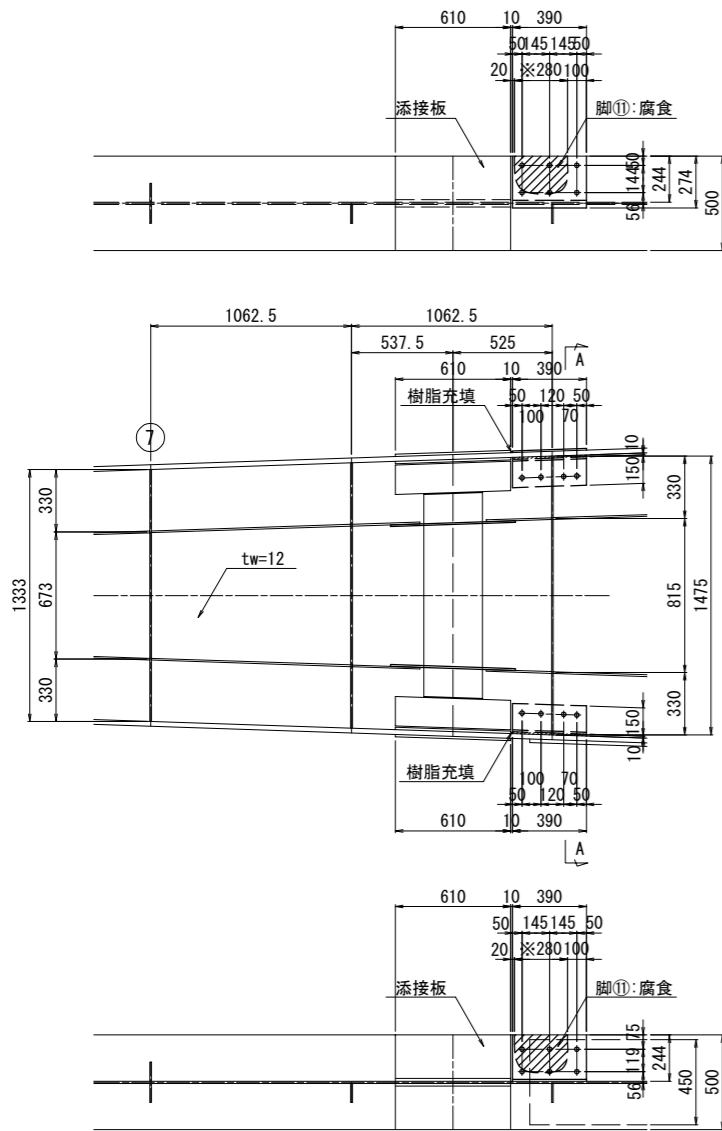
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 下横構補修図		
縮尺	1:20	図面番号	28 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 ラーメン脚補修図(その1) S=1:20

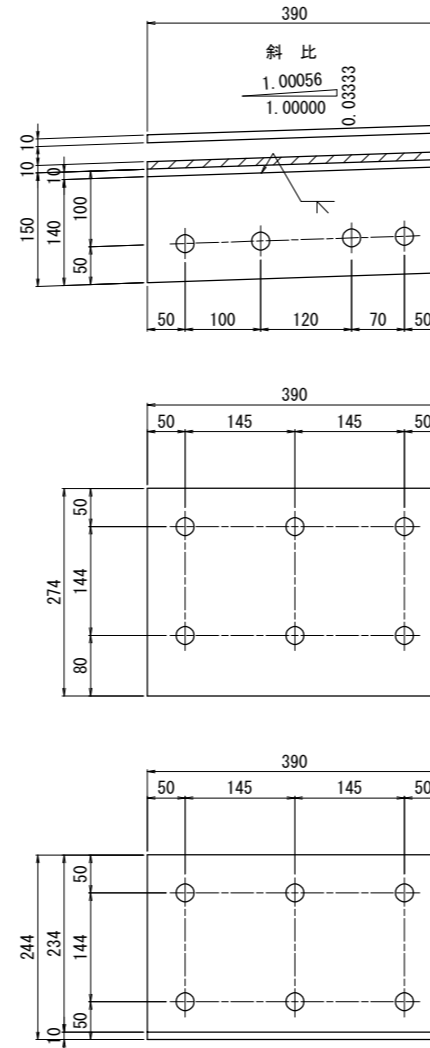
脚柱補強(2) 詳細図
補修番号:1-2径間脚①

ラーメン脚G1 補修配置図



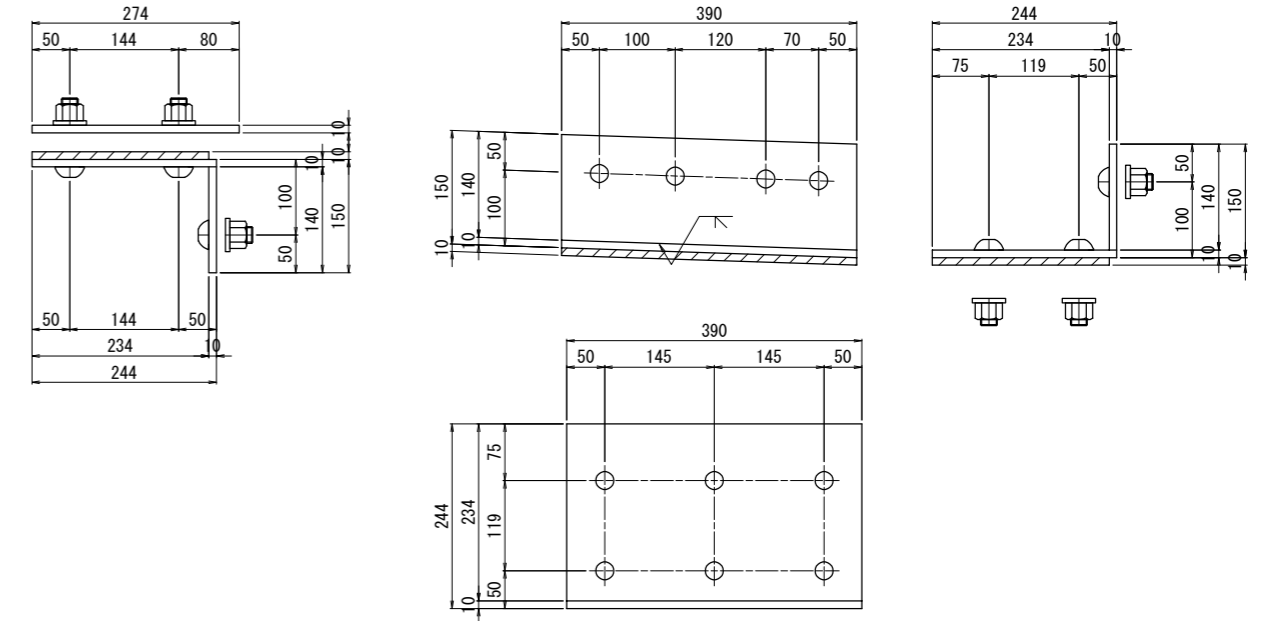
A - A

上フランジ



補修詳細図 S=1:5

下フランジ



新規材料(製作数:1組)

- 1-PL 153x10x 390
- 1-PL 244x10x 390
- 1-Fill PL 234x10x 390(SS400)
- 1-PL 274x10x 390(SS400)
- 4-TCB M22 x 60(S10T)
- 6-TCB M22 x 90(S10T)

新規材料(製作数:1組)

- 1-PL 153x10x 390
- 1-PL 244x10x 390
- 1-Fill PL 234x10x 390(SS400)
- 4-TCB M22 x 60(S10T)
- 2-TCB M22 x 80(S10T)
- 4-TCB M22 x100(S10T)

注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ♣印は、TCB M22(S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ(工場孔明け)
既設部材: 26.5φ(現場孔明け)とする。
3. 補修には既設腐食箇所をハンマー、ディスクサンダー等で腐食した不安定浮き部材を撤去すること。
4. 金属パテを腐食断面にへら等で塗り込み、既設断面を復旧成型すること。
5. 金属パテが十分硬化後ディスクサンダー等で補修箇所を平滑に仕上げ、その後当板の取付け作業を行うこと。
6. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
7. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

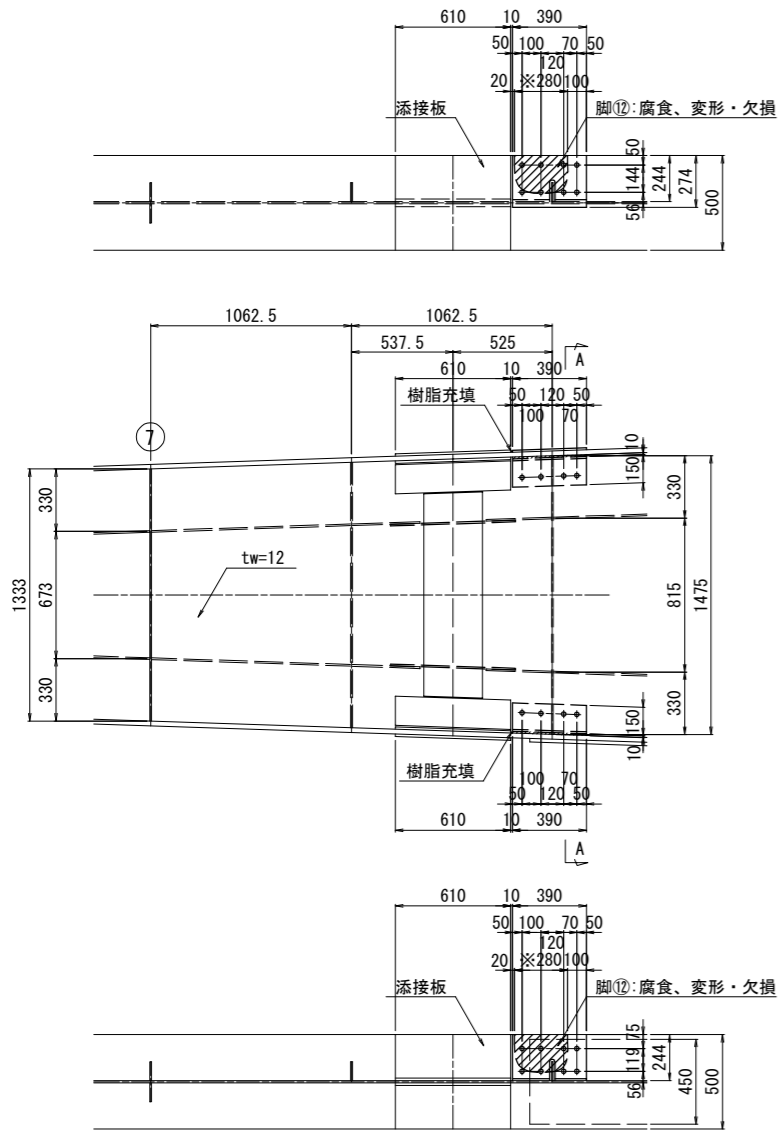
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ラーメン脚補修図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	29 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

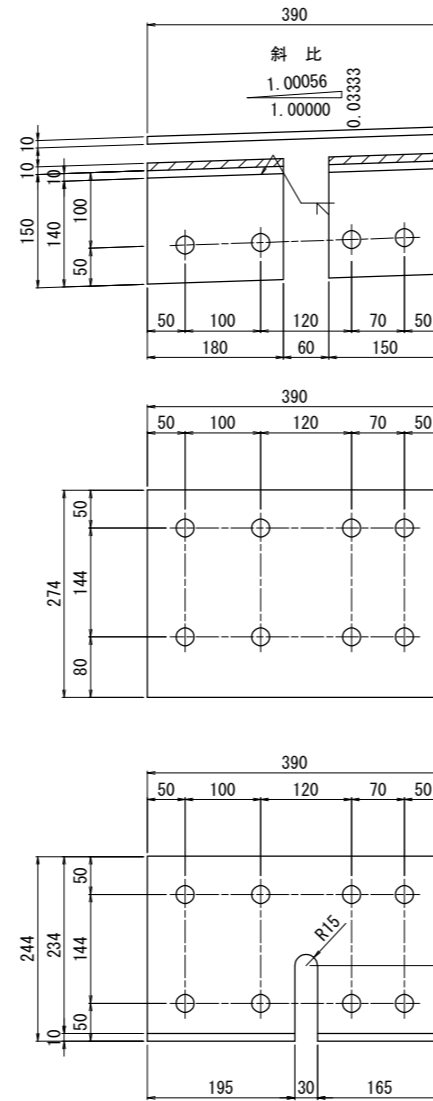
観音橋 ラーメン脚補修図(その2) S=1:20

脚柱補強(3) 詳細図
補修番号:1-2径間脚⑫

ラーメン脚G2 補修配置図

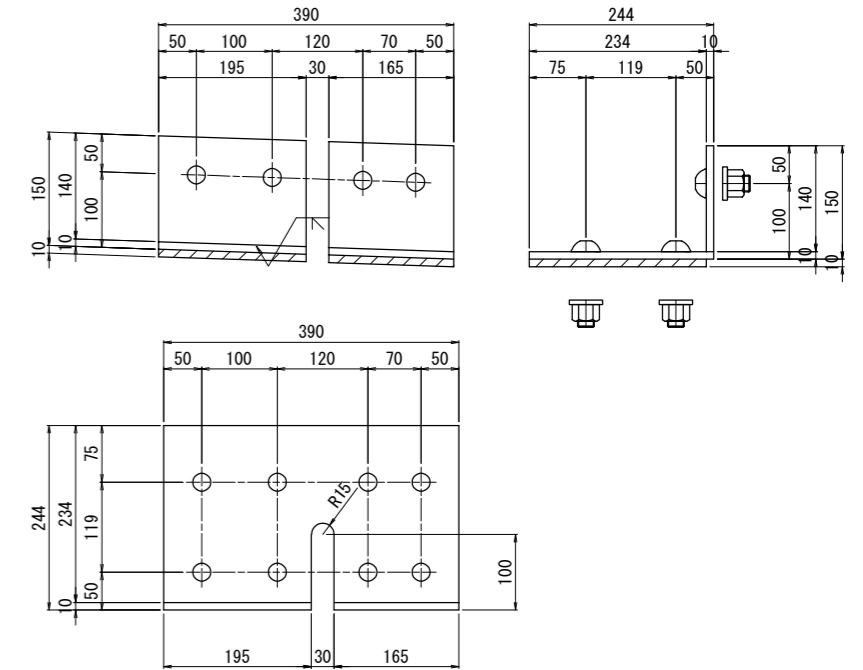


上フランジ



補修詳細図 S=1:5

下フランジ



新規材料(製作数:1組)

- 1-PL 147x10x 180
- 1-PL 146x10x 150
- 1-PL 244x10x 390
- 1-Fill PL 234x10x 390 (SS400)
- 1-PL 274x10x 390 (SS400)
- 4-TCB M22 x 60 (S10T)
- 2-TCB M22 x 80 (S10T)
- 8-TCB M22 x 90 (S10T)

新規材料(製作数:1組)

- 1-PL 147x10x 195
- 1-PL 146x10x 165
- 1-PL 244x10x 390
- 1-Fill PL 234x10x 390 (SS400)
- 4-TCB M22 x 60 (S10T)
- 2-TCB M22 x 80 (S10T)
- 6-TCB M22 x 100 (S10T)

注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. *印は、TCB M22 (S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ(工場孔明け)
既設部材: 26.5φ(現場孔明け)とする。
3. 補修には既設腐食箇所をハンマー、ディスクサンダー等で腐食した不安定浮き部材を撤去すること。
4. 金属パテを腐食断面にへら等で塗り込み、既設断面を復旧成型すること。
5. 金属パテが十分硬化後ディスクサンダー等で補修箇所を平滑に仕上げ、その後当板の取付け作業を行うこと。
6. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
7. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

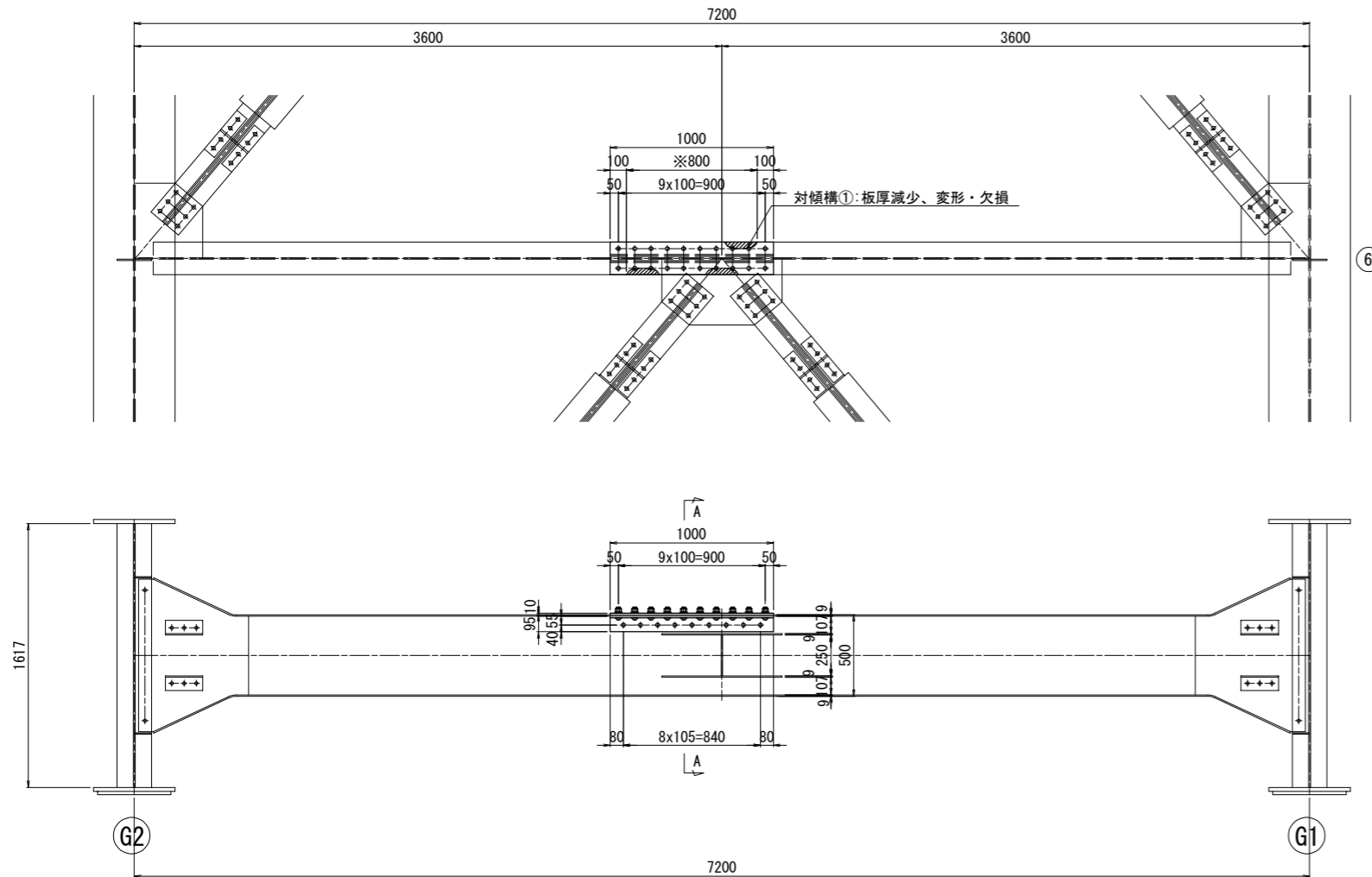
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ラーメン脚補修図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	30 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

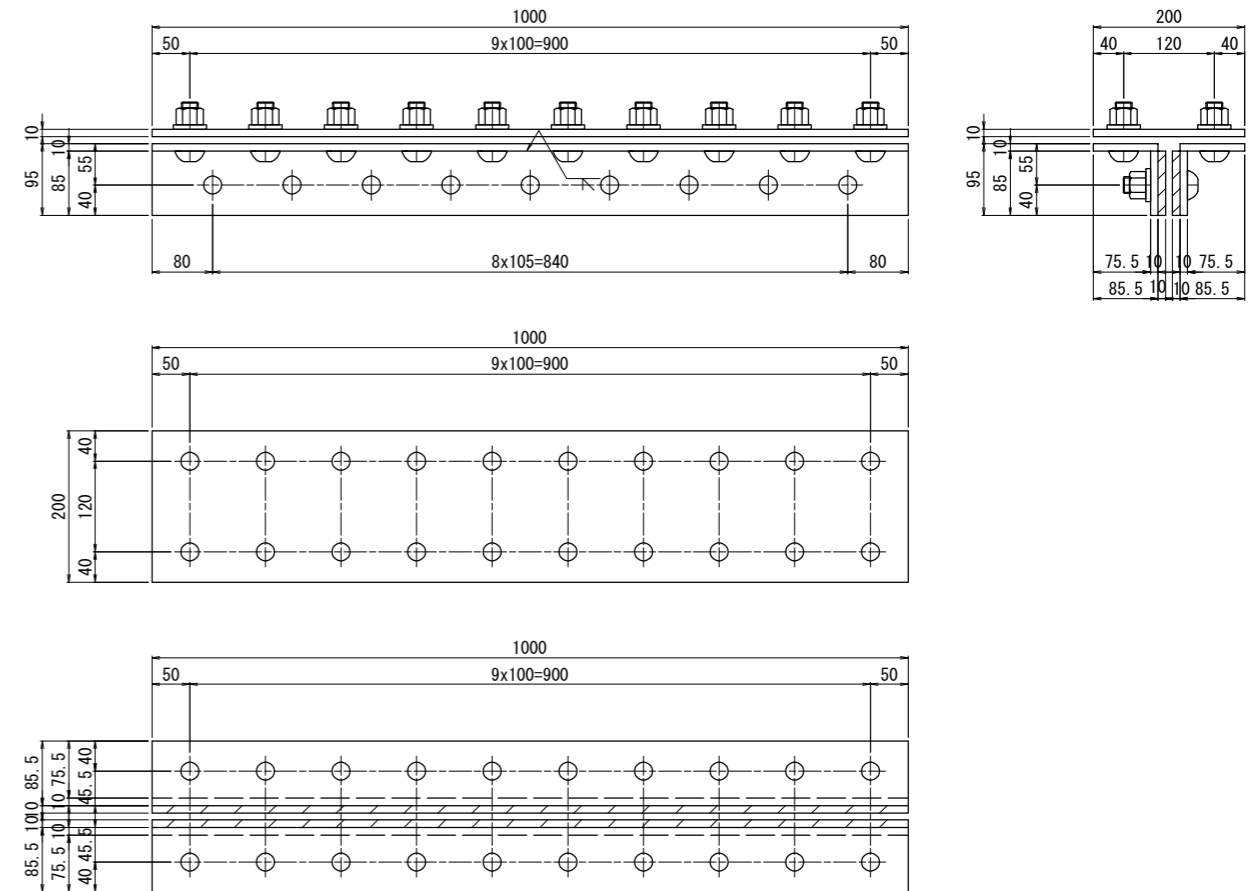
観音橋 ラーメン脚補修図(その3) S=1:20

対傾構補強 詳細図
補修番号:3-1径間対傾構①

ラーメン脚対傾構 補修配置図



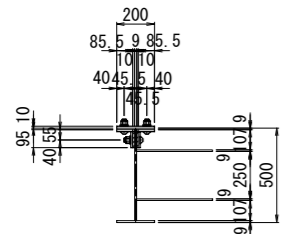
補修詳細図 S=1:5



- 新規材料 (製作数:1組)
- 2-PL 86x10x1000
 - 2-PL 85x10x1000
 - 2-Fill PL 85x10x1000 (SS400)
 - 1-PL 200x10x1000 (SS400)
 - 20-TCB M22 x 65 (S10T)
 - 9-TCB M22 x 85 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. *印は、TCB M22 (S10T)を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ (工場孔明け)
既設部材: 26.5φ (現場孔明け)とする。
 3. 補修には既設腐食箇所をハンマー、ディスクサンダー等で腐食した不安定浮き部材を撤去すること。
 4. 金属パテを腐食断面にへら等で塗り込み、既設断面を復旧成型すること。
 5. 金属パテが十分硬化後ディスクサンダー等で補修箇所を平滑に仕上げ、その後当板の取付け作業を行うこと。
 6. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 7. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

A - A



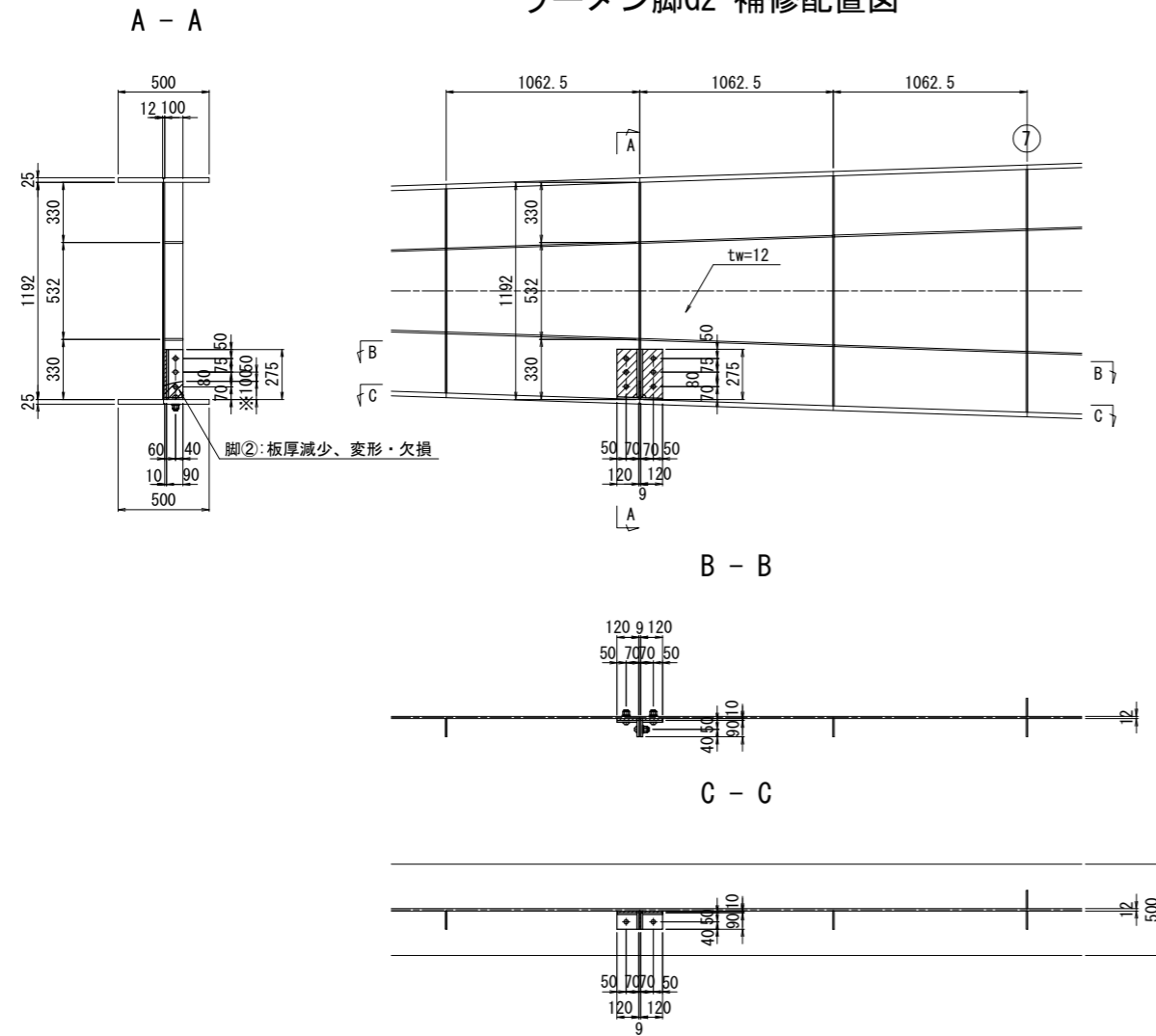
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ラーメン脚補修図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	31 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

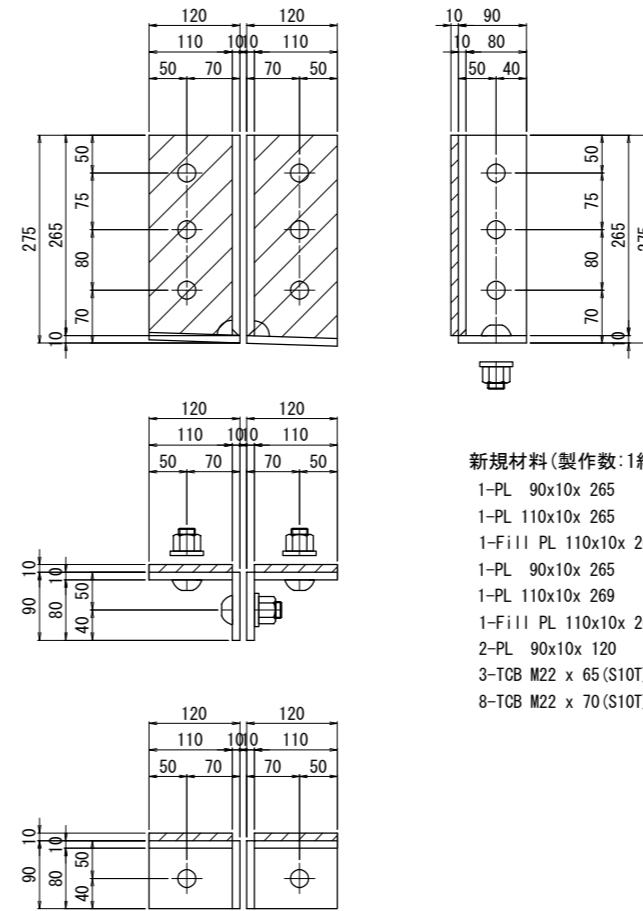
観音橋 ラーメン脚補修図(その4) S=1:20

脚柱補強(4) 詳細図
補修番号:3-1径間脚②

ラーメン脚G2 補修配置図



補修詳細図 S=1:5



新規材料(製作数:1組)

- 1-PL 90x10x 265
- 1-PL 110x10x 265
- 1-Fill PL 110x10x 265 (SS400)
- 1-PL 90x10x 265
- 1-PL 110x10x 269
- 1-Fill PL 110x10x 269 (SS400)
- 2-PL 90x10x 120
- 3-TCB M22 x 65 (S10T)
- 8-TCB M22 x 70 (S10T)

注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. †印は、TCB M22 (S10T) を示す。
尚、孔径は
新設部材: 26.5φ (工場孔明け)
既設部材: 26.5φ (現場孔明け)とする。
3. 補修には既設腐食箇所をハンマー、ディスクサンダー等で腐食した不安定浮き部材を撤去すること。
4. 金属パテを腐食断面にへら等で塗り込み、既設断面を復旧成型すること。
5. 金属パテが十分硬化後ディスクサンダー等で補修箇所を平滑に仕上げ、その後当板の取付け作業を行うこと。
6. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
7. 製作・施工は、現地実測値(※他)を反映し行うこと。

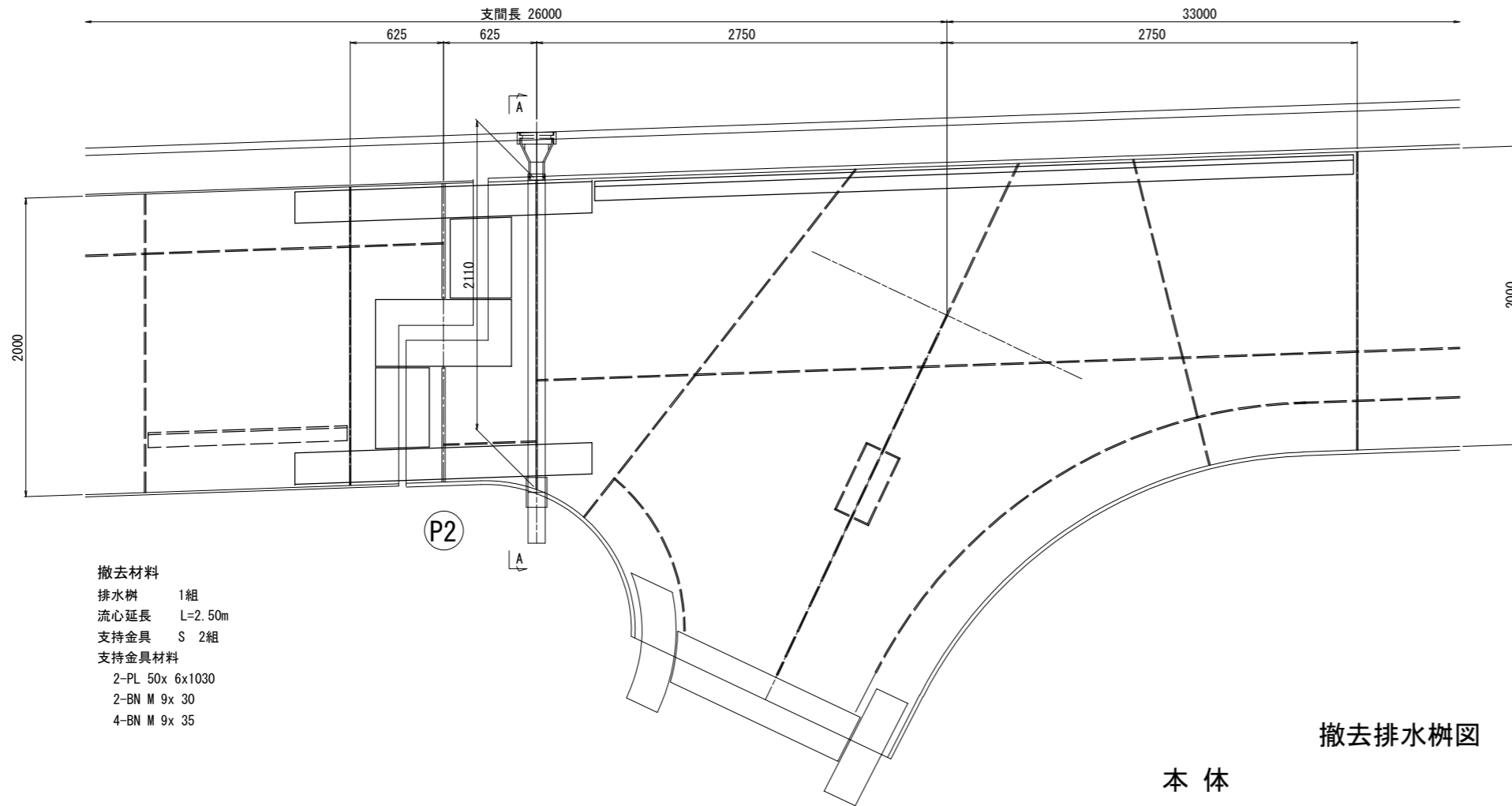
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ラーメン脚補修図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	32 / 44
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

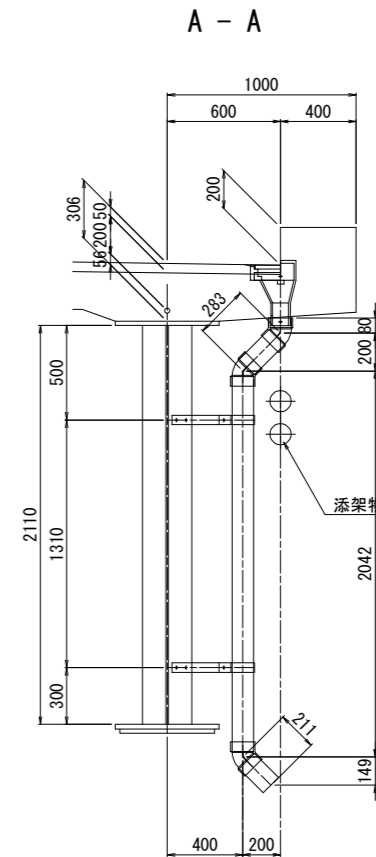
観音橋 排水装置補修図(その1) S=1:20

排水装置 撤去詳細図

P1脚G2側部



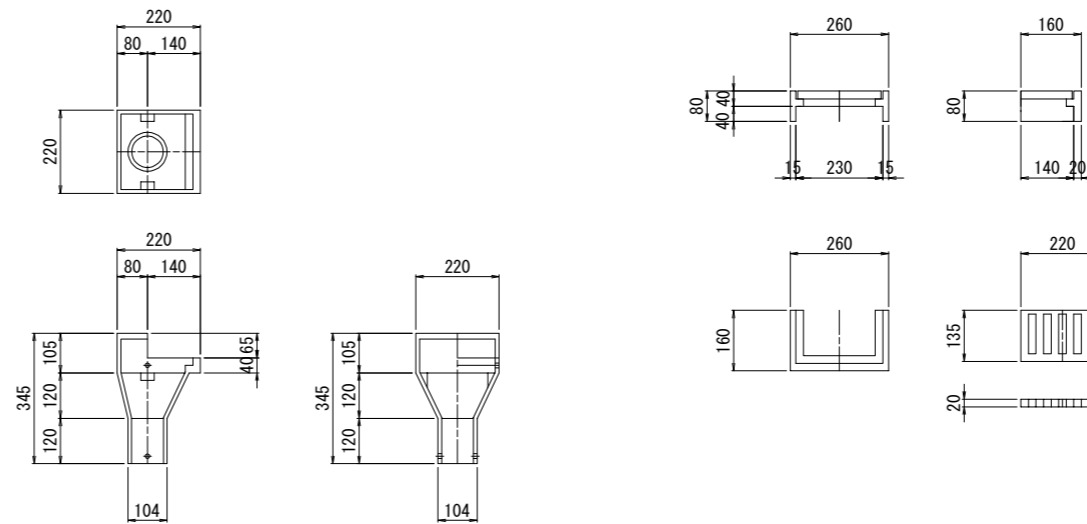
- 撤去材料
 排水柵 1組
 流心延長 L=2.50m
 支持金具 S 2組
 支持金具材料
 2-PL 50x 6x1030
 2-BN M 9x 30
 4-BN M 9x 35



撤去排水柵図 S=1:10

本体

スクリーン部改造



排水装置
 撤去材料(箇所数:1組)
 1-排水柵 120kg

注記
 1. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

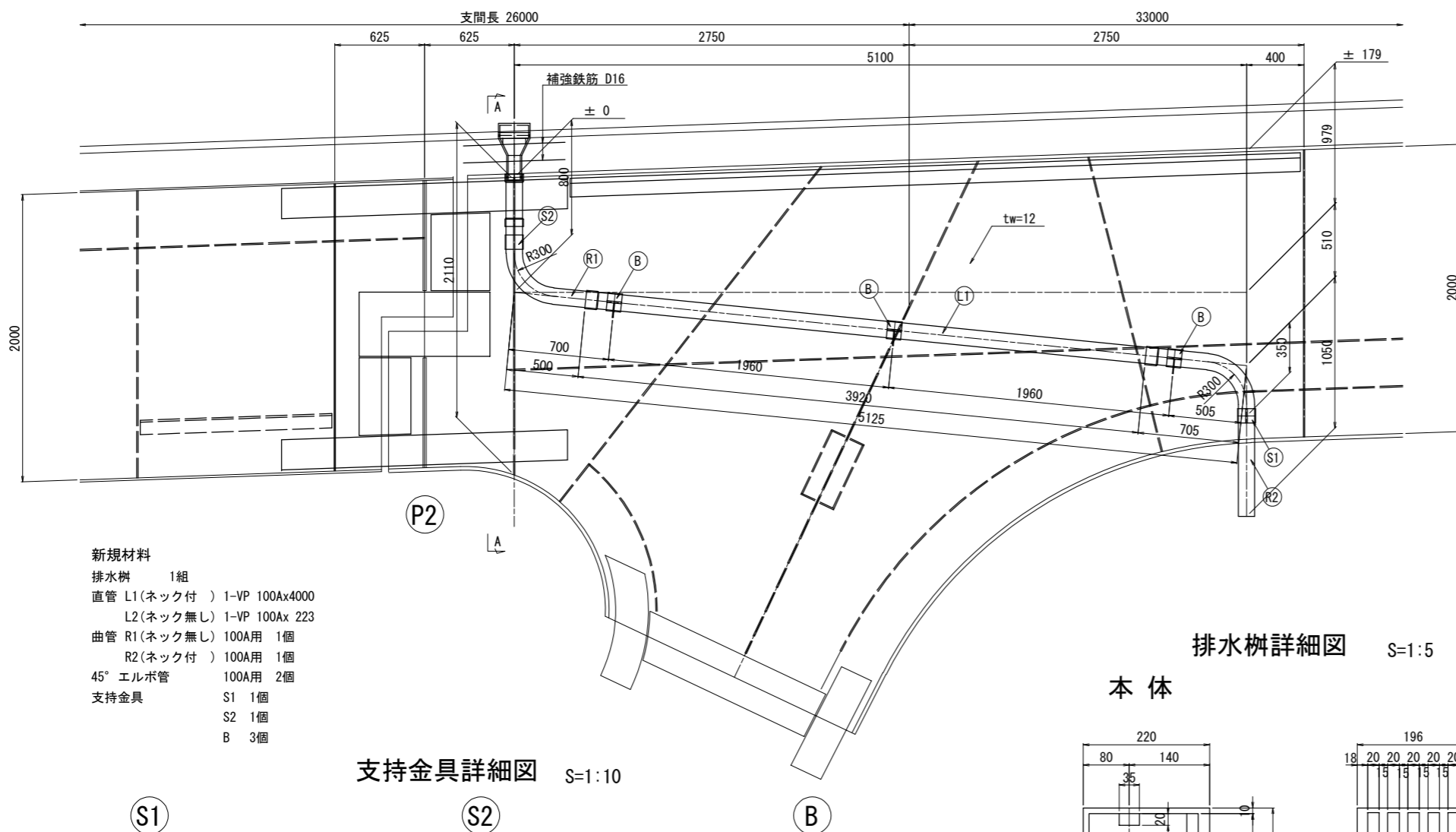
本図面は縮小図のため
 縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 排水装置補修図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	33 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

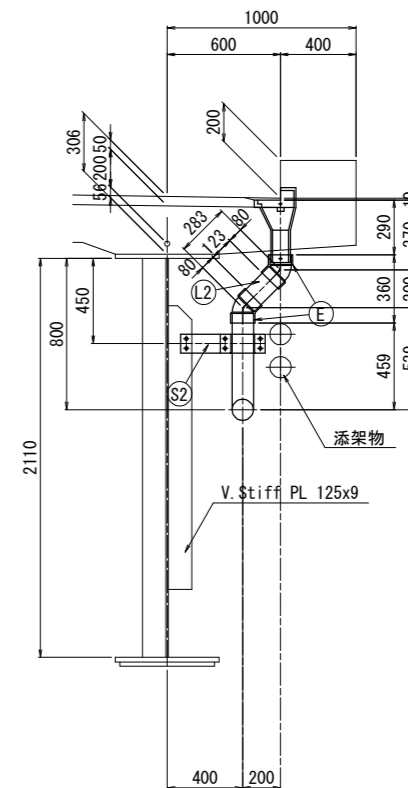
観音橋 排水装置補修図(その2) S=1:20

排水装置 詳細図

P2脚G2側部



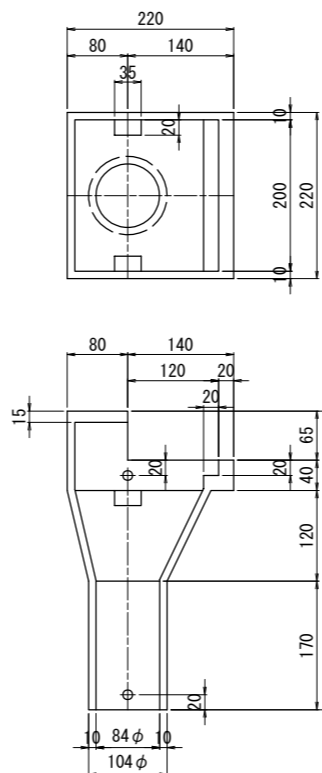
A - A



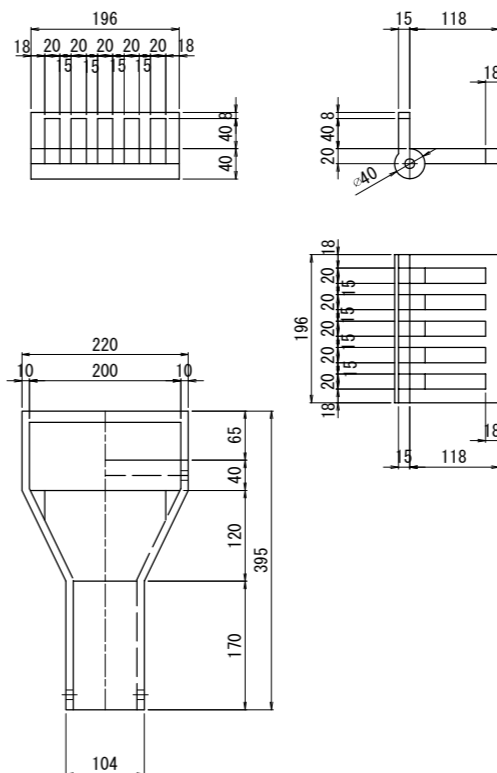
- 新規材料
 排水樹 1組
 直管 L1(ネック付) 1-VP 100Ax4000
 L2(ネック無し) 1-VP 100Ax 223
 曲管 R1(ネック無し) 100A用 1個
 R2(ネック付) 100A用 1個
 45° エルボ管 100A用 2個
 支持金具 S1 1個
 S2 1個
 B 3個

排水樹詳細図 S=1:5

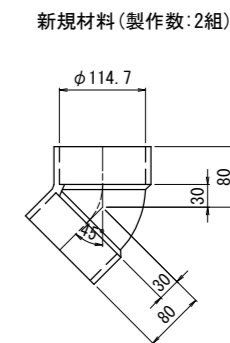
本体



スクリーン

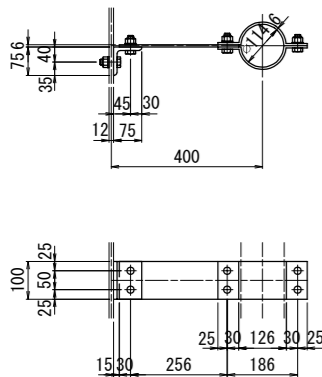


45° エルボ詳細図 S=1:5



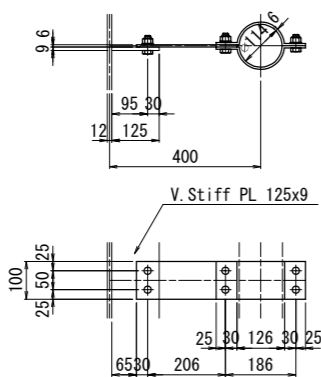
支持金具詳細図 S=1:10

S1



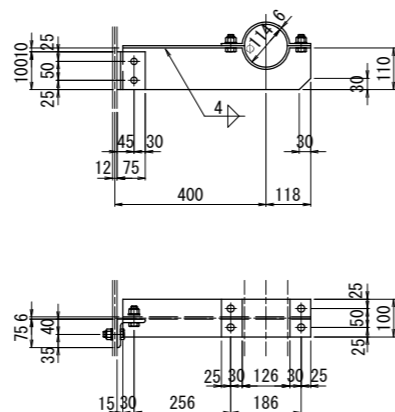
- 新規材料(製作数:1組)
 1-PL 100x 6x 316
 1-L 75x75x9x 100
 2-PL 100x 6x 282
 4-BN M16x 40(U. Nut, 1W)
 2-BN M16x 45(U. Nut, 1W)
 2-BN M16x 50(U. Nut, 1W)

S2



- 新規材料(製作数:1組)
 1-PL 100x 6x 266
 2-PL 100x 6x 282
 4-BN M16x 40(U. Nut, 1W)
 2-BN M16x 45(U. Nut, 1W)

B



- 新規材料(製作数:3組)
 1-PL 100x 6x 543(SM400A)
 1-PL 110x 6x 497(SM400A)
 1-PL 100x 6x 282
 6-BN M16x 40(U. Nut, 1W)
 2-BN M16x 50(U. Nut, 1W)

重量: 21kg (FC-150)

- 注記
 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 主構付部材は、主構と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 3. 製作・施工は、現地実測値を反映し行うこと。

本図面は縮小図のため
 縮尺は表示と異なります

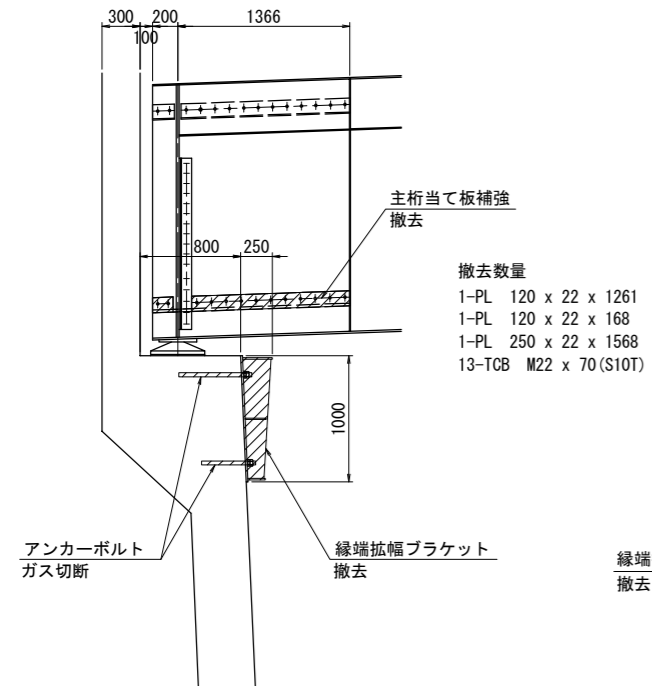
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 排水装置補修図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	34 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その1) S=1:30

A1橋台側 撤去図

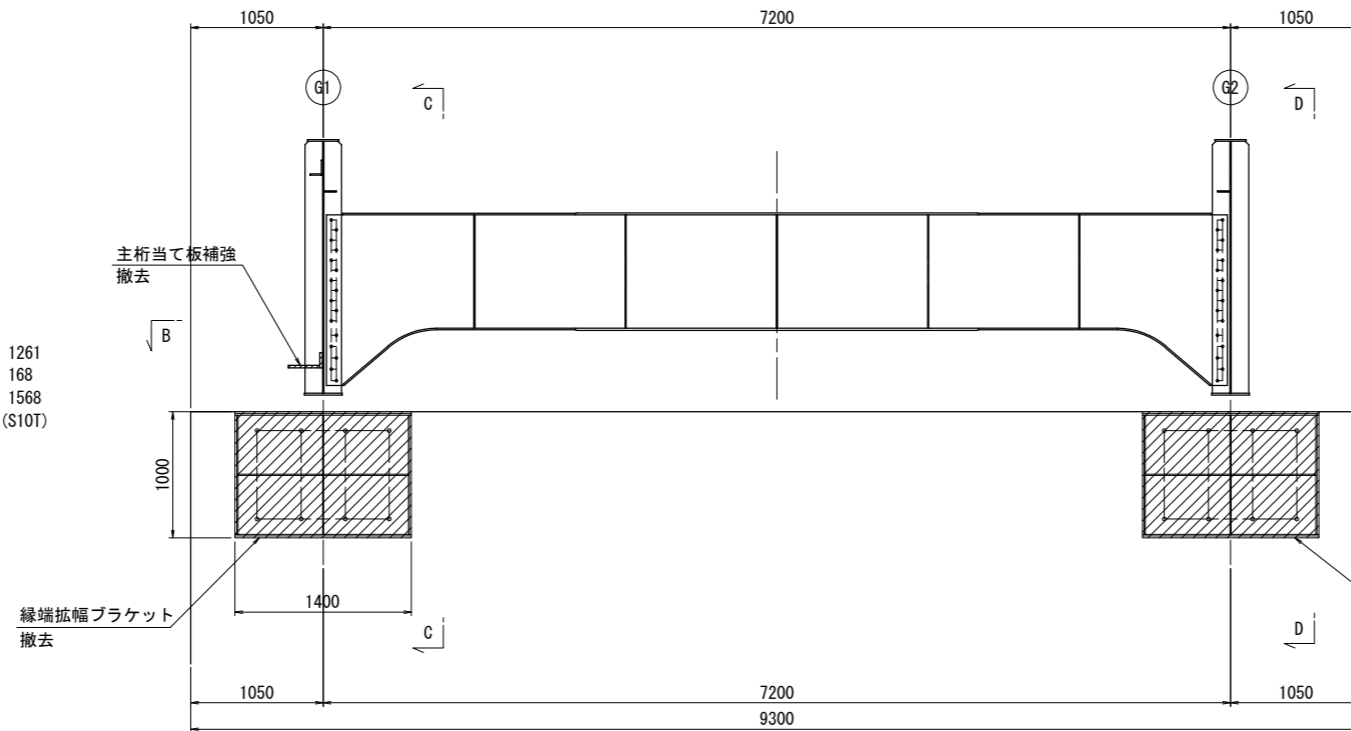
側面図

C - C



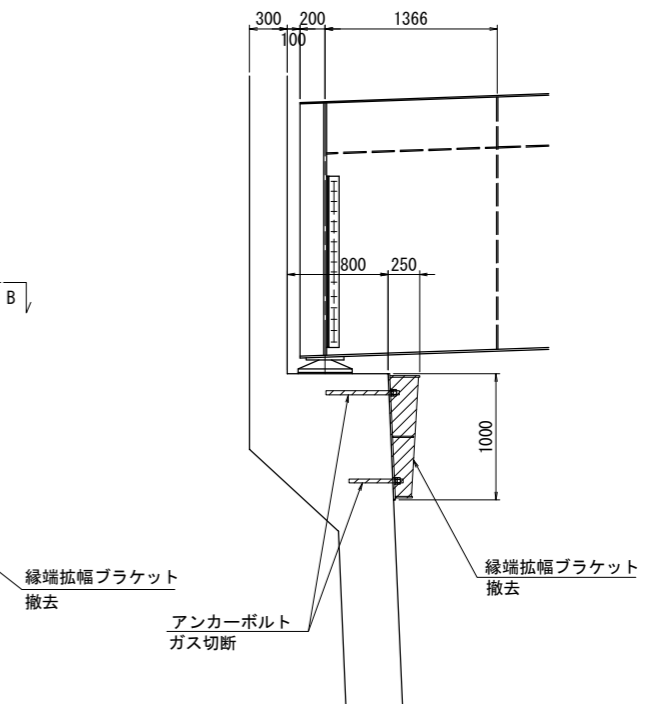
正面図

A - A



側面図

D - D



撤去数量

- 1-Fig PL 237 x 12 x 1400
- 1-Web PL 1000 x 13 x 1400
- 1-Fig PL 137 x 12 x 1400
- 3-PL 227 x 9 x 946
- 2-PL 167 x 9 x 672
- 4-DB D32 x 580 (SD345)
- 4-DB D32 x 430 (SD345)
- 8-NUT M30 (1種)
- 8-NUT M30 (3種)
- 8-WASHER M30

※アンカーボルトは切断後、残置する。

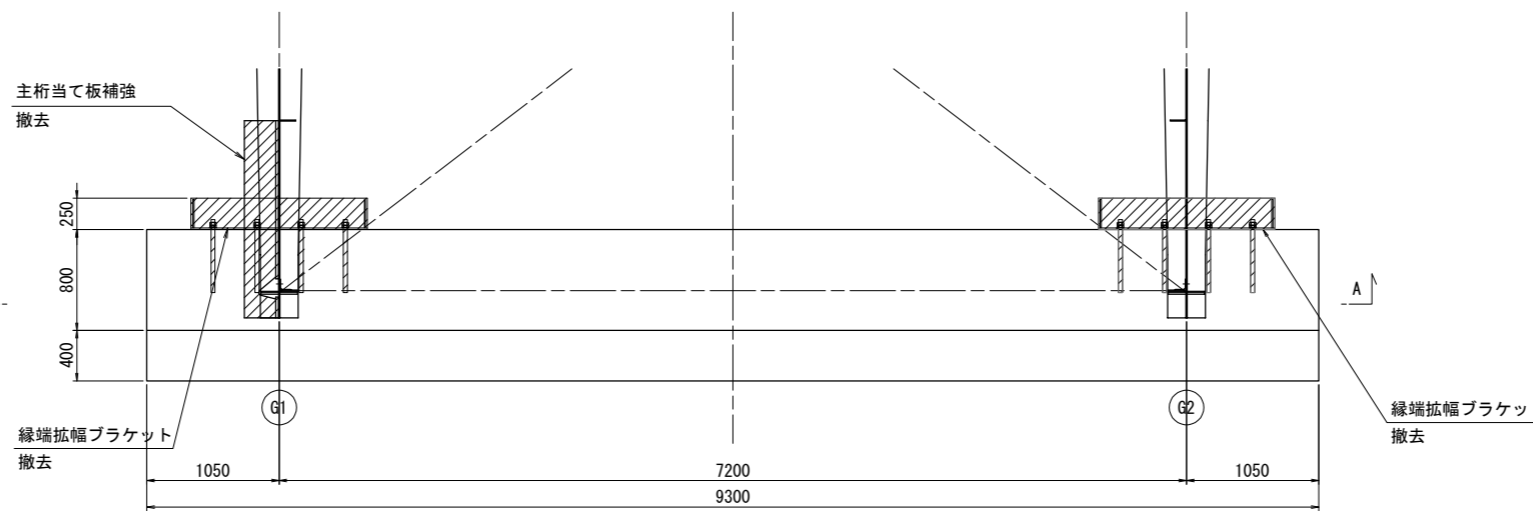
撤去数量

- 1-Fig PL 237 x 12 x 1400
- 1-Web PL 1000 x 13 x 1400
- 1-Fig PL 137 x 12 x 1400
- 3-PL 227 x 9 x 946
- 2-PL 167 x 9 x 672
- 4-DB D32 x 580 (SD345)
- 4-DB D32 x 430 (SD345)
- 8-NUT M30 (1種)
- 8-NUT M30 (3種)
- 8-WASHER M30

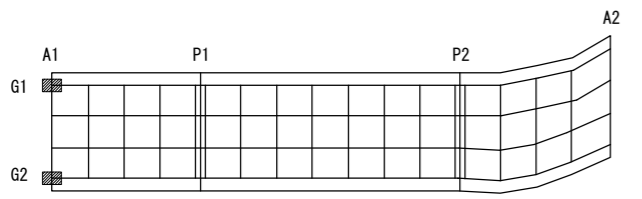
※アンカーボルトは切断後、残置する。

平面図

B - B



配置図



注記

1. 制作、施工にあたって現地実測の上行うこと。
2. 本図の寸法、数量は竣工図をもとに復元したものである。
3. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、削孔位置を決定すること。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

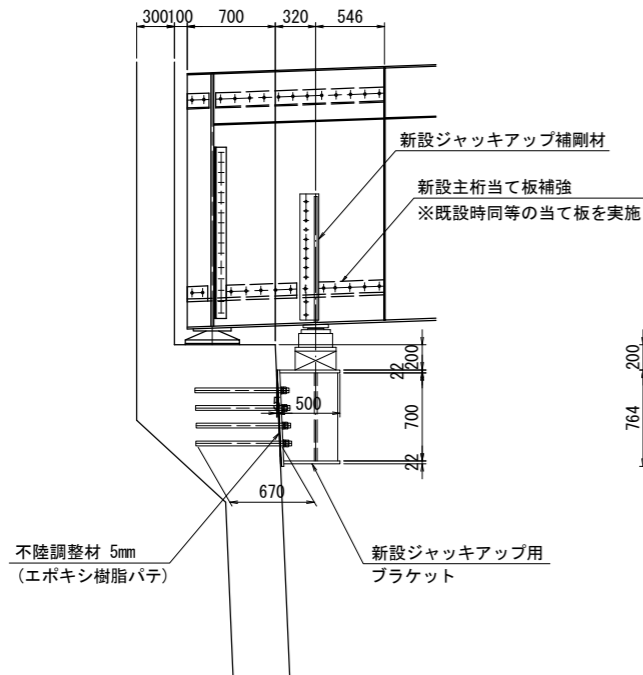
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その1)		
縮尺	1:30	図面番号	35 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その2) S=1:30

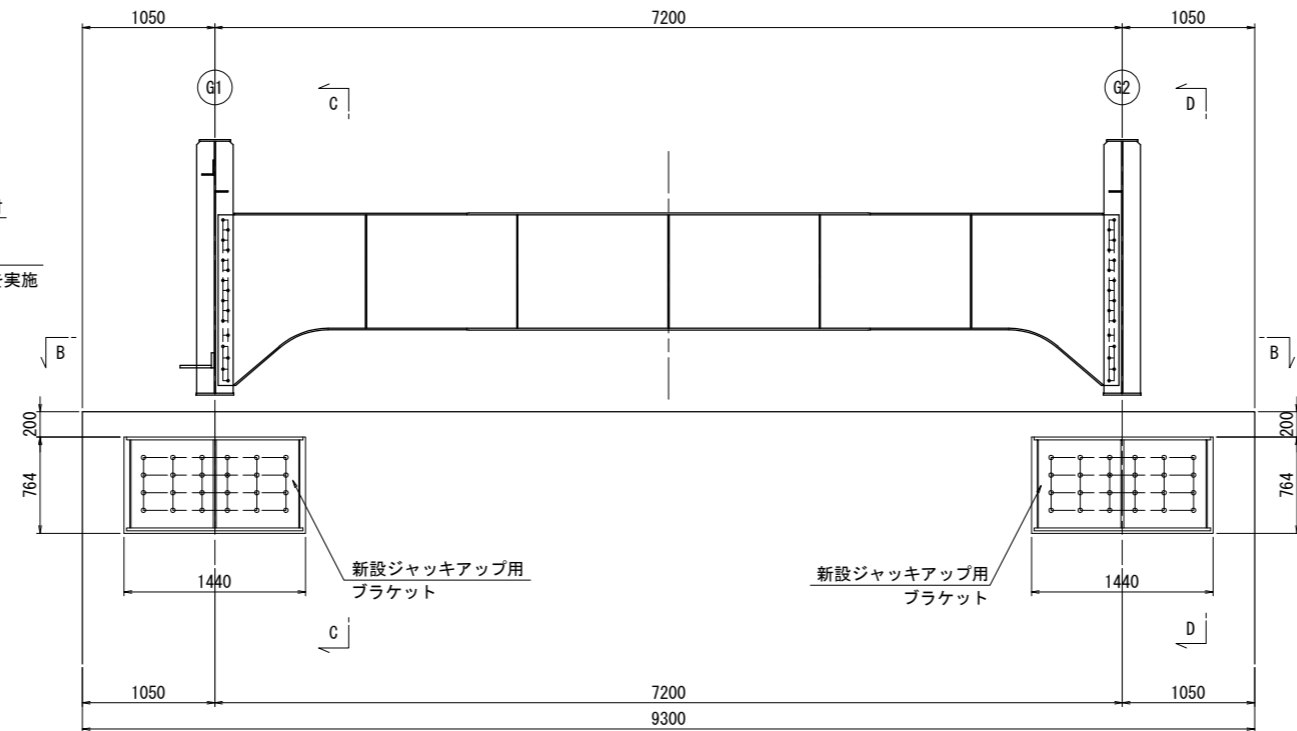
A1橋台側 新設図

側面図
C - C

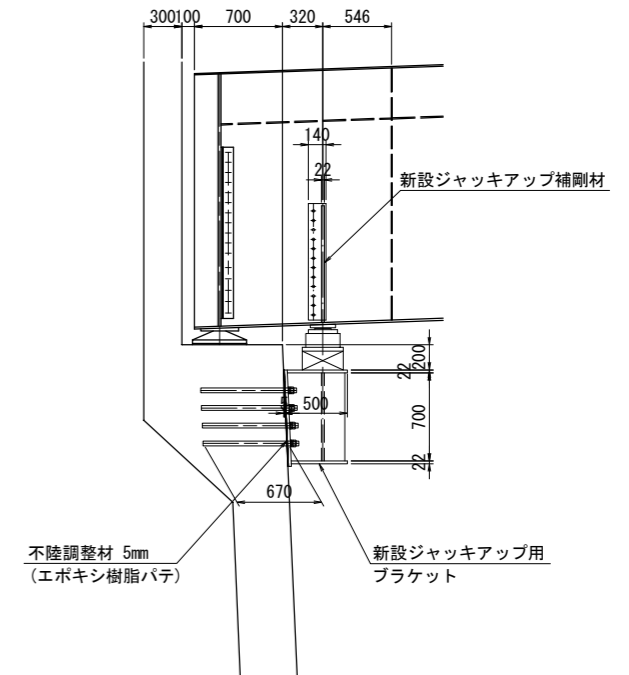


正面図
A - A

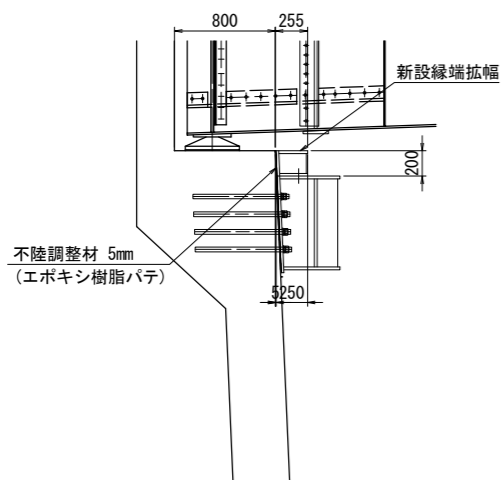
ジャッキアップ時



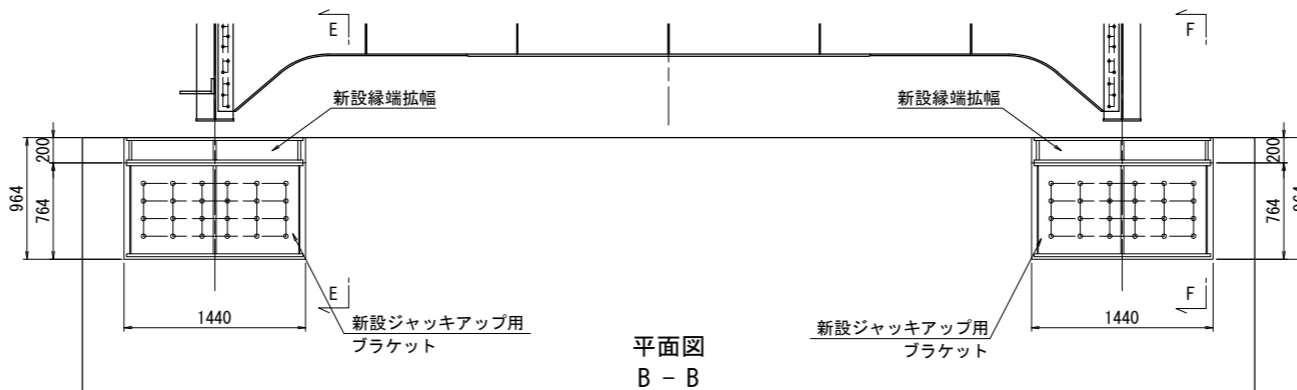
側面図
D - D



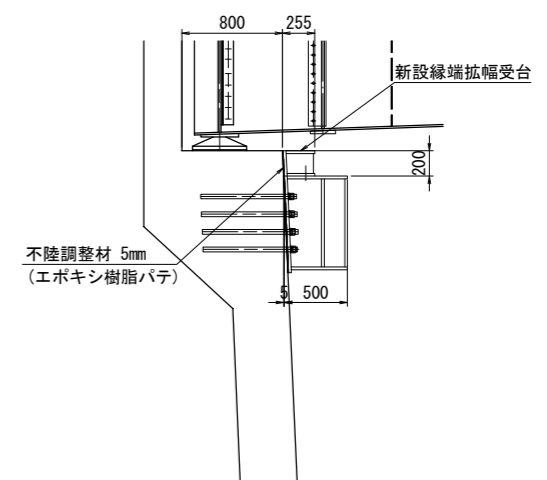
E - E



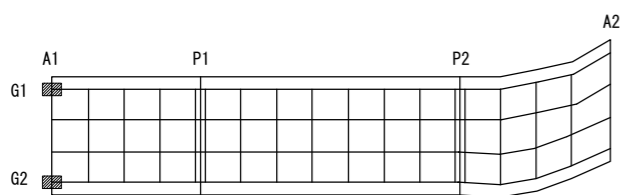
完成時



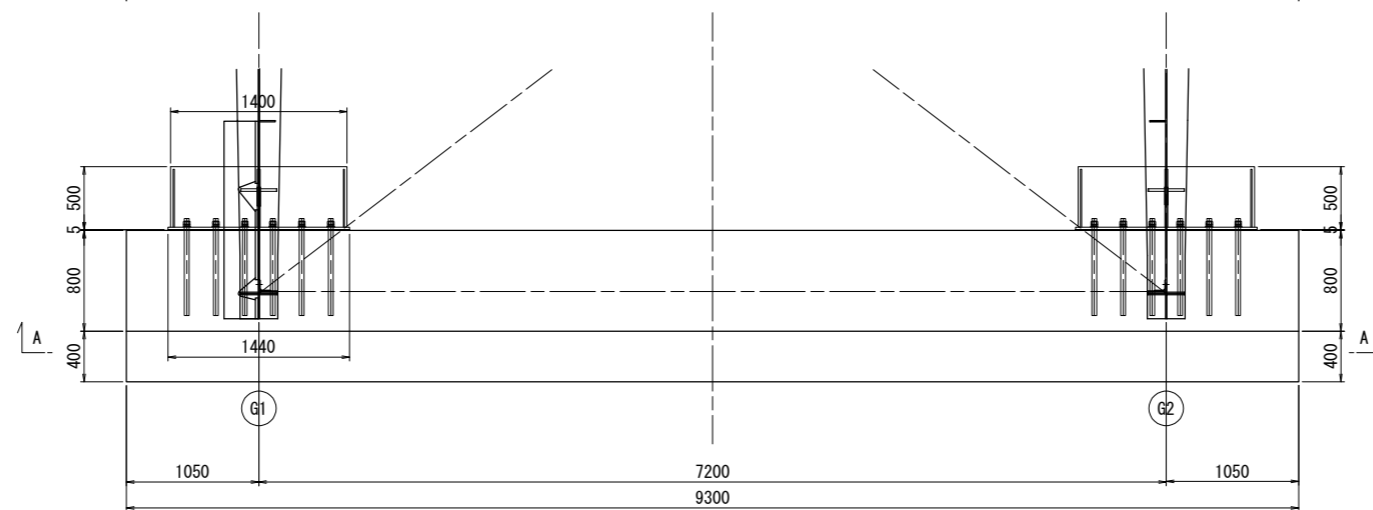
F - F



配置図



平面図
B - B



注記)

1. 制作、施工にあたって現地実測の上行うこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、削孔位置を決定すること。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

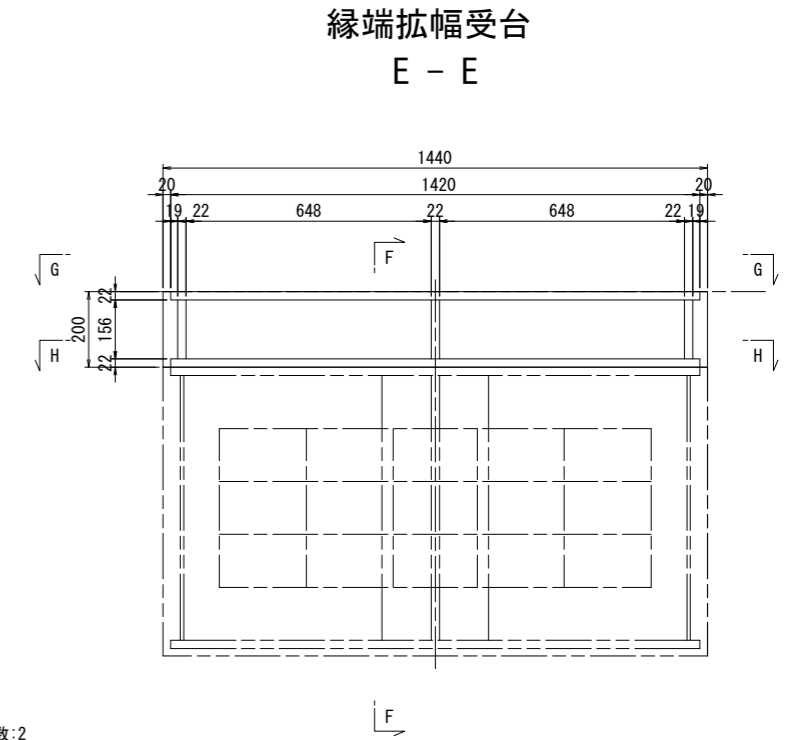
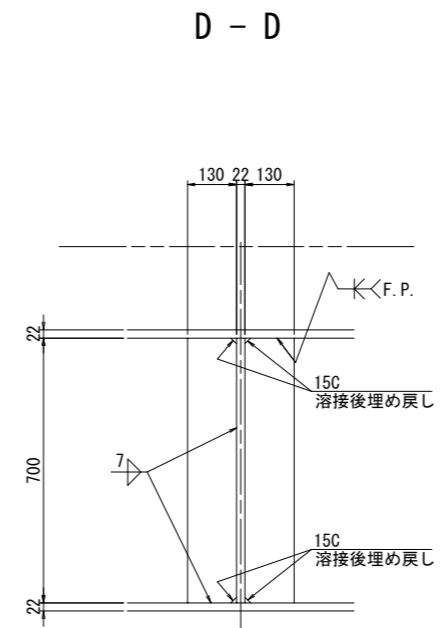
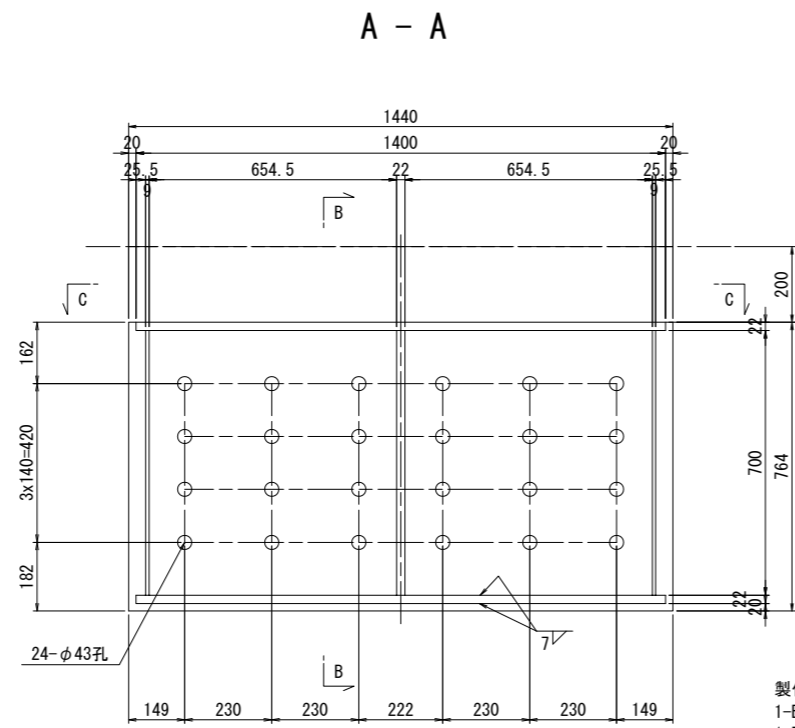
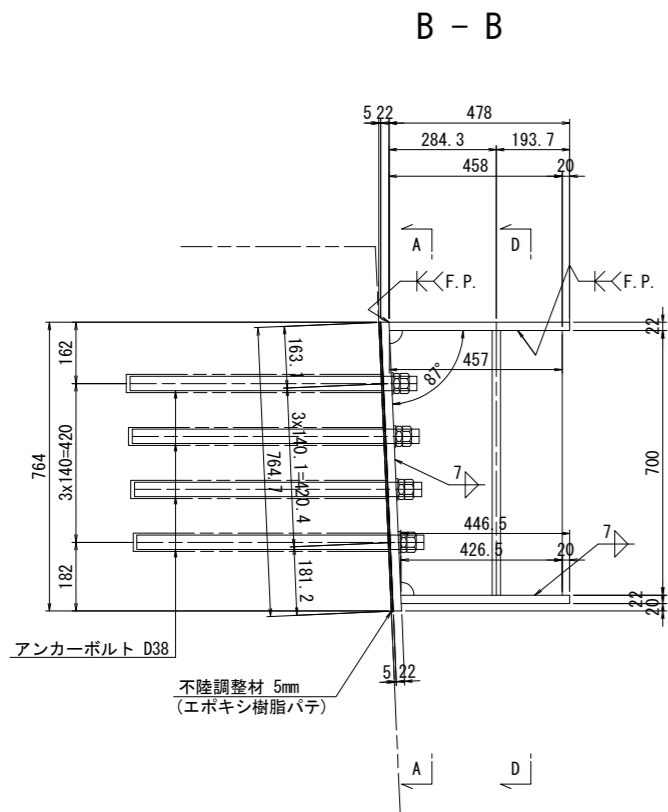
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その2)		
縮尺	1:30	図面番号	36 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その3) S=1:10

A1橋台側 ブラケット詳細図

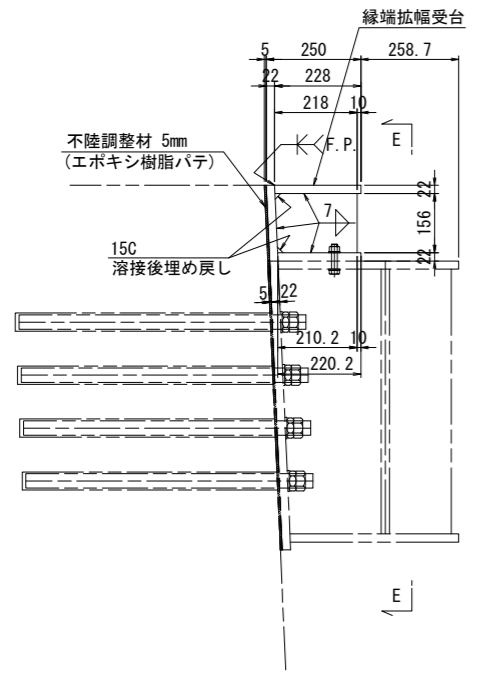
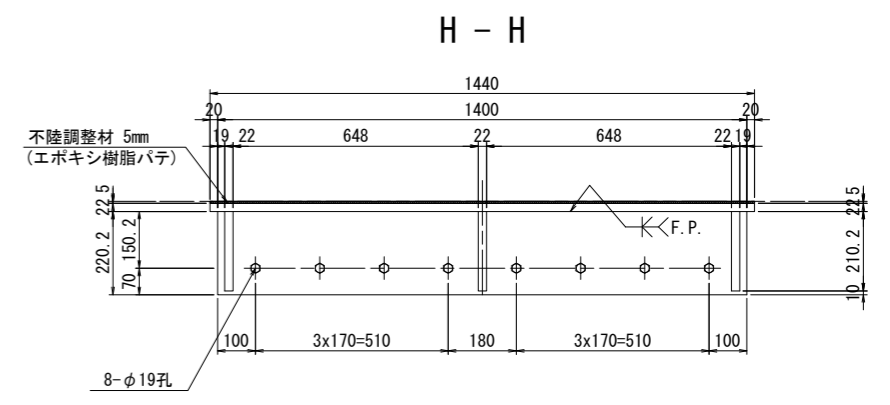
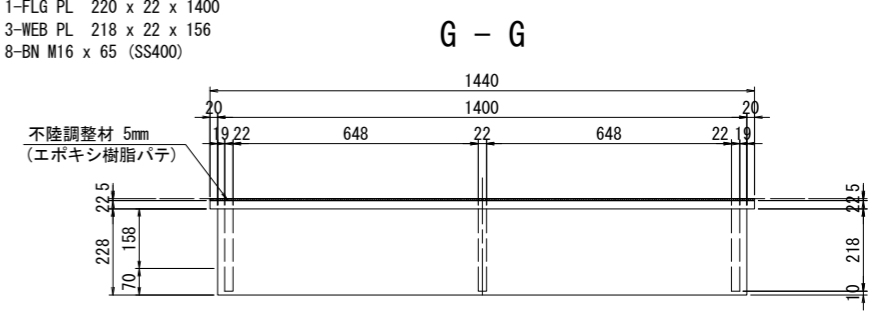
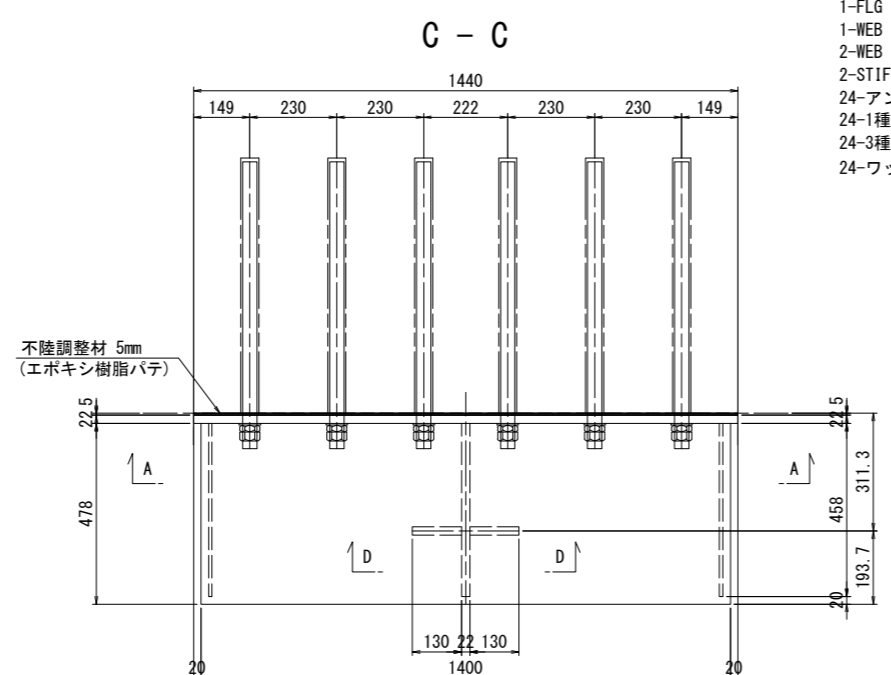
ジャッキアップ受けブラケット



- 製作数:2
- 1-BASE PL 764 x 22 x 1440
 - 1-FLG PL 478 x 22 x 1400
 - 1-FLG PL 447 x 22 x 1400
 - 1-WEB PL 457 x 22 x 700
 - 2-WEB PL 457 x 9 x 700
 - 2-STIFF PL 130 x 22 x 700
 - 24-アンカーボルト D38 x 780 (SD345)
 - 24-1種ナット M36用 (SS400)
 - 24-3種ナット M36用 (SS400)
 - 24-ワッシャー M36用 (SS400)

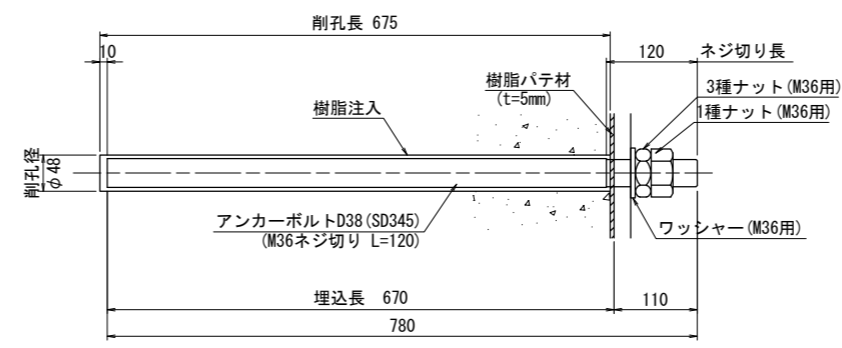
- 製作数:2
- 1-BASE PL 200 x 22 x 1440
 - 1-FLG PL 228 x 22 x 1400
 - 1-FLG PL 220 x 22 x 1400
 - 3-WEB PL 218 x 22 x 156
 - 8-BN M16 x 65 (SS400)

完成時
F - F



アンカーボルト詳細 S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ熔融亜鉛めっきを施すものとする。



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーはR35とする。
 3. 部材は全て熔融亜鉛めっき仕上げとする。亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、削孔位置を決定すること。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	37 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その4) S=1:10

A1橋台側 主桁補強詳細図

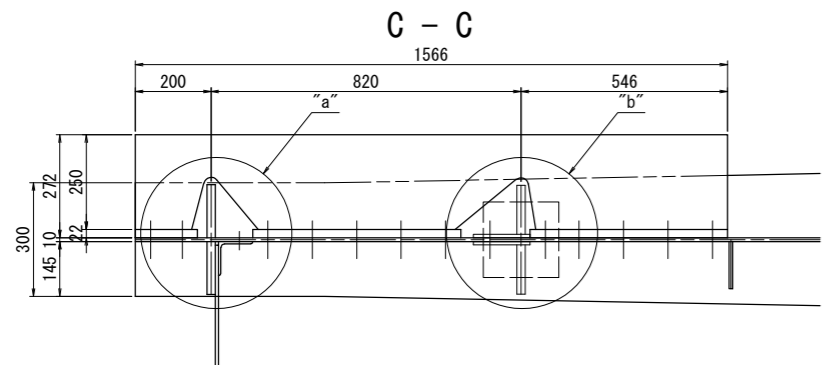
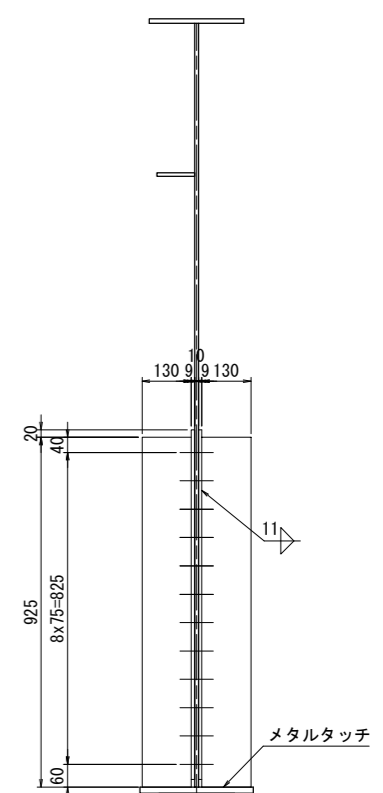
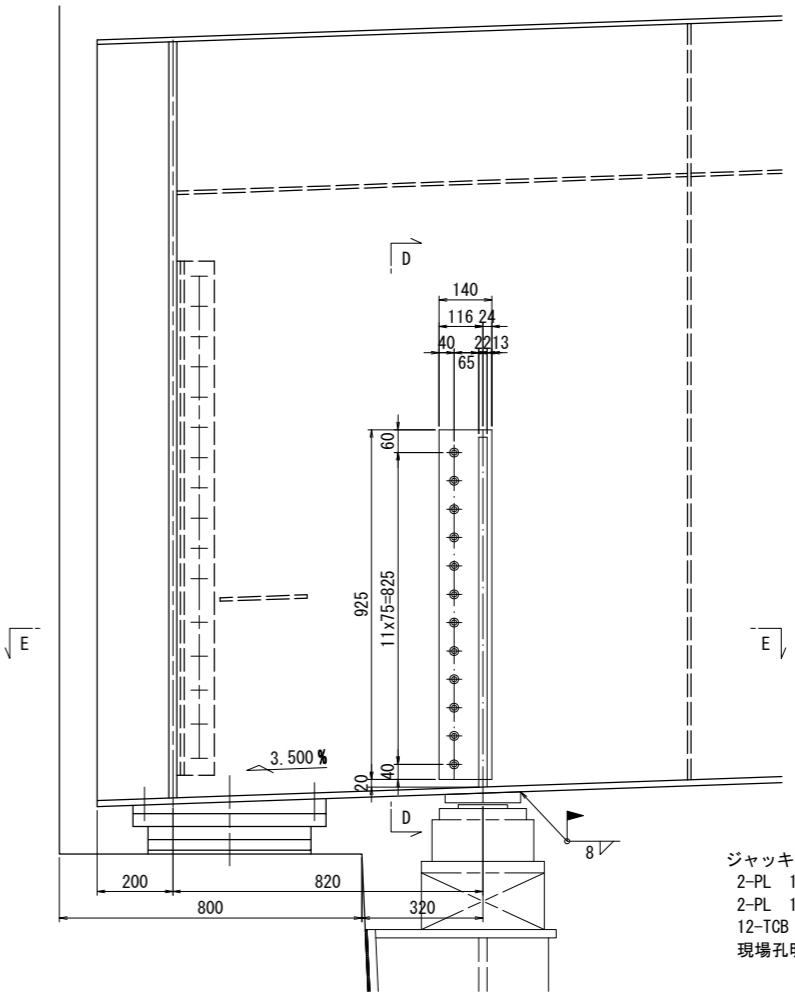
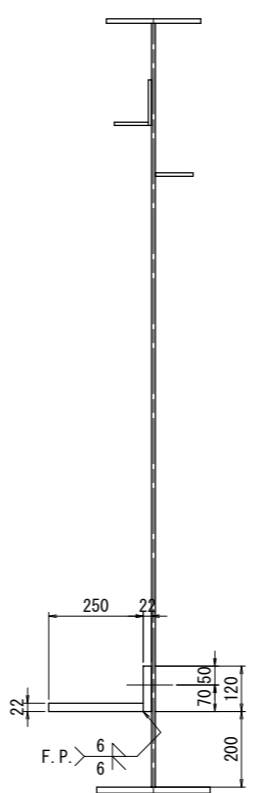
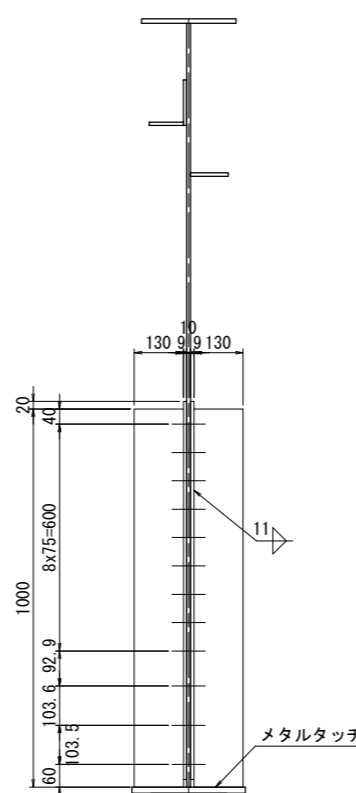
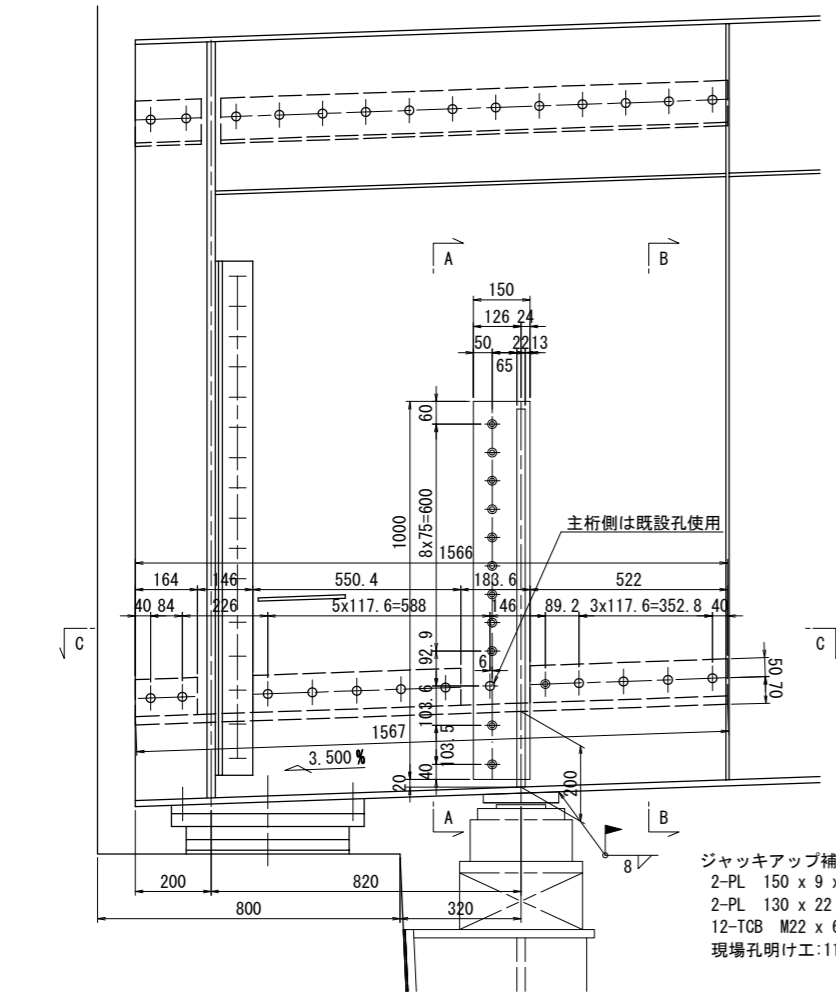
G1桁

G2桁

A - A

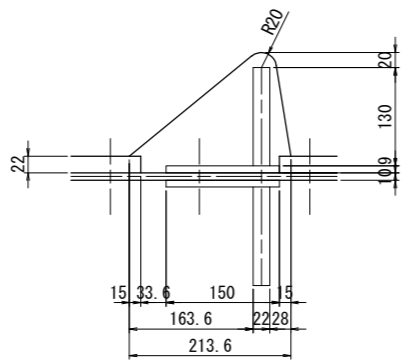
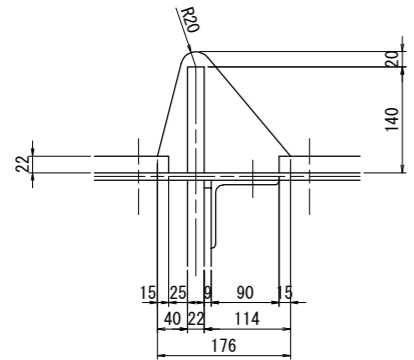
B - B

D - D

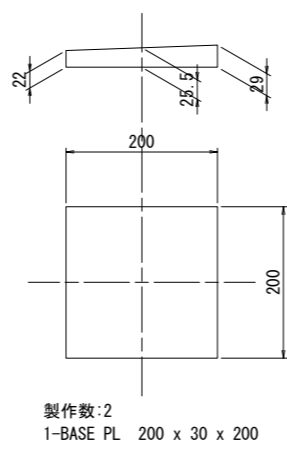


"a"部詳細 S=1:5

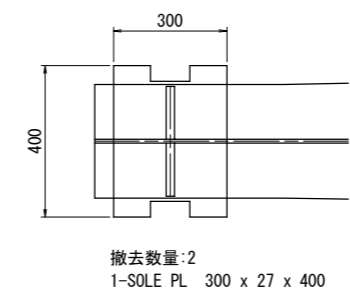
"b"部詳細 S=1:5



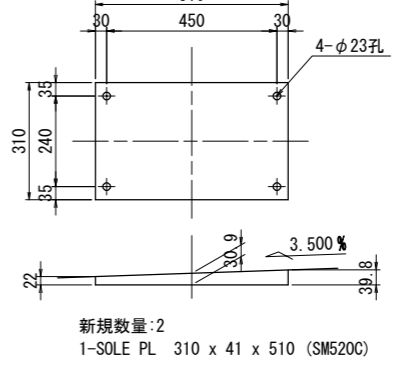
ベースプレート詳細図 S=1:5
ジャッキアップ用



既設ソールプレート詳細



ソールプレート詳細



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 主桁の印は現場にて削孔(φ26.5)を行うこと。
 3. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

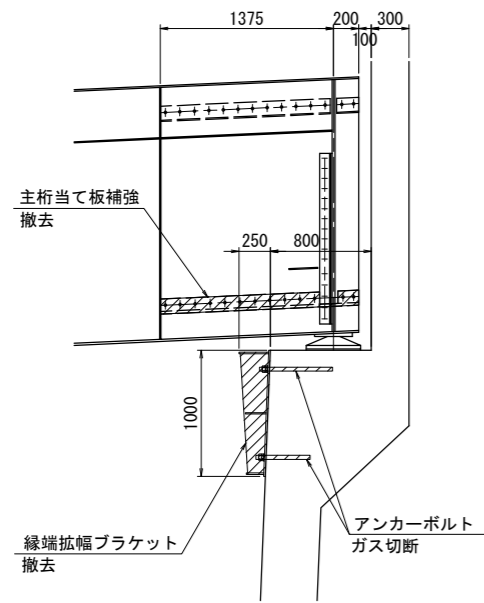
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	38 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その5) S=1:30

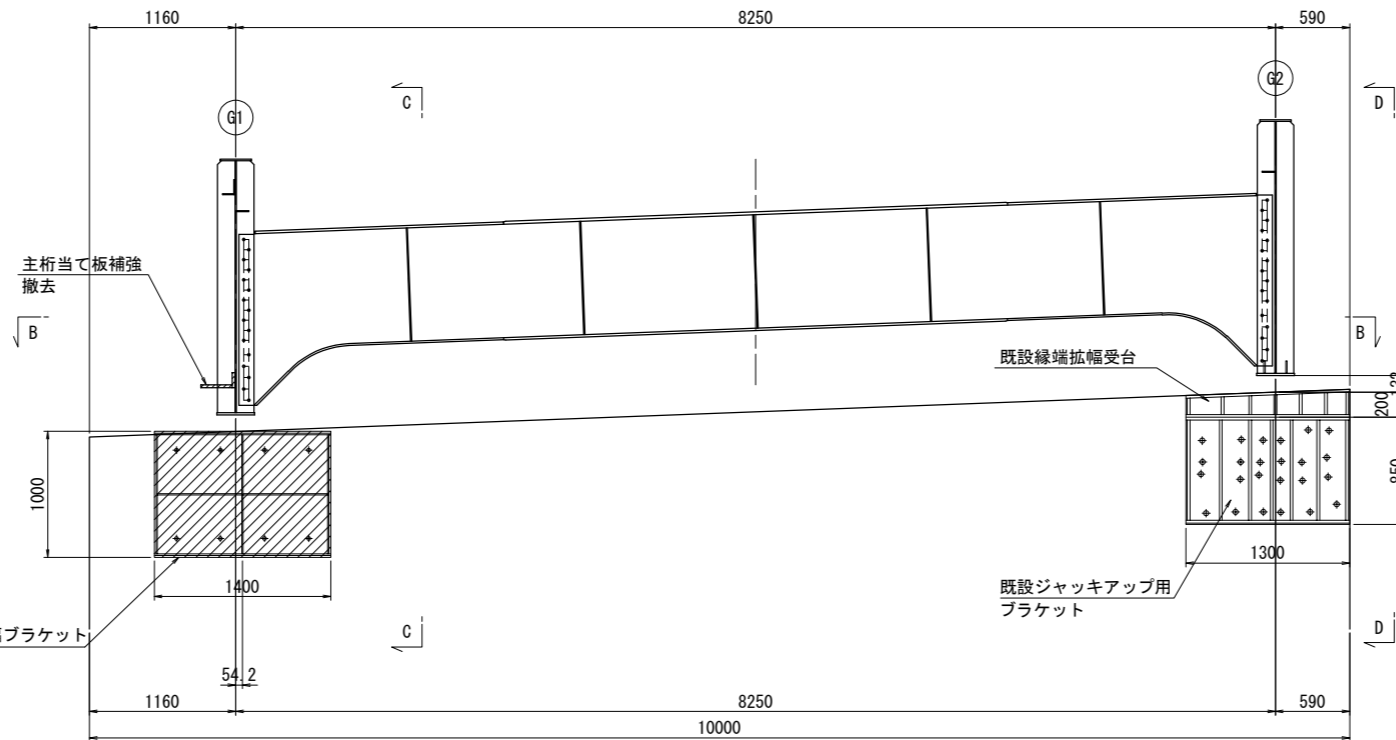
A2橋台側 撤去図

側面図
C - C



- 撤去数量
1-PL 120 x 22 x 1272
1-PL 120 x 22 x 165
1-PL 250 x 22 x 1578
13-TCB M22 x 70 (S10T)

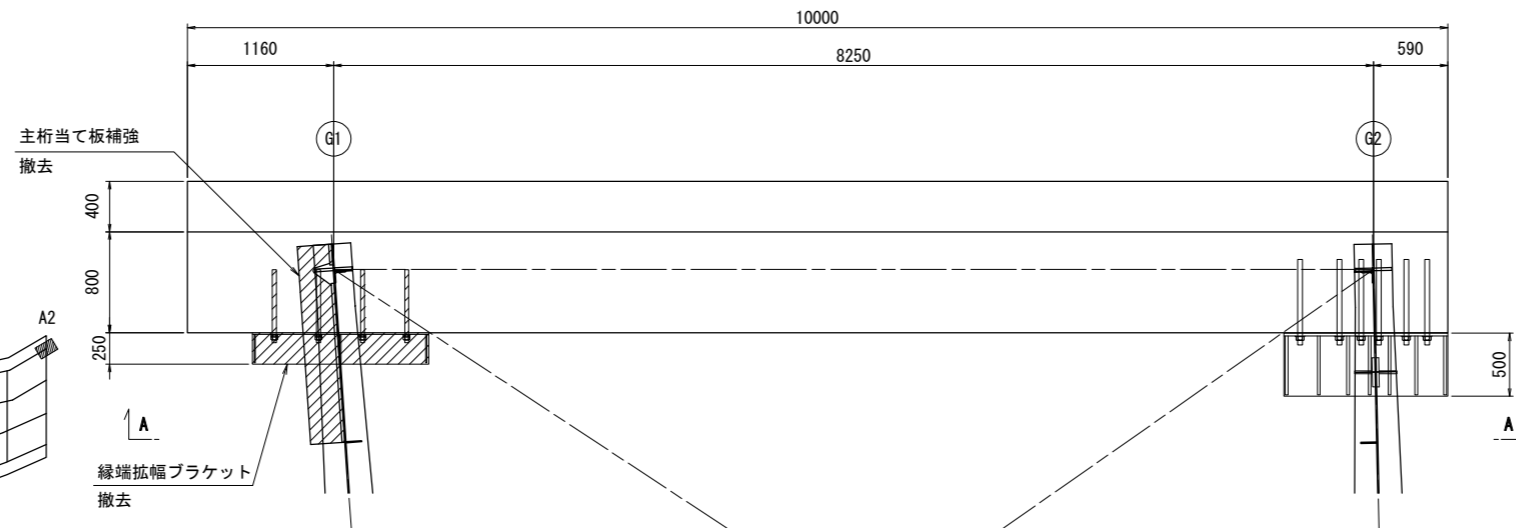
正面図
A - A



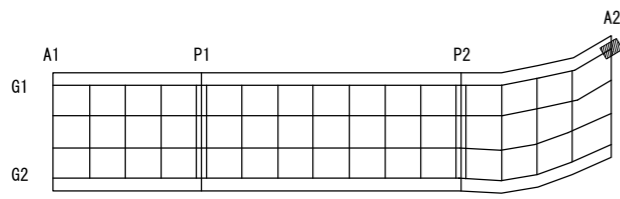
- 撤去数量
1-F1g PL 237 x 12 x 1400
1-Web PL 1000 x 13 x 1400
1-F1g PL 137 x 12 x 1400
3-PL 227 x 9 x 946
2-PL 167 x 9 x 672
4-DB D32 x 580 (SD345)
4-DB D32 x 430 (SD345)
8-NUT M30 (1種)
8-NUT M30 (3種)
8-WASHER M30

※アンカーボルトは切断後、残置する。

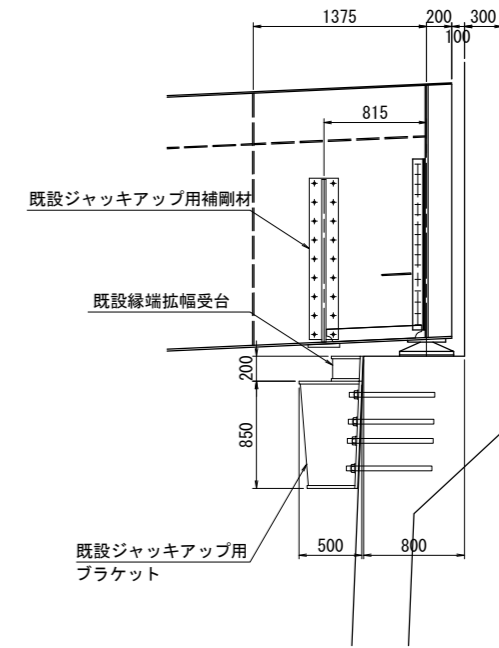
平面図
B - B



配置図



側面図
D - D



- 注記
1. 制作、施工にあたって現地実測の上行うこと。
2. 本図の寸法、数量は竣工図をもとに復元したものである。
3. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、削孔位置を決定すること。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

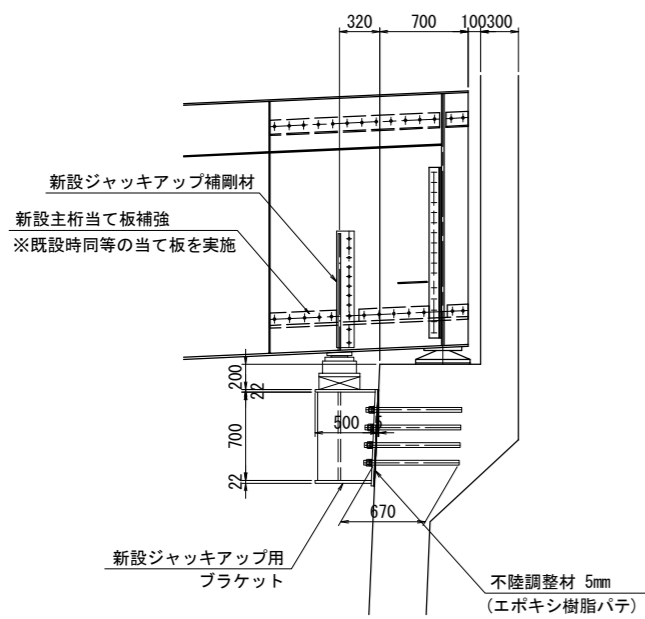
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その5)		
縮尺	1:30	図面番号	39 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その6) S=1:30

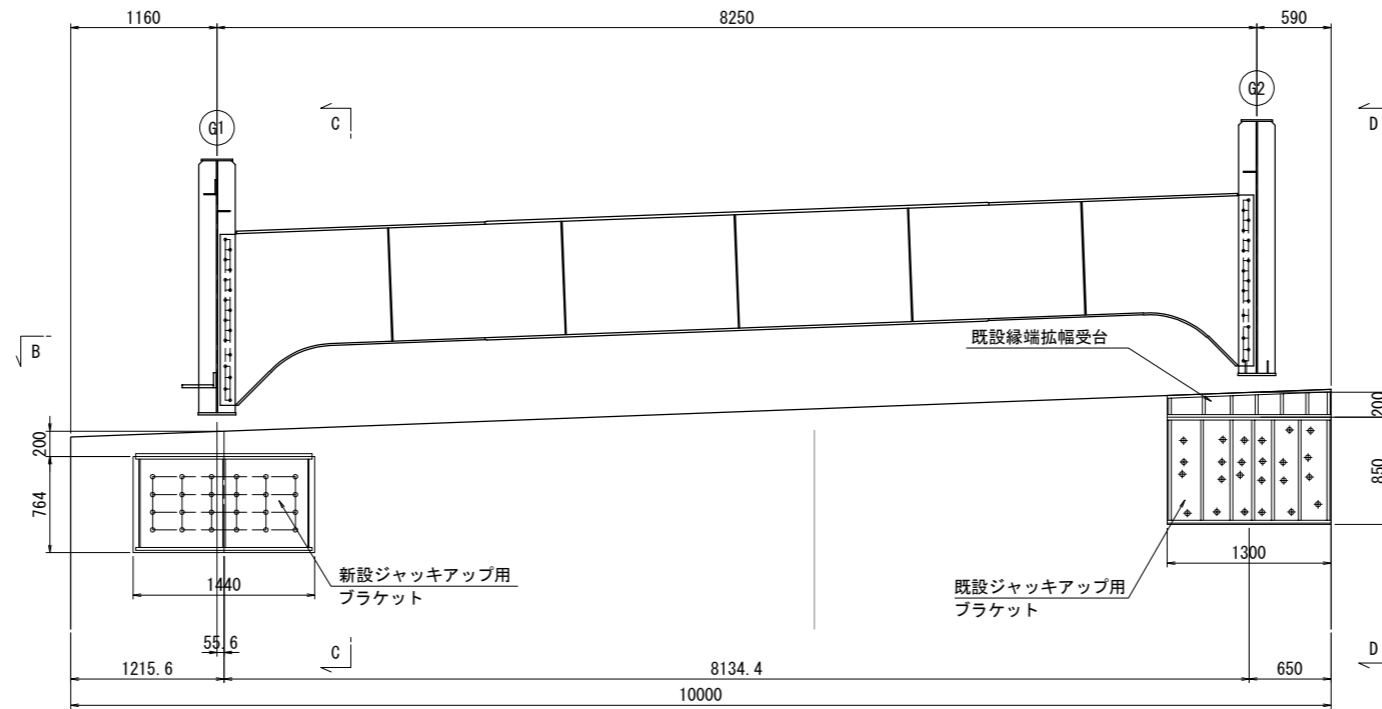
A2橋台側 新設図

側面図
C - C

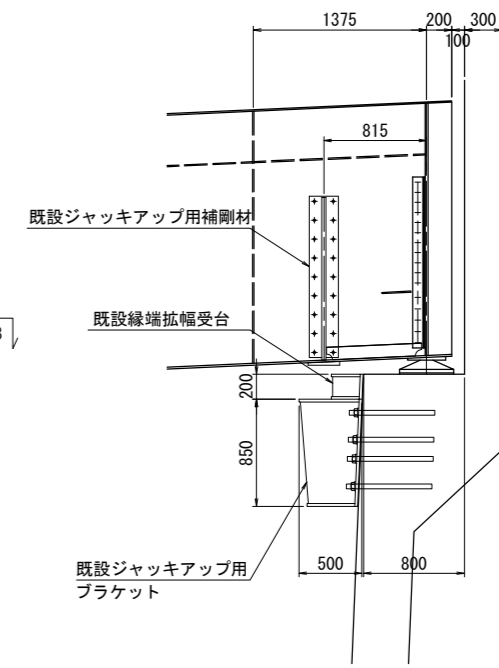


正面図
A - A

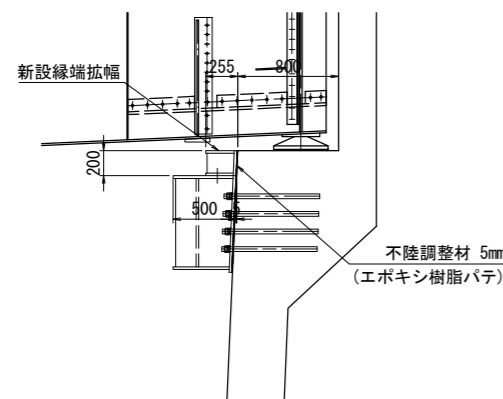
ジャッキアップ時



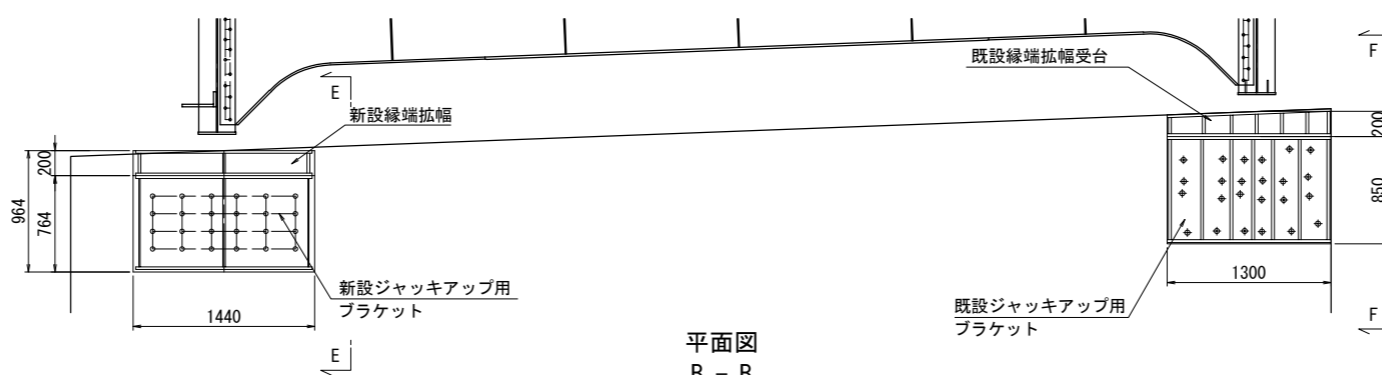
側面図
D - D



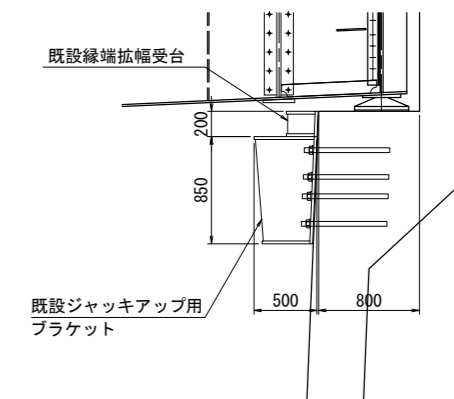
E - E



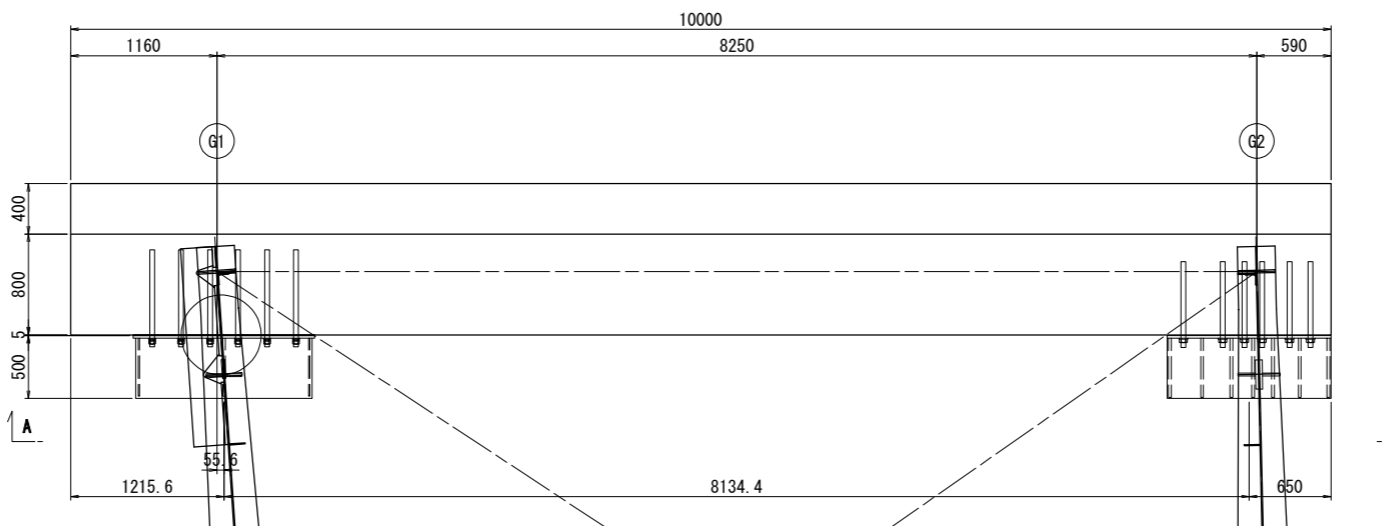
完成時



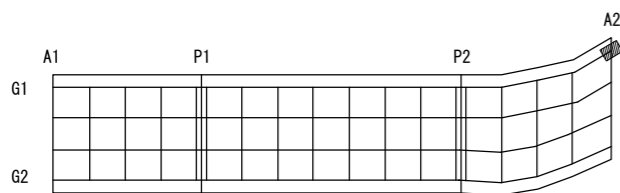
F - F



平面図
B - B



配置図



注記)

1. 制作、施工にあたって現地実測の上行うこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、削孔位置を決定すること。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

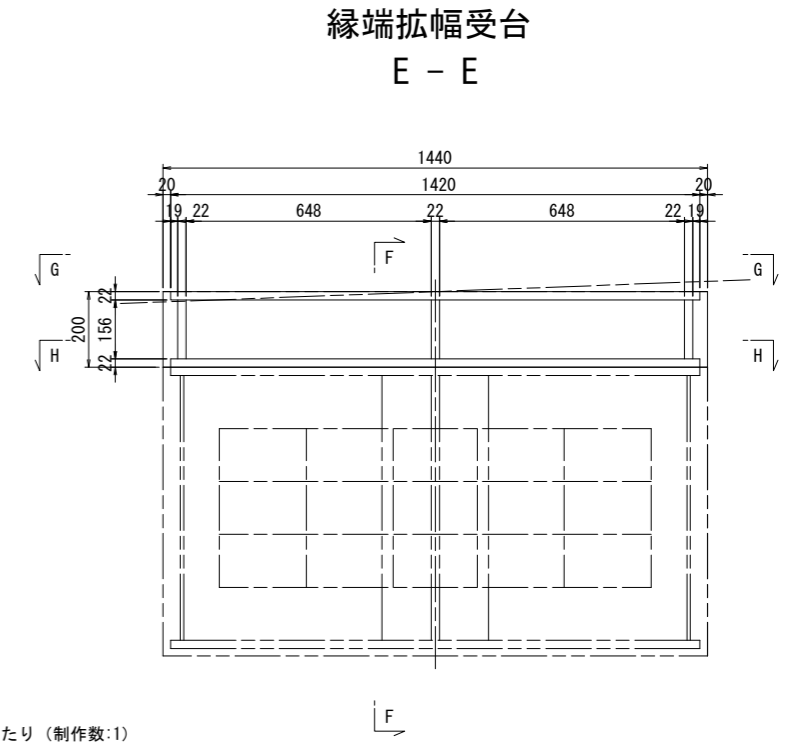
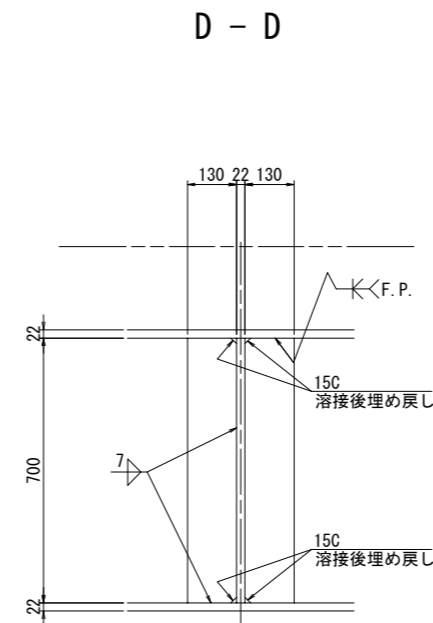
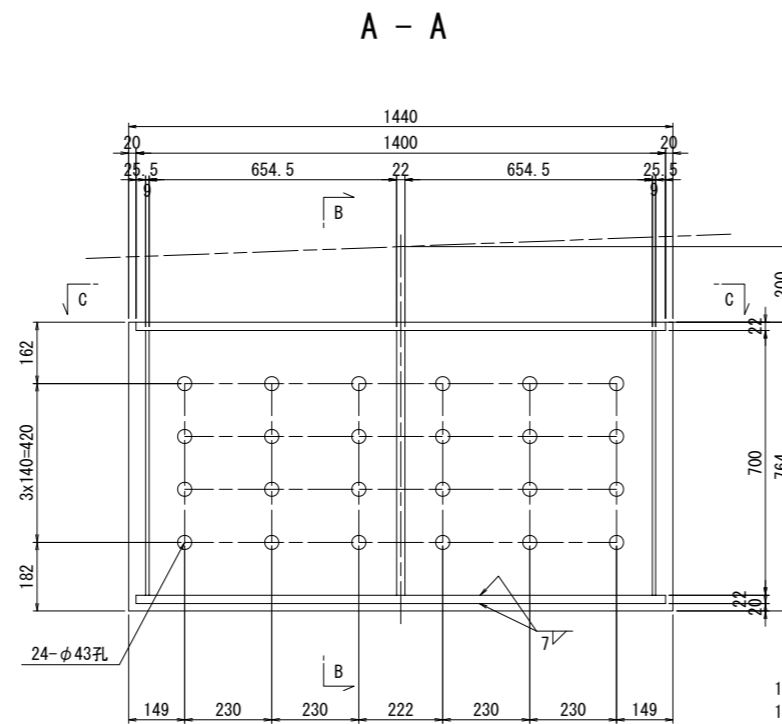
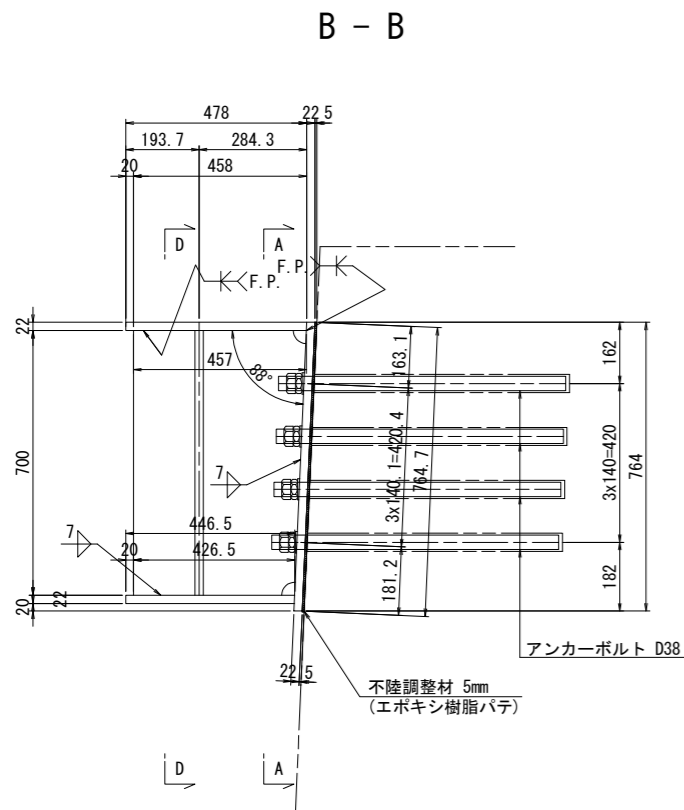
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その6)		
縮尺	1:30	図面番号	40 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その7) S=1:10

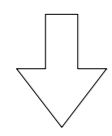
A2橋台側 ブラケット詳細図

ジャッキアップ受けブラケット

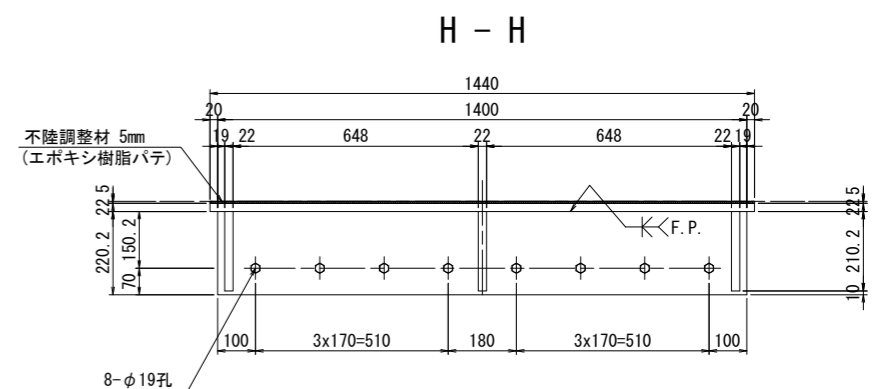
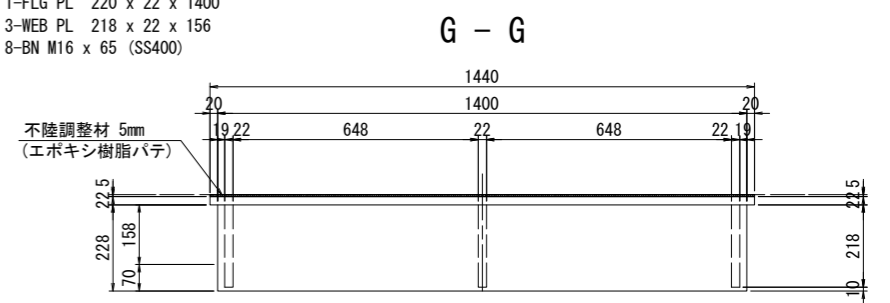
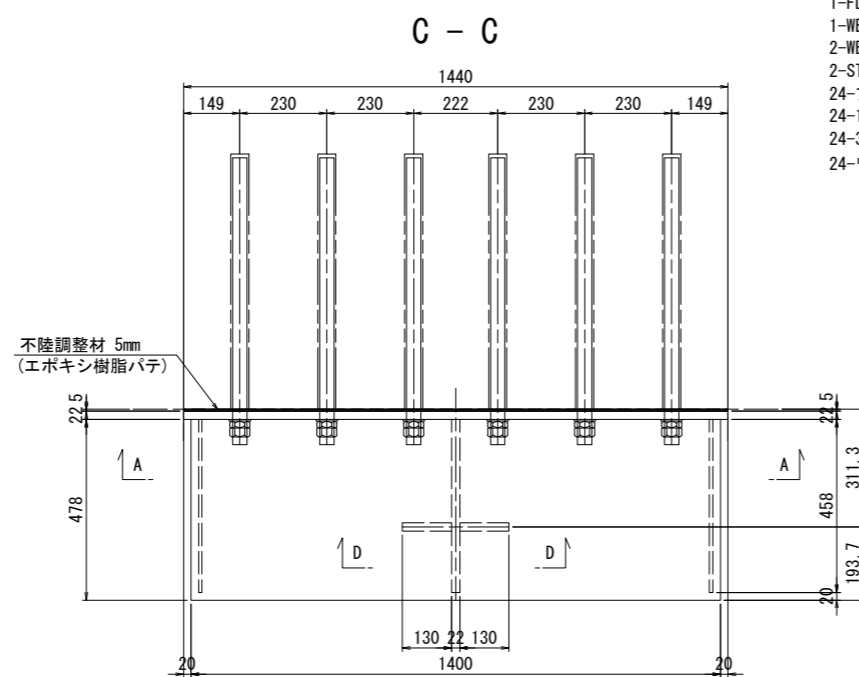


- 1基当たり (制作数:1)
- 1-BASE PL 764 x 22 x 1440
 - 1-FLG PL 478 x 22 x 1400
 - 1-FLG PL 447 x 22 x 1400
 - 1-WEB PL 457 x 22 x 700
 - 2-WEB PL 457 x 9 x 700
 - 2-STIFF PL 130 x 22 x 700
 - 24-アンカーボルト D38 x 780 (SD345)
 - 24-1種ナット M36用 (SS400)
 - 24-3種ナット M36用 (SS400)
 - 24-ワッシャー M36用 (SS400)

- 1基当たり (制作数:1)
- 1-BASE PL 200 x 22 x 1440
 - 1-FLG PL 228 x 22 x 1400
 - 1-FLG PL 220 x 22 x 1400
 - 3-WEB PL 218 x 22 x 156
 - 8-BN M16 x 65 (SS400)

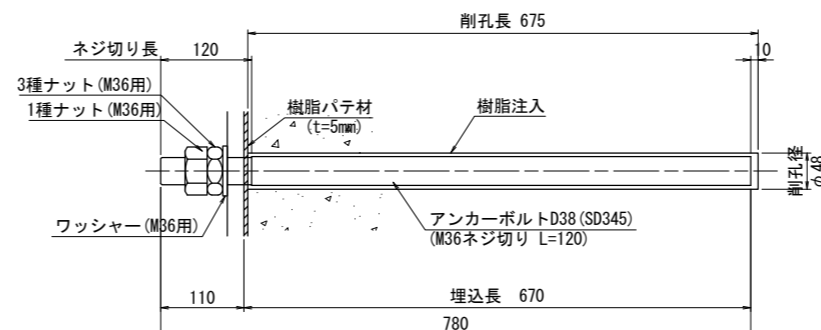


完成時



アンカーボルト詳細 S=1:5

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



注記

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップはR35とする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、削孔位置を決定すること。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

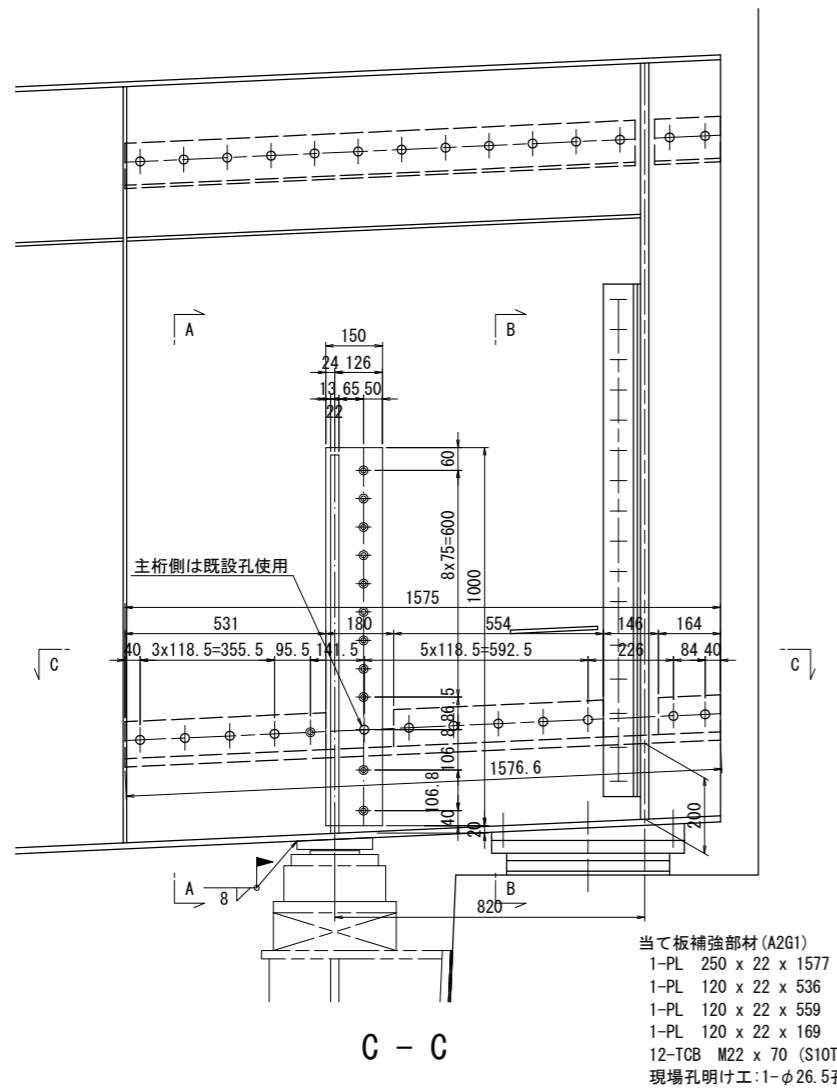
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	41 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その8) S=1:10

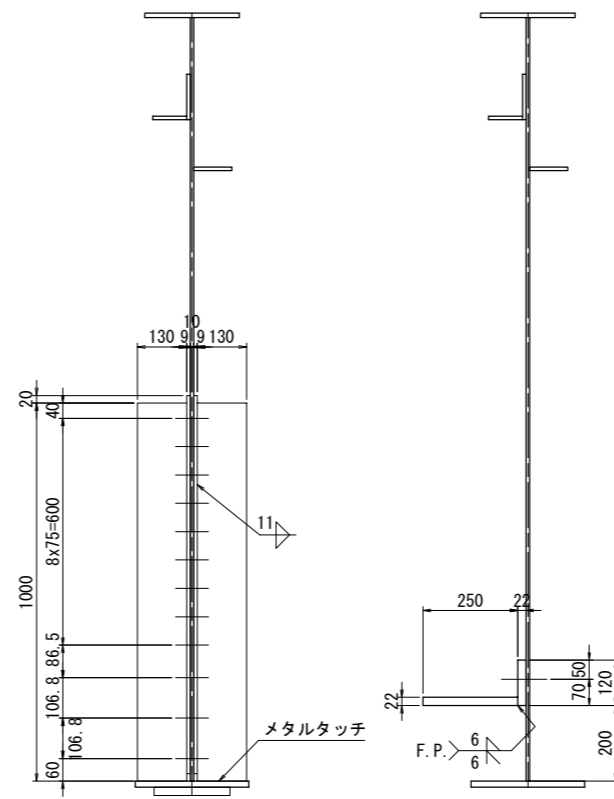
A2橋台側 主桁補強詳細図

G1桁



A - A

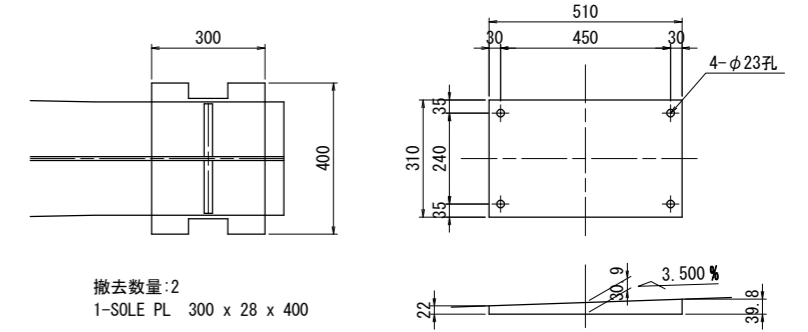
B - B



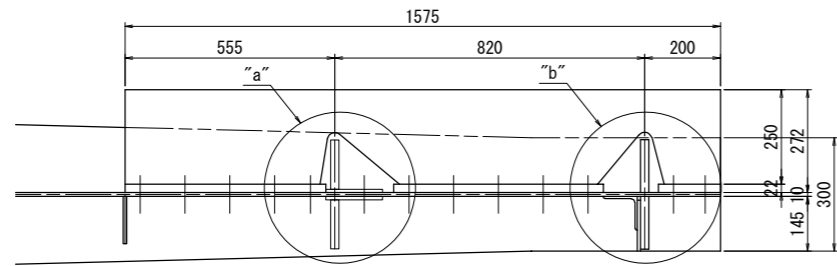
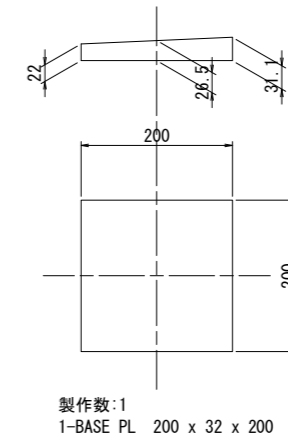
ジャッキアップ補強材 (A2G1)
 2-PL 150 x 9 x 1000
 2-PL 130 x 22 x 1000
 12-TCB M22 x 65 (S10T)
 現場孔明け工: 11-φ26.5孔

既設ソールプレート詳細

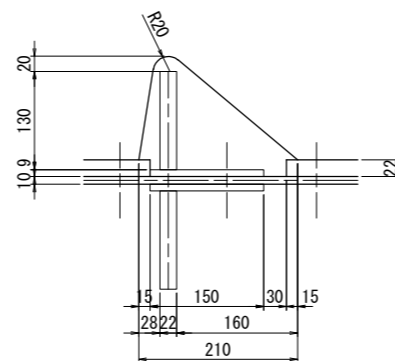
ソールプレート詳細



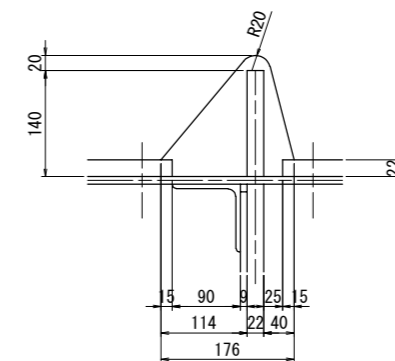
ベースプレート詳細図 S=1:5
ジャッキアップ用



"a"部詳細 S=1:5



"b"部詳細 S=1:5



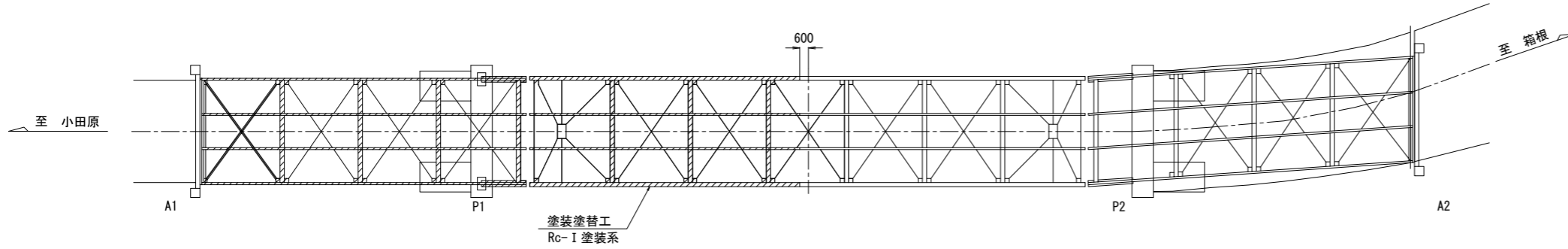
- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 主桁の⊕印は現場にて削孔 (φ26.5) を行うこと。
 3. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 ジャッキアップ補強概要図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	42 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

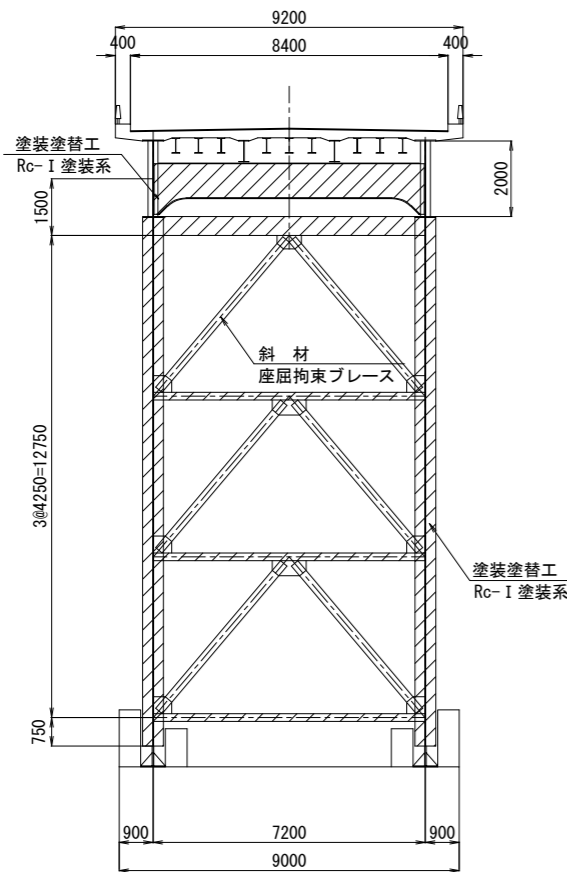
観音橋 塗装塗替工図

平面図 S=1:200

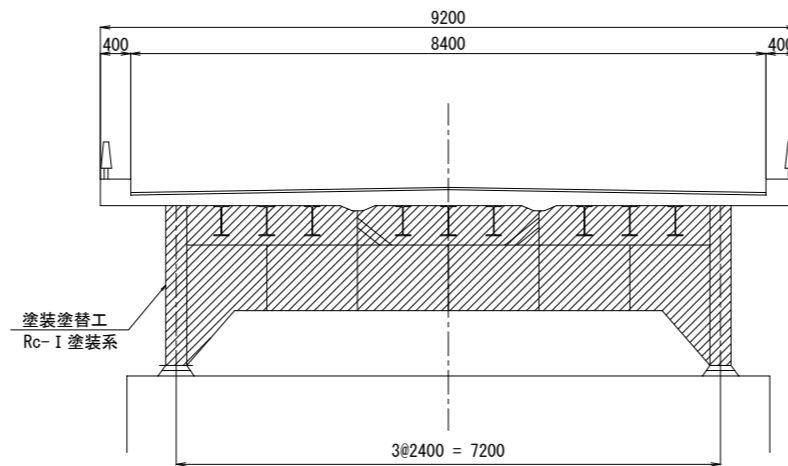


■ : 塗装塗替 (RC-1系)

主構 (桁・脚) 断面図 S=1:100
P1脚



上部工断面図 S=1:50
A1橋台



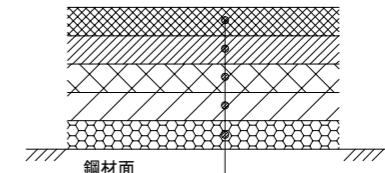
Rc-I塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
防食下地	1種ケレン	
素地調整	有機ジンクリッチペイント	600
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140

塗装塗替工数量

上部工・主構 (脚)	塗装系	単位	数量	備考
	Rc-I 塗装系 (スプレー)	m ²	1562.464	1種ケレン
	合計		1562.464	

仕様図



弱溶剤ふっ素樹脂塗料 (上塗り)	140g/m ²
弱溶剤ふっ素樹脂塗料 (中塗り)	170g/m ²
弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	240g/m ²
弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	240g/m ²
有機ジンクリッチペイント (下塗り)	600g/m ²

注記

- 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
- 工事前には、「塗装塗膜性状調査」を実施して有害物質の確認を行い、健康被害を及ぼさぬよう対策を講じること。
- 塗装塗替の仕様は、「鋼道路橋防食便覧」(H26年3月)によるものとする。
- 塗装系は耐久性および今後の維持管理費の低減のため重防食塗装系 (Rc-I 塗装系) を適用している。
- 塗装はスプレー塗装を標準とするが、狭隙部でスプレー塗装が困難な場合は、はけ塗りとする。
- 狭隙部においても、極力プラスト処理を行い塗装面の耐久性を確保すること。
- プラスト処理後、著しい断面欠損が確認された場合は、別途断面補強等対策を計画すること。

※ アーチアバット部のピン支承はコンクリートに囲まれているため、塗装塗替不可。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 塗装塗替工図		
縮尺	図示	図面番号	43 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事		式	1	
舗装工		式	1	
路面切削工		式	1	
路面切削	全面切削6cm以下(400m2以下) 段差すりつけ撤去作業無	m2	36	
殻運搬(路面切削)	7ｽﾌﾟﾙﾄ殻(切削材)	m3	2	
殻処分	7ｽﾌﾟﾙﾄ殻(切削材)	m3	2	
オﾊﾞｰﾚｲ工		式	1	
表層(車道・路肩部)	改質As 密粒11型(13) 舗装厚 50mm	m2	47	
橋梁床版工		式	1	
床版連結工		式	1	
伸縮装置撤去	後打ちｺﾝｸﾘｰﾄ撤去含む	m	16.8	
床版撤去・復旧	地覆撤去・復旧含む	m2	46	
ｽﾀｯﾄﾞ溶接	φ19×150	本	54	
床版補修工		式	1	
左官工法	1構造物当り修復延べ体積 0.337m3 超速硬ｺﾝｸﾘｰﾄ 鉄筋ｼﾝｸﾞﾙ・鉄筋防錆処理有	構造物	1	
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.3	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.3	
運搬処理工		式	1	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	11	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	11	
現場発生品運搬	伸縮装置, 排水樹	式	1	
鋼桁工		式	1	
桁連結工		式	1	
既設部材撤去(1)	ｸﾞﾙﾊﾞｰ部	箇所	4	
既設部材撤去(2)	旧支点上横桁部	箇所	2	
制震ｼﾝｸﾞﾙ撤去		箇所	4	
変位制限構造撤去		箇所	4	
高力ﾎﾞﾙﾄ本締	旧支点上横桁部	箇所	2	
桁連結(1)	P1G1, P1G2	箇所	2	
桁連結(2)	P2G1	箇所	1	
桁連結(3)	P2G2	箇所	1	
鋼桁補強工		式	1	
主桁補強(1)	側径間部	箇所	2	
主桁補強(2)	中間支点上部	箇所	4	
主桁補強(3)	ﾚｰﾝ桁	箇所	1	
脚柱補強(1)		箇所	2	
脚柱補強(2)	ﾚｰﾝ脚P1G1	箇所	1	
脚柱補強(3)	ﾚｰﾝ脚P1G2	箇所	1	
脚柱補強(4)	ﾚｰﾝ脚P2G2	箇所	1	
対傾補強	対傾構P2	箇所	1	
横桁補強(1)		箇所	2	
横桁補強(2)	横桁A1G1	箇所	1	
横桁補強(3)	横桁P1G2	箇所	1	
横桁補強(4)	横桁A2G1	箇所	1	
横構補強(1)		箇所	2	
横構補強(2)	⑥-⑦区間	箇所	1	
変位制限構造撤去	A1橋台・A2橋台	箇所	4	
横構撤去(1)		箇所	2	
横構撤去(2)	⑥-⑦区間	箇所	1	
運搬処理工		式	1	
現場発生品運搬	補強部材, 制震ｼﾝｸﾞﾙ, 変位制限構造, 横構	式	1	
橋梁付属物工		式	1	
排水施設工		式	1	
排水樹		箇所	1	
排水管	VP管	m	7	
排水樹撤去		箇所	1	
排水管撤去	鋼管 支持金具撤去含む	m	3	
運搬処理工		式	1	
現場発生品運搬	排水管	式	1	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	備考
橋梁補修工		式	1	
支取替工		式	1	
支取替(1)	IV 下部工ﾌﾗｸﾞ取付有り 支承直下部以外のはつり無し	基	1	
支取替(2)	IV 下部工ﾌﾗｸﾞ取付有り 支承直下部以外のはつり無し	基	1	
支取替(3)	IV 下部工ﾌﾗｸﾞ取付有り 支承直下部以外のはつり無し	基	1	
支取替(4)	IV 下部工ﾌﾗｸﾞ取付無し 支承直下部以外のはつり無し	基	1	
下部工ﾌﾗｸﾞ	ｼﾞｯｷｰﾌﾞﾗｯｸ 受けﾌﾗｸﾞ+縁端拡幅受台	箇所	3	
当て板補強		箇所	2	
下部工ﾌﾗｸﾞ撤去		箇所	3	
当て板補強撤去		箇所	2	
運搬処理工		式	1	
現場発生品運搬	補強部材, 下部工ﾌﾗｸﾞ, 支承	式	1	
現場塗装工		式	1	
橋梁塗装工 F-11塗装系		式	1	
素地調整		m2	46	
下塗	ﾐｽﾄｺｰﾄ 変性ｲﾍﾞｷﾞ樹脂塗料(1層) 塗装回数 1回	m2	46	
下塗	超厚膜形ｲﾍﾞｷﾞ樹脂塗料(2回塗り/層) 塗装回数 1回	m2	46	
中塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	m2	46	
上塗	ふっ素樹脂塗料 赤系 塗装回数 1回	m2	46	
橋梁塗装工 Rc-I塗装系		式	1	
塗膜除去	剥離回数3回 廃材積込1回	m2	1560	
下塗	有機ｼﾝｸﾞﾙｲﾝﾄ(1層) ﾏﾞｰﾙ 塗装回数 1回	m2	1520	
下塗	弱溶剤形変性ｲﾍﾞｷﾞ樹脂塗料(2層) ﾏﾞｰﾙ 塗装回数 1回	m2	1520	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 ﾏﾞｰﾙ 赤系 塗装回数 1回	m2	1520	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 ﾏﾞｰﾙ 赤系 塗装回数 1回	m2	1520	
仮設工		式	1	
足場工		式	1	
単管足場(1)	A1, P1	式	1	
単管足場(2)	P2, A2	式	1	
吊足場(1)	ﾊﾞｰﾙ式吊足場 A1-CL間	式	1	
吊足場(2)	ﾊﾞｰﾙ式吊足場 P2, A2	式	1	
ばく露防止対策工		式	1	
鉛対策費	呼吸用保護具以外	式	1	
塗膜運搬	鉛含有	式	1	
塗膜処分	鉛含有	式	1	

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	数量総括表		
縮尺	—	図面番号	44 / 44
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

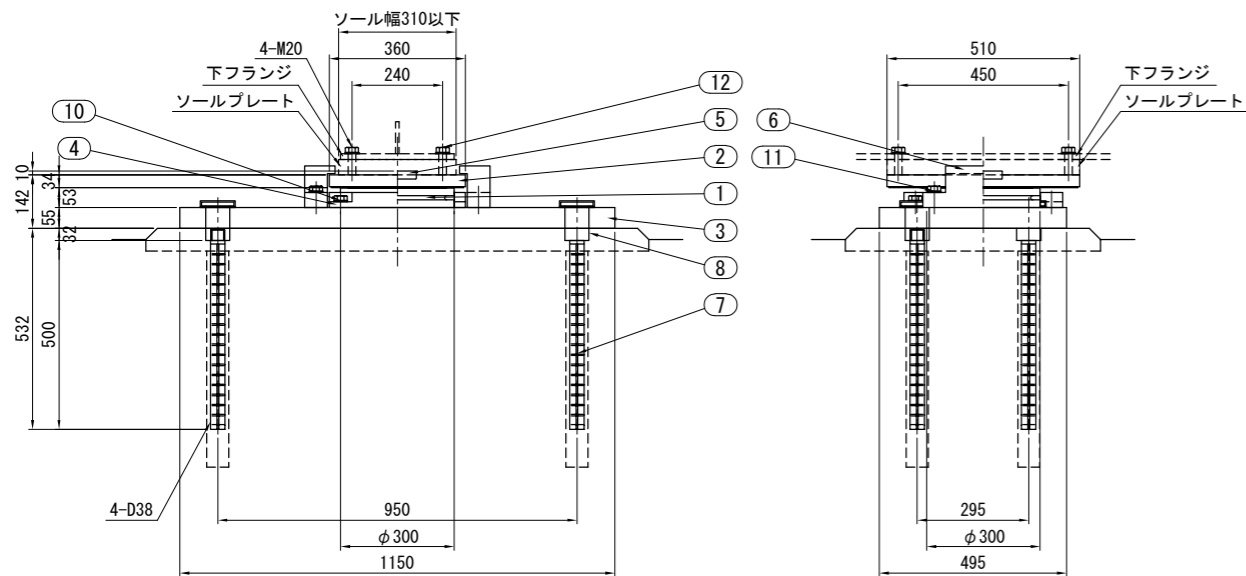
観音橋 取替支承詳細図(その1)(参考図)

(A1G1) 可動ゴム支承装置 (弾性荷重支持板)

断面図 S=1:10
(橋軸直角方向)

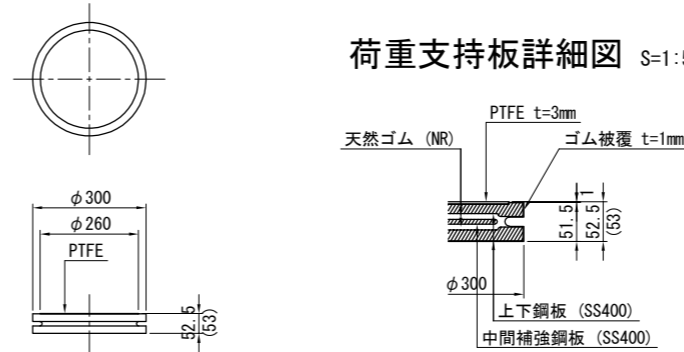
側面図 S=1:10
(橋軸方向)

① ゴム支承[弾性荷重支持板] S=1:10
(1000KN用)

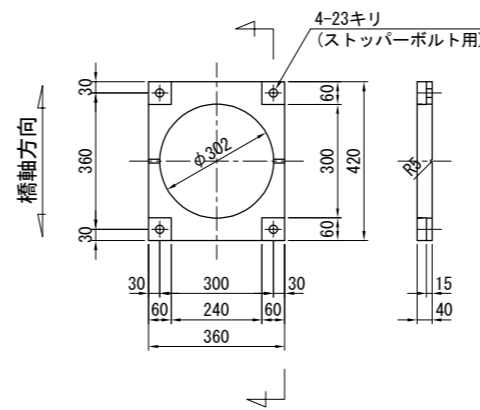


※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

荷重支持板詳細図 S=1:5



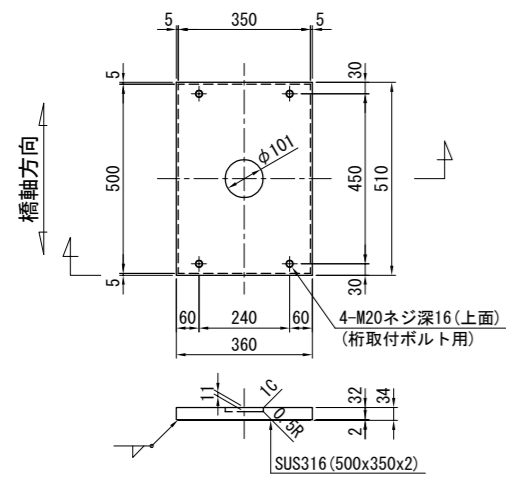
④ ストッパープレート S=1:10



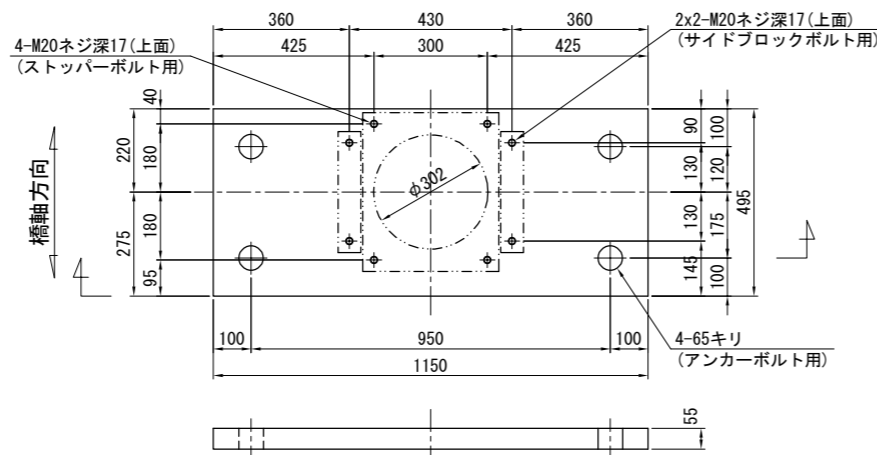
水切り溝詳細図 S=1:5



② スライディングプレート S=1:10

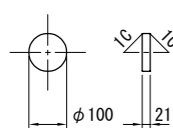


③ ベースプレート S=1:10

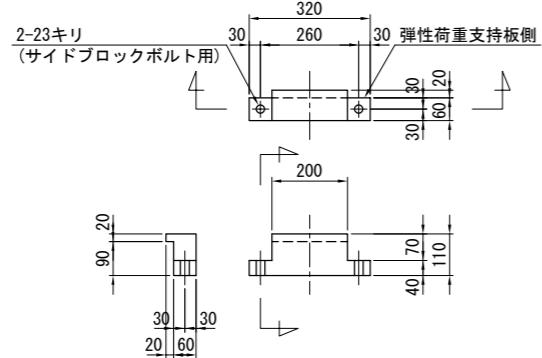


※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

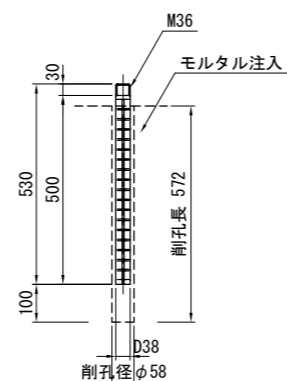
⑤ せん断キー S=1:10
上 用



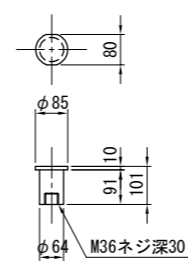
⑥ サイドブロック S=1:10



⑦ アンカーボルト S=1:10



⑧ カップラー S=1:10



位置図



設計条件

反力 (kN)		A1	
最大反力	Rmax	1020	
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	1010	
死荷重反力	RD	324	
照査荷重	R1L	348	
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	102
	橋軸直角方向	RHeq2	0
上向きの地震力	Ru	-454	
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量	δcL	0.791	
回転変位量	δr	0.767	
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	34
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	100
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10	
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	440	

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承[弾性荷重支持板]	NR, SS400, PTFE	1	19.9	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	48.0	
③	ベースプレート	SM490A	1	239.7	
④	ストッパープレート	SM490A or SCW480N	1	22.0	
⑤	せん断キー	SM490A or S35CN	1	1.3	上 用
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	26.1	
7	アンカーボルト	SD345	4	19.0	
8	カップラー	S45CN	4	9.5	
9	ゴムキャップ	EPDM	4	0.2	
⑩	ストッパーボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.7	
⑪	サイドブロックボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.9	
⑫	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	1.3	
合計				388.6	(kg)

- ※1 道路橋支保便覧準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保便覧2.9に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。JIS H 8641 HDZ77、ボルト類はHDZT49とする。
- ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※8 ソールプレートは主構にて計上すること。
- ※9 部番10、11のボルトはBBCAP(シリコーン)を施すこと。
- ※10 金物類は現場状況に応じ適宜変更のこと。

- ⑩ ストッパーボルト, ワッシャー M20 x 35 強度区分 8.8
- ⑪ サイドブロックボルト, ワッシャー M20 x 60 強度区分 8.8
- ⑫ 桁取付ボルト, ワッシャー M20 x 100 強度区分 8.8

この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 取替支承詳細図(その1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 1
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 取替支承詳細図(その2) (参考図)

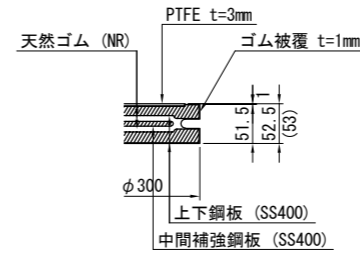
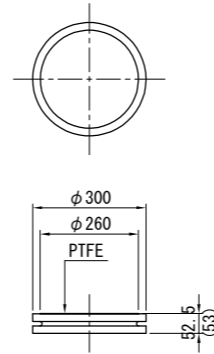
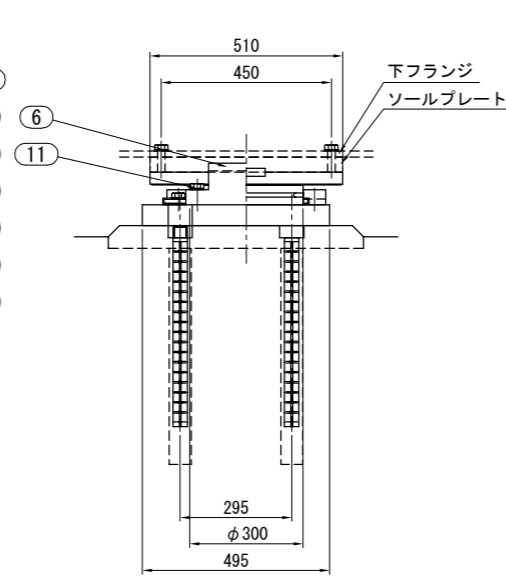
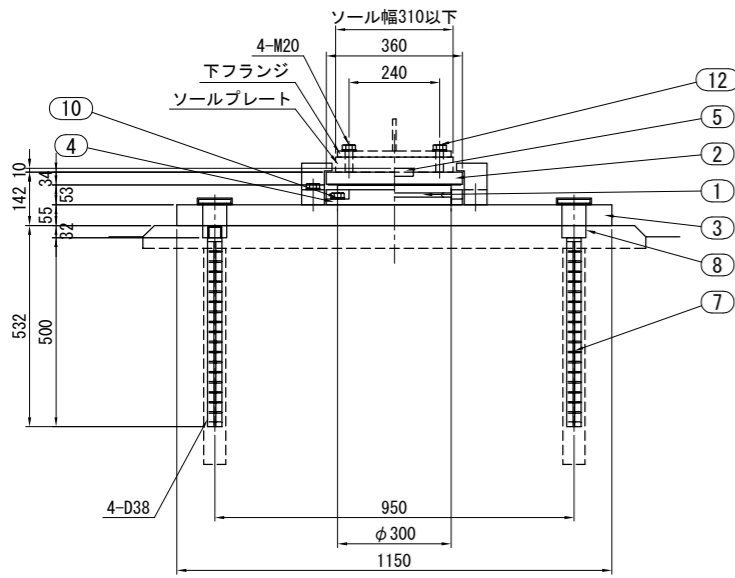
(A1G2) 可動ゴム支承装置 (弾性荷重支持板)

断面図 S=1:10
(橋軸直角方向)

側面図 S=1:10
(橋軸方向)

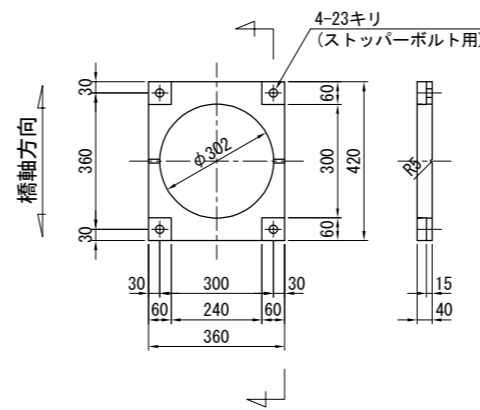
① ゴム支承[弾性荷重支持板] S=1:10
(1000KN用)

荷重支持板詳細図 S=1:5



※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

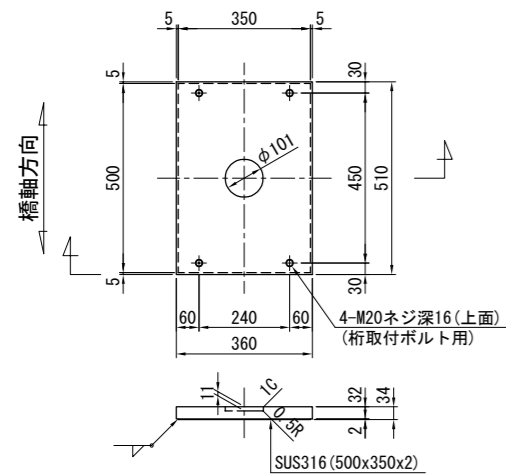
④ ストッパープレート S=1:10



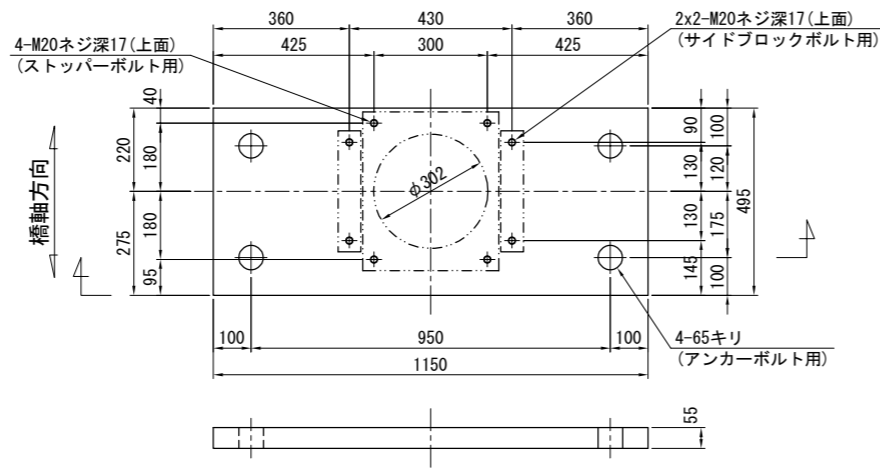
水切り溝詳細図 S=1:5



② スライディングプレート S=1:10

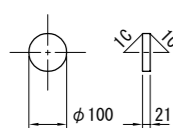


③ ベースプレート S=1:10

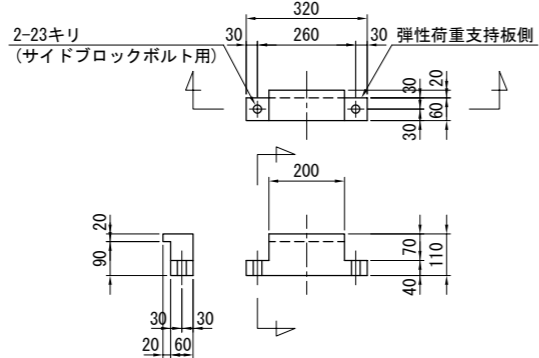


※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

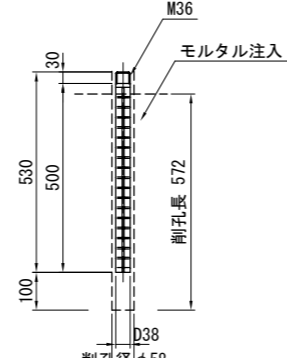
⑤ せん断キー S=1:10
上 用



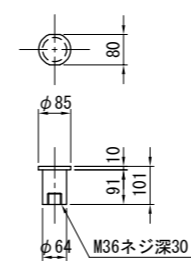
⑥ サイドブロック S=1:10



⑦ アンカーボルト S=1:10



⑧ カップラー S=1:10



設計条件

反力 (kN)		A1	
最大反力	Rmax	1020	
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	1010	
死荷重反力	RD	324	
照査荷重	R1L	348	
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	102
	橋軸直角方向	RHeq2	0
上向きの地震力	Ru	-454	
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量	δcL	0.791	
回転変位量	δr	0.767	
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	34
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	100
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10	
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	440	

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承[弾性荷重支持板]	NR, SS400, PTFE	1	19.9	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	48.0	
③	ベースプレート	SM490A	1	239.7	
④	ストッパープレート	SM490A or SCW480N	1	22.0	
⑤	せん断キー	SM490A or S35CN	1	1.3	上 用
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	26.1	
7	アンカーボルト	SD345	4	19.0	
8	カップラー	S45CN	4	9.5	
9	ゴムキャップ	EPDM	4	0.2	
⑩	ストッパーボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.7	
⑪	サイドブロックボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.9	
⑫	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	1.3	
合計				388.6	(kg)

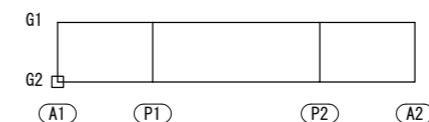
- ※1 道路橋支承受便覧準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支承受便覧2.9に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
- ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※8 ソールプレートは主構にて計上すること。
- ※9 部番10、11のボルトはBBCAP(シリコーン)を施すこと。
- ※10 金物類は現場状況に応じ適宜変更のこと。

- ⑩ ストッパーボルト, ワッシャー M20 x 35 強度区分 8.8
- ⑪ サイドブロックボルト, ワッシャー M20 x 60 強度区分 8.8
- ⑫ 桁取付ボルト, ワッシャー M20 x 100 強度区分 8.8

この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

位置図



工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 取替支承詳細図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 2
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

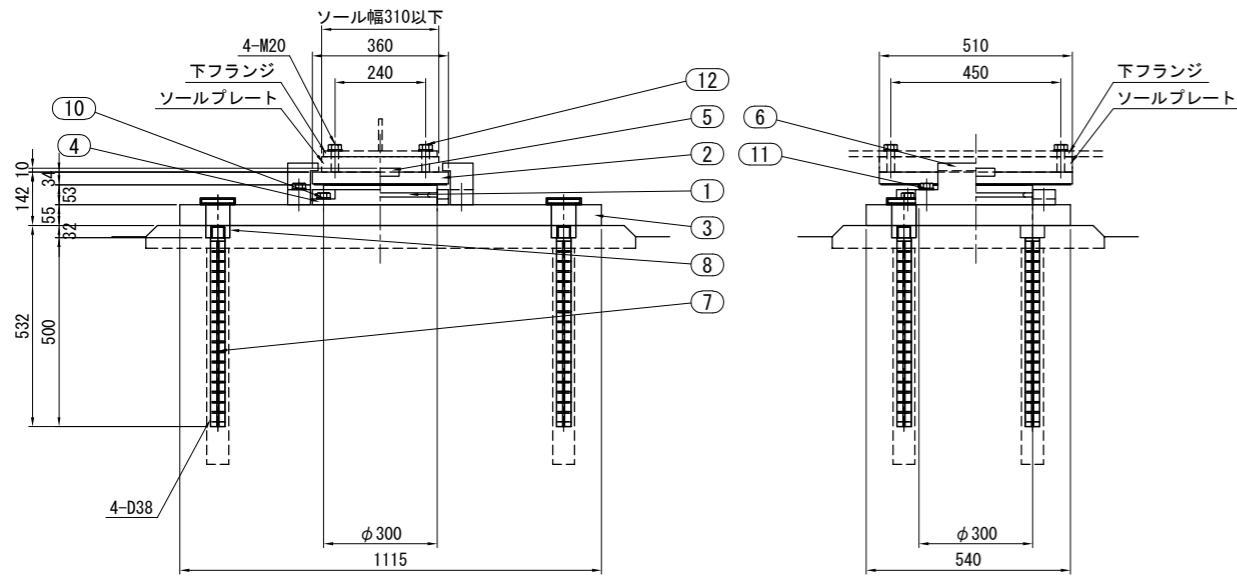
観音橋 取替支承詳細図(その3) (参考図)

(A2G1) 可動ゴム支承装置 (弾性荷重支持板)

断面図 S=1:10
(橋軸直角方向)

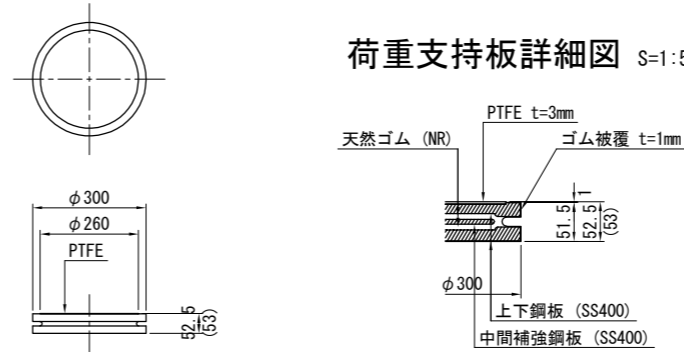
側面図 S=1:10
(橋軸方向)

① ゴム支承[弾性荷重支持板] S=1:10
(1000KN用)

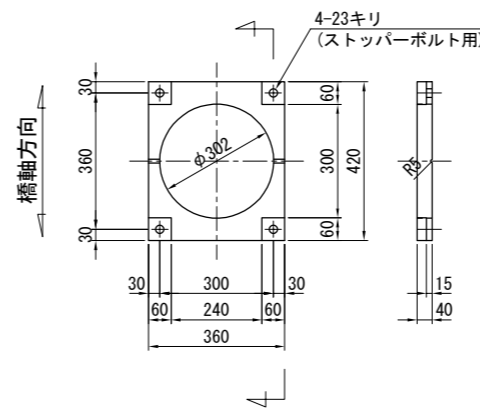


※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

荷重支持板詳細図 S=1:5



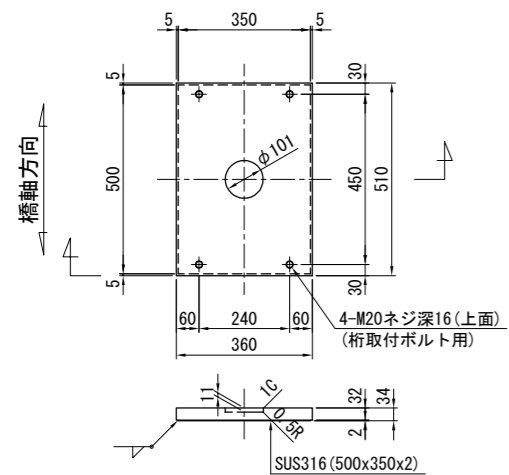
④ ストッパープレート S=1:10



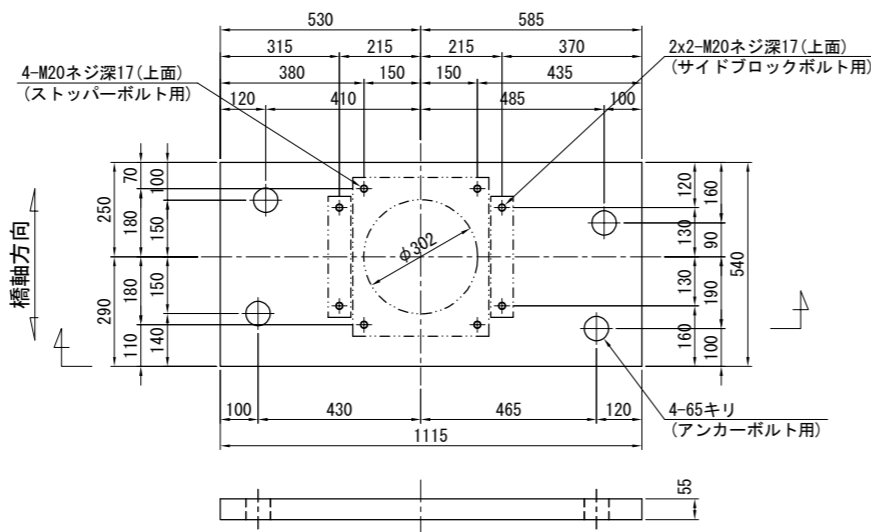
水切り溝詳細図 S=1:5



② スライディングプレート S=1:10

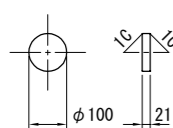


③ ベースプレート S=1:10

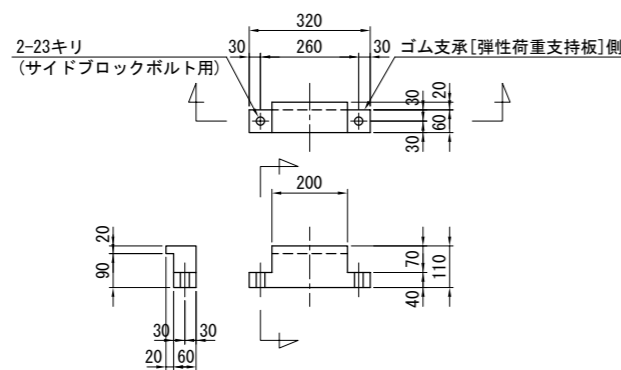


※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

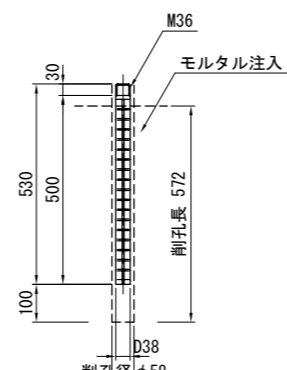
⑤ せん断キー S=1:10
上 用



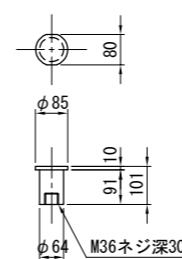
⑥ サイドブロック S=1:10



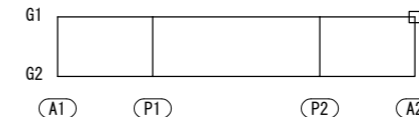
⑦ アンカーボルト S=1:10



⑧ カップラー S=1:10



位置図



設計条件

反力 (kN)		A2	
最大反力	Rmax	1020	
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	1010	
死荷重反力	RD	324	
照査荷重	R1L	348	
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	102
	橋軸直角方向	RHeq2	0
上向きの地震力	Ru	-369	
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量	δcL	0.791	
回転変位量	δr	0.767	
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	34
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	100
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10	
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	440	

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承[弾性荷重支持板]	NR, SS400, PTFE	1	19.9	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	48.0	
③	ベースプレート	SM490A	1	253.9	
④	ストッパープレート	SM490A or SCW480N	1	22.0	
⑤	せん断キー	SM490A or S35CN	1	1.3	上 用
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	26.1	
7	アンカーボルト	SD345	4	19.0	
8	カップラー	S45CN	4	9.5	
9	ゴムキャップ	EPDM	4	0.2	
⑩	ストッパーボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.7	
⑪	サイドブロックボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.9	
⑫	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	1.3	
合計				402.8	(kg)

- ※1 道路橋支保便覧準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保便覧2.9に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
- ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※8 ソールプレートは主構にて計上すること。
- ※9 部番10, 11のボルトはBBCAP(シリコーン)を施すこと。
- ※10 金物類は現場状況に応じ適宜変更のこと。

- ⑩ ストッパーボルト, ワッシャー M20 x 35 強度区分 8.8
- ⑪ サイドブロックボルト, ワッシャー M20 x 60 強度区分 8.8
- ⑫ 桁取付ボルト, ワッシャー M20 x 100 強度区分 8.8

この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

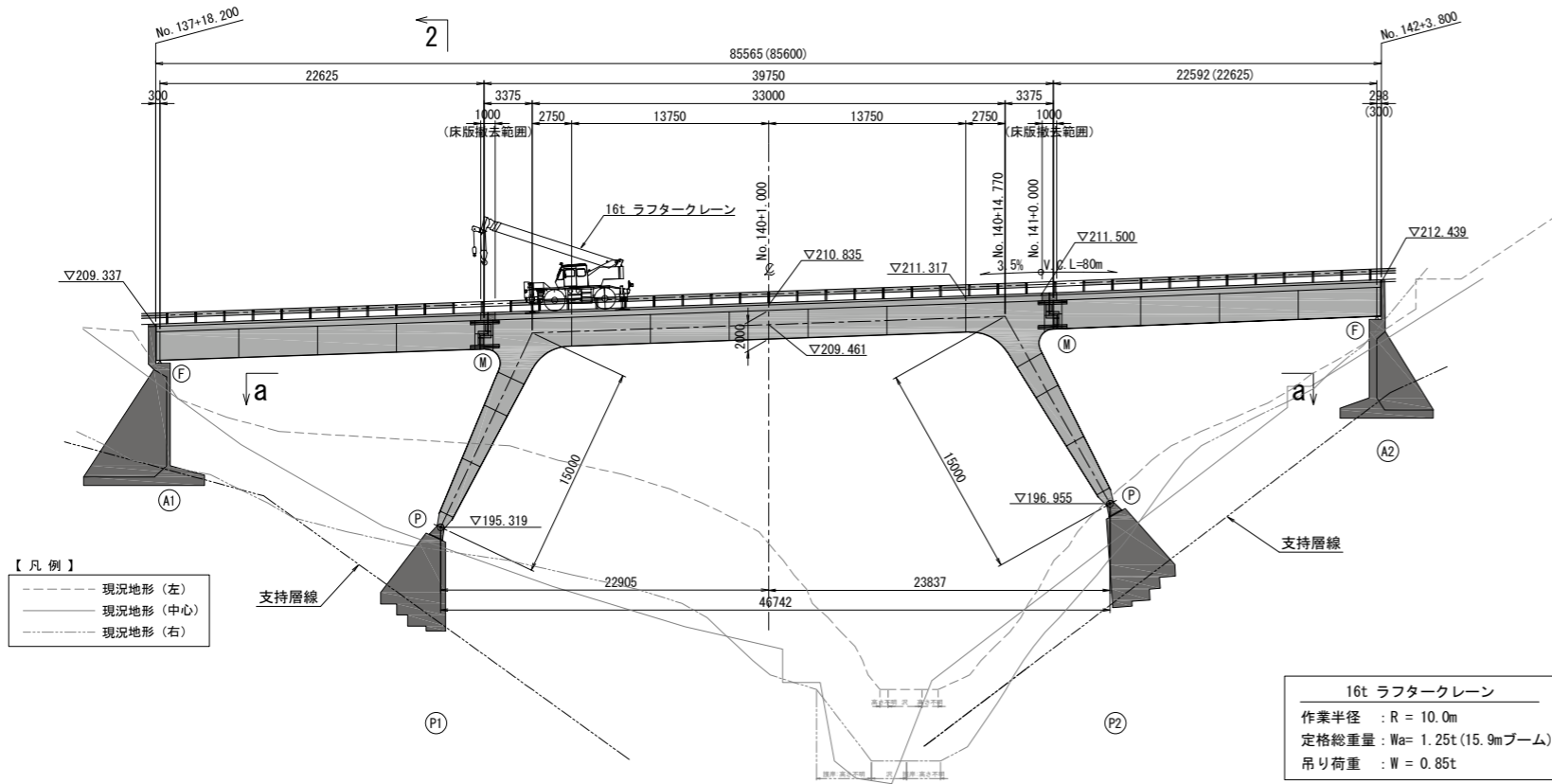
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事
図面名	観音橋 取替支承詳細図(その3) (参考図)
縮尺	図示 図面番号 参 / 3
年月日	令和7年12月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所

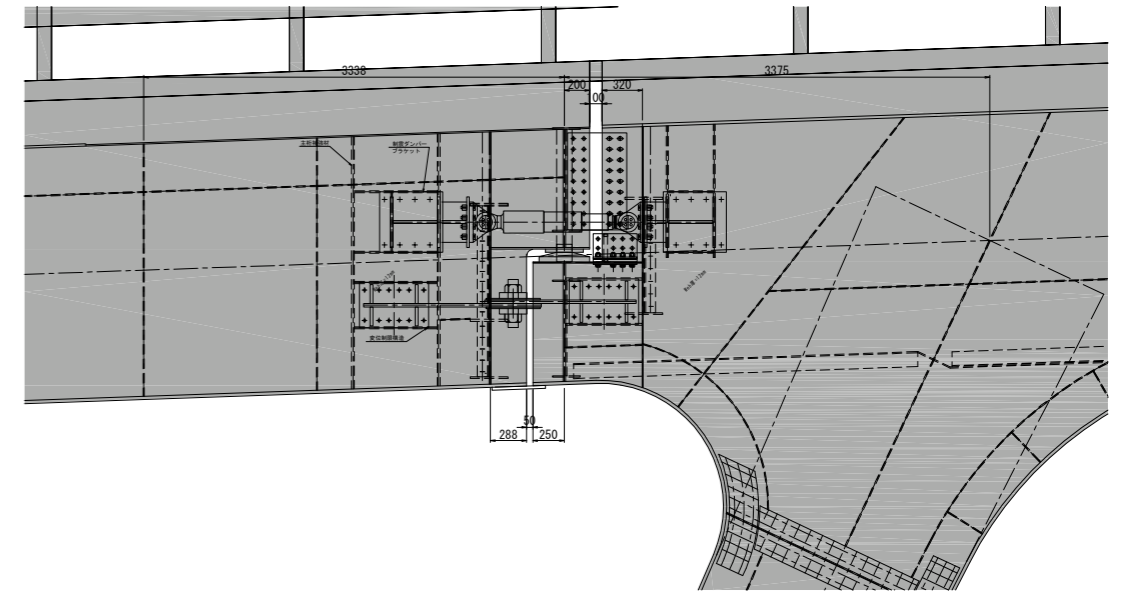
観音橋 施工ステップ図(その1)(参考図)

【STEP1】現況

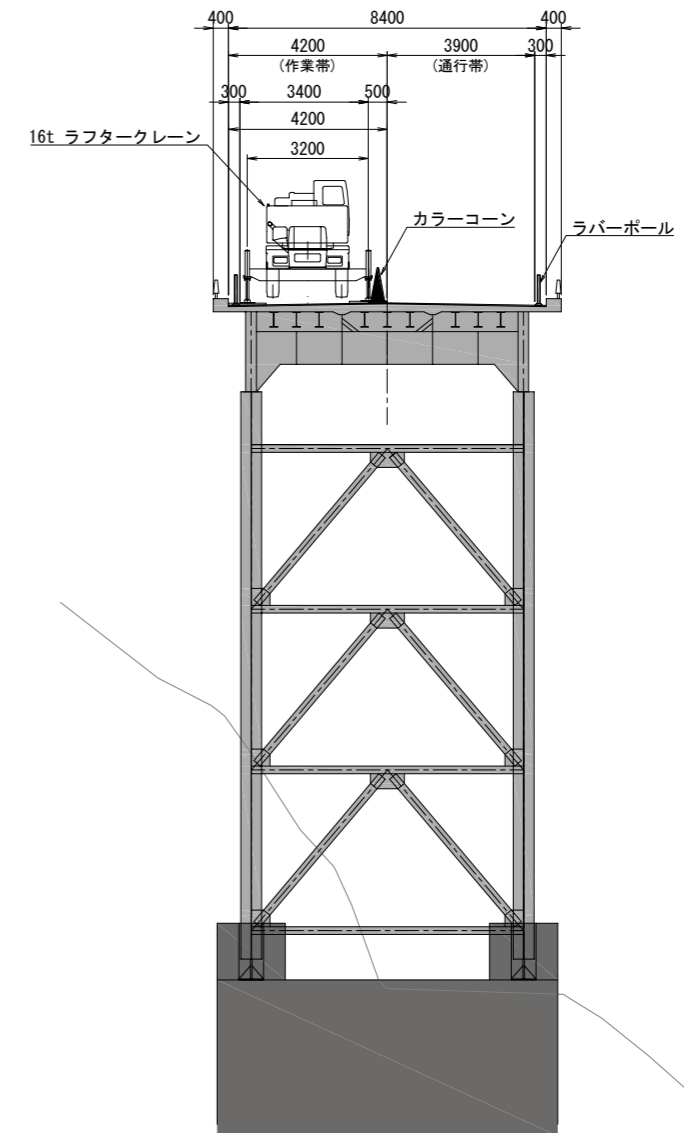
側面図 S=1:250



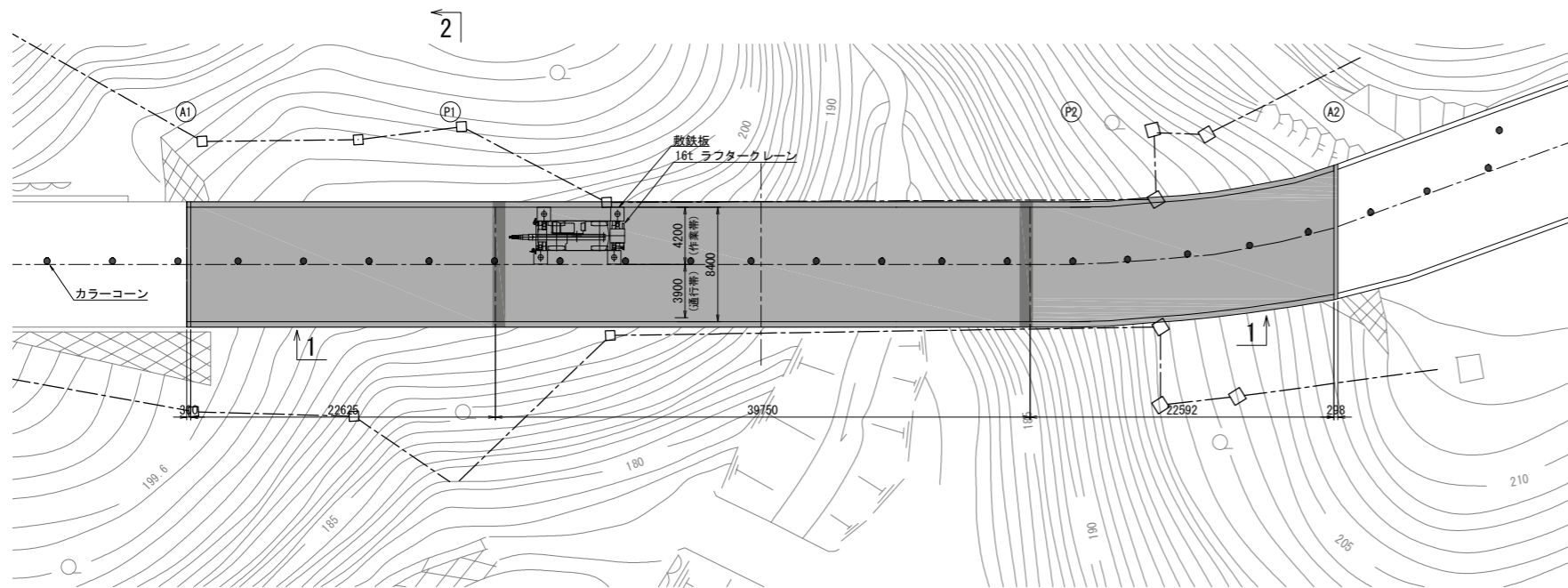
ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

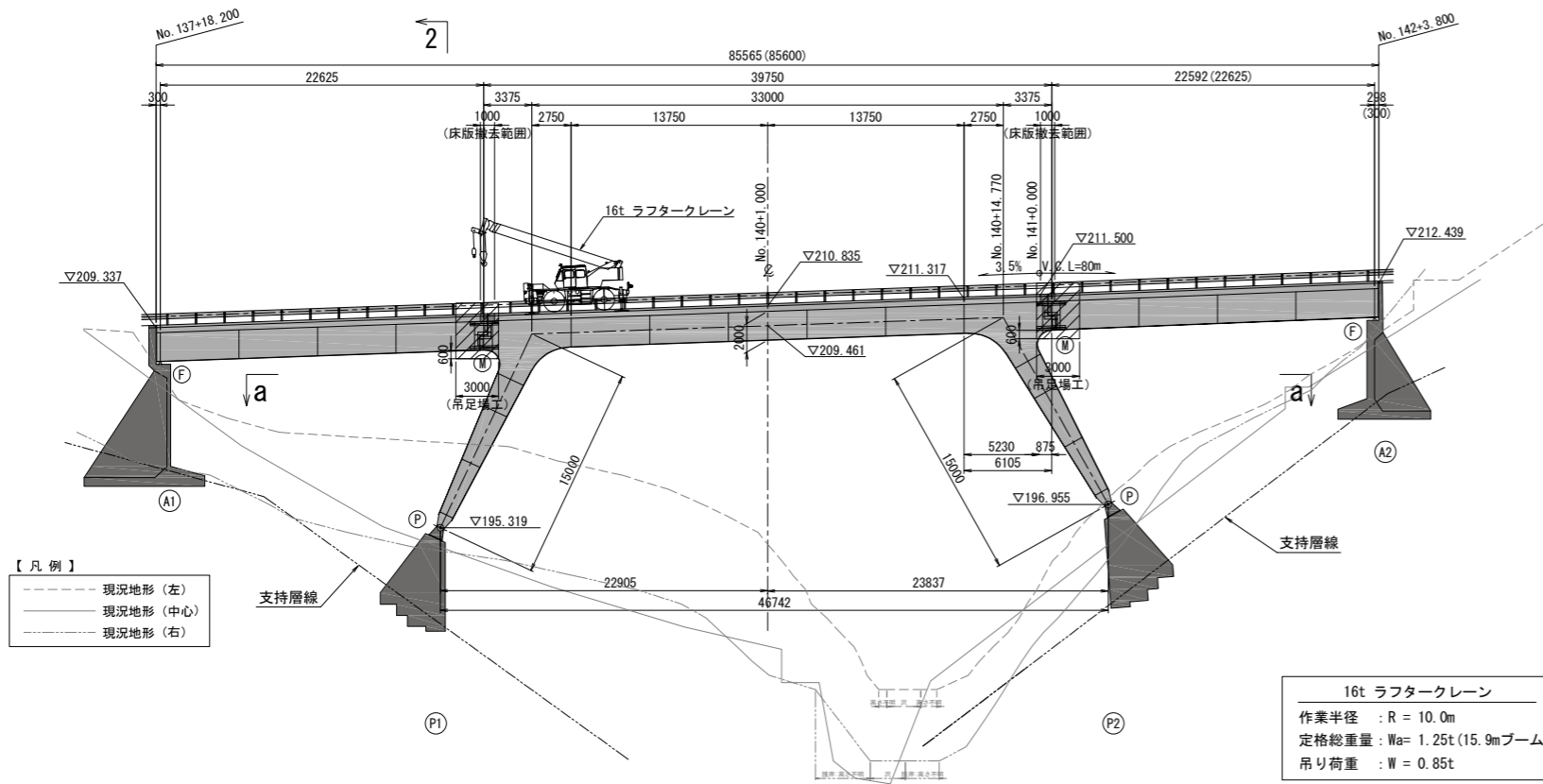
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 5
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 施工ステップ図(その2) (参考図)

【STEP2】 足場設置

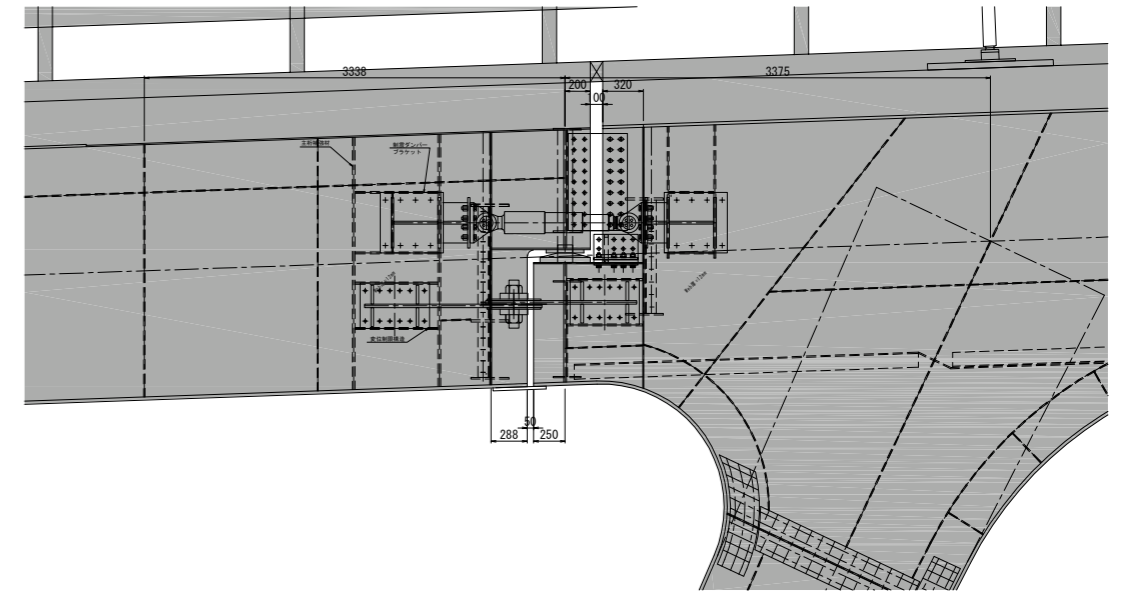
側面図

S=1:250



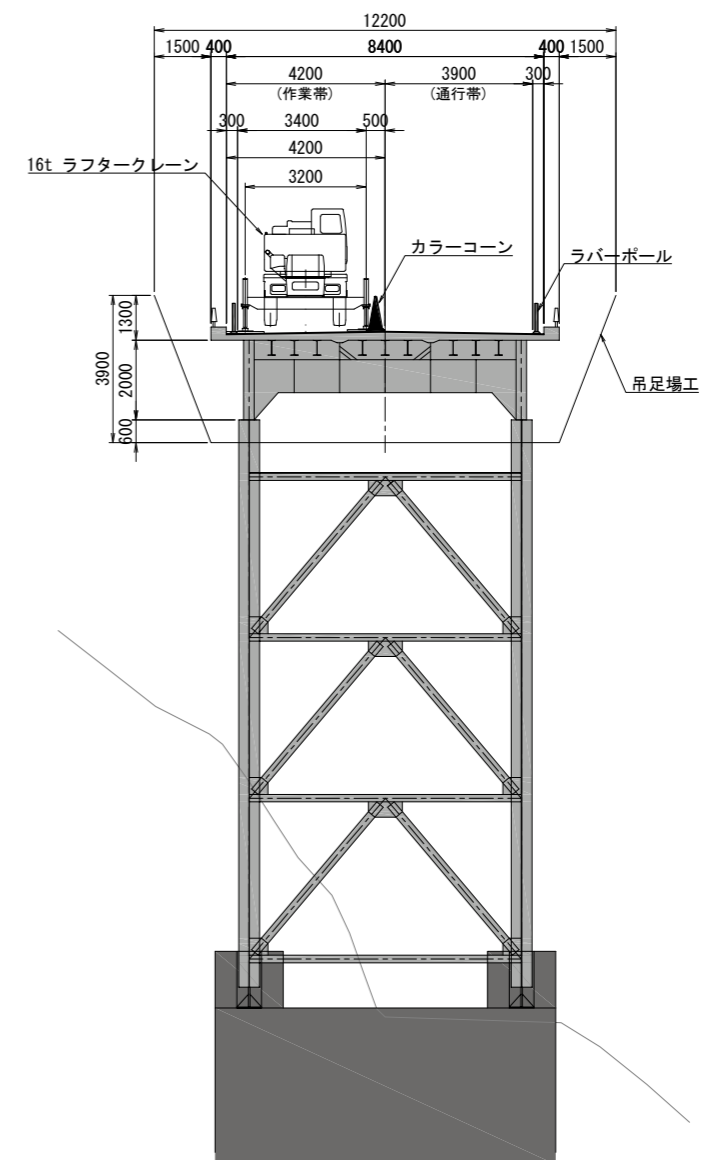
ゲルバー部詳細図

S=1:30



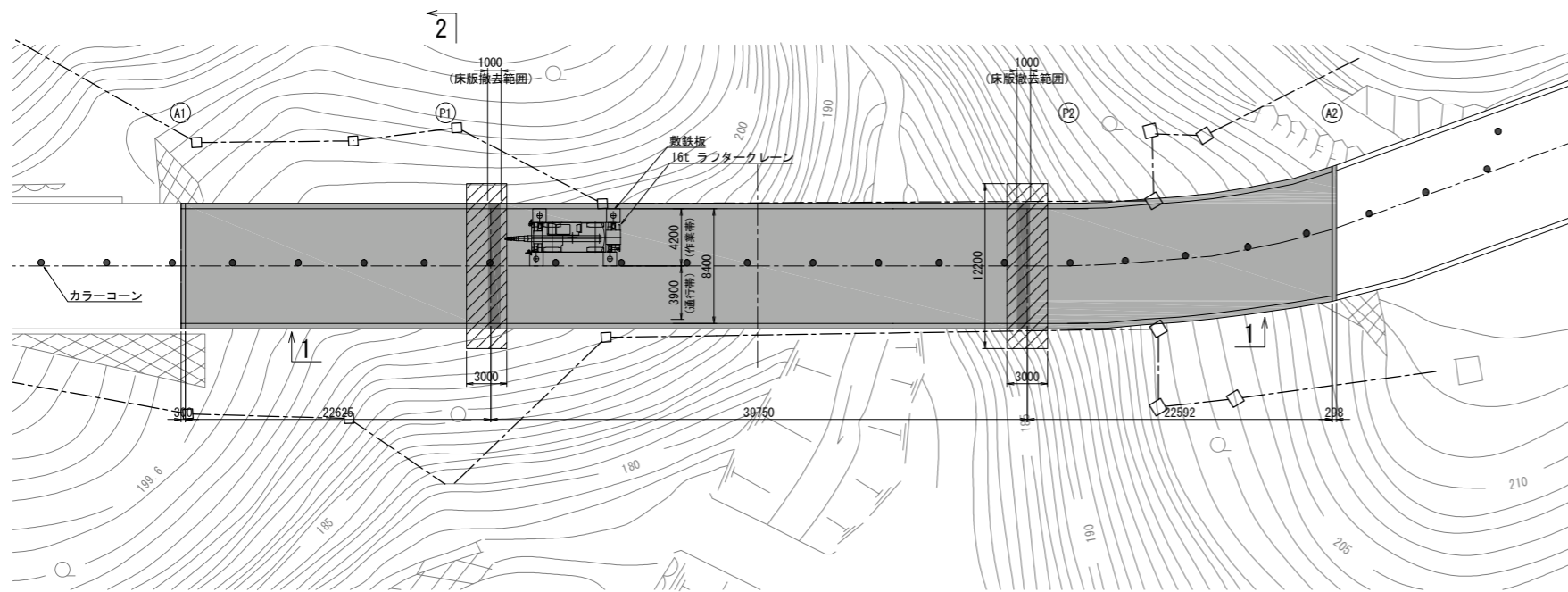
断面図

S=1:100



平面図

S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

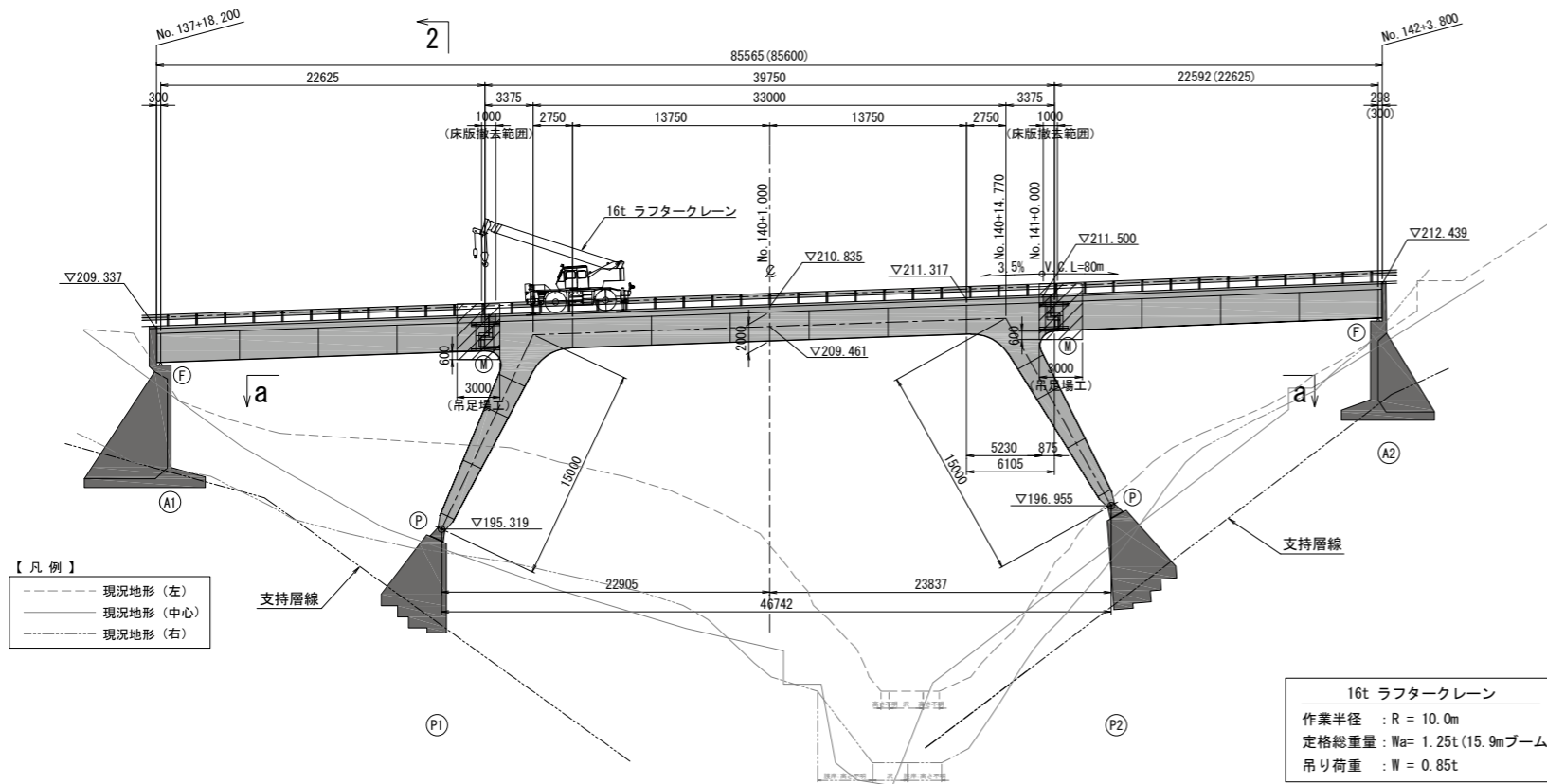
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 6
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

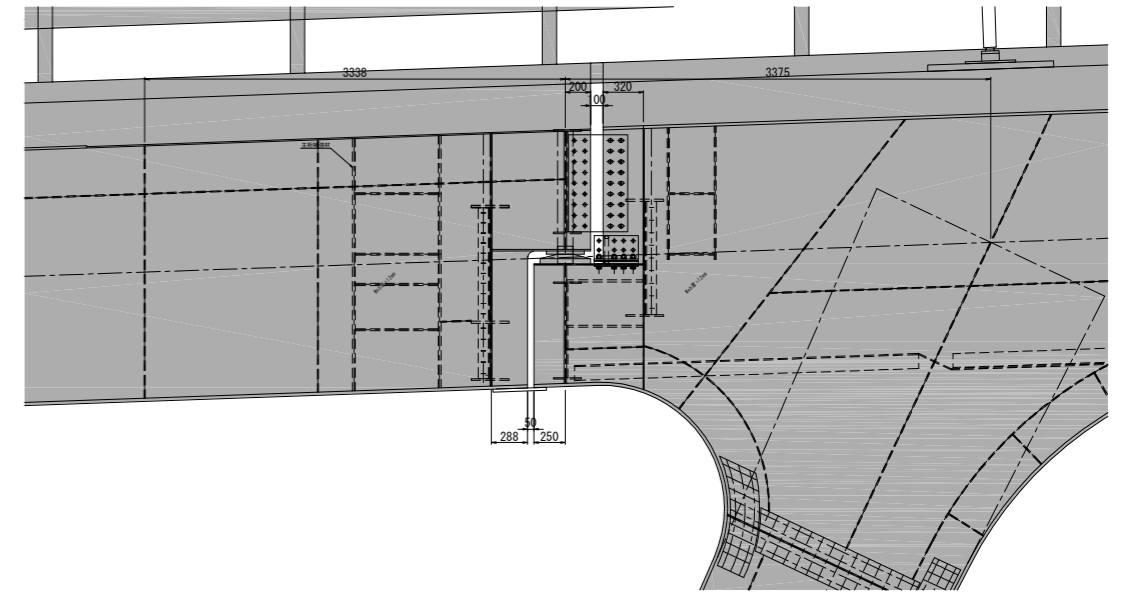
観音橋 施工ステップ図(その3) (参考図)

【STEP3】 落橋防止システム撤去

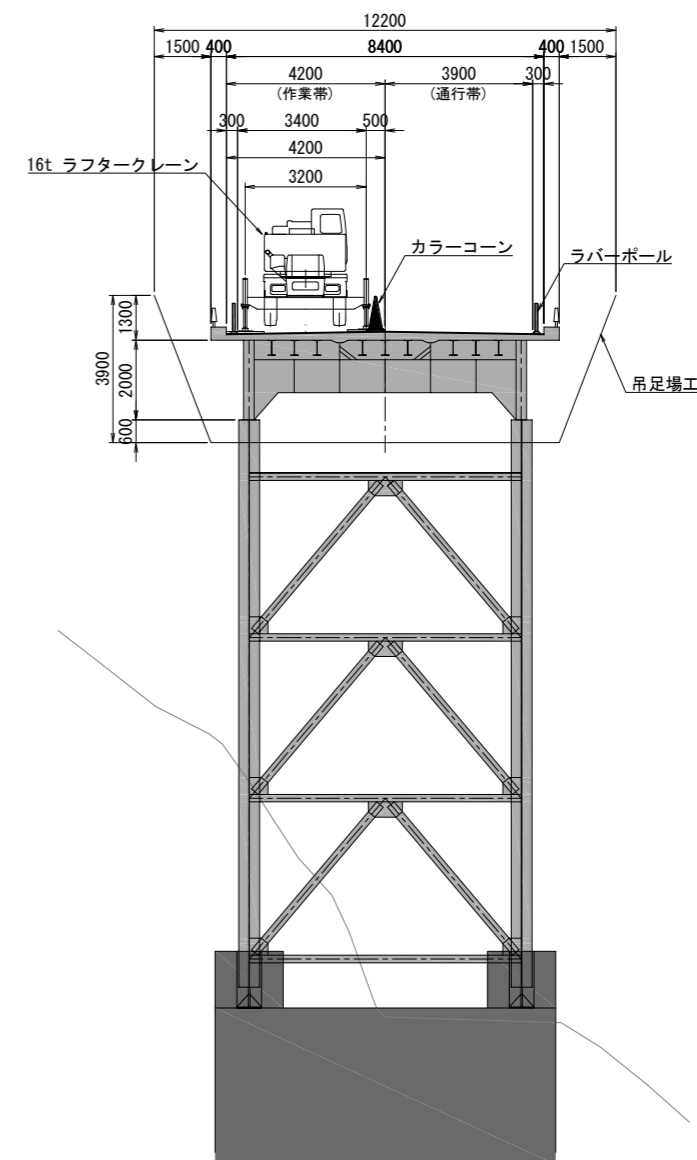
側面図 S=1:250



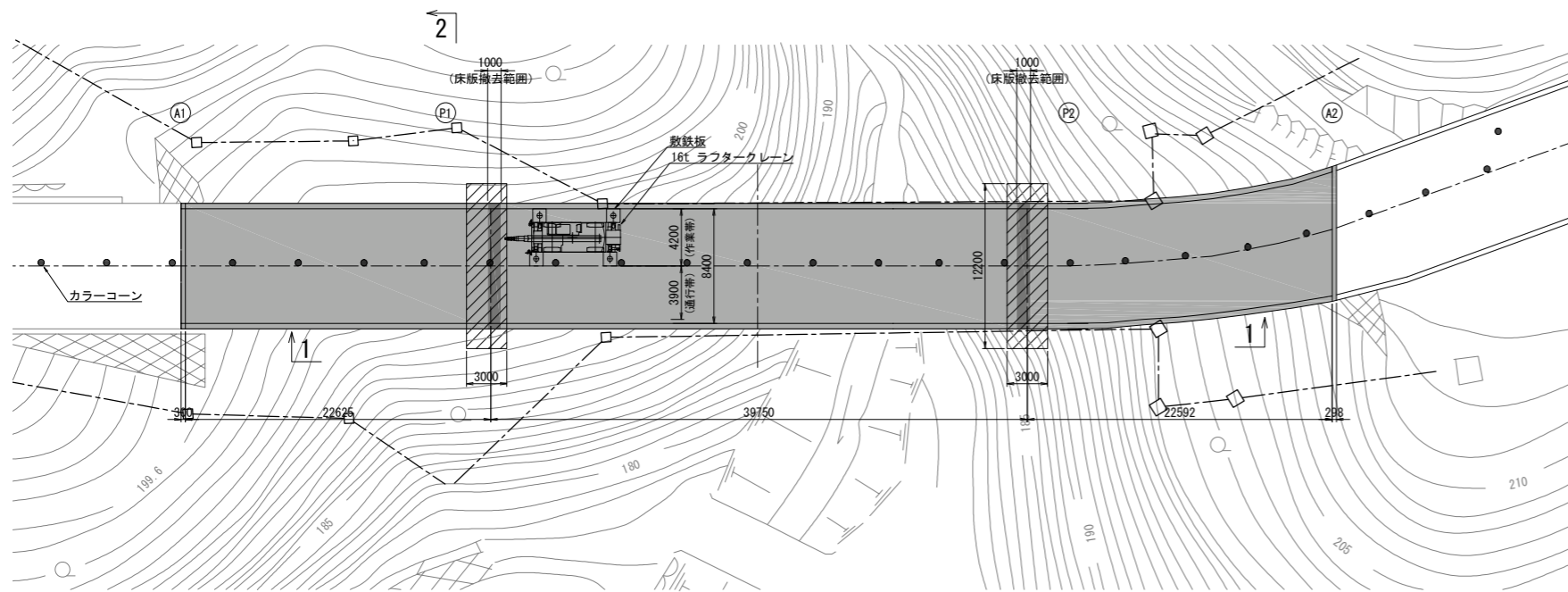
ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

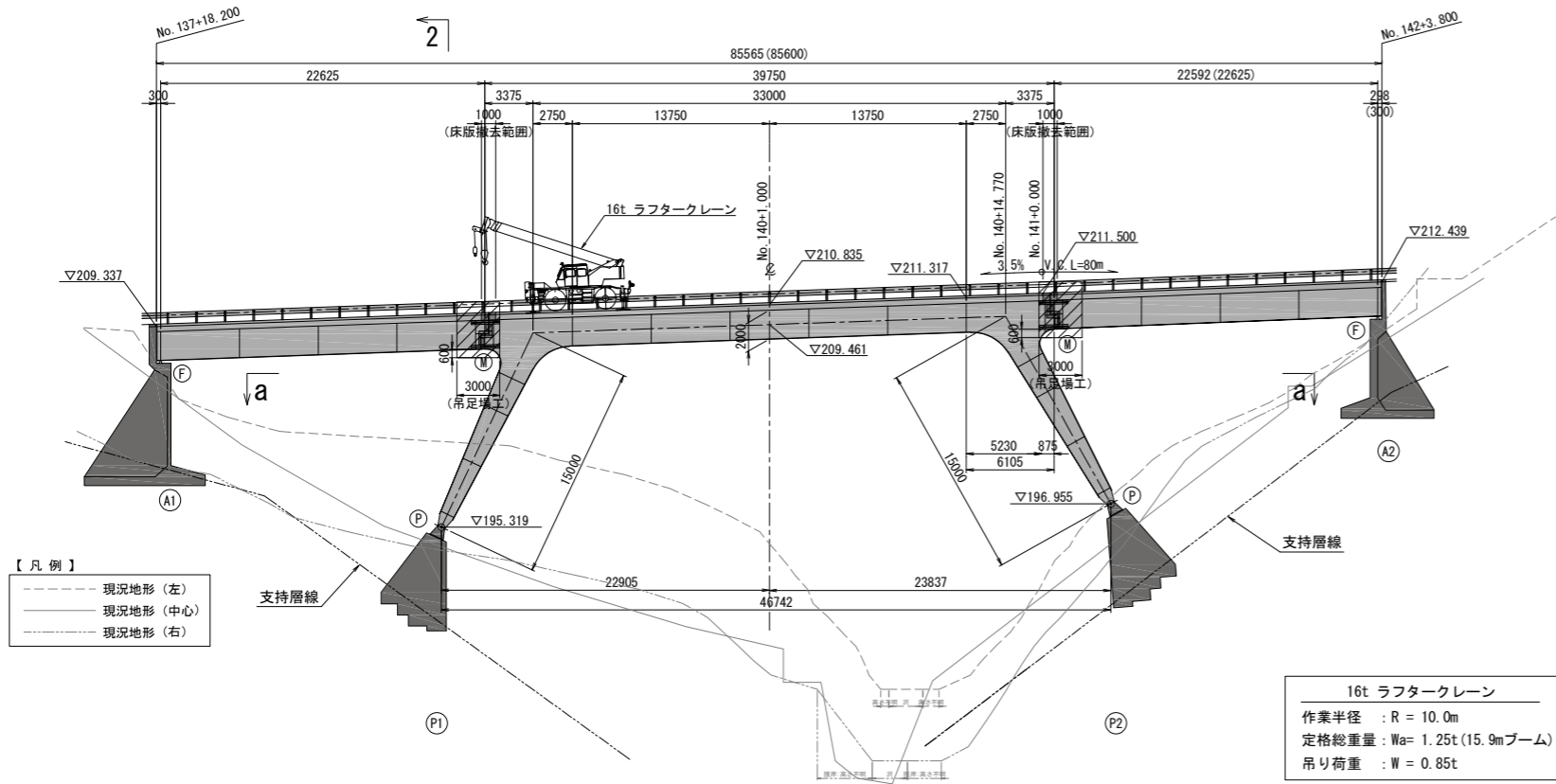
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その3) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 7
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

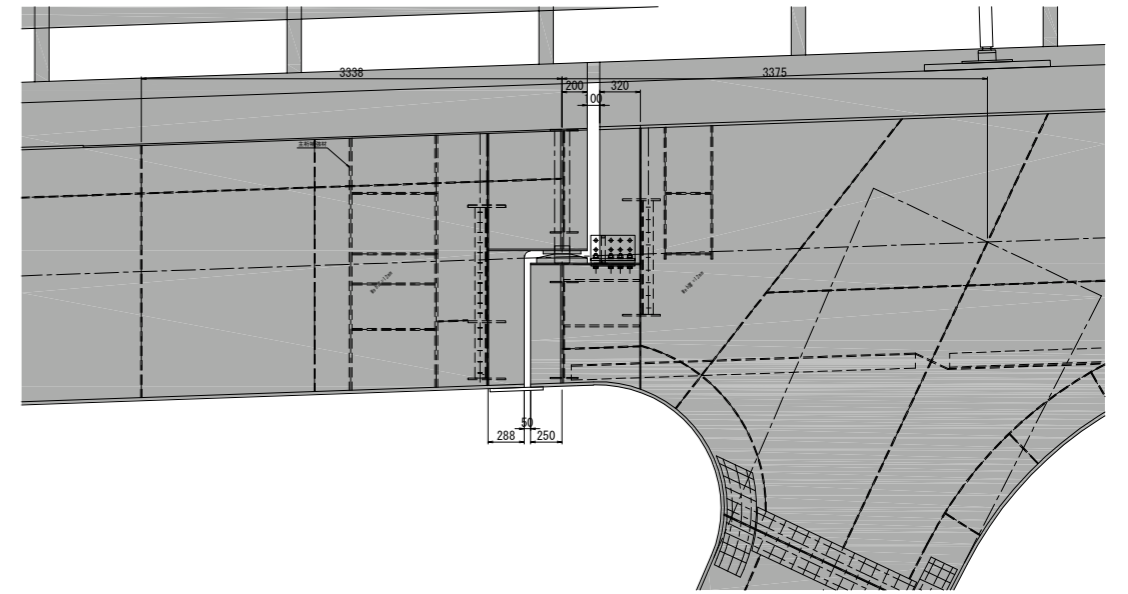
観音橋 施工ステップ図(その4) (参考図)

【STEP4】 連結版(応急復旧)撤去

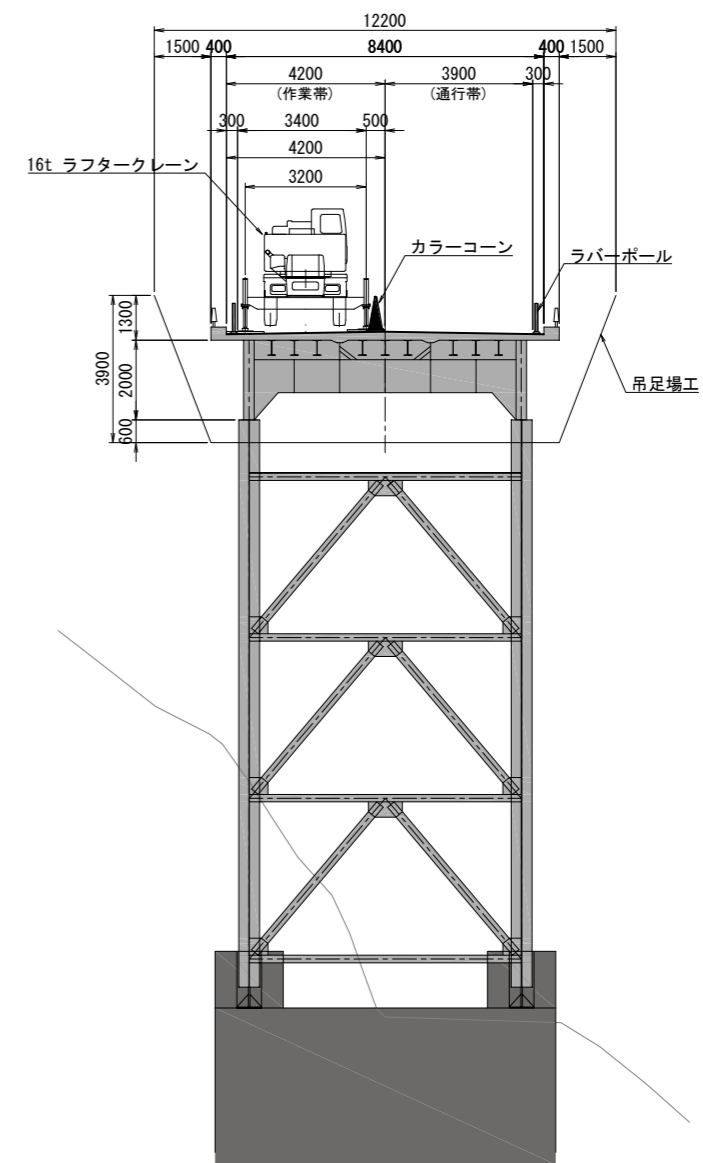
側面図 S=1:250



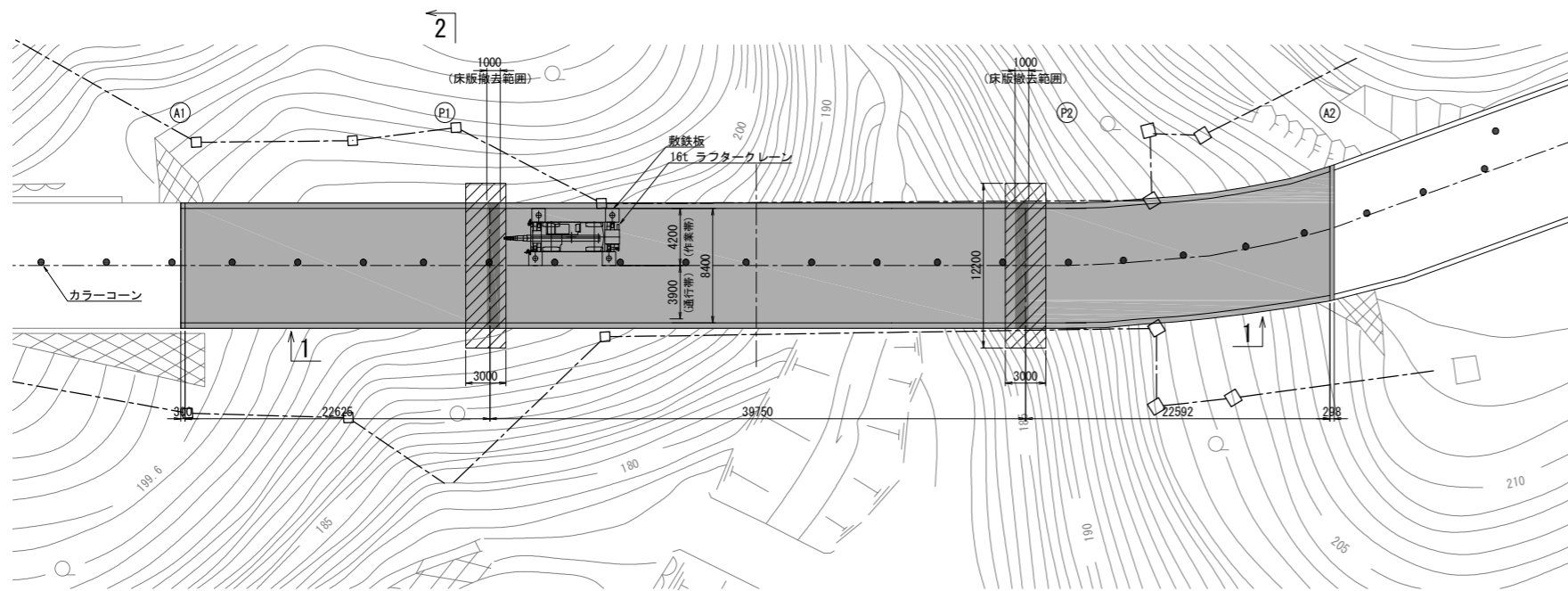
ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

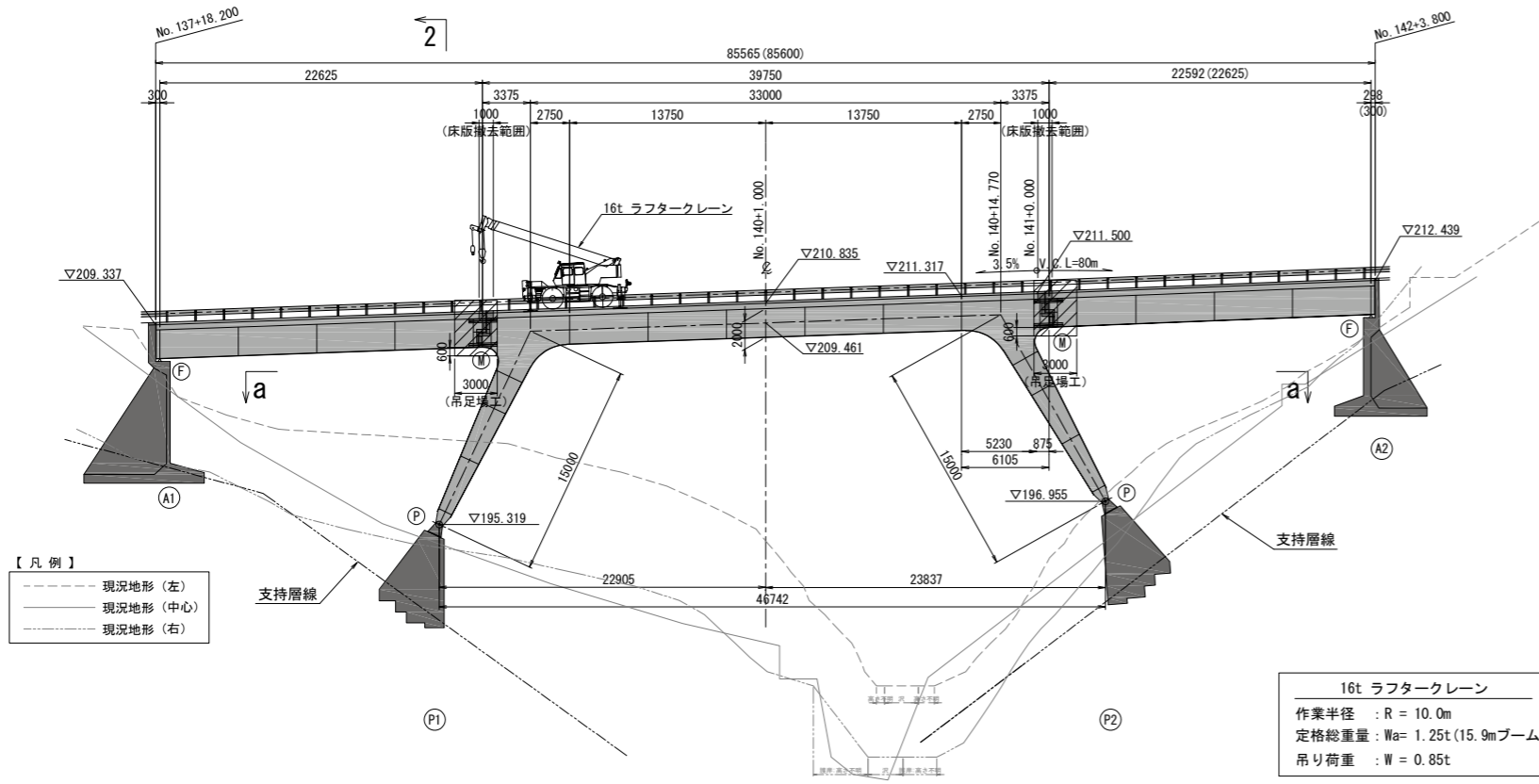
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その4) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 8
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 施工ステップ図(その5) (参考図)

【STEP5】 補強部材設置 (既設支承部以外)

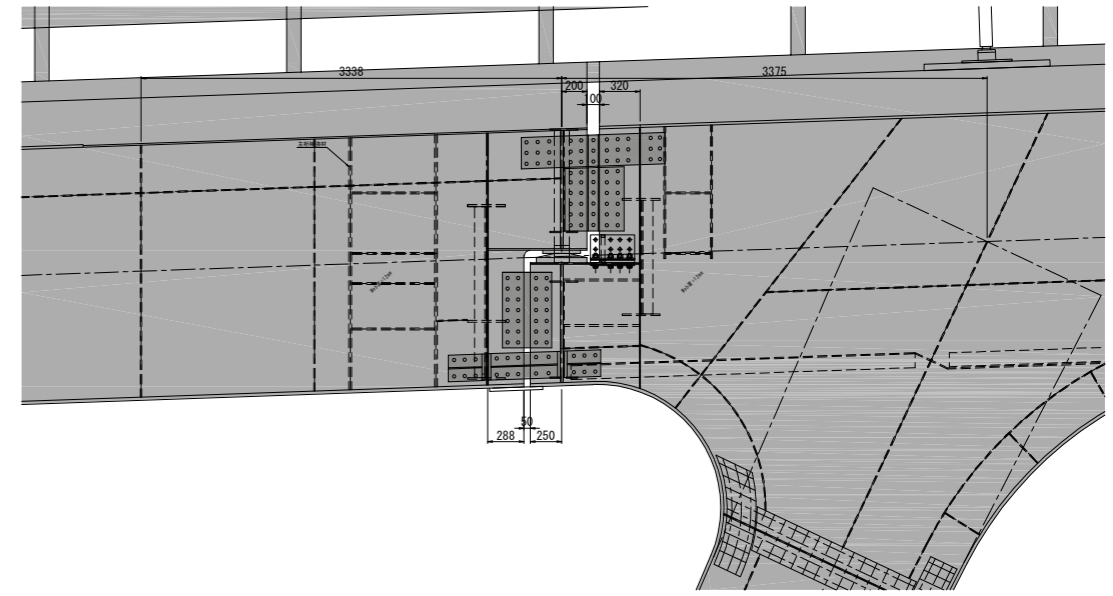
側面図 S=1:250



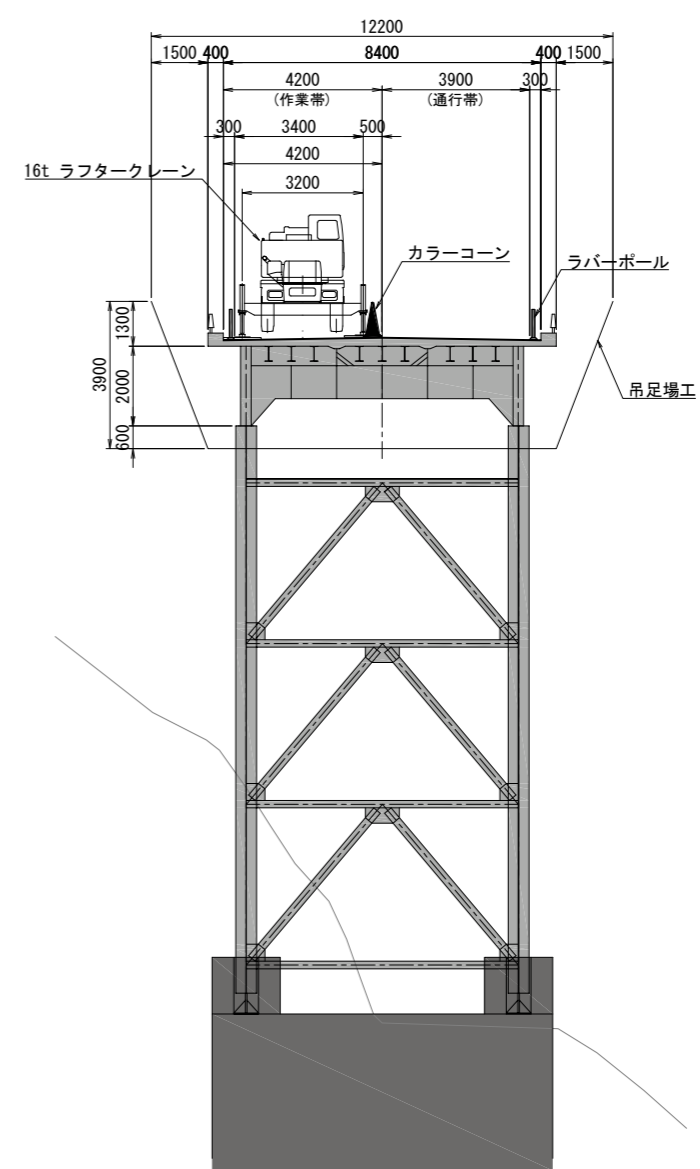
- 【凡例】
- 現況地形 (左)
 - 現況地形 (中心)
 - 現況地形 (右)

16t ラフタークレーン
 作業半径 : R = 10.0m
 定格総重量 : Wa = 1.25t (15.9mブーム)
 吊り荷重 : W = 0.85t

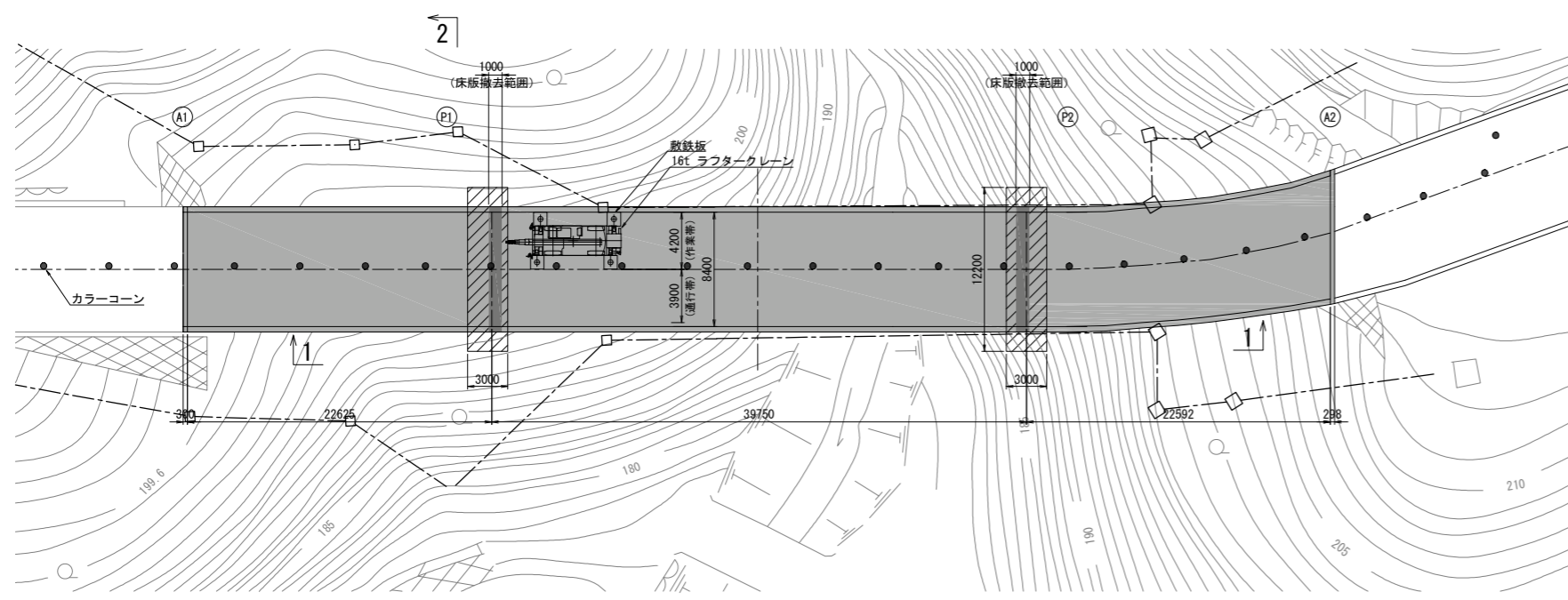
ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

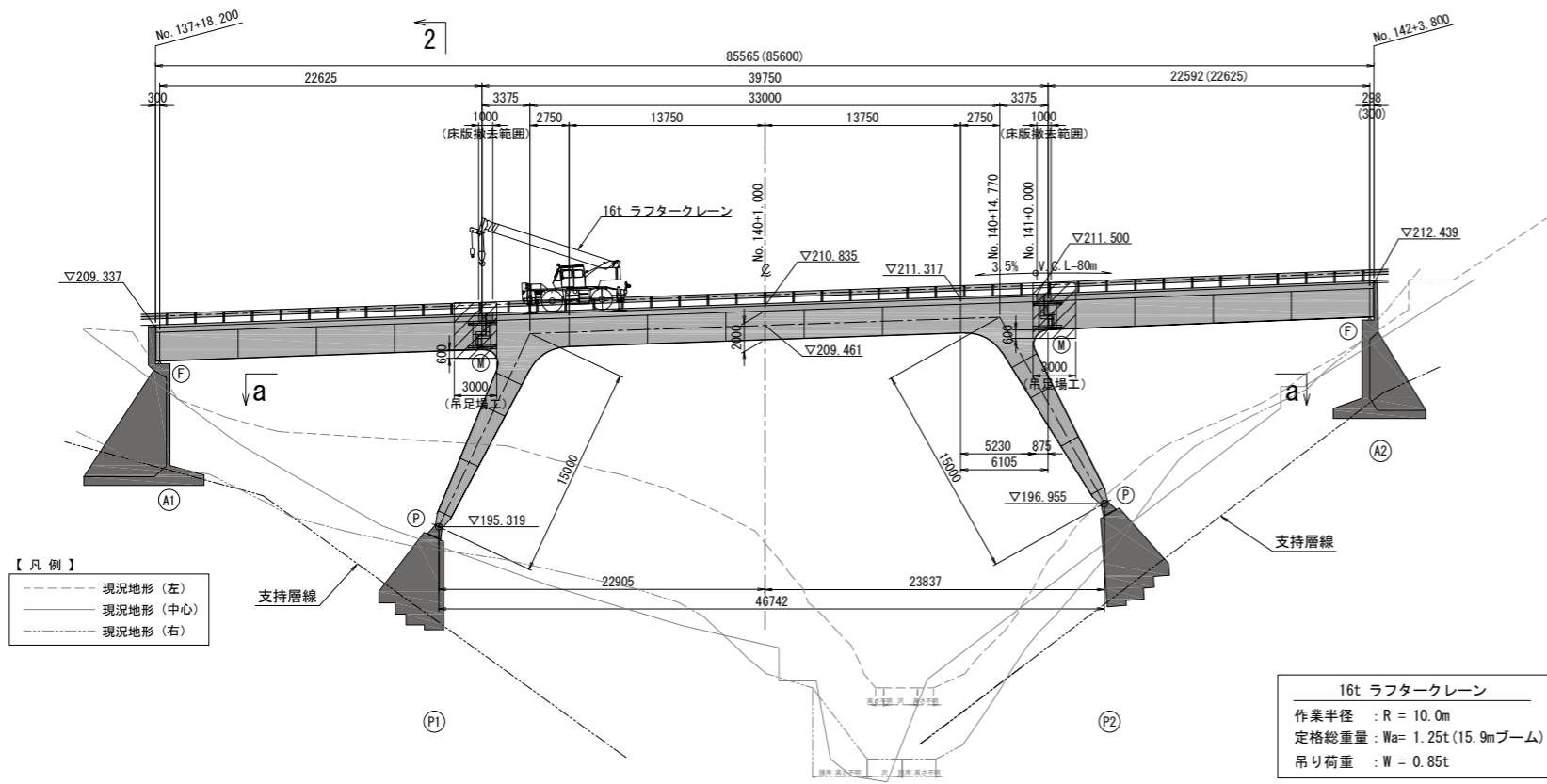
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その5) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 9
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 施工ステップ図(その6) (参考図)

【STEP6】 ゲルバー部既設支承撤去

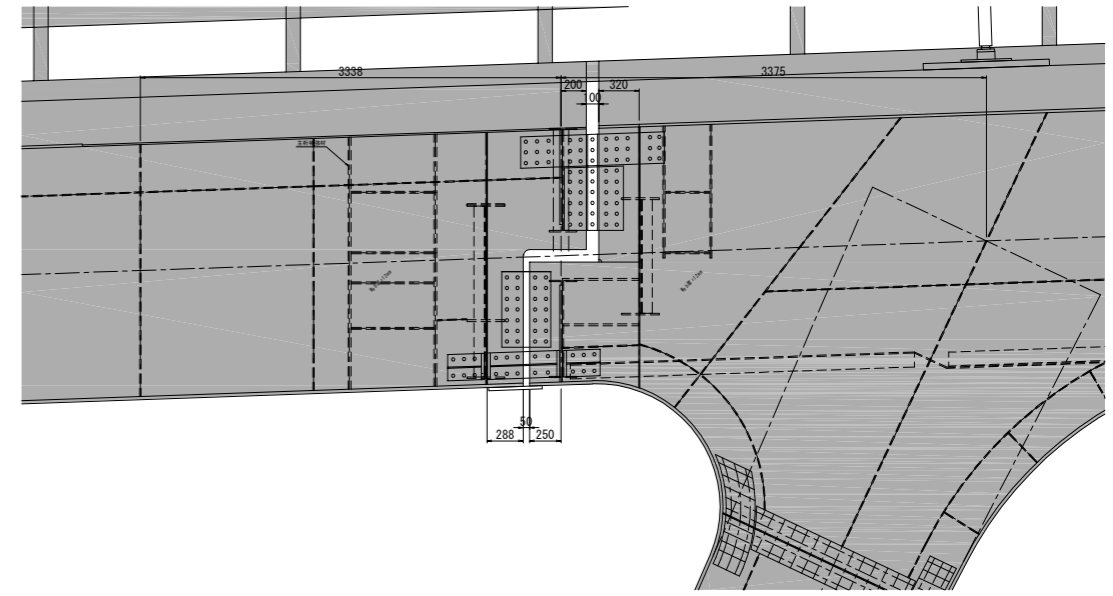
側面図 S=1:250



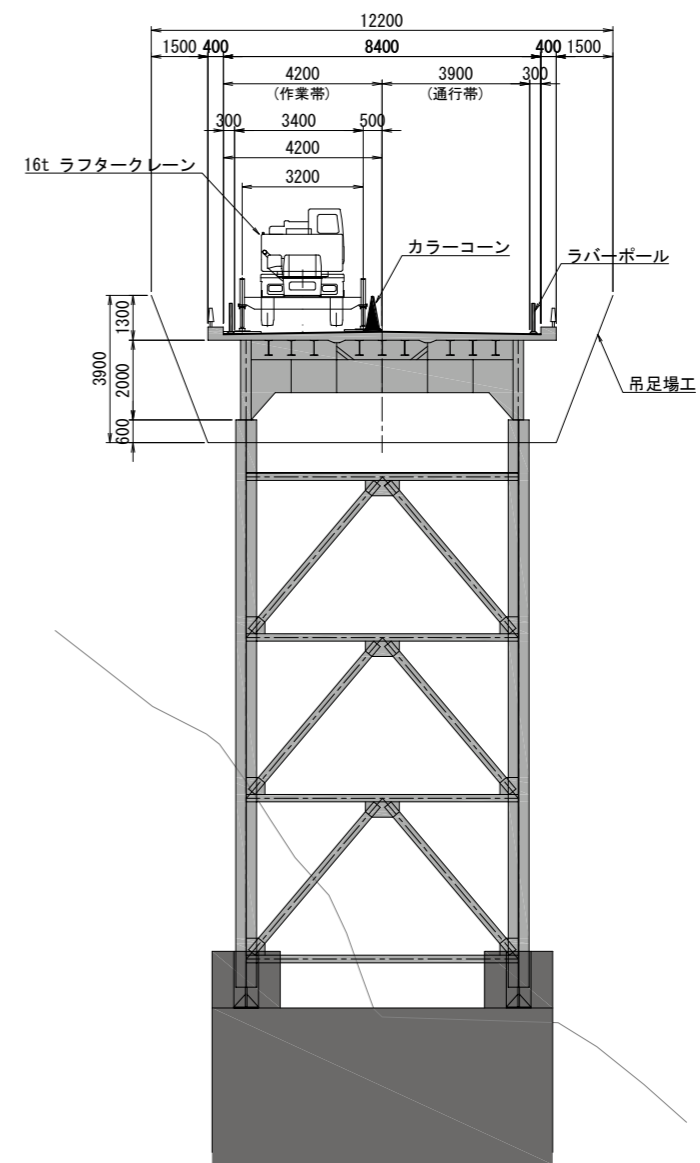
- 【凡例】
- 現況地形 (左)
 - 現況地形 (中心)
 - 現況地形 (右)

16t ラフタークレーン
 作業半径 : R = 10.0m
 定格総重量 : Wa = 1.25t (15.9mブーム)
 吊り荷重 : W = 0.85t

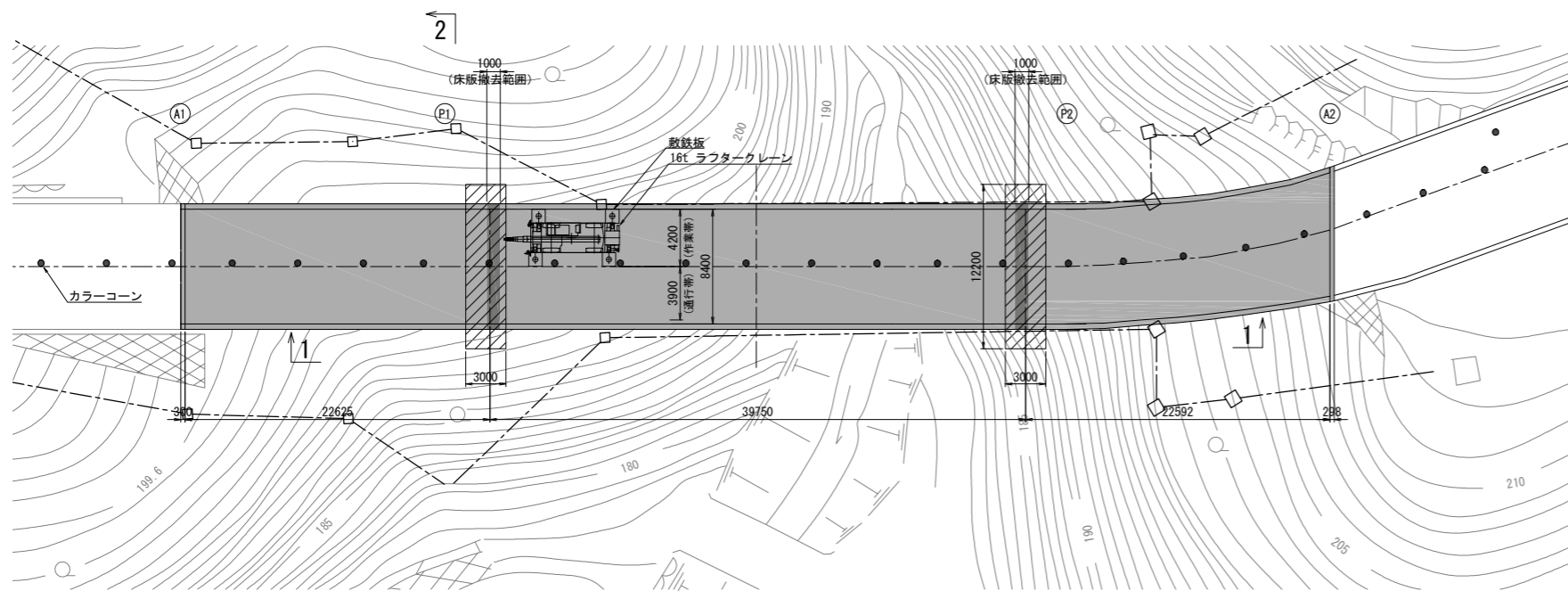
ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

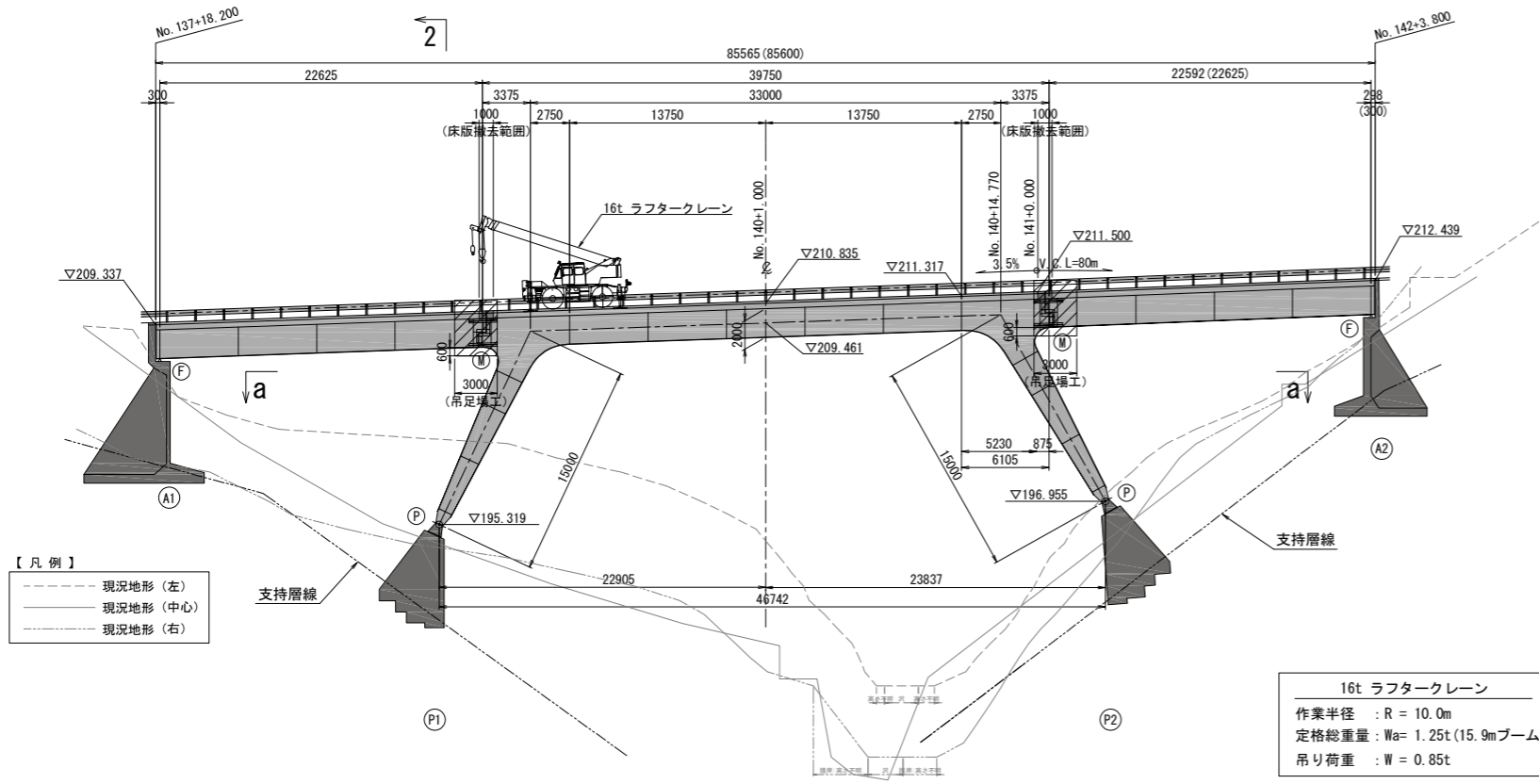
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その6) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 10
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 施工ステップ図(その7)(参考図)

【STEP7】 補強部材設置 (既設支承撤去部)

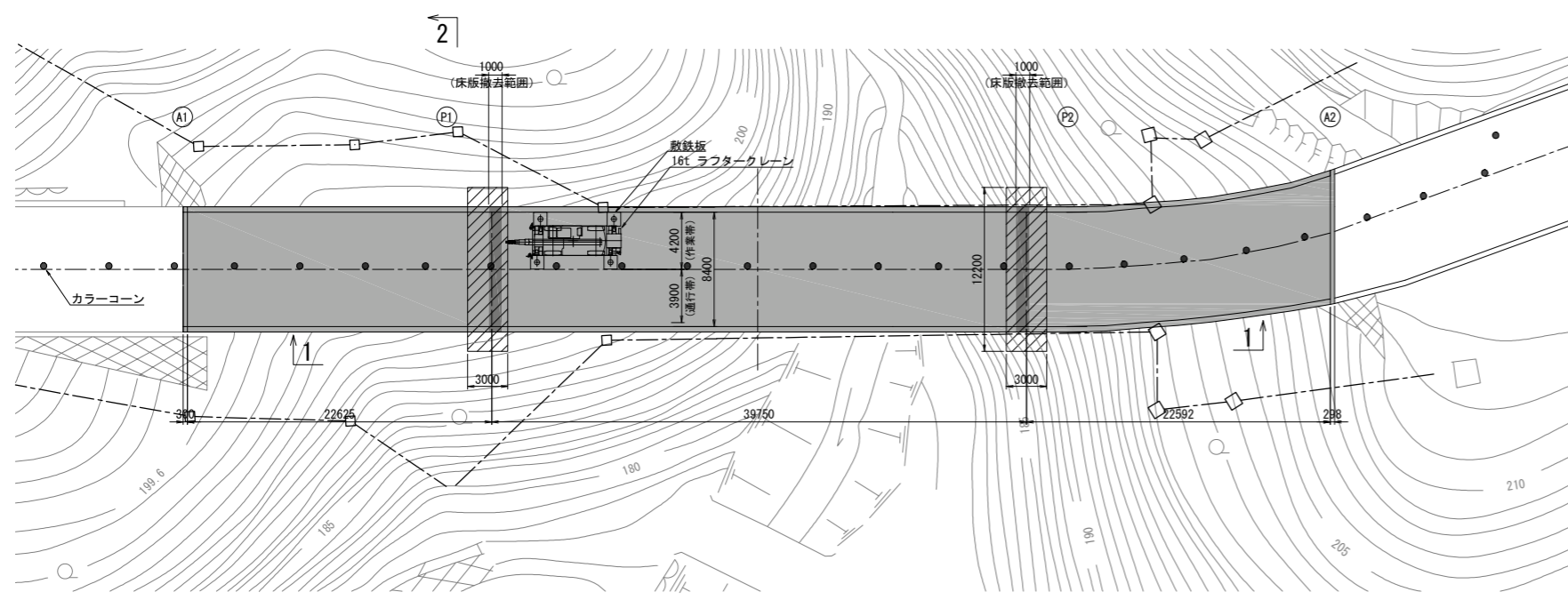
側面図 S=1:250



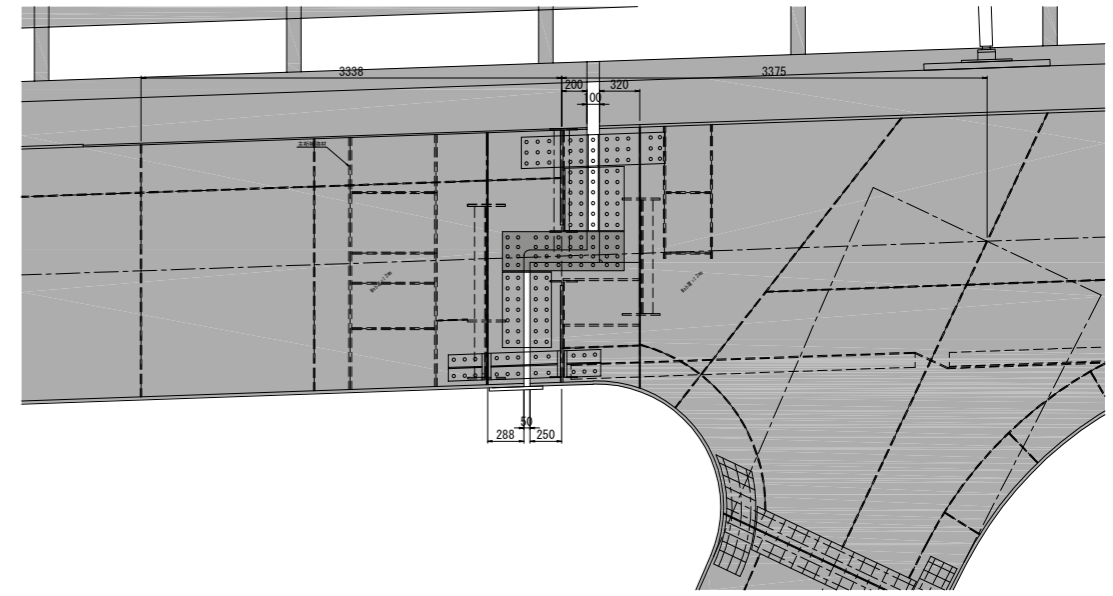
- 【凡例】
- 現況地形 (左)
 - 現況地形 (中心)
 - 現況地形 (右)

16t ラフタークレーン
 作業半径 : R = 10.0m
 定格総重量 : Wa = 1.25t (15.9mブーム)
 吊り荷重 : W = 0.85t

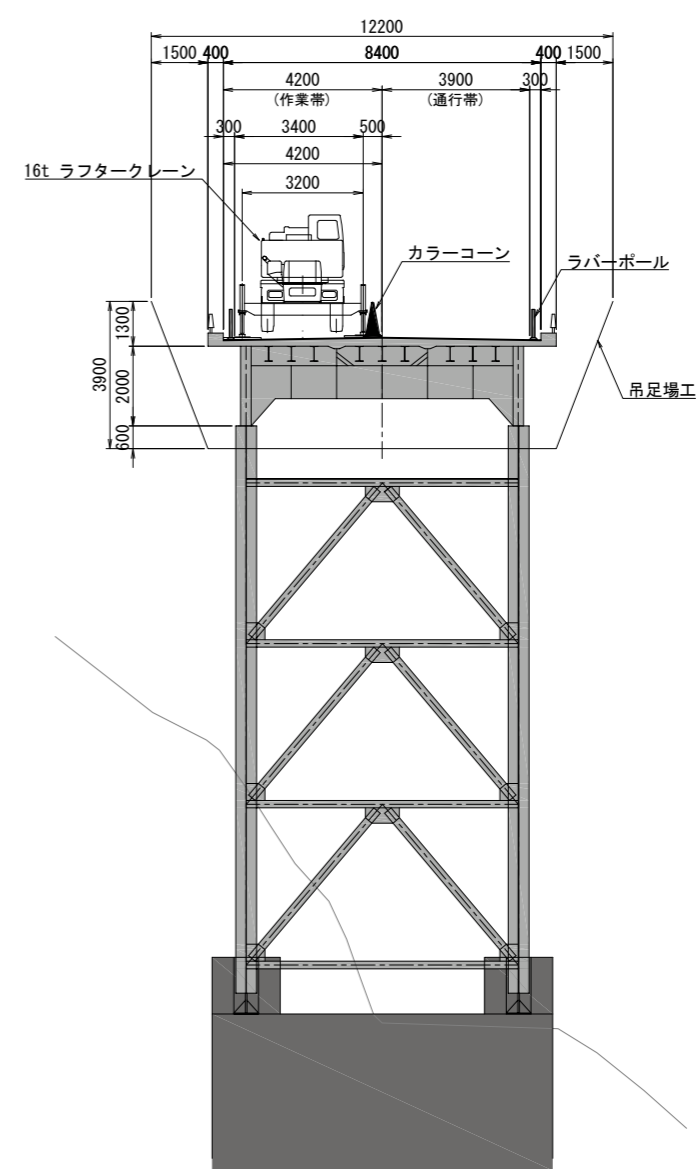
平面図 S=1:250



ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

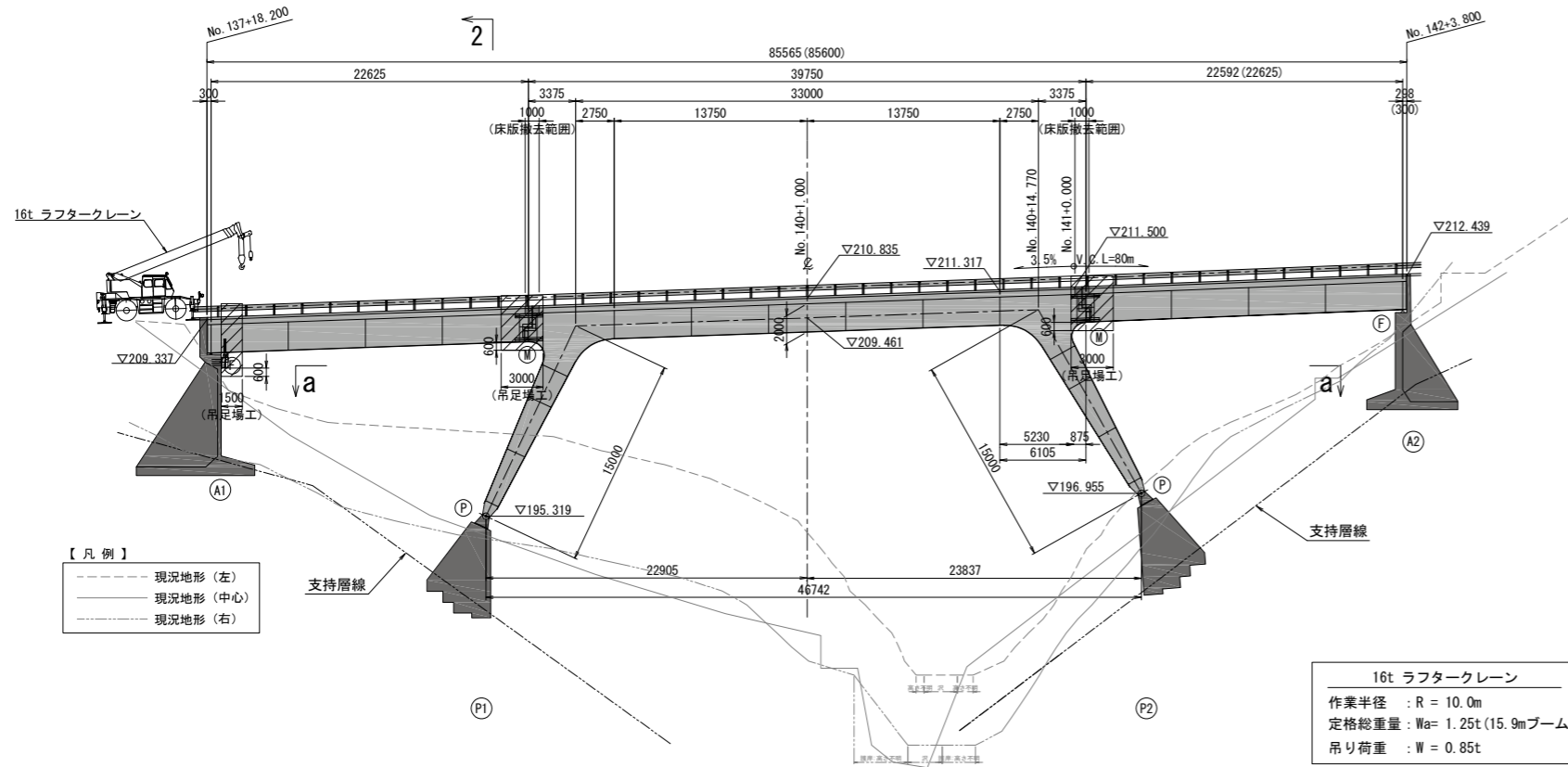
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その7)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 11
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

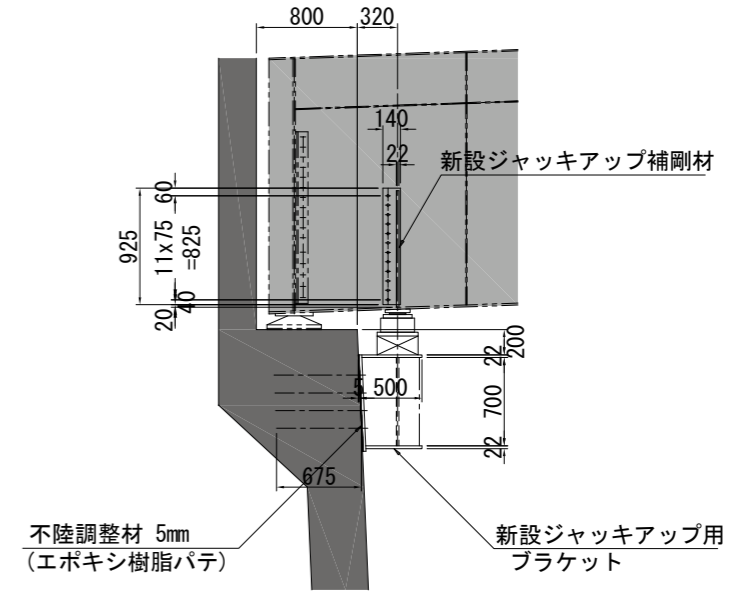
観音橋 施工ステップ図(その8) (参考図)

【STEP8】 橋台部支承交換

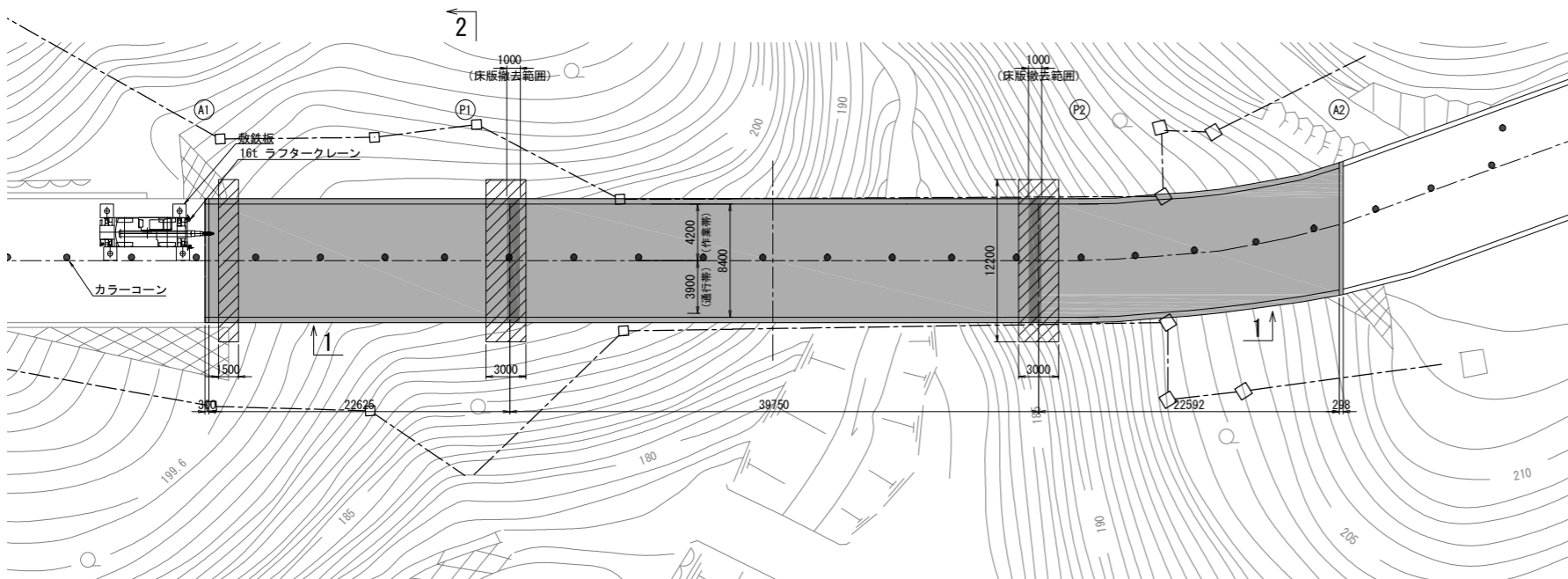
側面図 S=1:250



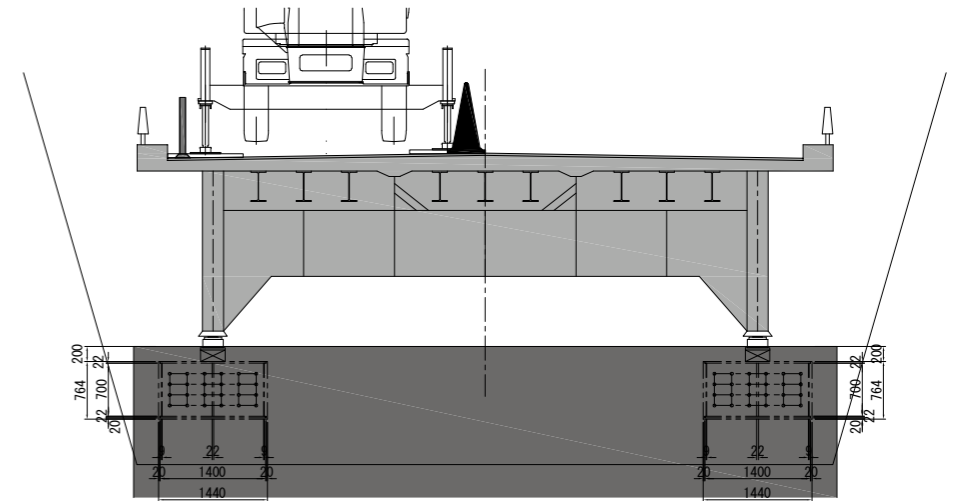
端支点部詳細図 S=1:30



平面図 S=1:250



断面図 S=1:50



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

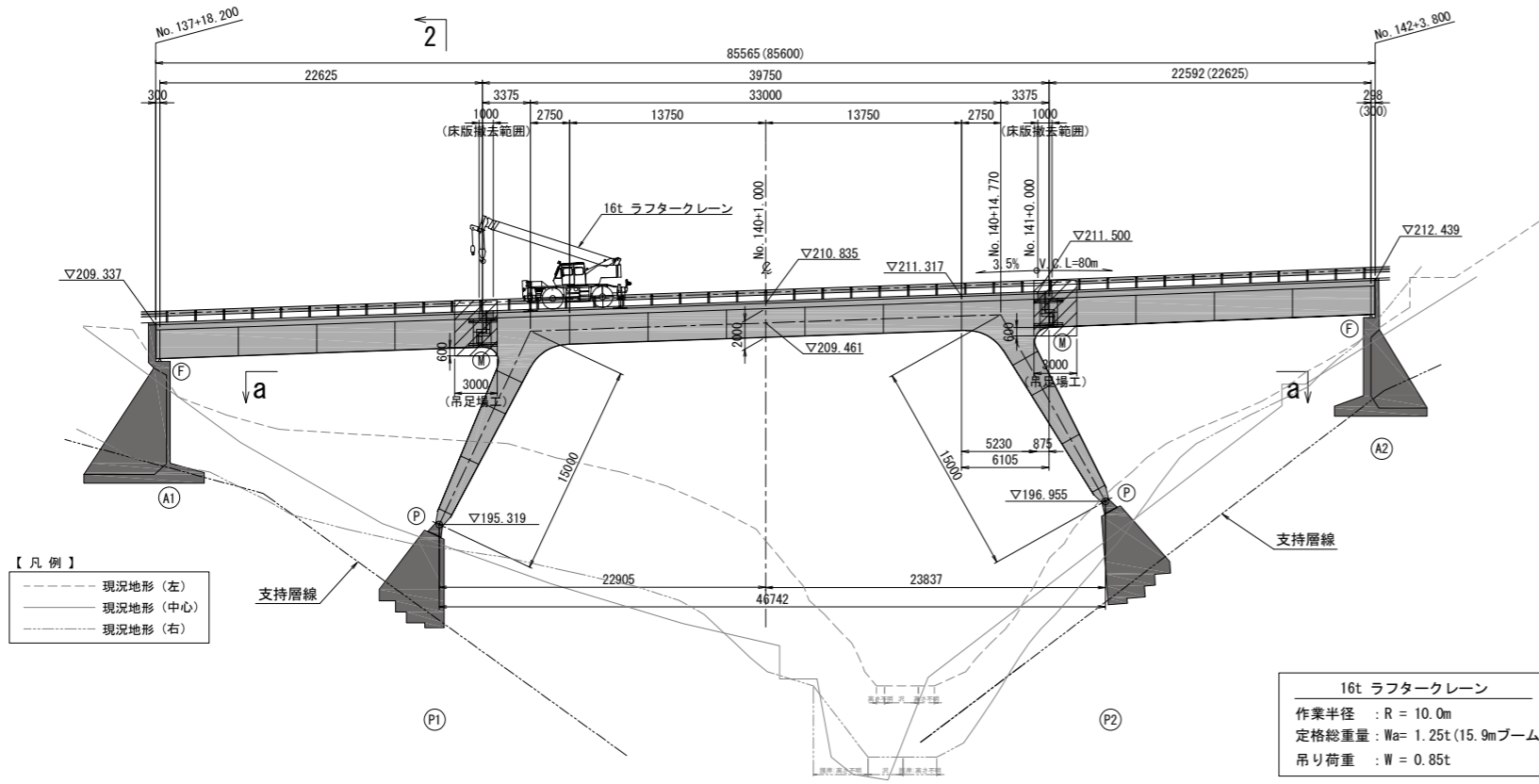
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その8) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 12
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

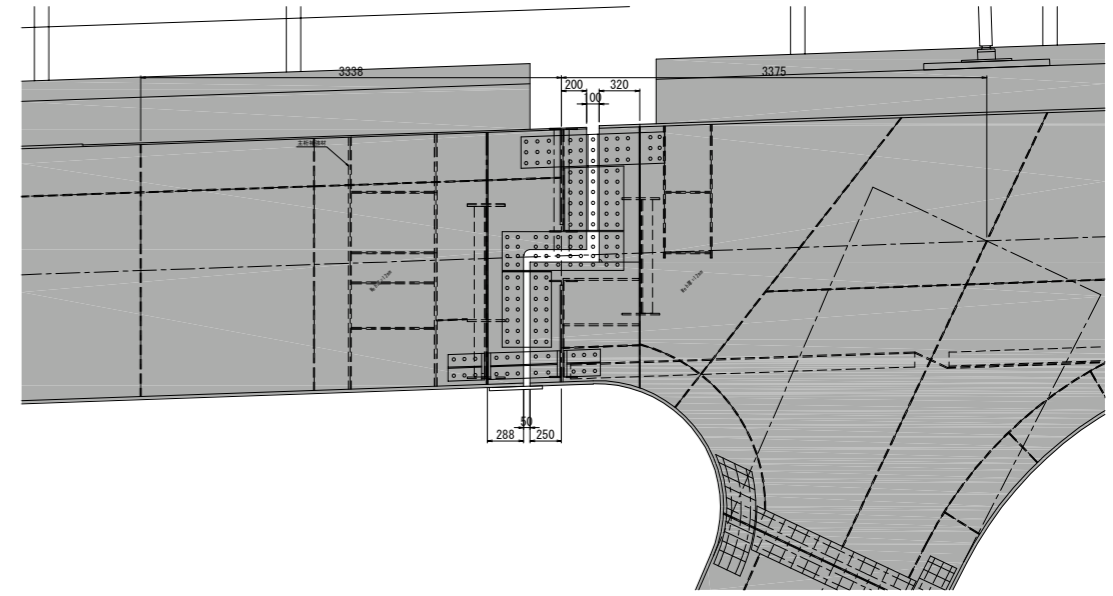
観音橋 施工ステップ図(その9) (参考図)

【STEP9】 高欄・地覆, 伸縮装置, 舗装, 床版部分撤去

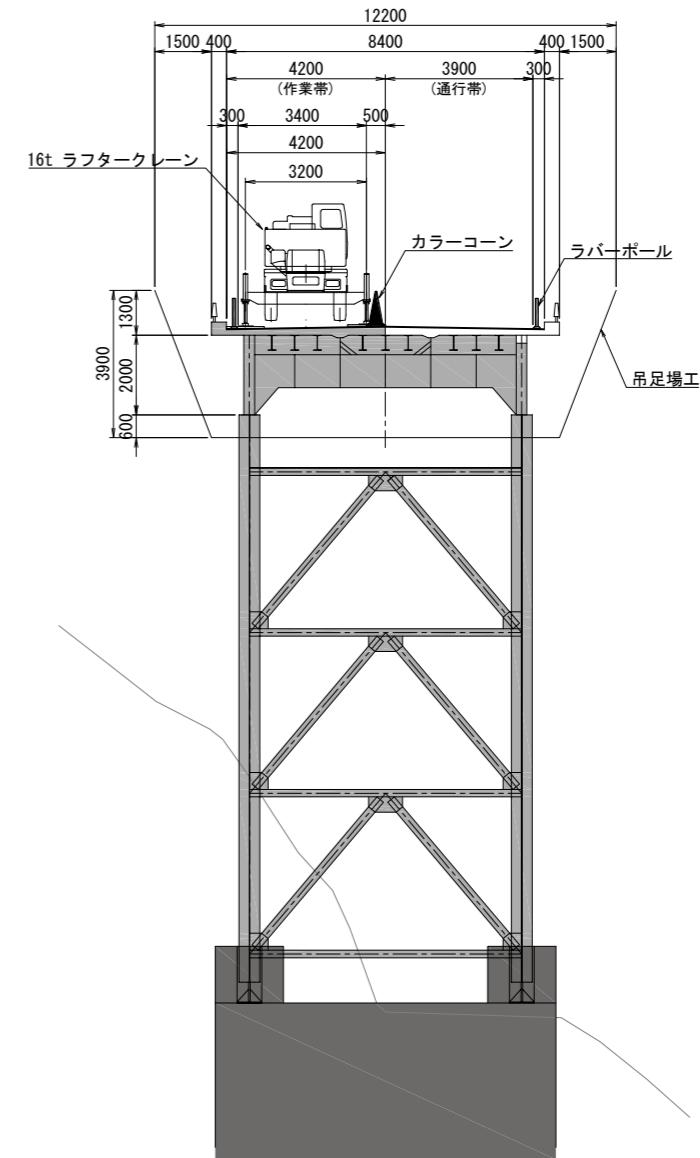
側面図 S=1:250



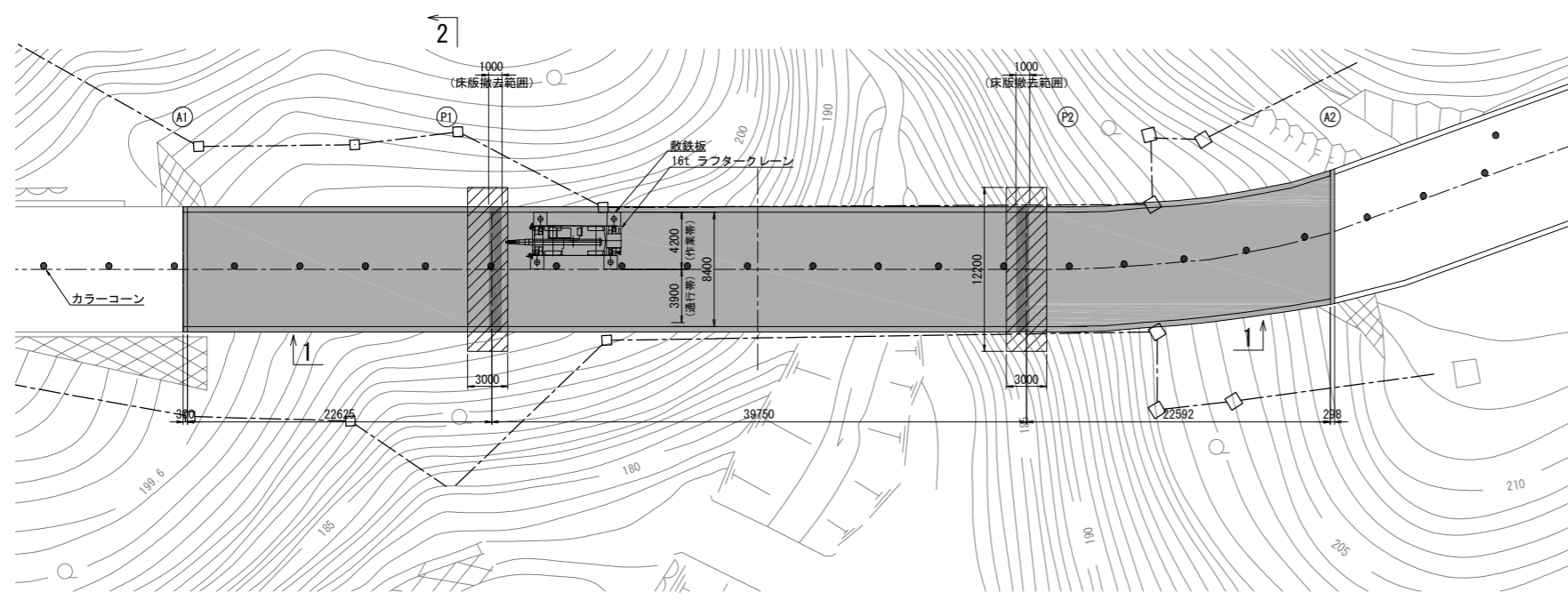
ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:250



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

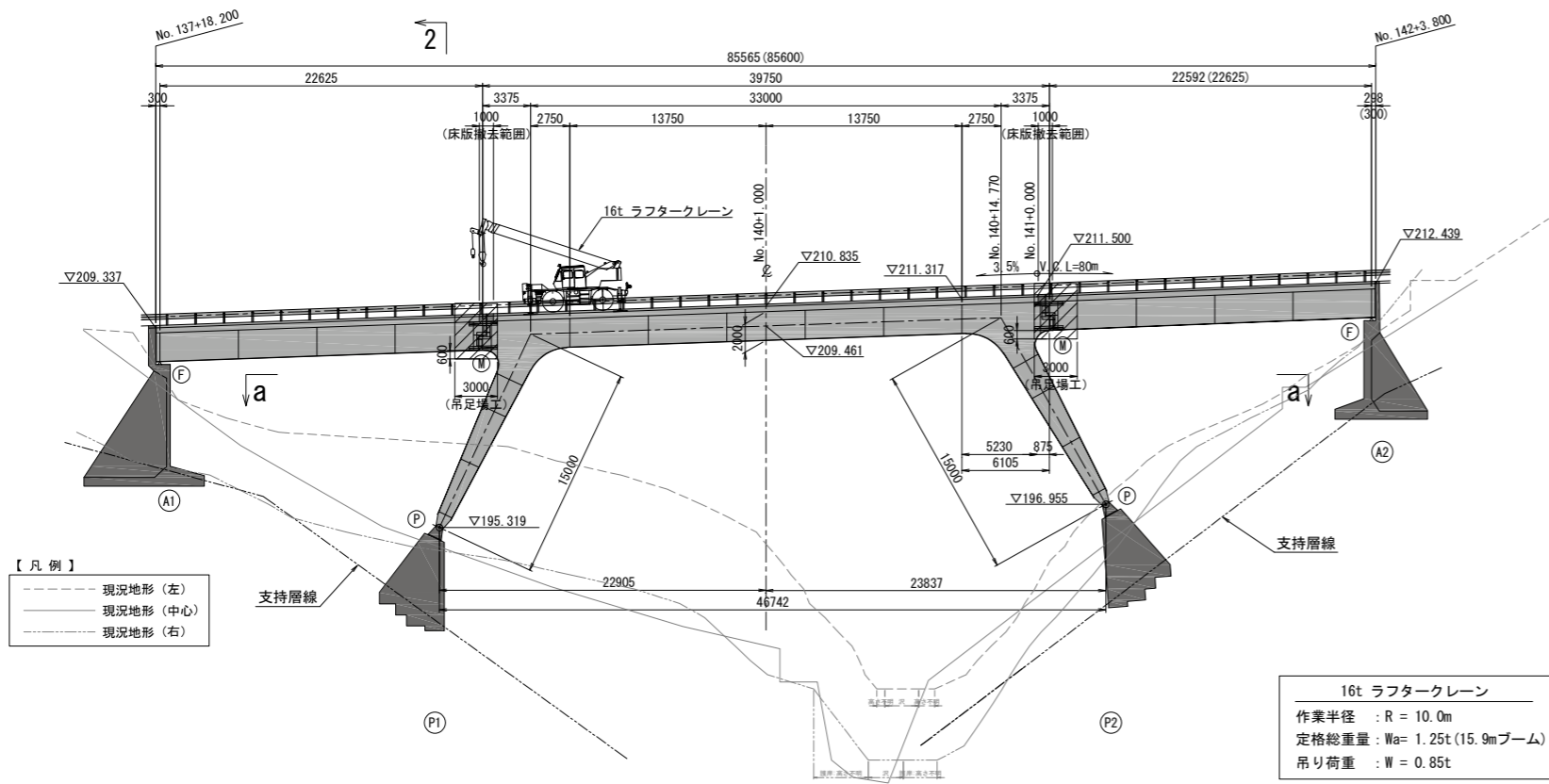
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その9) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 13
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 施工ステップ図(その10)(参考図)

【STEP10】 床版連続化&再舗装, 高欄・地覆復旧

側面図

S=1:250

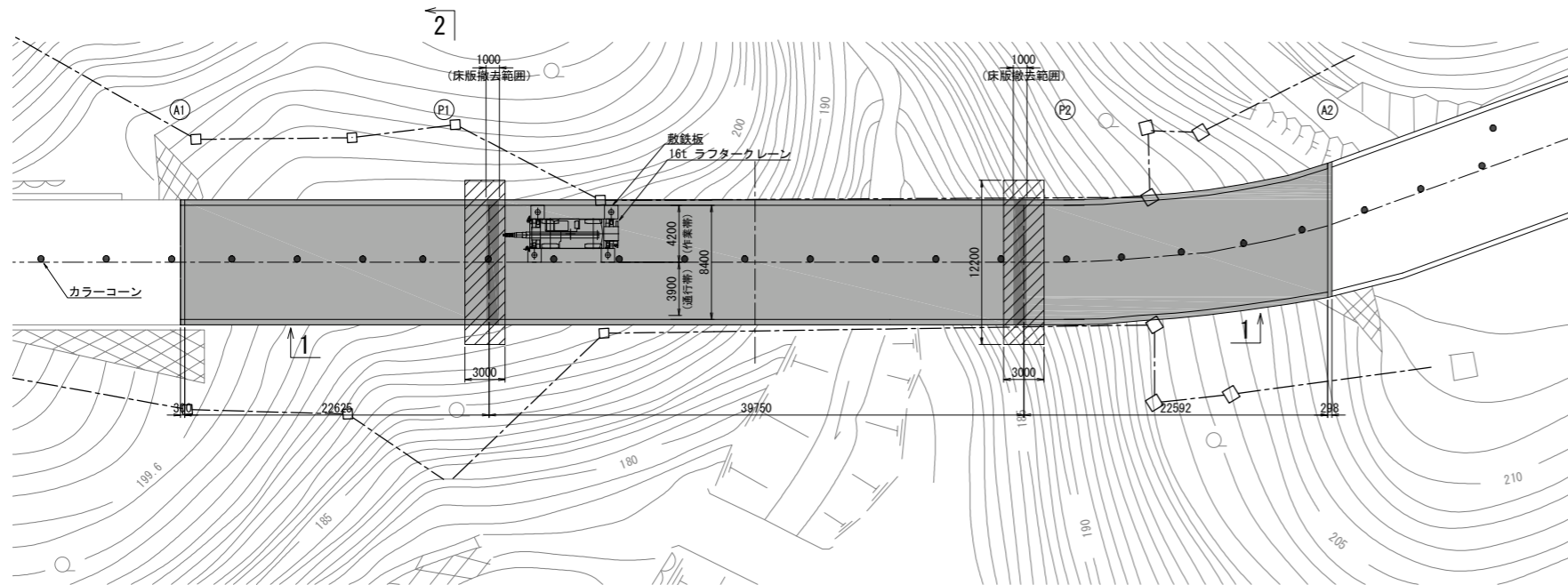


- 【凡例】
- 現況地形 (左)
 - 現況地形 (中心)
 - 現況地形 (右)

16t ラフタークレーン
 作業半径 : R = 10.0m
 定格総重量 : Wa = 1.25t (15.9mブーム)
 吊り荷重 : W = 0.85t

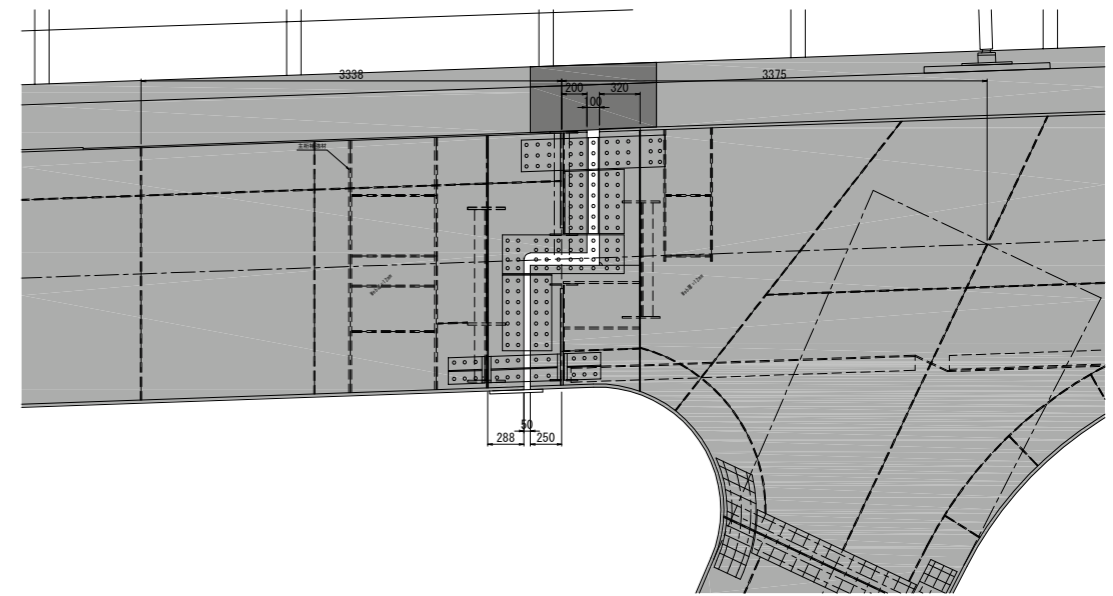
平面図

S=1:250



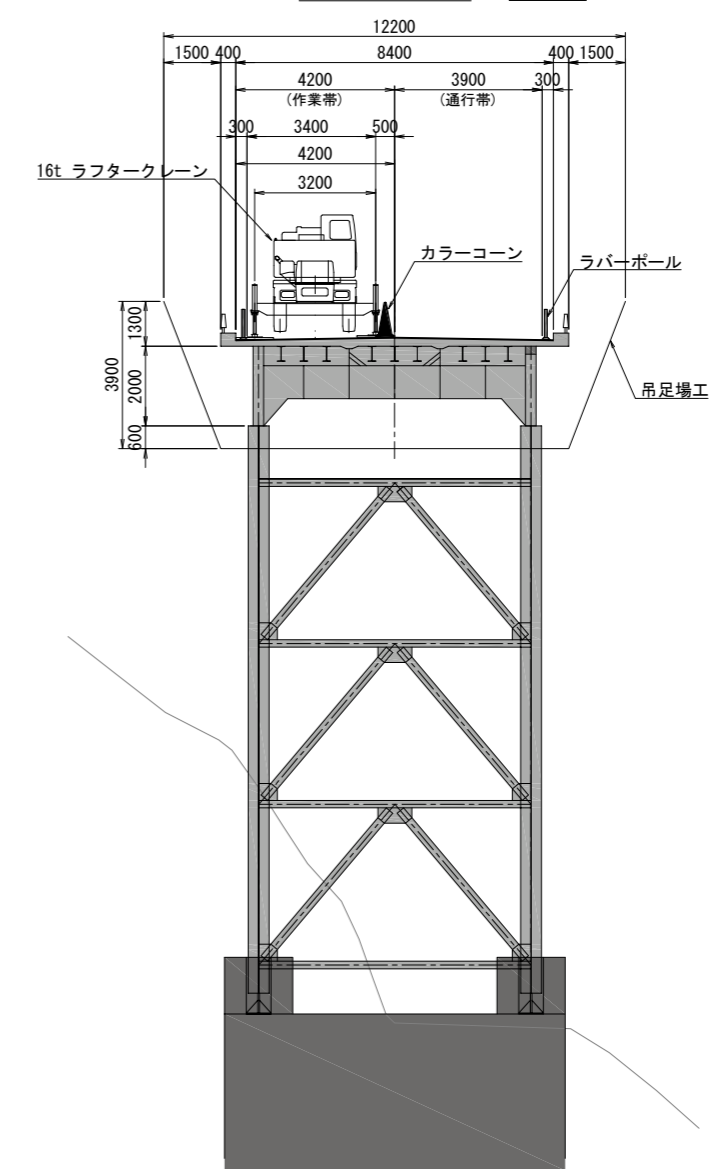
ゲルバー部詳細図

S=1:30



断面図

S=1:100



この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

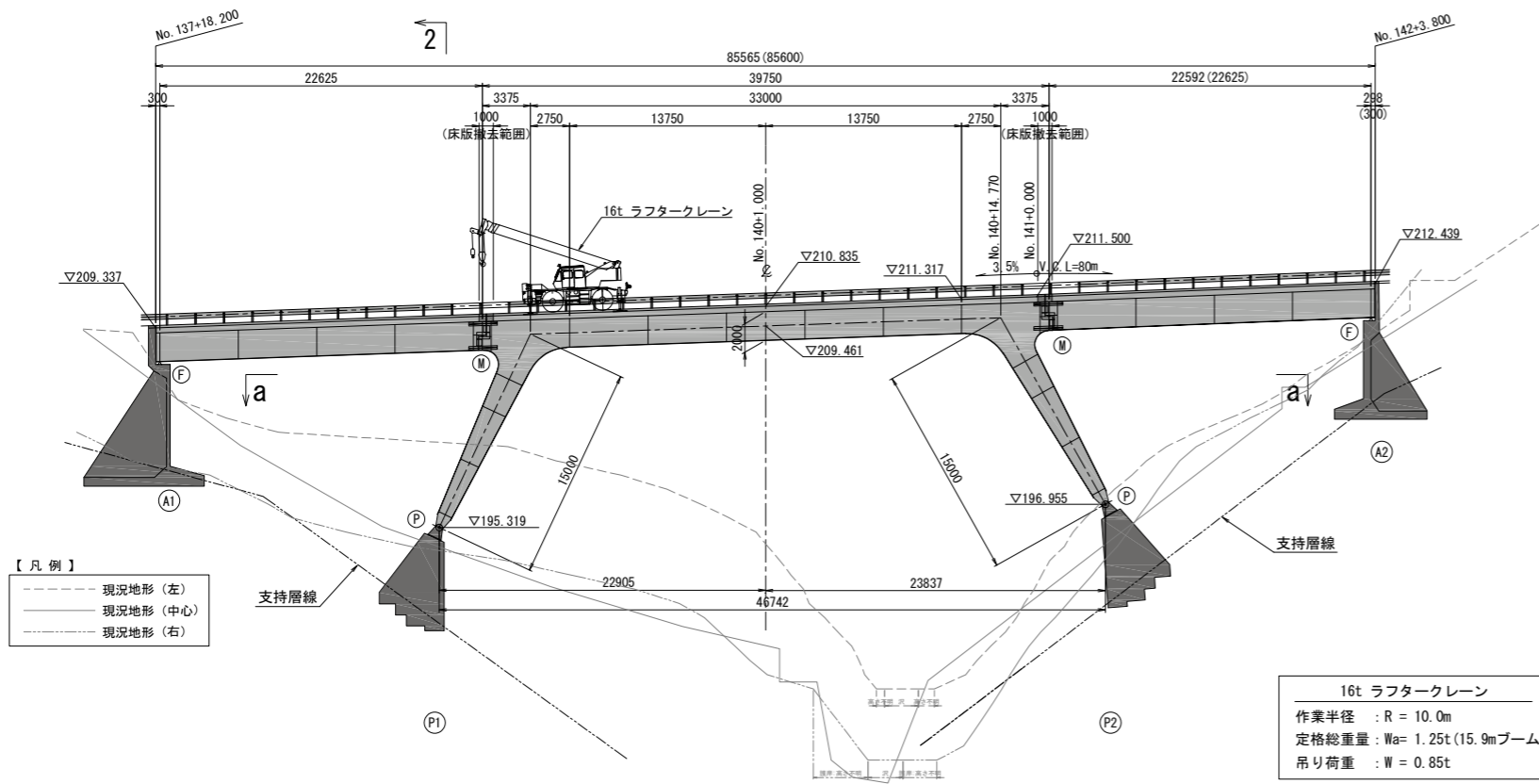
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その10)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 14
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 施工ステップ図(その11) (参考図)

【STEP11】 足場工撤去

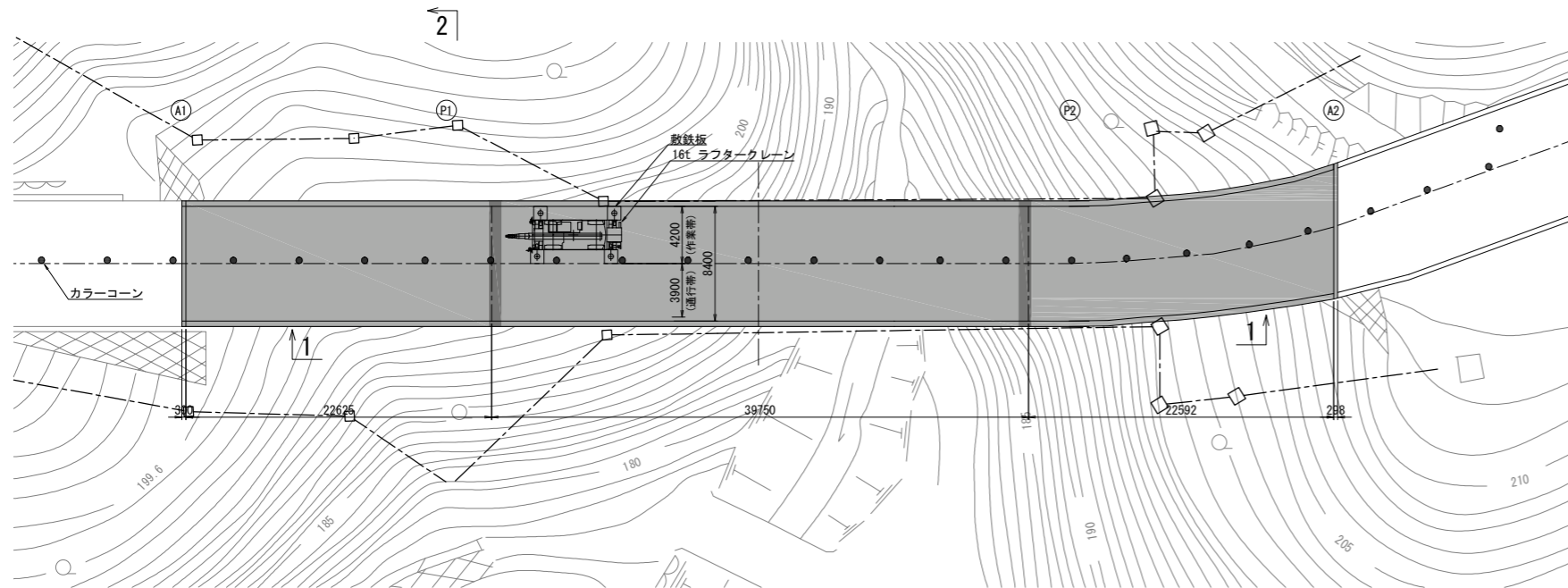
側面図 S=1:250



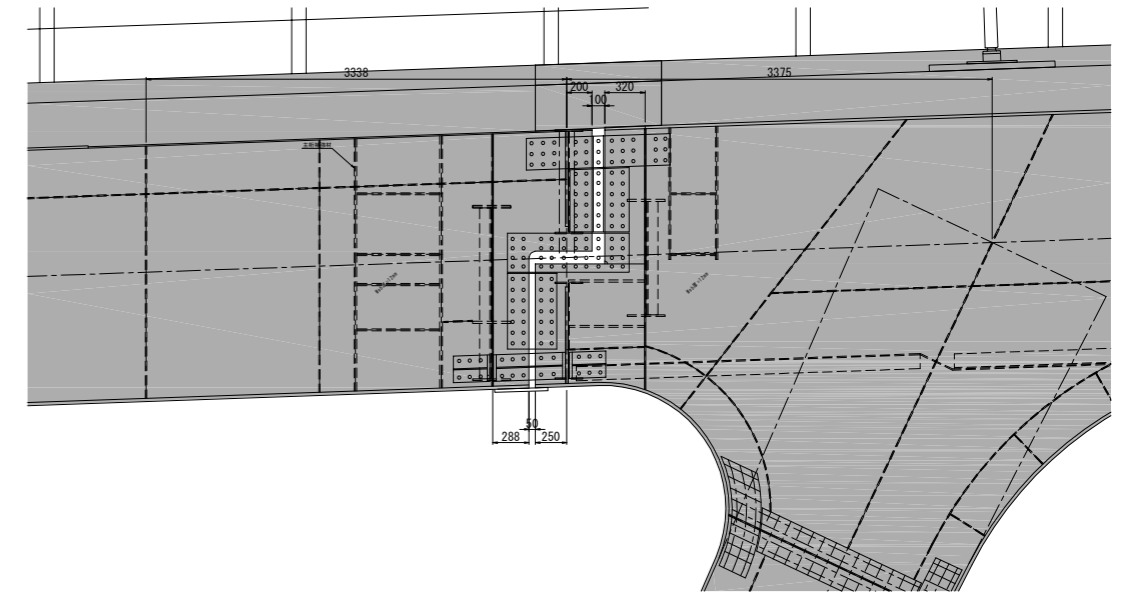
- 【凡例】
- 現況地形 (左)
 - 現況地形 (中心)
 - 現況地形 (右)

16t ラフタークレーン
 作業半径 : R = 10.0m
 定格総重量 : Wa = 1.25t (15.9mブーム)
 吊り荷重 : W = 0.85t

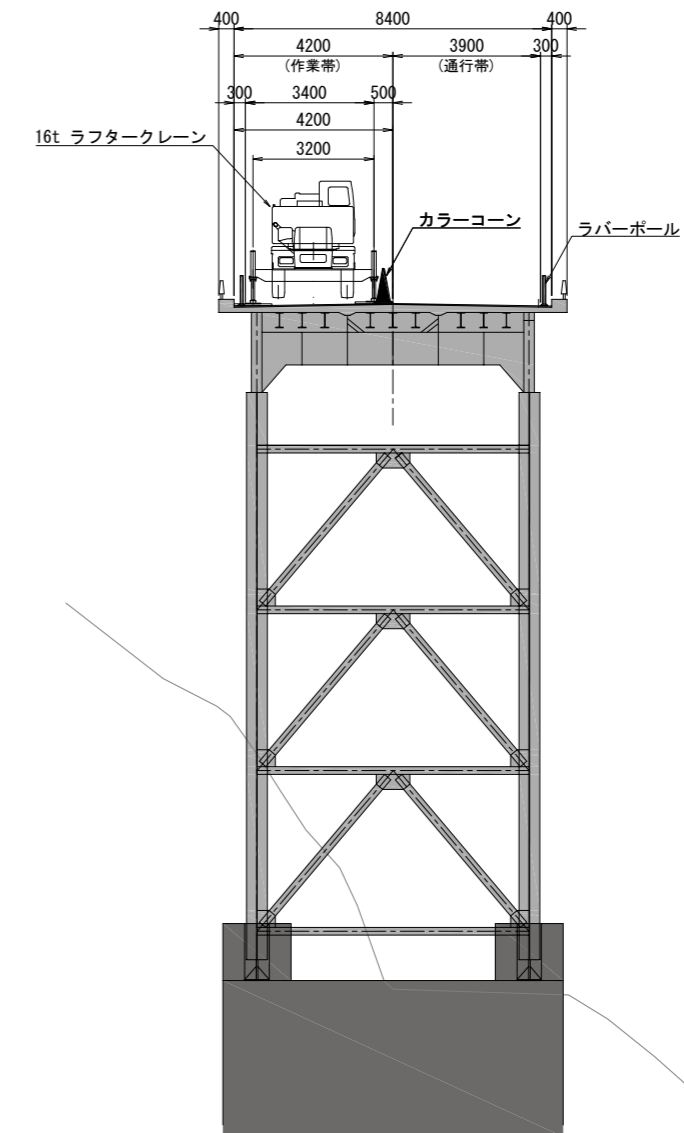
平面図 S=1:250



ゲルバー部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:100



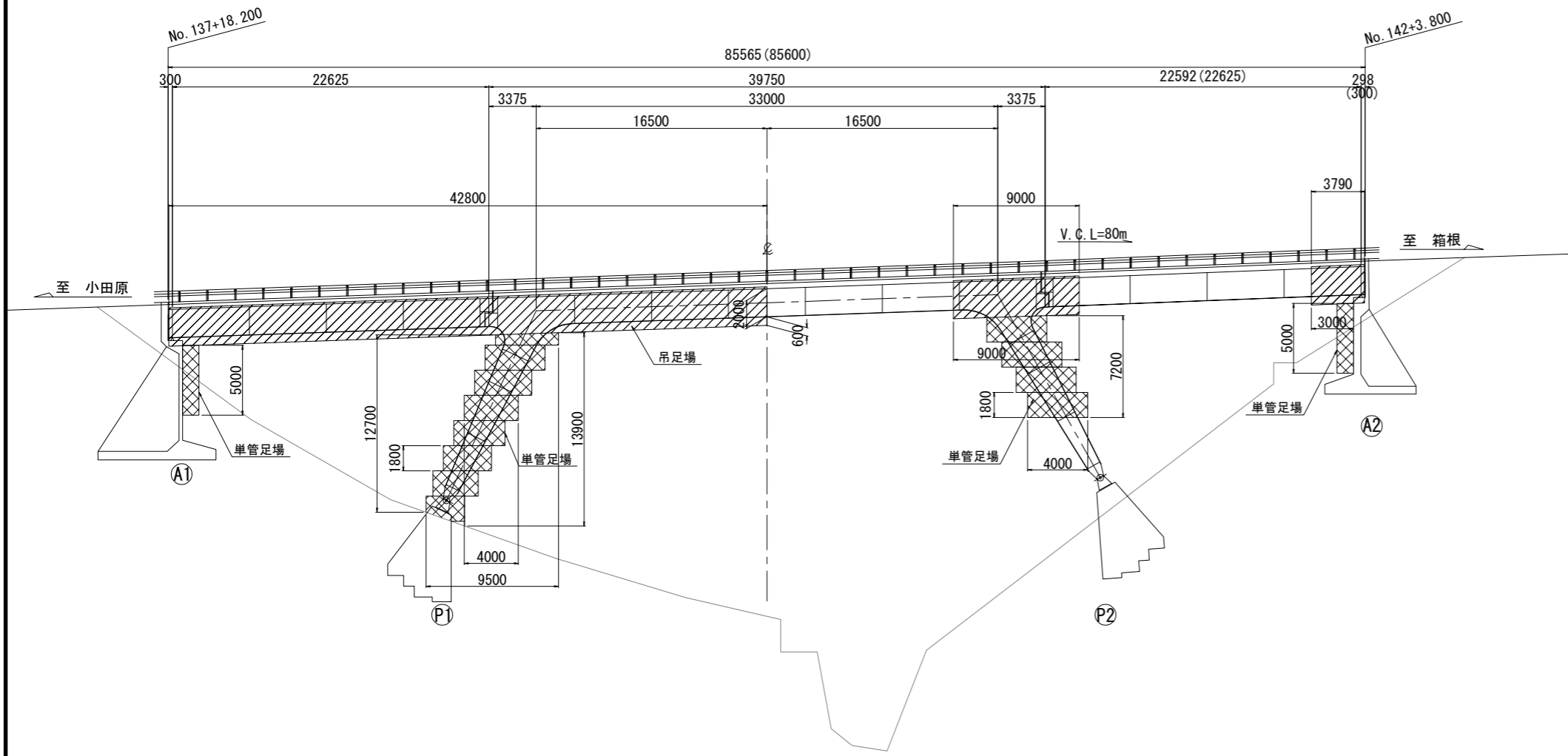
この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

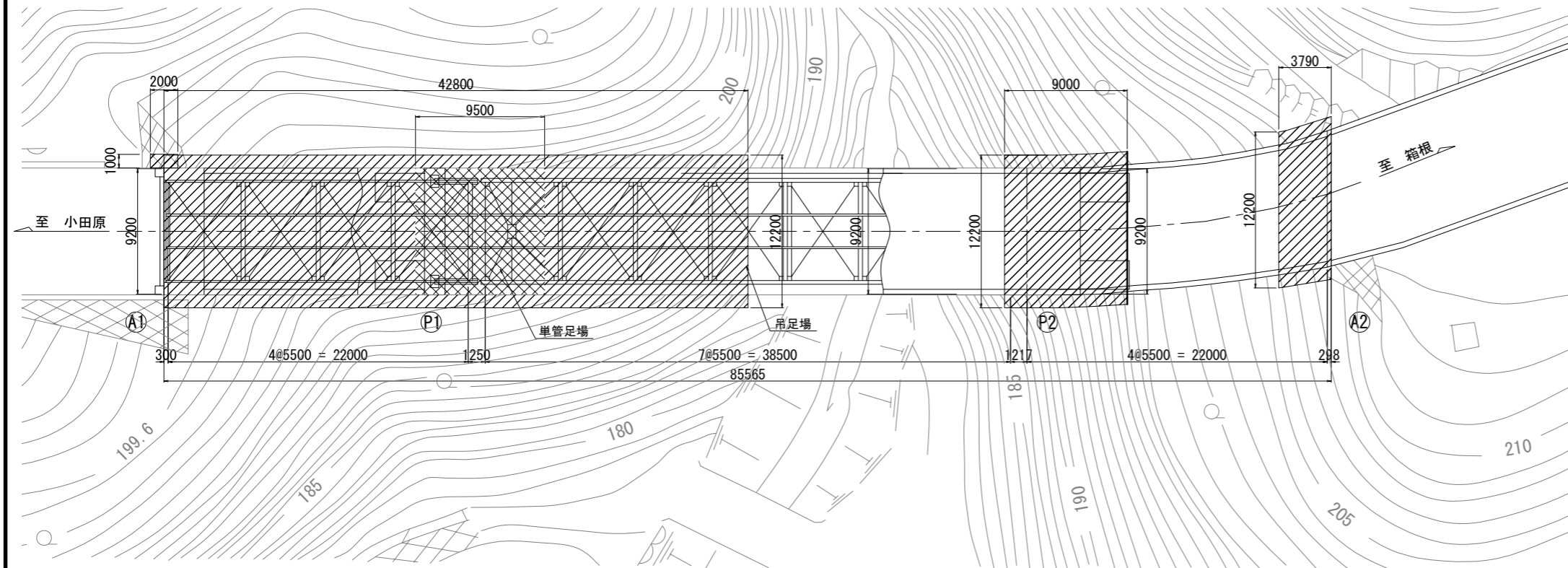
工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 施工ステップ図(その11) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 15
年月日	令和 7 年 12 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

観音橋 足場計画図(参考図) S=1:200

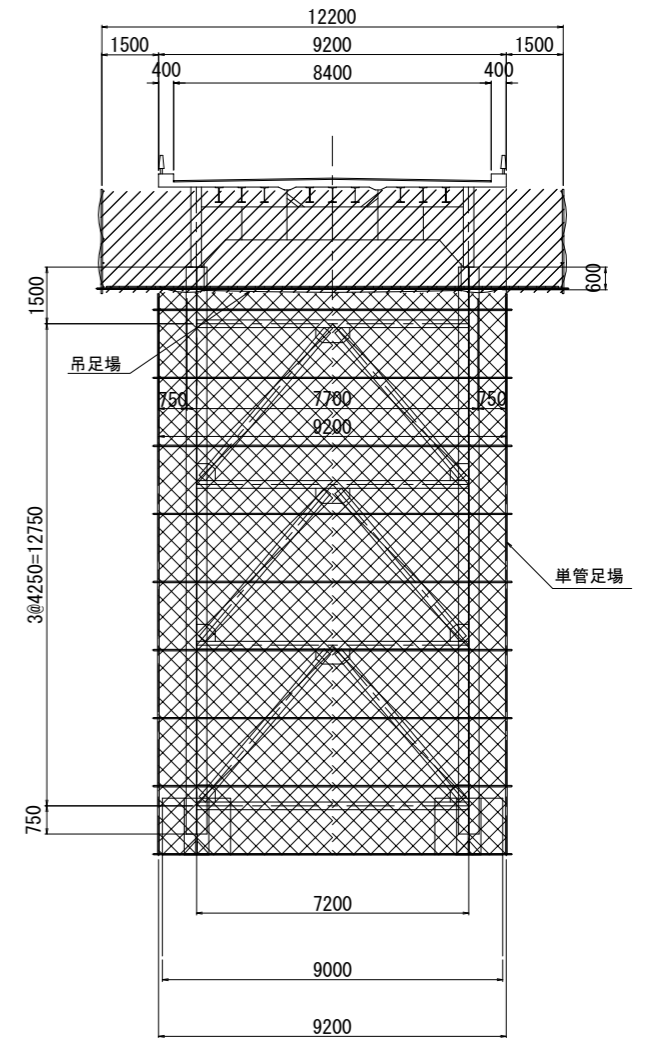
側面図



平面図



P1主構 (桁・脚) 断面図 S=1:100



材料表

項目	単位	数量	備考
吊り足場	m ²	678.20	
単管足場	掛m ²	633.20	

注記

- 足場は現場実測確認のうえ行うものとする。
- A1L側のみ吊足場を拡幅し、検査路梯子設置用足場及び吊足場の出入り口とする。

この『参考図』は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって『参考図面』は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工期目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この『参考図面』の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道1号観音橋補修工事		
図面名	観音橋 足場計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 / 16
年月日	令和7年12月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント・アジア航測設計共同体		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		